学校・社会教育講座

2020年度 履修要項

教職課程
学芸員課程
司書課程［図書館司書コース］
［学校図書館司書教諭コース］
社会教育主事課程

立教大学

池袋キャンパス教務事務センター

【学校・社会教育講座】2020 年度履修要項 訂正表

（2021 年 1 月 26 日時点　訂正一覧）

＊全学共通科目・各学部科目・各研究科科目については、別途 R Guide の該当ページを確認すること。

＜2020 年度中の訂正箇所＞

訂正日	頁	訂正箇所	訂正項目	訂正前 → 訂正後
4/3	69	教職課程 （2019 年度以降入学者適用）	科目表 「特別支援教育の理論と方法(B)」 「特別支援教育の理論と方法(M)」 担当者	榎本拓哉　→　武田瑞穂
4/3	79	教職課程 （2019 年度以降入学者適用）	課程表 文学部史学科中学社会（１種） 「日本史・外国史（選択）」 科目	史学講義 45→史学講義 49
4/3	80	教職課程 （2019 年度以降入学者適用）	課程表 文学部史学科高校地理歴史 （１種） 「日本史（選択）」 科目	【追加】史学講義 49
4/3	310	社会教育主事課程 （2020 年度以降入学者適用）	科目表（池袋キャンパス学生対象） 「家庭教育論」 担当者	獄本新奈　→　嶽本新奈
4/3	310	社会教育主事課程 （2020 年度以降入学者適用）	科目表（池袋キャンパス学生対象） 「教育社会学１」（秋学期） 科目名	教育社会学１→教育社会学２
4/3	311	社会教育主事課程 （2020 年度以降入学者適用）	科目表（新座キャンパス学生対象） 「社会教育実践演習」 「社会教育実践演習(N)」 科目ナンバリング	CED3210　→　CED3310
4/3	311	社会教育主事課程 （2020 年度以降入学者適用）	社会教育主事講習等規程に定められる社会教育に関する科目 科目名	教育演習→社会教育演習

訂正日	頁	訂正箇所	訂正項目	訂正前 → 訂正後
4/3	317	社会教育主事課程 (2019 年度以前入学者適用)	科目表（池袋キャンパス学生対象） 「家庭教育論」 担当者	獄元新奈　→　嶽本新奈
4/9	110	教職課程 (2019 年度以降入学者適用)	課程表 社会学部メディア社会学科 高校公民（１種） 要項欄	文学部　→　社会学部
6/25	79	教職課程 (2019 年度以降入学者適用)	課程表 文学部史学科中学社会（１種） 「史学講義 49」 備考	【追記】2020 年度から新設
6/25	80	教職課程 (2019 年度以降入学者適用)	課程表 文学部史学科高校地理歴史（１種） 「史学講義 49」 備考	【追記】2020 年度から新設
6/25	289	学芸員課程	７　修了者の発表・修了証書の授与 ２行目・９行目	「Ⅸ　修了に関すること」 →「Ⅷ　修了に関すること」
6/25	297	司書課程図書館司書コース	６　修了者の発表・修了証書の授与 ３行目・１０行目	「Ⅸ　修了に関すること」 →「Ⅷ　修了に関すること」
6/25	309	社会教育主事課程 (2020 年度以降入学者適用)	５　修了者の発表・修了証書の授与 ２行目・１０行目	「Ⅸ　修了に関すること」 →「Ⅷ　修了に関すること」
6/25	316	社会教育主事課程 (2019 年度以前入学者適用)	５　修了者の発表・修了証書の授与 ２行目・１０行目	「Ⅸ　修了に関すること」 →「Ⅷ　修了に関すること」
10/7	74 ～ 127	教職課程 (2019 年度以降入学者適用)	課程表 全学科全教科共通 「第 66 条の 6 に定める科目：体育」	「スポーツスタディ１～４」 →「スポーツスタディ１～４，e」
10/7	179	教職課程 (2016～2018 年度入学者適用)	教科に関する科目 経済学部高校商業（１種） 「会計政策論１・２」 備考	【追記】2020 年度から廃止

訂正日	頁	訂正箇所	訂正項目	訂正前 → 訂正後
10/7	183	教職課程 (2016～2018 年度入学者適用)	教科に関する科目 理学部化学科中学・高校理科（１種） 生物学Ｂ区分	【追記】 科目名：植物科学１ 単位数：２ 備考：2019 年度まで「植物科学」
10/7	183	教職課程 (2016～2018 年度入学者適用)	教科に関する科目 理学部化学科中学・高校理科（１種） 「植物科学」 備考	【追記】 2020 年度から「植物科学１」
10/7	235	教職課程 (2010～2015 年度入学者適用)	教科に関する科目 経済学部高校商業（１種） 「会計政策論１・２」 備考	【追記】2020 年度から廃止
10/7	239	教職課程 (2010～2015 年度入学者適用)	教科に関する科目 理学部化学科中学・高校理科（１種） 生物学Ｂ区分	【追記】 科目名：植物科学１ 単位数：２ 備考：2019 年度まで「植物科学」
10/7	239	教職課程 (2010～2015 年度入学者適用)	教科に関する科目 理学部化学科中学・高校理科（１種） 「植物科学」 備考	【追記】 2020 年度から「植物科学１」
10/7	154	教職課程 (2010～2018 年度入学者適用)	教職課程（中学校１種・高等学校１種）[教職に関する科目]科目表 「教職特別演習(B)」	・GA322→自動登録 ・2020 年度休講→2020 年度教育実習特例 ・学期なし→秋他 ・担当者なし→全専任教員
10/7	296 300	司書課程 図書館司書コース 学校図書館司書教諭コース	４．実習までの手続きの概要 (2)2021 年度図書館実習事前指導Ⅰの日程	「2020 年 11 月 27 日(土)」 →「2020 年 11 月 28 日(土)」

訂正日	頁	訂正箇所	訂正項目	訂正前 → 訂正後
1/26	120	教職課程 （2019 年度以降入学者適用）	課程表 観光学部交流文化学科 中学社会（１種） 「観光史」 備考	 【追記】 2019 年度以前入学者のみ適用
1/26	122	教職課程 （2019 年度以降入学者適用）	課程表 観光学部交流文化学科 高校地理歴史（１種） 「観光史」 備考	 【追記】 2019 年度以前入学者のみ適用

校章（シンボルマーク）にある聖書の中の標語「PRO DEO ET PATRIA」は，「神と国のために」というラテン語で，立教大学では，「普遍的なる真理を探究し，私たちの世界，社会，隣人のために」ととらえています。

また，「MDCCCLXXIV」は創立年の「1874」を意味するローマ数字です。この校章はみなさんが携帯する学生証にも刷り込まれています。

建学の精神

立教大学の建学の精神，それは「キリスト教に基づく教育」です。1874（明治7）年，米国聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教によって設立された「立教学校」。東京・築地に聖書と英学を教える，わずか数人の生徒で始まったこの小さな学校が立教大学の前身です。

ウィリアムズ主教は，当時の“実利主義”や知識，技術を物質的な繁栄と立身出世の道具とする日本の風潮をよそに，ここを「キリスト教に基づく真の人間教育を行う場」と位置づけました。現象にとらわれず，常にその本質に迫ろうとする自由の精神，そして，個性を重視した人間教育。これこそが立教のキリスト教に基づく精神といえます。

立教大学の使命

キリスト教に基づいて人格を陶冶し，文化の進展に寄与する。

学校・社会教育講座とは

本講座は，将来学校教育ならびに社会教育関係の専門職員を志望する者に対し，その資格を取得させるものであり，教職課程，学芸員課程，司書課程（図書館司書コース／学校図書館司書教諭コース）および社会教育主事課程の４課程からなっている。

「専門性に立つ教養人の養成」という本学の教育目標と呼応して，講座では，リベラルアーツの中に位置づけられた資格教育を目指し，この実現に努力している。

それぞれの課程の資格は，学士の学位が必要であり，専門性と真の教養を身につけ，広い視野から批判的，かつ創造的に，社会の中で活躍できる高度専門人を養成することを目標にしている。

教職課程は，教員を志望する者にその資格を取得させるためのものであり，本学教職課程において所定の単位を修得した者は，教育委員会に申請して中学校・高等学校の各教育職員免許状を取得することができる。*

学芸員課程，司書課程（図書館司書コース／学校図書館司書教諭コース）および社会教育主事課程は，学校教育とならんで重要な社会教育の代表的な施設である博物館・図書館・公民館・青少年施設などの専門職員となる有資格者を養成するために設けられているものである。

各課程の詳しい内容は，以下に掲げるそれぞれの履修要項を参照されたい。

学校・社会教育講座

＊本学では，小学校教育職員免許状は，文学部教育学科初等教育専攻課程の学生のみが取得できる。

学校・社会教育講座開設課程

≪池袋キャンパス≫

教職課程
学芸員課程
司書課程〔図書館司書コース〕
　　〔学校図書館司書教諭コース〕
社会教育主事課程

≪新座キャンパス≫

教職課程
社会教育主事課程

4課程すべての受講生にかかわる事項

2020年度

履修要項

学校・社会教育講座

教職課程
2019年度以降入学者適用

教職課程
2010～2018年度入学者適用

学芸員課程

司書課程
図書館司書コース

司書課程
学校図書館司書教諭コース

社会教育主事課程
2020年度以降入学者適用
2019年度以前入学者適用

個人情報保護
各種案内
案内図
講座案内

本書と合わせてR Guide（Web）を必ず確認すること。

各種日程など年度毎に更新する部分や，掲載後に生じた変更点・修正点は，R Guideに掲載する。

教務事項の伝達について

1　掲示

大学から学生への連絡は，原則として掲示によって行う。掲示を確認しなかったために生じる不利益は，本人の責任となるので，登校時には必ず掲示を確認する習慣をつけること。掲示した事項については学生に伝達したものとみなす。

掲示内容に疑問がある場合は，教務窓口に直接問い合わせること。電話や電子メールによる問合せには，一切応じない。

種類	設置場所	掲載内容
〈池袋〉学校・社会教育講座掲示板	池袋キャンパス ２号館東側（７号館側）	■講座・各課程から講座登録者への伝達事項 ■各課程の実習等にかかわる伝達事項 教育実習／介護等体験／見学・学内実習／博物館実習／図書館実習／社会教育実践演習／社会教育演習
〈新座〉学校・社会教育講座掲示板	新座キャンパス 保健室入口横，７号館と４号館の間	
各学部・研究科掲示板	池袋キャンパス 教務事務センター前	■各学部生・各研究科学生への伝達事項 ■各学部科目・各研究科科目にかかわる伝達事項
全学共通科目掲示板		■全学共通科目にかかわる伝達事項
教務全学用掲示板 ｆ - Campus掲示板	新座キャンパス 7号館と4号館の間，保健室横	■公示・学年暦等全学にかかわる伝達事項 ■ｆ - Campusにかかわる伝達事項
インフォメーションボード	池袋キャンパス 5／8／14号館	■全学の休講 ■全学の教室変更（2週間分）・学生呼出
	新座キャンパス 1号館1階／4号館2階	

2　教務関連ｗｅｂサービス

ＳＰＩＲＩＴ 教務部ページ

●**教務からのお知らせ**：学校感染症について，各種お知らせ
●**授業について**：学年暦，履修要項，シラバス・時間割検索システム，時間割PDF，休講情報など
●**履修登録・成績について**：履修登録システム，成績参照システム
●**証明書・手続き**：学生証再発行，住所変更，氏名変更，休学・退学など

→ https://spirit.rikkyo.ac.jp/academic_affairs/

R Guide履修要項・教務関連案内（web版）

※本書と合わせて必ず確認すること。

学部・研究科ごとの履修関連や教務関連情報

●年間スケジュール
●履修のてびき：履修について〈登録，中止，取消，卒業論文，修士論文，その他の手続き〉，
　カリキュラム改定，科目表，全学共通科目，f-Campus，グローバル教養副専攻など
●試験・成績案内
●学籍関連日程：休学，退学，卒業など
●アカデミックアドバイザー，オフィスアワーなど
●諸規則・各種案内〈教務部案内，V-Campus案内，ＰＣ教室案内〉，教員一覧など

→ https://ry.rikkyo.ac.jp/yoko/

ＳＰＩＲＩＴ Ｍｏｂｉｌｅ

各種お知らせ，休講情報，教室変更．ＭＹ時間割，バス時刻表（新座キャンパス），SPIRIT Gmail，PC貸出状況，立教OPACなどがスマートフォンなどから確認できる。

※更新にタイムラグが生じる可能性があるため注意

→ RIKKYO SPIRITのページからアクセスできる。

立教時間

立教時間は，RIKKYO Learning Styleにおける学生の学びを支える仕組み。 目標を設定し，入学から卒業まで，日々の体験や学び，大学生活の中での気づきなどを蓄積できる。 いつでも目標や行動計画を確認しながら自身の成長を振り返ることができる。

→ RIKKYO SPIRITのページからアクセスできる。

Ｂｌａｃｋｂｏａｒｄ
Blackboardは，授業をより充実したものにするために，教員がWeb上に用意する授業に対応したホームページである。資料をダウンロードして印刷することができたり，担当の教員から課題が出題されていれば提出をしたりすることができる。インターネットに接続できる環境があれば，学内，学外を問わずどこからでも利用可。 → RIKKYO SPIRITのページからアクセスできる。

3　緊急時連絡

台風の接近等により，授業を平常通り行うことができないと判断した場合は，休講などの特別措置をとることがある。特別措置の内容については，掲示，立教大学Webサイト，SPIRITトップページ「お知らせ」等または電話で確認すること。

立教大学Webサイト
https://www.rikkyo.ac.jp/
SPIRITトップページ「お知らせ」
https://spirit.rikkyo.ac.jp/

※試験期間についても上記の措置をとることがある。

※大学の窓口業務，諸施設の利用については，各主管部局のWebサイトおよび掲示によって周知する。

4　教務窓口

学部・研究科等		窓口	場所	窓口時間※ （授業期間中）
文，経済，理，社会，法，経営の各学部・研究科学生 異文化コミュニケーション学部，異文化コミュニケーション研究科（2015年度以前異文化コミュニケーション専攻入学者を除く）の学生 グローバル・リベラルアーツ・プログラムの学生 キリスト教学研究科，法務研究科の学生		教務事務センター	池袋キャンパス タッカーホール1階	月～金 8:50～17:30 土 8:50～12:30
観光，コミュニティ福祉，現代心理の各学部・研究科学生			新座キャンパス 7号館1階	
ビジネスデザイン研究科，21世紀社会デザイン研究科，人工知能科学研究科の学生 異文化コミュニケーション研究科（2015年度以前異文化コミュニケーション専攻入学者）の学生		独立研究科事務室	池袋キャンパス 11号館4階	月～金 12:30～20:30 土 10:00～17:00
教職・学芸員・司書・社会教育主事課程登録者	実習・介護等体験について	学校・社会教育講座事務室	池袋キャンパス 2号館1階	月～金 9:00～17:00 土 閉室
			新座キャンパス 7号館1階	
	上記以外	教務事務センター	池袋キャンパス タッカーホール1階	月～金 8:50～17:30 土 8:50～12:30
			新座キャンパス 7号館1階	

※授業期間中の通常窓口時間は上記のとおりである。

授業期間とは，春学期・秋学期の授業開始日から最終授業日までをいう（オリエンテーション期間および定期試験期間は除く）。

授業期間以外の窓口時間は，原則 月～金9:00～17:00，土9:00～12:30となる。また，特別な場合の窓口時間については，ホームページおよび掲示によって周知する。

5　履修要項の使い方

各種日程や年度毎に変更になること，掲載後に生じた変更点や修正点はR Guideに掲載する。

本書と合わせてR Guideも必ず確認すること（URL等は前頁参照）。

本書について不明点等がある場合は，速やかに各教務窓口で確認すること。

目　次

建学の精神
学校・社会教育講座とは
教務事項の伝達について
目次

４課程すべての受講生に関わる事項

Ⅰ　登録について……12
Ⅱ　カリキュラムについて……17
Ⅲ　授業について……21
Ⅳ　履修についての注意事項……25
Ⅴ　履修登録……27
Ⅵ　試験・成績……31
Ⅶ　保険の加入……42
Ⅷ　修了に関すること……43
Ⅸ　講座関連の各種証明書……46

教職課程【2019年度以降入学者適用】

1　教育職員免許状について……49
2　本学で取得できる免許状について……50
3　教育職員免許状（１種）取得のための要件……53
4　教育職員免許状（専修）取得のための要件……54
5　免許状取得までのアウトライン……57
6　介護等体験……58
7　教育実習について（中学校・高等学校）……59
8　教育実習参加準備について……61
9　教育職員免許状申請手続きについて……62
10　履修上の注意……64
11　カリキュラム……66
教職課程設置科目表……68
学科別・免許教科別「課程表」の見方……72
文学部キリスト教学科……74
文学部史学科……79
文学部教育学科……82
文学部文学科英米文学専修……84
文学部文学科ドイツ文学専修……86
文学部文学科フランス文学専修……88
文学部文学科日本文学専修……90
文学部文学科文芸・思想専修……90
経済学部経済学科……92
経済学部会計ファイナンス学科……93
経済学部経済政策学科……94
理学部数学科……96
理学部物理学科……99
理学部化学科……101
理学部生命理学科……103
社会学部社会学科……105
社会学部現代文化学科……107
社会学部メディア社会学科……109
法学部法学科……111
法学部政治学科……115
異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科……116

観光学部交流文化学科 ……120
コミュニティ福祉学部福祉学科 ……123
コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 ……124
コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科 ……126

教職課程【2010～2018年度入学者適用】

1　教育職員免許状について ……131
2　本学で取得できる免許状について ……132
3　教育職員免許状（１種）取得のための要件 ……135
4　免許取得までのアウトライン ……136
5　介護等体験 ……137
6　教育実習について（中学校・高等学校） ……138
7　教育実習参加準備について ……141
8　教育職員免許状申請手続きについて ……143
9　教職に関する科目－履修上の注意－ ……145
10　教職に関する科目－カリキュラム－ ……150
教職課程（中学校１種・高等学校１種）［教職に関する科目］科目表 ……152
学科別・免許教科別科目一覧【2016年度以降学部1年次入学者適用】
免許法施行規則第66条の6に定める科目―履修上の注意とカリキュラム― ……156
教科に関する科目―履修上の注意とカリキュラム― ……158
「教科に関する科目」よくある質問 ……160
文学部キリスト教学科 ……162
文学部史学科 ……166
文学部教育学科 ……169
文学部文学科英米文学専修 ……171
文学部文学科ドイツ文学専修 ……172
文学部文学科フランス文学専修 ……173
文学部文学科日本文学専修 ……174
文学部文学科文芸・思想専修 ……174
経済学部経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科 ……175
理学部数学科 ……180
理学部物理学科 ……182
理学部化学科 ……183
理学部生命理学科 ……184
社会学部社会学科 ……185
社会学部現代文化学科 ……189
社会学部メディア社会学科 ……193
法学部法学科／国際ビジネス法学科／政治学科 ……197
異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科 ……201
観光学部観光学科／交流文化学科 ……202
コミュニティ福祉学部福祉学科 ……204
コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 ……207
コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科 ……209
学科別・免許教科別科目一覧【2010～2015年度学部1年次入学者適用】
免許法施行規則第６６条の６に定める科目－履修上の注意とカリキュラム－ ……211
教科に関する科目－履修上の注意とカリキュラム－ ……214
「教科に関する科目」よくある質問 ……216
文学部キリスト教学科 ……218
文学部史学科 ……222
文学部教育学科 ……225
文学部文学科英米文学専修 ……227
文学部文学科ドイツ文学専修 ……228
文学部文学科フランス文学専修 ……229
文学部文学科日本文学専修 ……230

文学部文学科文芸・思想専修 ……230
経済学部経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科 ……231
理学部数学科 ……236
理学部物理学科 ……238
理学部化学科 ……239
理学部生命理学科 ……240
社会学部社会学科 ……241
社会学部現代文化学科 ……245
社会学部メディア社会学科 ……249
法学部法学科／国際ビジネス法学科／政治学科 ……255
経営学部経営学科 ……259
経営学部国際経営学科 ……263
異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科 ……266
観光学部観光学科／交流文化学科 ……268
コミュニティ福祉学部福祉学科 ……271
コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 ……274
コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科 ……278
現代心理学部心理学科 ……279
専修免許状について－履修上の注意とカリキュラム－（大学院学生対象）……280

学芸員課程

1　学芸員課程登録に際しての注意 ……285
2　学芸員課程修了に必要な単位数 ……285
3　履修上の注意 ……285
4　2020年度新規登録予定の大学院学生および他大学から本学学部に
　３年次編入学した学生へ ……287
5　「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」……288
6　修了予定者調査書の提出 ……289
7　修了者の発表・修了証書の授与 ……289
学芸員課程科目表 ……290

司書課程

司書課程［図書館司書コース］
1　司書課程図書館司書コース登録に際しての注意 ……293
2　司書課程図書館司書コース修了に必要な単位数 ……293
3　履修上の注意 ……294
4　図書館実習 ……295
5　修了予定者アンケート ……297
6　修了者の発表・修了証書の授与 ……297
司書課程図書館司書コース科目表 ……298
司書課程［学校図書館司書教諭コース］
1　司書課程学校図書館司書教諭コース登録に際しての注意 ……299
2　学校図書館司書教諭資格取得に必要な単位数 ……299
3　履修上の注意 ……299
4　図書館実習（司書教諭）……300
5　学校図書館司書教諭資格申請について ……301
6　修了予定者アンケート ……302
司書課程学校図書館司書教諭コース科目表 ……303

社会教育主事課程

社会教育主事課程【2020年度以降入学者適用】
1　社会教育主事課程修了に必要な単位数 ……308
2　履修上の注意 ……308
3　「社会教育士（養成課程）」称号の付与 ……308

４　修了予定者調査書の提出 ……308
５　修了者の発表・修了証書の授与 ……309
社会教育主事課程科目表（池袋キャンパス学生対象）……310
社会教育主事課程科目表（新座キャンパス学生対象）……311
社会教育主事課程【2019年度以前入学者適用】
１　社会教育主事課程修了に必要な単位数 ……314
２－1　履修上の注意【池袋キャンパス所属学生】……314
２－2　履修上の注意【新座キャンパス所属学生】……315
３「社会教育士（養成課程）」称号の付与 ……316
４　修了予定者調査書の提出 ……316
５　修了者の発表・修了証書の授与 ……316
社会教育主事課程科目表（池袋キャンパス学生対象）……317
社会教育主事課程科目表（新座キャンパス学生対象）……318

個人情報保護・各種案内・案内図・構座案内

プライバシーポリシー　立教大学における個人情報の取扱について ……323
大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置／地震発生時の心得／
台風の接近が予想される場合の措置／
授業中にＪアラートが作動した場合（弾道ミサイル発射時）の対応 ……324
緊急連絡システムについて ……325
池袋キャンパス構内案内図／教室案内図 ……326
新座キャンパス交通案内図／構内案内図／教室案内図 ……331
学校・社会教育講座案内 ……336

4課程
すべての
受講生に
かかわる事項

Ⅰ　登録について
Ⅱ　カリキュラムについて
Ⅲ　授業について
Ⅳ　履修についての注意事項
Ⅴ　履修登録
Ⅵ　試験・成績
Ⅶ　保険の加入
Ⅷ　修了に関すること
Ⅸ　講座関連の各種証明書

Ⅰ 登録について

学校・社会教育講座は登録制をとっているので，各課程の資格取得（免許取得・修了証書取得）を希望し，本講座の開講科目を履修するためには，必ず決められた登録手続き（Web登録・登録料納入）を行わなければならない。資格取得に必要な科目を履修し，卒業に必要な単位数以上の単位を修得しなければならないので，受講を希望する者は，各自の卒業（修了）までの学習計画，履修計画などを考慮して登録手続きを進めること。
また資格取得のための科目履修にあたっては卒業に必要な科目と資格取得に必要な科目の開講時限が重なってしまうことなどもあり，必ずしも４年間での資格取得が保証されているものではない。

1 登録に際しての注意

⑴ 登録は，課程毎に必要である。

⑵ 同一の学籍（学生番号）に対して一度の登録で良い。また，学年は問わない。
※例：学部１年次に教職課程に登録すれば，同２年次の登録は不要である。

⑶ 登録できるのは年度１回（４月上旬の指定期間）のみである。

⑷ 在学中は，次の４課程（①～④）の中から２課程まで選択し登録できる。

①教職課程／②学芸員課程／③司書課程[図書館司書コース]／④社会教育主事課程

なお，以下の学生に限り，司書課程［学校図書館司書教諭コース］を上記２課程に加えて登録することができる。

・教職課程登録者
・文学部教育学科初等教育専攻課程在籍（予定）学生
・教育職員免許状既取得者

⑸ 本学大学院に入学し，大学院で資格取得を希望する場合は，以下に注意すること。

① 大学院入学前に，既に教育職員１種免許状を取得（＊）しており，大学院で同じ学校種・教科の専修免許状を取得する場合はWeb登録不要，登録料納入不要となる。ただし，免許状取得にあたり，一括申請を希望する場合には，修了予定年度の４月に必ず一括申請手続きを行うこと。（☞「教職課程」2019年度以降入学者適用 9 教育職員免許状申請手続きについて ／2010～2018年度入学者適用 8 教育職員免許状申請手続きについて「４．１種免許状をすでに持っている大学院学生の場合」参照）
上記①に該当しない場合は，すべての講座登録手続き（Web登録・登録料納入）を行うこと。

② 本講座の課程を未修了のまま大学院博士課程前期課程（または修士課程）を修了し，空白期間なく後期課程（または博士課程）に進学して，未修了であった本講座を受講する場合はWeb登録が必要となるが，登録料の納入は免除される。

⑹ 登録した課程の変更・取り消しは認めない。また納入された登録料は返還しない。

⑺ 身体の機能にしょうがいのある者は，登録する前に，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出て相談すること。

2　新規登録手続き

Webサイトからの登録（入力）と講座登録料の納入の両方の手続きを行い，新規登録は完了する（新規登録ガイダンスおよび新規登録手続きの日程等詳細は，R Guideで確認すること）。登録することにより，学校・社会教育講座が開講する科目の履修，免許・資格に必要な学部が開講する科目の履修が可能となる（学部設置科目の詳細は，各学部履修要項およびR Guideで確認すること）。

1．新規登録ガイダンス

学校・社会教育講座各課程の新規登録を希望する学生を対象に，「**学校・社会教育講座新規登録ガイダンス**」を行うので，登録希望者は必ず出席すること。新入生は，「新入生オリエンテーションWEBサイト」で「**学校・社会教育講座履修ガイドブック**」を予め閲覧しておくこと。なお，新規登録ガイダンス会場で「同ガイドブック」冊子を配布する。

※教職課程履修を希望する大学院学生は，「大学院学生対象教職課程ガイダンス」に出席すること。教職課程履修のみを希望する大学院学生は，この大学院学生向けガイダンスに参加すれば，上記の新規登録ガイダンスに参加する必要はない。（ 4 大学院学生への注意 参照）

2．新規登録手続き

手続き①Webサイトからの登録

履修登録システムのトップページ（https://r.rikkyo.ac.jp/）から，講座の新規登録手続きをすること。

手続き②講座登録料の納入

⑴　希望する課程の講座登録料（次ページ参照）相当分の「証紙」を購入すること。

証紙券売機設置場所　【池袋キャンパス】 **教務事務センター（タッカーホール１階）**
【新座キャンパス】 **教務事務センター（７号館１階）**

⑵　「学校・社会教育講座新規登録ガイダンス」の会場で配付する「学校・社会教育講座登録料証紙貼付台紙」に，上記⑴で購入した証紙を貼付し，所定の期間に提出すること。

なお，同貼付台紙は，各キャンパスの履修要項配付会場ならびに教務事務センターでも配付する。履修登録システムからもダウンロードが可能である。

3．注意事項

⑴　学校・社会教育講座各課程の登録手続は，年１回（４月）のみである。
⑵　指定された期間以外のWebサイトからの登録，講座登録料の納入はできない。
⑶　Webサイトからの登録，講座登録料納入の両方の手続きが完了しなければ登録とならない。
⑷　Webサイトからの講座登録を完了していない者は，本講座が開講する科目の科目コード登録はできない。
⑸　講座登録料の納入期間と授業開始が重なるので，Webサイトからの登録手続きを完了している者は，登録料納入前であっても履修予定科目の授業に出席すること。
⑹　大学に出校し手続きする「納入」にあたっては，特に次の点に注意すること。
①　交通機関等の遅延も予測されるので，上記期間（時間）に間に合うよう注意すること。
②　本人が直接手続きできない場合は，信頼できる代理人などに依頼するなど，各自の責任において行うこと。代理人による不備は，依頼した本人の責任となる。
③　不測の事態により納入期間内に手続きできない場合は，必ず納入期限（納入期間最終日の締切時間）までに池袋キャンパス教務事務センター（TEL：03-3985-2220）に問い合わせ，指示を受けること。不測の事態とは，交通機関の大幅な遅延や事故遭遇など，本人の責務によらない事態をいう。
④　学校感染症のために出校停止となった学生については，次のとおりとする。学校感染症については，「Ⅲ 授業について 7 学校感染症に罹患した場合の措置について 」を参照のこと。

1）納入期間において登録しようとする学部学生・大学院学生が出校停止中の場合は，代理人を立て，納入期間内に納入すること。
2）代理人が立てられない場合は，納入期限（納入期間最終日の締切時間）までに池袋キャンパス教務事務センター（TEL：03-3985-2220）に問い合わせ，指示を受けること。
3）以下のすべてに該当する場合に限り，納入期限後の納入手続きを認めることがある。
・上記2）を行っていること。
・罹患期間と登校可能日が記載された，医療機関発行の「診断書」または「治癒証明書」の提出によって，納入期限時に学校感染症による出校停止であったことが証明できること。
・出校可能となった日の翌日までに納入手続きが完了できること。

4．講座登録料

学校・社会教育講座の科目を受講するには，下記のとおり各課程に定められた講座登録料を納入しなければならない。なお，講座登録料は一度納入すれば，登録（納入）時の学籍が継続している限り有効である。納入にあたっては，1 登録に際しての注意 をよく確認すること。

課程	講座登録料
教職課程	35,000円
学芸員課程	35,000円
司書課程（図書館司書コース）	35,000円
司書課程（学校図書館司書教諭コース）	15,000円
社会教育主事課程	30,000円

⑴　社会教育主事課程の講座登録料は，次の学部・学科の学生に限り，20,000円とする。
文学部教育学科，観光学部，コミュニティ福祉学部，現代心理学部
⑵　次の者は，教職課程の講座登録料は不要とする。
・文学部教育学科に所属し，初等教育専攻課程在籍（予定）の者で，小学校教員免許状取得（予定）の者。
・大学院博士課程後期課程（博士課程）の大学院学生で，大学院博士課程前期課程（修士課程）在学時に講座登録し，前期課程修了後に空白の期間なくして後期課程に進学した者。

3　3年次編入学生への注意

3年次編入学後，新規に学校・社会教育講座の資格取得を希望する場合，卒業要件単位数以上に本講座で資格取得に必要な単位を修得し，実習等を行わなければならず，授業時限の重複などもあり，2年間で資格取得の要件を満たすことは容易ではない。各自，学習計画などを熟慮し，慎重に登録すること。
また，学芸員課程に新規登録をする場合は，本要項の287ページも併せて確認すること。

1．ガイダンスへの参加

⑴　「学校・社会教育講座新規登録ガイダンス」に必ず出席すること。
⑵　2021年度に教育実習を希望する者は，「2021年度教育実習ガイダンス（補充）」（「教職課程」2010～2018年度入学者適用 7 教育実習参加準備について 参照）に必ず出席すること（2020年度に教育実習を行うことはできない）。
⑶　2021年度に介護等体験を希望する者は，「介護等体験ガイダンス（登録）」（「教職課程」2010～2018年度入学者適用 5 介護等体験 参照）に必ず出席すること（2020年度に介護等体験を行うことはできない）。

2．科目履修について（教職課程）

教職課程では，本学入学前の在籍大学等の証明をもとに，本学で履修すべき科目が決定するので，以下に示す指定された書類を提出すること。提出日程等は，R Guideで確認すること。

【提出書類】
※「学力に関する証明書」は，取得を希望する免許教科の証明書であること。
① 既に教育職員免許状を取得している場合
教育職員免許状のコピー（表裏両面） および
学力に関する証明書（不足単位の確認をするための書類［平成28年改正法］）
② 教職課程の認定を受けている大学・短期大学に在籍していた場合（本人の教職課程の履修有無を問わない）
学力に関する証明書（不足単位の確認をするための書類［平成28年改正法］） または
基礎資格および単位修得証明書

【注意】 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（日本国憲法，体育，情報機器の操作，外国語コミュニケーション）の証明も受けられれば，必ず記載してもらうこと。

3．単位認定について（学芸員課程・司書課程・社会教育主事課程）

左記の３課程では，本学での講座登録初年度に限り，既に他大学等で修得した科目の単位を課程修了に必要な科目の単位として認定することがある。認定を希望する者は，以下の「入学前在籍の各種証明書等の提出」に従い，**成績証明書** および **シラバス**・**講義内容** のコピーを提出すること。提出日程等は，R Guideで確認すること。

ただし，次の科目は「認定」の対象とはならない。

学芸員課程：「博物館実習（館園実習）」，「見学・学内実習」
司書課程：必修科目
社会教育主事課程：必修科目（2020年度以降入学者）
必修科目，選択必修科目A（2019年度以前入学者）

4　大学院学生への注意

大学院入学後，新規に学校・社会教育講座の資格取得を希望する場合，研究科修了に必要な単位修得や研究活動に加え，本講座で資格取得に必要な単位を修得し，実習等を行わなければならず，授業時限の重複や研究時間との兼ね合いで，２年間で資格取得の要件を満たすことは容易ではない。各自，学習・研究計画などを熟慮し，慎重に登録すること。
また，教職課程・学芸員課程に新規登録を希望する場合は，それぞれ本要項の50，54ページ（教職課程），287ページ（学芸員課程）も併せて確認すること。

1．ガイダンスへの参加

⑴ 教職課程を除く３課程の登録を希望する者は，「**学校・社会教育講座新規登録ガイダンス**」に必ず出席すること。
⑵ 教職課程を希望する者は，「**大学院学生対象教職課程ガイダンス**」に必ず出席すること。

2．科目履修について（教職課程）

教職課程では，本学入学前の在籍大学等の証明をもとに，本学で履修すべき科目が決定するので，以下に示す指定された書類を提出すること。提出日程等は，R Guideで確認すること。

【提出書類】
※「学力に関する証明書」は，取得を希望する免許教科の証明書であること。
教職課程の認定を受けている大学に在籍していた場合（本人の教職課程の履修有無を問わない）
学力に関する証明書（不足単位の確認をするための書類［平成28年改正法］） または
基礎資格および単位修得証明書

【注意】 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（日本国憲法，体育，情報機器の操作，外国語コミュニケーション）の証明も受けられれば，必ず記載してもらうこと。

3．単位認定について（学芸員課程・司書課程・社会教育主事課程）

左記の３課程では，本学での講座登録初年度に限り，既に他大学等で修得した科目の単位を課程修了に必要な科目の単位として認定することがある。認定を希望する者は，以下の「入学前在籍の各種証明書等の提出」に従い **成績証明書** および **シラバス** ・ **講義内容** のコピーを提出すること。提出日程等は，R Guideで確認すること。

ただし，次の科目は「認定」の対象とはならない。

学芸員課程：「博物館実習（館園実習）」，「見学・学内実習」

司書課程：必修科目

社会教育主事課程：必修科目（2020年度以降入学者）

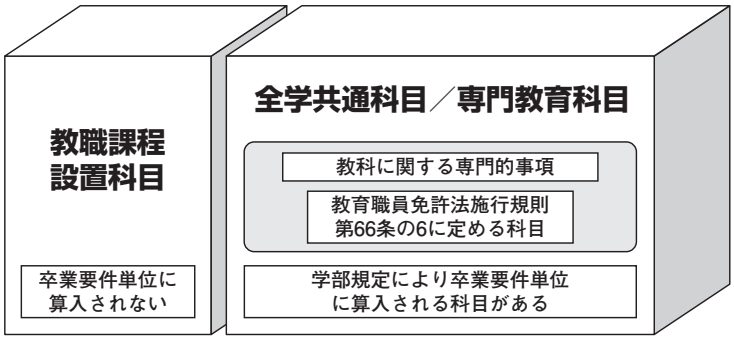
必修科目，選択必修科目A（2019年度以前入学者）

Ⅱ カリキュラムについて

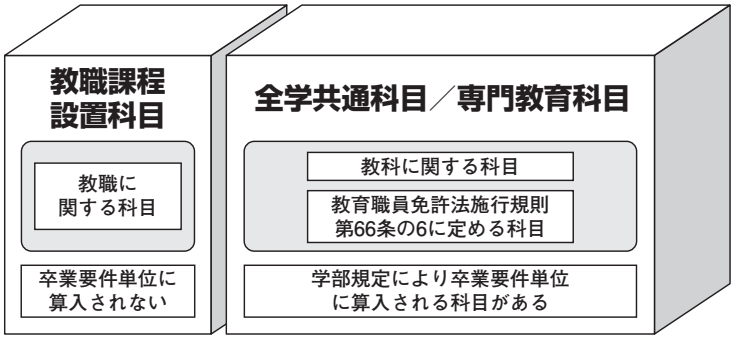
学校・社会教育講座の各課程を修了するには，各学部（研究科）が定める教育課程（カリキュラム）に即した単位修得とは別に，講座各課程が定めるカリキュラムに即した単位を修得しなければならない。

1 教職課程

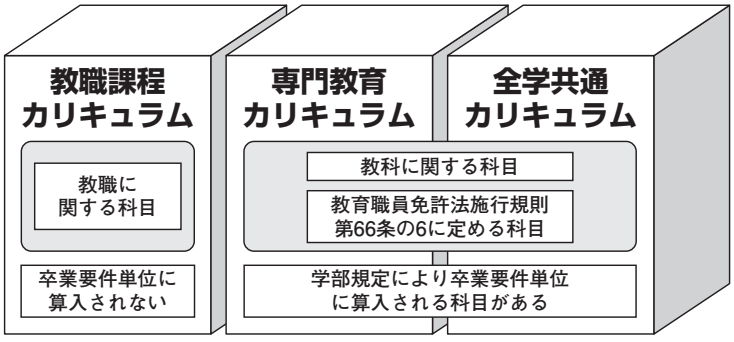
【2019年度以降入学者】



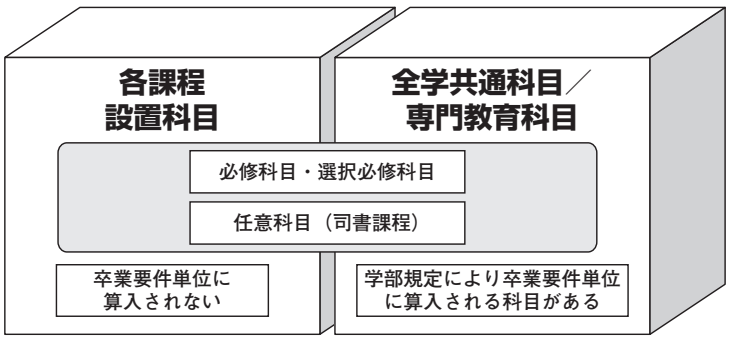
【2016～2018年度入学者】



【2010～2015年度入学者】

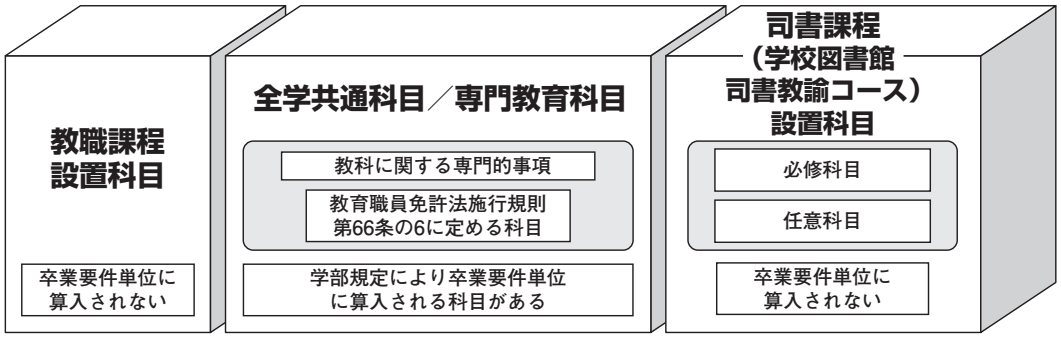


2 学芸員課程・司書課程（図書館司書コース）・社会教育主事課程

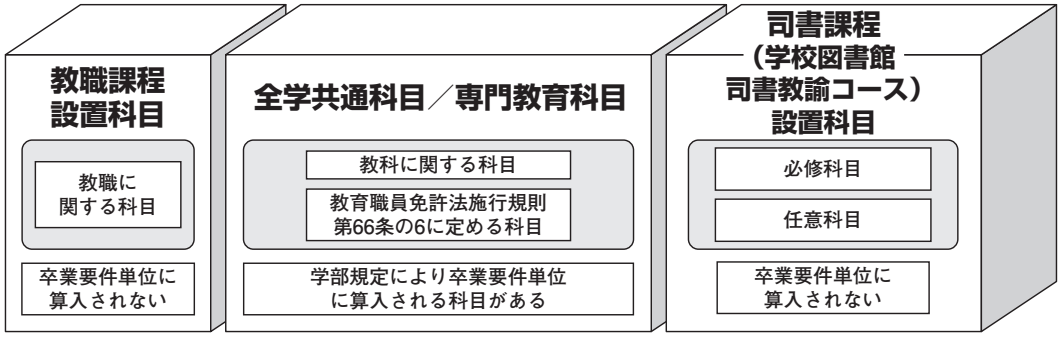


3　司書課程（学校図書館司書教諭コース）

【2019年度以降入学者】



【2010～2018年度入学者】



4　科目ナンバリングについて

立教大学では，2016年度より全学部・研究科で科目ナンバリング制度を導入している。科目ナンバリングとは授業科目に適切な番号を付与し分類することで，学修の段階や順序等を表し，カリキュラムの体系性を明示する仕組みである。科目ナンバリングを用いて検索をすることで，学びたい分野を探し体系的に履修するための一つのツールとすることができる。また，成績証明書（2016年度以降入学者のみ対象）には修得科目ごとに科目ナンバリングが記載され，体系的に学習した結果を対外的に証明することが可能である。

1. 科目ナンバリングの構成について

本学の科目ナンバリングはアルファベット3文字と数字4文字の構成となっている。

※アルファベット3文字⇒科目の設置学部学科（専修）・研究科・課程（コース）を示す。
　数字4文字⇒レベル，学問分野・分類等を示す。

アルファベット部分			1000番台	100番台	10番台	1番台
A	B	C	1	2	3	0
↓			↓	↓	↓	↓
学科・専攻・課程等			レベル	分野	学部･課程自由領域	言語

例として，教職課程設置科目（教職に関する科目）「教育原論」であれば「CET1100」のように示される。

学部等の科目ナンバリングについては，当該学部等の履修要項を参照すること。

2. 講座科目のナンバリング

①　科目の設置課程を示すアルファベット３文字は以下のとおりとなる。

課程（コース）	コード
教職	CET
学芸員	CEM
司書（図書館司書コース）	CEL
司書（学校図書館司書教諭コース）	CES
社会教育主事	CED

②　レベル，学問分野・分類等を示す数字４文字は以下のとおりとなる。

◆1000番台（レベルコード）

番号	講座科目
0000	リメディアル科目
1000	入門科目
2000	基礎科目
3000	発展科目
4000	最終学年演習・卒業論文・卒業研究

◆100番台（科目の分野を示す）
　教職課程（CETで始まるナンバリング）

番号	
000	教職の意義等に関する科目
100	教育の基礎理論に関する科目
200	教育課程及び指導法に関する科目
300	生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目
400	教育実習
500	教職実践演習

学芸員課程（CEMで始まるナンバリング）

番号	
000	生涯学習概論
100	博物館概論
200	博物館経営論
300	博物館資料論
400	博物館資料保存論
500	博物館展示論
600	博物館教育論
700	博物館情報・メディア論
800	博物館実習
900	選択必修科目

司書課程［図書館司書コース］
（CELで始まるナンバリング）

番号	
000	基礎科目群
100	図書館サービスに関する科目群
200	図書館情報資源に関する科目群
300	選択科目群
400	図書館実習

司書課程［学校図書館司書教諭コース］
（CESで始まるナンバリング）

番号	
000	基礎科目
100	図書館サービスに関する科目
400	図書館実習

社会教育主事課程［2020年度以降入学者適用］
（CEDで始まるナンバリング）

番号	
000	生涯学習概論
100	生涯学習支援論
200	社会教育経営論
300	社会教育実践演習
400	社会教育特講

社会教育主事課程［2019年度以前入学者適用］
（CEDで始まるナンバリング）

番号	
000	生涯学習概論
100	社会教育計画
200	社会教育演習/実習
300	社会教育特講Ⅰ
400	社会教育特講Ⅱ
500	社会教育特講Ⅲ

◆10番台（科目形態）

番号	
00	講義科目
10	演習科目
20	実習科目

◆1番台（使用言語を示す）

番号	言語
0	日本語で行う授業
1	英語で行う授業
2	英語以外の外国語で行う授業
3	その他(バイリンガル授業など)

Ⅲ 授業について

1 学生証

1. 学生証

学生証は，立教大学の学生であることを証明するものである。学生証は，プラスチックカードと通学定期乗車券発行控がセットになっている。請求があった場合にはいつでも提示できるよう，常に携帯すること。

2. 学生番号について

学生番号は固有の番号で，在籍中および卒業後も変わることはない。各種手続きの際に必要となるので正確に覚えること。

3. 有効期間

学生証の有効期限は在籍期間中である。ただし次の場合は学生証（プラスチックカードと通学定期乗車券発行控）を返却しなければならない。

⑴ 卒業・修了・退学・除籍などで学籍を失ったとき。

⑵ 紛失等により再交付を受けたのち，前の学生証がみつかったとき（前の学生証を返却すること）。

4. 貸与・譲渡の禁止

学生証は学生本人を証明する大変重要なものである。学生証を他人に貸与，または譲渡することは固く禁止されており，違反した学生は本学では懲戒の対象となる。なお，複写物の貸与・譲渡についても同様の扱いとなる。

5. 紛失・破損したとき

学生証を紛失・破損した場合や劣化により顔写真が不鮮明な場合は，直ちに教務窓口（巻頭参照）へ届け出ること。

再交付（再交付手数料2,000円※）は２日後（窓口閉室日を除く）になる。

※劣化により顔写真が不鮮明な場合は，現在の学生証と交換（再交付手数料は不要）。

2 学期・授業

学期

本学の授業は１年を２学期に分けて行われ，それぞれを春学期，秋学期と呼ぶ。

授業

授業には以下の種類がある。

通年科目	
通年開講科目	春学期・秋学期通して行われるもの
通年他科目	学部・学科で期間を定めて行われるもの
春学期科目	
春学期開講科目	春学期で完結するもの
春学期１開講科目	春学期前半で完結するもの
春学期２開講科目	春学期後半で完結するもの
春学期他科目	春学期に学部・学科で期間を定めて行われるもの
春学期期間外科目	春学期期間外に学部・学科で期間を定めて行われるもの（履修登録時期が通常より遅れる科目）
秋学期科目	
秋学期開講科目	秋学期で完結するもの
秋学期１開講科目	秋学期前半で完結するもの
秋学期２開講科目	秋学期後半で完結するもの
秋学期他科目	秋学期に学部・学科で期間を定めて行われるもの
秋学期期間外科目	秋学期期間外に学部・学科で期間を定めて行われるもの（履修登録時期が通常より遅れる科目）

3　授業時間

本学における授業時間は次のとおりである。

〈時限・授業時間〉

時限	1	2	3	4	5	6
授業時間	8：50 ～ 10：30	10：45 ～ 12：25	13：25 ～ 15：05	15：20 ～ 17：00	17：10 ～ 18：50	18：55 ～ 20：35

一部の研究科で設定しているG5，G6時限の授業時間は次のとおりである。

G5時限	18：30～20：10	G6時限	20：15～21：55

4　休　講

大学または各授業科目の担当者にやむを得ない事情が発生した場合には，授業を休講することがある。

休講掲示

休講は，大学としての決定または科目担当者からの届出があり次第，掲示板（インフォメーションボード）に表示する。

〈掲示板（インフォメーションボード）設置場所〉

池袋キャンパス：5号館1階，8号館1階，14号館１階
新座キャンパス：1号館1階，4号館2階

休講情報

休講情報は，SPIRIT Mobileからも確認することが可能である。

＊休講の掲示がないにもかかわらず，始業時刻後30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は，教務事務センター（池袋：タッカーホール1階／新座：7号館1階）に連絡し，その指示に従うこと。

＊大規模地震の警戒宣言が発令された場合，および台風の接近が予想される場合等，緊急時の休講の措置については，巻頭および巻末の各種案内を参照すること。

5　補　講

休講等により講義の進行が予定より遅れた際に，臨時の授業を行うことがあり，これを補講という。

補講は，①予め決められた補講日（特定の土曜日3時限以降の時間）に行う場合と，②それ以外の期日に科目担当者が設定して行う場合がある。

①の日程については，R Guideの「年間スケジュール」にて詳細を確認すること。

②については教員の指示に従うこと。

補講が行われる場合は，補講実施日の約1週間前にSPIRIT 教務部ページおよび以下の場所で発表する。

池袋キャンパス開講科目：8号館インフォメーションボード下（池袋キャンパス）

新座キャンパス開講科目：保健室横教務掲示板（新座キャンパス）

※発表後に変更・追加がある場合，随時更新されるので注意すること。

6　授業の欠席について

本学では，学校感染症により出校停止となった場合，裁判員選任手続期日または裁判員に選任された公判のため裁判所へ出頭する場合以外の事由による欠席は認めていない（いわゆる公欠制度は設けていない）。

欠席願

各課程の実習（教職課程介護等体験を含む）参加者で，実習（体験）期間中に授業を欠席する場合には，所定の「届出用紙」（学校・社会教育講座事務室で配付）を科目担当教員に遅くとも１週間前までに提出し，担当教員の了解を得ること（欠席の扱いについては科目担当教員の判断によって異なる）。

7　学校感染症に罹患した場合の措置について

学校感染症第１種・２種に罹患した場合は，出校を停止する。速やかに各教務窓口に連絡し，指示を受けること。

※対象となる疾患は変更になる場合があるため，最新の情報はSPIRIT 教務部ページで必ず確認すること。

1．対象となる学校感染症第1種・2種

	疾患名（2020年2月時点）
第1種	エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，痘そう，南米出血熱，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱，急性灰白髄炎（ポリオ），ジフテリア，重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス），中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス），特定鳥インフルエンザ
第2種	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く），百日咳，麻しん（はしか），流行性耳下腺炎（おたふく），風しん，水痘（水ぼうそう），咽頭結膜熱（プール熱），結核，髄膜炎菌性髄膜炎

2．授業欠席の扱い

学校保健安全法によって定められた学校感染症のうち第１種および２種に該当するものに罹患した場合の授業欠席については，以下のとおりとする。

⑴　学校感染症第１種・２種に罹患したことにより，授業を欠席した学生が，所定の申請手続きを行った場合は，欠席扱いとはならない。

⑵　申請手続きは以下のとおりである。

①　登校可能となった日を含む７日以内（締切日が窓口業務を行わない日の場合はその翌日まで）に，「学校感染症第１種・２種に罹患した学生の欠席について」（各教務窓口で交付）に必要事項を記入し，医療機関の発行する罹患期間と登校可能日が記載された「診断書」[*1]，または医療機関が記載した本学所定の書式である「治癒証明書」[*2]とともに，各教務窓口に提出する。

申請手続科目を確認するため，履修登録状況画面のコピーも提出すること。

＊1 罹患開始時と治癒時の診療医療機関が異なった場合は，治癒時の医療機関において「罹患期間についての証明」が受けられない場合がある。その場合は，罹患開始時の医療機関が発行する『罹患日記載がある「診断書」』と，治癒時の医療機関が発行する『治癒日と登校可能日の記載がある「診断書」』の２種類をもって「罹患期間事項についての証明」とすることができる。

＊2「治癒証明書」の書式はSPIRIT 教務部ページからダウンロードできる。

②　申請者は，各教務窓口にて受付印を押印された申請書および診断書もしくは治癒証明書（コピー）を受取り，各授業時間に担当教員に提出する。

3．試験欠席の扱い

定期試験に関する事項は「Ⅵ　試験・成績」を確認すること。

8　裁判員制度に伴う場合の措置について

1．授業欠席の扱い

裁判員選任手続期日または裁判員に選任された公判のため裁判所へ出頭し，授業を欠席した学生の扱いについては，以下のとおりとする。

⑴　裁判員選任手続期日または裁判員に選任された公判のため裁判所へ出頭し，授業を欠席した学生が所定の申請手続きを行った場合は，欠席扱いとはならない。

⑵　申請手続きは以下のとおりである。

①　裁判員に選任された場合

公判終了日の翌日から７日以内（締切日が窓口業務を行わない日の場合はその翌日まで）に，裁判員の職務従事期間についての「証明書*」を持参し，「裁判員制度による学生の欠席について」（各教務窓口で交付）に必要事項を記入し，履修登録状況画面のコピーとともに各教務窓口に提出する。

＊「証明書」は出頭先の裁判所に申し込み，発行を受けること。

② 裁判員に選任されなかった場合

選任手続期日の翌日から７日以内（締切日が窓口業務を行わない日の場合はその翌日まで）に，裁判所出頭日の証明*を受けた「選任手続期日のお知らせ（呼出状）」を持参し，「裁判員制度による学生の欠席について」（各教務窓口で交付）に必要事項を記入し，履修登録状況画面のコピーとともに各教務窓口に提出する。

＊裁判所出頭日の証明は出頭先の裁判所で受けることができる。

③ 申請者は，各教務窓口にて受付印を押印された申請書類を受取り，各授業時間に担当教員に提出する。

2. 試験欠席の扱い

定期試験に関する事項は「Ⅵ　試験・成績」を確認すること。

Ⅳ 履修についての注意事項

1. 全体に関する注意事項

⑴ 本講座の資格取得のためには，学士の学位（教育職員免許状専修免許は修士）が必要となる。
⑵ まず卒業のための履修計画を立てたうえで，本講座の履修計画を立てること。また，定期試験期間の試験は，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，専門教育科目，学校・社会教育講座科目ともに同一期間内に行われるなど，授業出席，レポート提出，定期試験の予定が詰まってくることなどを考えて，各自で無理のない履修計画を立てること。
⑶ 登録した課程以外の他課程開講科目を履修することはできない。
⑷ 履修登録していない科目は，受講・受験・単位修得できない。
⑸ 講座の開講科目においては，単位修得済の科目を再度履修（重複履修）することはできない。
⑹ 同一時限に複数の科目を履修することはできない。
⑺ 池袋キャンパス開講科目と新座キャンパス開講科目は，連続した２時限を履修することはできない。ただし昼休み（２時限と３時限の間）を挟む場合を除く。
⑻ 講座開講科目は，各年度の履修登録上限単位数に含まれない。
⑼ 課程を修了するために必要な学部開講科目を履修する場合は，各学部の履修要項を確認すること。
⑽ 身体の機能にしょうがいのある者は，登録する前に，所属キャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出て相談すること。

2. 各自の時間割作成上の注意

⑴ 講座開講科目は，卒業に必要な単位数以上に修得しなければならないため，時間割はタイトなスケジュールになる。特に１年次生は全学共通科目や学部専門科目に自動登録科目が組み込まれるので，その時限以外を利用し履修していくこととなる。
⑵ 資格取得に必要な科目には抽選登録科目が含まれる場合もあり，学年が進んでから履修できないという状況になる可能性がある。また課程のカリキュラムによっては，特定の科目を修得しなければ実習等に参加できないなどの「先修規定」がある。これらのことを十分に考え，履修できる科目は早めに修得することが望ましい。

3. 本学の留学制度（協定校派遣留学・認定校留学）を利用する際の注意事項

派遣留学・認定校留学※が決定した者は，ただちに所属キャンパスの教務事務センターおよび学校・社会教育講座事務室で，出国年度・帰国年度の履修について説明を受けること。

※「派遣留学」とは，１．大学間協定に基づく「派遣留学制度」，２．大学間協定に基づく「学費非免除留学プログラム」，３．学部間協定等に基づく海外研修・留学プログラムによる留学をさす。また，「認定校留学」とは４．認定校留学制度による留学をさす。なお，１～３の制度により留学する学生を「派遣留学生」，４の制度による留学生を「認定校留学生」という。

派遣留学生および認定校留学生は本学の履修科目において，下記の特別措置の対象となる。派遣留学生および認定校留学生以外は，下記の特別措置の対象とはならない。

⑴ 出国年度の履修と単位修得
留学開始が本学の定める春学期（または秋学期）の試験期間終了後の学生は，「在学留学」・「休学留学」のどちらを選択しても，出国年度の春学期（または秋学期）の科目を履修し，単位を修得することができる。
⑵ 通年科目の接続
派遣留学生および認定校留学生については，本学における通年科目の履修に関し学年暦の国際的差異による支障がある場合，登録課程主任が認めた科目については，同一の通年科目の出国年度の春学期における履修と帰国年度の秋学期における履修を接続し，通年で履修したものとすることができる。ただし，留学する学年や時期により取扱いが異なるため，派遣留学・認定校留学が決定し，上記

の通年科目の接続を希望する学生は，所属キャンパスの教務事務センターおよび学校・社会教育講座事務室で，必要となる各種手続きについて早期に確認すること。

注意点

①「通年科目の接続」は，原則として翌年度の履修に限るものとし，翌々年度に亘ることはできない。

②個人都合による休学を挟むと「通年科目の接続」は適用されない。

⑶　帰国年度の履修登録

５月末日（秋学期は10月末日）まで（末日が窓口業務を行わない日の場合はその前日まで）に帰国届の提出および履修登録をした場合，帰国年度の春学期科目および通年科目（秋学期は秋学期科目）を履修することができる。ただし，講座開設の通年科目については，留学する学年や時期により取扱いが異なるため，上記⑵「通年科目の接続」と同様，所属キャンパスの教務事務センターおよび学校・社会教育講座事務室で，必要となる各種手続きについて早期に確認すること。

⑷　単位認定

派遣先大学で修得した単位は，各課程の修了に必要な単位として認定されない。

☞ その他，詳細については国際センターが発行する派遣留学生の募集要項を参照すること。

V 履修登録

1 履修登録とは

履修登録は，学生がその年度に自分が履修しようとする科目を届け出る手続きであり，学習計画の出発点となるものである。定期試験期間の試験は，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，学部専門教育科目，学校・社会教育講座科目いずれも同一期間内に，１時限目から５時限目まで行われる。そのことも考慮して，無理のない履修計画を立て，登録してほしい。

学生は自己の責任において履修する科目を決定し，所定の期間内に登録の手続きを完了しなければならない。履修登録をしていない科目は，授業に出席し，また試験を受けても，当該科目の単位を修得することはできない。

履修登録は，年２回，４月に春学期科目と通年科目，９月に秋学期科目を届け出る。登録のあとには，履修登録状況画面が更新されるので，必ず内容を確認すること。登録科目に修正の必要がなければ履修登録は完了する。

履修登録時期

■春学期科目，通年科目　⇒　４月
■秋学期科目　⇒　９月

※各登録日程や，登録システムの稼働時間は，R Guideで確認すること。

2　履修登録の流れ

※各登録日程や、システム稼働時間はR Guideで確認すること。

春学期／秋学期

Step.01 成績発表を確認

履修・成績参照システム（web）で，成績を確認する

［秋学期分の成績発表］ 3月

［春学期分の成績発表］ 9月上旬

Step.02 学習計画を立てる

履修ルールを確認 → 履修要項（本冊子）入学年度に配付

日程や登録方法を確認 → R Guide（web）

登録する科目の情報を得る → シラバス・時間割検索システム（web）3月中旬～公開

必要な情報を得る → 各種ガイダンス・学部からのお知らせ

学習計画を立て、履修する科目を決める

Step.03 履修登録する

履修登録システム（web）で，履修する科目を登録する

自動登録・「その他」登録

自動登録
　大学が登録するため，手続き不要

「その他」登録
　R Guideを確認すること

抽選登録

- 抽選１次　登録期間
- 抽選１次　履修者許可発表
- 抽選２次　登録期間
- 抽選２次　履修者許可発表

科目コード登録

- 科目コード登録期間

Step.04 登録内容を確認する

履修・成績参照システム（web）で，計画通りに登録されているかを確認する

●履修登録状況画面
●成績参照システムの更新
➡更新日に結果を確認する

計画通り登録されていなかった

Step.05 登録内容の修正

履修登録システム（web）で，修正登録期間に履修登録内容を修正する

※科目コード登録の科目のみ履修登録システムで修正可

Step.06 登録内容を確認する

履修・成績参照システム（web）で，計画通りに登録されているかを確認する

●履修登録状況画面
●成績参照システムの更新
➡更新日に結果を確認する

履修登録完了

計画通り登録されていた

履修登録完了

3　履修届出方法

学校・社会教育講座設置科目（科目コードがGで始まる科目）の履修登録方法は，科目の性格により，自動登録，「その他」登録，科目コード登録の方法がある。届出方法がそれぞれ異なるので，指示に従うこと。科目コード登録の届出は履修登録システム（https://r.rikkyo.ac.jp）により行うこと。このシステムは大学内のコンピューター教室の他，自宅等からもアクセス可能だが，ブラウザの種類，バージョン等により一部使用できない場合もある。

1．自動登録

⑴　対象科目

本要項各課程の科目表の科目コード欄およびR Guideの科目表の登録方法欄に「自動登録」と記載されている科目。

⑵　履修登録・注意事項

①　大学があらかじめ登録しているため，履修登録に関する手続きは一切不要である。
②　自動登録科目の取消は原則として認めない。
③　履修登録状況画面で各自確認すること。

2.「その他」登録

⑴　対象科目

本要項各課程の科目表の科目コード欄およびR Guideの科目表の登録方法欄に「その他登録」と記載されている科目。

⑵　履修登録・注意事項

①　履修を許可された場合は，大学が登録する。
②　履修を許可された科目は，原則として履修の取消はできない。
③　選考のための提出書類の届出方法，届出期間，選考の有無，結果の発表は科目により異なるので，履修要項の該当頁およびR Guideの「その他登録一覧」を参照すること。
④　秋学期科目の結果発表を必ず春学期中に確認すること。

3. 科目コード登録

⑴　対象科目

本要項各課程の科目表に科目コードが記載されている（R Guideの科目表の登録方法欄に「科目コード登録」と記載されている）科目。

⑵　履修登録・注意事項

①　病気等やむを得ない理由により，期日に手続きできない場合は，必ず期日前に所属キャンパスの教務窓口に連絡し，指示を受けること。また，疑問がある場合は，事前に所属キャンパスの教務窓口で相談してから手続きすること。
②　届出科目が確定したら，「登録内容送信」ボタンを必ずクリックし，届出内容およびエラー状況を確認すること。
③　科目コード登録期間内に，「エラー」の無い状態で完了すること。エラーが出た際は，【エラーメッセージと対処法】を参照すること。
④　科目コード登録期間中に，登録が正常に行われたことを確認するために，「履修登録」画面に再度ログインし，登録内容を確認すること。
⑤「履修登録」画面は，科目コード登録期間あるいは履修登録修正期間以外は使用できない。
⑥　履修登録修正期間後，「履修照会」画面に申請内容が反映されるので，申請内容を必ず確認すること。
⑦　科目コード登録で届け出る科目が１科目もない場合も，科目コード登録期間内にアクセスして，大学に届け出ている連絡先が正しいかを確認すること。

科目コード登録期間内は，何度でも科目コード登録科目の確認，修正ができる。

4　登録科目の確認について

履修登録の内容は，「履修登録状況画面」により確認できる。
詳細は各学部等の履修要項を参照のこと。
なお，学校・社会教育講座の各課程に新規登録（Webサイトからの登録）をしたにもかかわらず，講座登録料の納入手続きが完了していない場合は，各課程の登録および講座科目の履修登録が取り消されるため，履修登録修正期間に必ず「履修登録状況画面」を確認すること。

5　履修中止制度

1．履修中止制度とは

履修登録を行った科目について，大学の定める一定期間に本人からの申請により，科目の履修を中止することを認める制度である。
履修中止申請を行った科目については，当該学期の授業の出席，試験等の受験，単位の修得はできない。また，履修中止単位数分の新たな履修登録は認められない。

2．履修中止申請対象とならない科目（「特に定める科目」）

学校・社会教育講座では，次の科目がこれに該当する。
「中・高教育実習」「高校教育実習」「中・高教育実習事前指導」「高校教育実習事前指導」
「（各）教科教育法演習２」「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」
「特別活動の理論と方法（A）」「教職実践演習（中・高）」
「博物館実習（館園実習）」「見学・学内実習」「図書館実習」「図書館実習（司書教諭）」
「社会教育実践演習」「社会教育演習」

3．成績評価

評価対象とはならず，成績参照システムには「Q（履修中止）」と表示される。
また，成績証明書には，科目名，成績評価とも記載されない。

☞ 履修中止制度に関する申請期間や申請方法等の詳細は，所属学部の履修要項で確認すること。

Ⅵ 試験・成績

1 試験に関する規定

教職課程，学芸員課程，司書課程，社会教育主事課程の修了に必要な科目のうち，学校・社会教育講座（以下講座）設置科目（科目コードがGで始まる科目）の試験に関しては，R Guide掲載の「学校・社会教育講座試験規則」もあわせてよく読んでおくこと。学部・学科および全学共通科目の試験に関しては，その科目が設置されている学部等の履修要項・R Guideおよび掲示に従うこと。

1．試験の種類と実施時期

⑴ 定期試験

講義終了後に期間を定めて行う試験。

① 春学期末試験――――――春学期科目に対する試験
※春学期１開講科目は筆記試験を実施しない。

② 秋学期末・学年末試験――秋学期科目および通年科目に対する試験
※秋学期１開講科目は筆記試験を実施しない。

◎全学の定期試験期間は，以下のとおり定められている。

■ 専門教育科目，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，学校・社会教育講座科目とも，同一の定期試験期間で行う。

■ １日５時限の試験を実施し，各時限とも，全科目同一時刻に試験を開始する。（各時限の試験終了時刻は，科目の設置学部等により，また科目により異なる。）

試験は授業と同じ曜日・時限に実施されるとは限らない。

試験方法発表（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）をよく確認すること。

〈定期試験期間（全学）〉

春学期末	秋学期末・学年末
7月中旬～下旬	1月下旬～2月上旬

⑵ 最終授業時試験

春学期末，秋学期末・学年末の最終授業時に行う試験。

※春学期１開講科目・秋学期１開講科目は筆記試験を実施しない。

⑶ 追試験

入院その他やむを得ない事由によって，最終授業時試験および定期試験を受験できなかった場合に実施する試験（いずれも試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，筆記試験もしくは口頭試問として発表され，追試験対象科目に指定された場合に限る）。

☞ 6 追試験 の項を参照のこと。

⑷ 試験時間重複特別試験

試験時間に重複が生じた場合（池袋・新座キャンパス間の移動時間不足を含む）に実施する試験。

☞ 7 試験時間重複特別試験 の項を参照のこと。

2．受験資格・受験資格の喪失・出校停止

⑴ 受験資格

在学中の者であって，かつ当該科目について履修登録を完了している者のみ，受験資格（レポート提出資格等を含む）がある。

⑵ 受験資格の喪失

次のいずれかに該当する者は，受験資格（レポート提出資格等を含む）を喪失し，受験した場合はその答案，レポート等は無効となる。

① 学生証または臨時学生証のいずれも不携帯の者[*1]
② 当該試験期間中に休学中・停学中の者
③ 出席その他，当該科目の担当教員があらかじめ指示した受験資格要件を欠く者
④ 派遣留学・認定校留学中の者[*2]

＊1　試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，筆記試験もしくは口頭試問と発表された受験に関してのみ適用される。

＊2　当該学期が派遣留学または認定校留学期間となっている学生は，帰国時期にかかわらず，当該学期に開講されているすべての科目の受験資格がない。

⑶ 出校停止による受験不可

次に該当する者は，出校停止となるため，試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，筆記試験または口頭試問と発表された試験の受験はできない。追試験の受験を希望する場合は，追試験の受験申請をすること。出校停止期間中に受験した場合，その試験は無効となる。

試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，レポート試験と発表された試験については「5 レポート 2．提出方法⑴レポート試験」の項を参照すること。

インフルエンザ，麻しん等，学校保健安全法の定める学校感染症（学校において予防すべき感染症）第１種または第２種に罹患中の者（対象となる学校感染症の詳細は，SPIRIT教務部ページを参照すること）。

2　試験方法

1．試験方法

⑴ 試験は，筆記，レポートまたは口頭試問によって実施する。ただし科目によっては，試験によらず平常点によって成績を評価する場合もある。

⚠各科目の成績評価方法・基準は，シラバスの記載内容によるが，履修者数，教室などの条件により，やむを得ず変更する場合もある。シラバスの変更については，変更内容を講座掲示板およびホームページ上のシラバスにも示すので，確認すること。
試験（筆記・レポート・口頭試問）についての詳細は，「2．試験方法発表」における発表内容が最終的な試験方法の指示となるので，必ず確認すること。

⚠試験方法発表（「2．試験方法発表」の項を参照）において発表された，筆記試験を欠席した場合，または「レポート試験」と発表されているレポート（5 レポート の項を参照）を提出しなかった場合は，シラバスに記載された成績評価の割合にかかわらず，成績評価は「欠席」となる。

⑵ 次のテスト等は，平常点として扱う。

① 学期中随時実施される，筆記による小テスト・中間テスト，学期末の最終テスト（学期末に実施されるが，試験方法発表（「２．試験方法発表」の項を参照）においては筆記試験とは発表されないもの）
② 学期中随時課されるレポート，学期末に課されるレポート（学期末に課されるが，試験方法発表（「２．試験方法発表」の項を参照）においてはレポート試験とは発表されないもの）
③ 学期中に随時実施される口頭試問，学期末の口頭試問（学期末に実施されるが，試験方法発表（「２．試験方法発表」の項を参照）においては口頭試問とは発表されないもの）

2．試験方法発表

試験方法は，下記の日程で掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは１号館２階），ならびに，SPIRIT教務部ページに発表する。

〈試験方法発表〉

春学期１末	５月中旬
春学期末・春学期２末	７月上旬
秋学期１末	10月下旬
秋学期末・秋学期２末・学年末	12月中旬

3　筆記試験

筆記試験には，定期試験期間内に行われるもの，および最終授業時に行われるものがある。

1．試験の時間割・試験時間

⑴　学校・社会教育講座設置科目の定期試験時間は，原則60分とする。

〈講座設置科目　定期試験期間内筆記試験　試験時間〉

時限	1	2	3	4	5
試験時間	9：10 〜 10：10	11：00 〜 12：00	13：20 〜 14：20	15：10 〜 16：10	17：00 〜 18：00

＊専門教育科目，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，研究科科目の試験時間は，当該学部等の履修要項，試験方法発表掲示を確認すること。

〈講座設置科目　最終授業時筆記試験　試験時間〉

通常授業時間内（Ⅲ授業について 2 授業時間 の項を参照）で行われる。

＊専門教育科目，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，研究科科目の試験時間は，当該学部等の履修要項，試験方法発表掲示を確認すること。

☞交通機関の遅れなどにより，試験の開始・終了時刻が遅くなることがあるので，試験当日の行動予定を立てるに際して，そのことを考慮しておくこと。

⑵　試験方法等

①　試験方法・試験日程・時間割・試験場は，掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは１号館２階）ならびにSPIRIT教務部ページに発表する。（「2 試験方法 ２．試験方法発表」の項を参照）

②　試験日程には，予備日が設けられている。予備日とは，定期試験期間内筆記試験および最終授業時筆記試験において，災害等，突発的な事情により試験を実施することができなくなった場合の代替日を示す。予備日に代替された科目，予備日の試験日程については，随時試験方法発表掲示およびホームページ上で発表するので，必ず確認すること。

③　受験者は，必ず指定された教室で受験すること。

④　試験は，授業時の教室と異なる教室で行うことがあるので注意すること。

2．筆記試験受験時の学生証携帯義務

⑴　学生証（または臨時学生証）を携帯しない場合は，いかなる理由があっても受験できない。

⑵　受験中は，学生証（または臨時学生証）を机上の試験監督者の見やすい位置に明示しておかなければならない。

⑶　学生証を紛失・破損した場合や，劣化により顔写真が不鮮明となった場合は，直ちに所属キャンパスの教務窓口で再交付を受けること。

⑷　試験当日，学生証を忘れた者は当該科目の開講キャンパスの教務窓口で「臨時学生証」の発行を受けること。

臨時学生証　発行手数料500円・２日間有効・写真不要

＊試験当日に入金できない場合は，当該科目の開講キャンパスの教務窓口に問い合わせること。

3．試験場への入退室

⑴　定期試験期間内筆記試験の受験者は試験時間開始の10分前までに試験場に入室すること。
⑵　最終授業時筆記試験の受験者は授業開始時刻までに試験場に入室すること。
⑶　試験開始後15分までの遅刻については，試験監督者が許可した場合に受験を認める。
⑷　交通機関等の遅延による遅刻者であって，交通機関発行の遅延証明書を持参した者は，試験開始後15～30分までの遅刻については試験監督者が許可した場合に限り，受験を認める。
⑸　上記⑷において，やむを得ず「遅延証明書」を持参しなかった者については，試験場で「交通機関遅延受験許可申請書」に必要事項を記入した上で，試験監督者の許可を得て受験することができる（監督者から指定された期日までに，交通機関発行の遅延証明書の提出が必要となる）。
⑹　試験開始後30分を経過しなければ退室することができない。また，原則として試験終了前10分間は，退出することができない。
⑺　交通機関の大幅な遅延，事件，事故などのため試験時間に遅れそうな場合は，速やかに当該科目の開講キャンパスの教務窓口に問い合わせ，指示を受けること。

4．その他

⑴　解答用紙および試験出席票に記入する所属，学年，学生番号，氏名は，特に指示のないかぎりペンまたはボールペンで記入すること。
⑵　学生番号・氏名が未記入の答案は無効とする。
⑶　当該科目の履修登録を完了していない者は，受験資格を持たない。万一受験した場合は，その答案は無効とする。
⑷　受験した科目の解答用紙および試験出席票，試験問題は，氏名等を記入して，必ず提出すること。
⑸　携帯電話等の通信機器類は，試験場での使用を認めない（試験方法に「すべて持込可」とされた科目の場合も使用不可）。また，同機器類の時計・電卓としての使用も認めない。
⑹　筆記用具は筆入れから出すこと。筆記用具・学生証（臨時学生証）以外のものは，当該科目について特に許可されているものを除き，かばん等に入れて，指定された場所に，試験開始前におくこと。
⑺　受験中は，学生同士の会話，物の貸借を一切禁ずる。

4　口頭試問

定期試験として行う口頭試問の詳細については，掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは１号館２階）ならびに，SPIRIT教務部ページに発表する試験方法発表にて確認すること（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）。

5　レポート

レポートを作成する場合の注意事項は後述の「レポート・論文作成時のルールについて」も参照すること。

1．レポート

⑴　レポートには下記の２種類がある。
①　試験方法発表（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）において「レポート試験」と発表され，レポート提出期間に提出するレポート
②　最終授業時など，①以外の方法・時期に提出するレポート
⑵　上記⑴－①におけるレポートの提出日時，提出場所，題目の発表
提出日時，提出場所，題目は，試験方法と同時に，掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは１号館２階）ならびに，SPIRIT教務部ページに発表する。（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）

2．提出方法

⑴　レポート試験
試験方法発表（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）で指定された期日・場所に，専用のレポート表紙を綴じ付け，レポート提出証を添えて提出すること。

① 指定期日後は，理由の如何にかかわらず一切受付けないので十分注意すること（後述「レポート・論文等の提出に際しての注意」も参照）。
② レポートは，同一科目につき複数提出することはできない。万一，複数提出された場合は，最初の１件のみを採点の対象とする。また，一度提出されたレポートの返却はしないので，不備がないか十分確認のうえ提出すること。
③ レポートの用紙は，特に指定がない限りA4判の用紙を使用すること。
④ レポート表紙とレポート提出証（いずれも専用のもの）の配付開始時期は，試験方法発表（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）により指示する。
レポート表紙……Ａ４判で科目設置学部等により色が異なる
レポート提出証…Ａ５判でレポート表紙と同色
⑤ レポート表紙，レポート提出証は，ペンまたはボールペンで必要事項を記入すること。
⑥ レポートとレポート表紙はホチキスで２箇所以上綴じること。
⑦ 提出されたレポートは，レポート表紙の整理番号欄の記入内容により採点されるので，記入間違いや他科目と表紙を付け間違うことがないよう十分注意すること。
⑧ レポート表紙に，学生番号・氏名が未記入のレポートは無効とする。
⑨ 当該科目の履修登録を完了していない者はレポート提出資格を持たない。万一，レポートが提出された場合は，そのレポートを無効とする。
⑩ 病気，その他やむを得ない事情により本人が提出できない場合には，代理人による提出を認める（以下「レポート・論文等の提出に際しての注意」参照）。
⑪ 学校感染症第１種または第２種に罹患した場合は，速やかに所属キャンパスの教務窓口に連絡をして指示を受けること（以下「レポート・論文等の提出に際しての注意」参照）。

※一部Webで受付する場合もある。試験方法発表にて詳細を発表するので必ず確認すること。

＊＊＊レポート・論文等の提出に際しての注意＊＊＊

レポート・論文等は，指定された提出期限後は受理しないので時間厳守のこと。交通機関等の遅延も予測されるので，提出にあたっては十分余裕をもって臨み，本人が提出できない場合は，信頼できる代理人に依頼する等の措置を講ずること。ただし，締切日当日，不測の事態により，本人または代理人が提出期限までにレポート・論文等の提出に来られない場合は，当日の締め切り時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口に問い合わせ，指示を受けること。不測の事態とは，事件･事故や交通機関等の大幅な遅延などの場合を言う。
＊プリンター等，機器の故障は不測の事態に含まれないので注意すること。

学校感染症のため出校停止となった学生のレポート・卒業論文・修士論文の提出について

上記に該当した場合は，以下の指示にしたがうこと。
1．上記の提出物の提出期間において本人が出校停止中である場合は，**代理人を立て，当該の期間内に提出することを原則とする。**
代理人による不備は，依頼した本人の責任となる。
2．1．において代理人を立てることができない場合は，締め切り時刻以前に所属キャンパスの教務窓口に連絡し，指示を受けること。
〈以下のすべてに該当する場合，後日の提出を認めることがある〉
① 上記2．に該当する学生であること。
② 医療機関の発行する罹患期間と登校可能日が記載された「診断書」，または医療機関が記載した本学所定の書式である「治癒証明書」の提出によって，締切日当日に学校感染症に罹患して出校停止中であった事実が証明できること。
③ 「出校可能となった日またはその翌日（窓口対応可能日）」に提出すること。

⑵　レポート試験以外のレポート

①　各自で表紙をつけ，表紙には，必要事項（科目名・科目担当教員名・所属学部・学科・年次・学生番号・氏名）を必ず記入すること。

②　紙媒体以外の提出方法による場合も，上記必要事項を必ず明記すること。

③　その他の提出方法については，科目担当教員の指示に従うこと。

レポート・論文作成時のルールについて

皆さんは，さまざまな授業でレポートや論文を書く機会があると思います。授業の中で指示されて書くレポートや期末試験の代わりに書くレポート，討論会のために作成する論文や卒業論文など，その性質はさまざまですが，どのレポートや論文にも共通なルールがいくつかあります。その一つが，**他人が書いたものを写して，あたかも自分が書いたかのように装ってはいけない**，というルールです。

これは，元の文章や図表が書物のものであっても，Web上のデータのものであっても，友人のレポートであっても同じです。たとえその文章が著作権を放棄したものでも，リンクフリーのサイトに載っているものでも同じです。問題は，元の文章の性格ではなく，他の人の成果を自分の成果であるかのように装ってはいけない，ということなのです。このような他人の成果を盗む行為は「盗用」や「剽窃（ひょうせつ）」と呼ばれます。

もちろん，他の人がこれまで積み重ねてきた研究の業績を自分のレポートや論文に全く利用してはいけないということではありません。独りよがりにならないためには，従来の研究の成果に大いに学ばなければなりません。他人の業績のアイデアを利用することもあるでしょうし，他人の作った文章や図表などを引用して説明を行う場合もあるでしょう。

ただし，こうした利用や引用にはルールがあります。**他の人のアイデアや文章，図表などを用いるときには，それがもともと誰の成果なのかを明記する**というルールです。このルールをないがしろにすれば，悪気のあるなしにかかわらず「盗用」や「剽窃」になってしまうのです。

具体的な表記の仕方については授業で学びますが，一般的には次の通りです。

・引用対象が文章なら，その文章を「　」で囲み，他の部分と区別する。

・その対象の出典を明記する。

【例】【図書の場合】　著者名，『書名』，出版社，発行年，ページ

【雑誌論文，記事の場合】　筆者名，「論文名」，『雑誌名』，巻，号，発行年月，ページ

【ホームページの場合】　URL，取得年月日

【新聞記事の場合】　新聞紙名，朝夕刊の区別，号数，第何面か

これ以外にも表記の仕方にはいろいろなバリエーションがあります。そうした表記の方法や，そもそも論文やレポートでどのくらいの引用をすべきなのかといった点については教員の指導に従ってください。

盗用や剽窃は文章を書く場合にはもっとも恥ずべき行為のひとつであり，研究者がこうしたことを行えば研究者生命を失いかねない程の大問題になります。皆さんのレポートや論文についてもこうした盗用・剽窃がなされないように適切に指導することと，こうした行為が行われたときには厳しく対処することが全学の教員で合意されています。

レポートや論文は他の人の成果を調べて書き写したり，コピー&ペーストのみで作ったりするものではありません。さまざまな研究成果やデータをルールに則って利用しつつ，最終的に自分の考えや主張を論じることで完成するものです。他者の成果には十分に敬意を払い，ルールを守って論文やレポートを作成するようにしましょう。

6　追試験

入院その他やむを得ない事由によって春学期末試験または秋学期末・学年末試験を受験できなかった者で，追試験受験申請書を提出した者に対しては，審査の上追試験の受験を許可することがある。

☞R Guideの「学校・社会教育講座試験規則」第４章を参照のこと。

1．対象科目

追試験の対象となる科目は，試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，筆記試験または口頭試問として発表され，追試験対象科目に指定された，最終授業時試験科目および定期試験科目である。

＊　試験方法発表時（「2 試験方法 2．試験方法発表」の項を参照）に，追試験対象科目として指定されなかった科目は，追試験の対象とはならない。

＊　その他授業時間内に科目担当教員が任意に実施する小テスト・中間テスト・最終テストは，追試験の対象とはならない。それらが実施された授業日に欠席した場合は，科目担当教員の指示に従うこと。

2．受験申請書

追試験受験申請書を，履修登録状況画面のコピーと別表の証明書類を添付の上，試験実施日の翌日から１週間以内（翌週の同じ曜日まで。締切日が窓口業務を行わない日の場合はその翌日まで）に，所属キャンパスの教務窓口に提出すること。

追試験受験申請書は，所属キャンパスの教務窓口で交付する（SPIRIT教務部ページからもダウンロード可能）。

＊　入院等により所定の提出期間内に追試験受験申請書を提出できない場合は，必ず提出期間内に所属キャンパスの教務窓口に連絡し，指示に従うこと。特に，学校感染症（第１種または第２種）に罹患した場合は，速やかに連絡し，指示を受けること。

＊　所属キャンパスとは異なるキャンパスで履修した科目の追試験受験申請書は，当該科目の開講キャンパス窓口に提出すること。ただし，所属キャンパスで履修した科目を同時に申請する場合はその限りではないので，事前に所属キャンパスの教務窓口に相談すること。

3．対象者・試験方法・時間割の発表

対象者・試験方法・時間割は，下記の日程で掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは７号館１階教務事務センター内移動掲示板），ならびに，SPIRIT教務部ページに発表する。

〈追試験対象者・試験方法・時間割発表〉

春学期末	秋学期末・学年末
8月下旬	2月中旬

＊掲示による発表は当該科目の開講キャンパスにて行う。

4．追試験実施期間

追試験は，次の期間に実施する。

〈追試験　実施期間〉

追試験 実施方法	春学期末	秋学期末・学年末
筆記試験 口頭試問	実施期間：9月上旬	実施期間：3月上旬
レポートによる追試験	提出期間：9月上旬	提出期間：3月上旬

＊追試験の実施は当該科目の開講キャンパスにて行う。

5. 追試験（筆記試験）受験についての注意事項

実施要領は 3 筆記試験 に準じる。

なお，追試験を受験できなかった場合の特別措置は一切行わない。

〈別表：追試験受験申請書添付書類〉

	試験欠席事由	添付するべき証明書類 事由によっては，立教大学が記入用紙を作成する場合がある
(1)	入院またはそれに準ずる登校不能（風邪・下痢等の一時的な疾病は含まない）ただし，必修科目，先修科目については欄外＊を参照	入院先機関の発行する入院証明書注1)
(2)	インフルエンザ，麻しん等，学校保健安全法の定める学校感染症（学校において予防すべき感染症）**第1種または第2種**の罹患による登校不能注2)	医療機関の発行する罹患期間と登校可能日が記載された「診断書」注3)，または医療機関が記載した本学所定の書式である「治癒証明書」注4)
(3)	忌引（保証人，配偶者および3親等以内の血族または姻族に限る）（法事は含まない）注5)	本人と保証人の署名・捺印のある書類（様式は自由，本人との続柄を明記）およびその事実を明らかにするもの（死亡に関する公的証明書もしくは会葬礼状等）
(4)	交通機関の30分以上の遅延	交通機関発行の遅延証明書
(5)	重大な災害による登校不能	官公庁発行の被災証明書
(6)	学校・社会教育講座の各種実習・体験等	実習・体験期間証明書
(7)	就職試験（就職試験の日程が変更できない場合に限る。セミナー，複数企業の合同説明会，ＯＢ・ＯＧ訪問等は含まない）	本人が受験したことを証明する受験先機関発行の証明書（就職試験の場所，日時を明記，社印が押印されていること）
(8)	他大学大学院入学試験	受験票のコピー
(9)	日本代表としてのスポーツ公式競技への参加	派遣元団体が大学に宛てた公文書
(10)	裁判員選任手続期日における裁判所への出頭，または裁判員に選任された公判のための裁判所への出頭	裁判員選任手続期日における裁判所への出頭の場合，出頭した裁判所で出頭日の証明を受けた「選任手続期日のお知らせ（呼出状）」，裁判員に選任された場合，裁判員職務従事期間についての「証明書」
(11)	上記10事項に準ずる事由注6)	

＊***必修科目，先修科目及び各学部等において特に必要と認める選択科目については，医師の診断書がある病気・けがによる登校不能についても欠席事由とする。***

先修科目とは，ある科目を履修するための条件として，先立って単位を修得しておくことが必要な科目をいう。具体的には，科目設置学科・課程の規定を参照すること。

注１）上記⑴の場合の入院証明書・医師の診断書は，試験を欠席した日の入院・病気・けがを証明する内容であること。

注２）上記⑵に該当した場合には，速やかに所属キャンパスの教務窓口に連絡し指示を受けること。なお，罹患中に試験を受験した場合には，その試験は無効となる。

注３）上記⑵に該当した場合の医師の診断書において，罹患時と治癒時の受診医療機関が異なった場合は，治癒時の医療機関において「罹患期間についての証明」が受けられない場合があるので注意が必要である。受診医療機関を変更する場合は，罹患時に受診した医療機関が発行する「罹患日記載がある『診断書』」を必ず取得しておくこと。こうすることにより，罹患時に取得した「診断書」と治癒時に受診した医療機関が発行する『治癒日と登校可能日の記載がある「診断書」』の２種類をもって「罹患期間についての証明」とすることが可能となる。

注４）上記⑵に該当した場合の「治癒証明書」の書式は，SPIRIT 教務部ページからダウンロードすること。

注５）3親等以内の血族または姻族とは次を指す。

血族―父母・子，祖父母・兄弟姉妹・孫，曾祖父母・伯叔父母・甥姪・曾孫

姻族―配偶者の父母・子の配偶者・配偶者の子（配偶者の前婚における子など），配偶者の祖父母・配偶者の兄弟，姉妹・孫の配偶者・配偶者の孫（配偶者の前婚における孫など）・兄弟姉妹の配偶者，配偶者の曾祖父母・配偶者の伯叔父母・配偶者の甥姪・曾孫の配偶者・配偶者の曾孫（配偶者の前婚における曾孫など）・甥姪の配偶者・伯叔父母の配偶者

注６）原則として，事前の届出に対して審査を行うので，所属キャンパスの教務窓口に問い合わせること。

7　試験時間重複特別試験

試験時間に重複が生じた場合（池袋・新座キャンパス間の移動時間不足を含む）は，試験時間重複特別試験を実施する。講座設置科目と自学部科目が重複した場合は，原則として，講座設置科目を定期試験期間内に受験し，自学部科目を特別試験において受験すること。また，講座設置科目と他学部等の科目が重複した場合は，原則として，他学部等の科目を定期試験期間内に受験し，講座設置科目を特別試験において受験すること。

1．受験申請書

受験希望者は，試験日時発表後から試験実施期間開始の1週間前までに，試験時間重複特別試験受験申請書を履修登録状況画面のコピーを添付の上，所属キャンパスの教務窓口に提出すること。ただし，試験時間が変更されたことによって試験時間に重複が生じた場合は，試験実施日の翌日から２日以内に試験時間重複特別試験受験申請書を，所属キャンパスの教務窓口に提出すること。

2．対象者・試験方法・時間割の発表

対象者・試験方法・時間割は，掲示（池袋キャンパスは11号館１階エントランスホール，新座キャンパスは７号館１階教務事務センター内移動掲示板），ならびにSPIRIT教務部ページに下記の日程で発表する。

〈試験時間重複特別試験対象者・試験方法・時間割発表〉

春学期末	秋学期末・学年末
8月下旬	2月中旬

＊掲示による発表は当該科目の開講キャンパスにて行う。

3．実施期間

試験時間重複特別試験は，所定の期間に実施する。

〈試験時間重複特別試験　実施期間〉

試験時間重複特別試験 実施方法	春学期末	秋学期末・学年末
筆記試験 口頭試問	実施期間：9月上旬	実施期間：3月上旬
レポート試験	提出期間：9月上旬	提出期間：3月上旬

＊　試験時間重複特別試験の実施は当該科目の開講キャンパスにて行う。

4．試験時間重複特別試験（筆記試験）受験についての注意事項

実施要領は 3 筆記試験 に準じる。
なお，試験時間重複特別試験を受験できなかった場合の特別措置は一切行わない。

8　不正行為

試験は，学生各自の科目履修の成果を確認する趣旨のものであり，その趣旨に反する行為は不正行為とみなす。

1．退室命令

試験中に不正行為とみなされる行為が発見された場合，不正行為者は，試験場から直ちに退出を命ぜられる。

2．受験資格の喪失

⑴　受験中に不正行為を行った者は，不正行為以降の専門教育科目，全学共通科目，全学共通カリキュラム科目，他学部科目，研究科科目等を含むその期の全科目の受験資格（レポート提出資格等を含む）を失う。

⑵　英語単位認定試験を受験中に不正行為を行った者は，同日に行われる試験を含め，当該試験期間（６月実施：春学期末試験終了まで，11月実施：秋学期末・学年末試験終了まで）の筆記試験全科目の受験資格を失い，その成績はすべて不合格となる。

3. 当該試験期間の成績

不正行為者の当該試験期間の成績は以下の通りとする。

⑴　定期試験期間内筆記試験科目，最終授業時筆記試験科目については，すでに受験した科目を含む全科目の成績を不合格とする。

⑵　春学期末または秋学期末・学年末試験期間に不正行為を行った場合，６月または11月に受験した英語単位認定試験の受験資格をさかのぼって失い，合格は取り消される。

⑶　レポート試験科目，平常点科目，口頭試問科目等，原則として定期試験期間内筆記試験，最終授業時筆記試験以外の方法のみによって成績評価を実施する科目については，不正行為以前の成績評価は有効とする。

4. 処分の決定

⑴　不正行為者の処分は，その者の所属する学部教授会または研究科委員会がこれを決定する。

⑵　処分は，訓告・停学・退学の３種類とする。不正行為の処分は，原則として停学とする。

⑶　処分決定後は，不正行為以降全ての受験資格を喪失する。

9　成　績

1. 成績評価

本講座の成績評価の表示は，次のとおりである。

授業科目の成績は以下の基準に従い，Ｓ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格，Ｄ，欠を不合格とする。

⃠単位を修得した科目の評価を取り消すことはできない。

〈学校・社会教育講座の成績評価〉（GPA算出対象外）

評価		評価基準	成績証明書の表示
合格	S（100点～90点）	当該科目の目標をほぼ完全に達成していると認められる	合
	A（89点～80点）	当該科目の目標を十分に達成していると認められる	
	B（79点～70点）	当該科目の目標の基幹部分は達成しているものと認められる	
	C（69点～60点）	当該科目の目標のうち最低限は達成していると認められる	
不合格	D（59点～0点）	当該科目の目標に及ばない	H[注2)]
	欠席	試験未受験等により評価できないもの[注1)]	

注1）　筆記試験・口頭試問を欠席した場合，また試験方法発表掲示にレポート試験と発表されているレポート（「5 レポート」の項を参照）を提出しなかった場合は，シラバスに記載された成績評価の割合にかかわらず，成績評価は「欠席」となる。

注2）　2015年度以前入学者のうち，GPAを導入していない学部・学科は「表示されない」。

次のように表示される科目もある。

評価	成績証明書
Q[注)]	表示されない

注）・成績確定前に，休学したもの，在学留学したもの。

・2016年度以降入学者および2015年度以前入学者のうち，GPA導入学部・学科の学生で所定の期日までに履修中止の手続きをしたもの。

2. 成績の発表

成績は下記の日程で成績参照システムに発表する。電話・メールによる成績の問い合わせには一切応じない。発表時刻等の詳細は成績参照システムで確認すること。

〈成績の発表〉

春学期科目	当該年度在籍者 （特別卒業[9月卒業]申請者を含む）	9月上旬
秋学期科目 通年科目	当該年度卒業合格発表対象者 （在学８学期以上の者）	2月末日
	次年度在籍者	3月中旬
	次年度在籍者 （次年度の新年次での発表）	3月下旬

〈追試験および試験時間重複特別試験結果の発表〉

春学期科目	当該年度在籍者 （特別卒業[9月卒業]申請者を含む）	9月下旬
秋学期科目 通年科目	当該年度卒業合格発表対象者 （在学８学期以上の者）	3月中旬
	次年度在籍者	

3. 成績評価調査の申請

成績評価調査制度は，成績評価が間違っていると思われる十分な理由がある場合に，科目担当教員に成績評価に間違いがないか，の確認を求めるためのものであり，成績の再考を求めるものではない。調査の申請にあたっては，「成績評価調査申請書」にその理由を詳しく記入し，所定の期間内に，所属キャンパスの教務窓口に提出すること。

＊「成績評価調査申請書」は，所属キャンパスの教務窓口で配付する。

〈成績評価調査申請書提出期間〉

春学期科目	特別卒業(9月卒業)申請者	9月上旬
	当該年度在籍者 （特別卒業[9月卒業]申請者を除く）	9月上旬
秋学期科目 通年科目	当該年度卒業合格発表対象者 （在学８学期以上の者）	2月末～3月上旬
	次年度在籍者 （当該年度卒業合格発表対象者を除く）	3月中旬

申請期限は遵守すること。

入院等により，所定の提出期間内に成績評価調査申請書を提出できない場合は，必ず提出期間内に所属キャンパスの教務窓口に連絡し，指示に従うこと。

Ⅶ 保険の加入

学校・社会教育講座での学外の実習等（介護等体験含む，以下同じ）で，偶然の事故等により他人にケガを負わせたり，他人の財物を損壊して法律上の賠償責任が問われる可能性がある。そのため下記のように損害賠償保険「学研災付帯賠償責任保険」に加入している。

1．保険対象となる実習等

下記の実習等を対象とする。

教職課程	「中・高教育実習」，「高校教育実習」， 「中・高教育実習（N）」，「高校教育実習（N）」， 「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」， 「特別活動の理論と方法（A）」，介護等体験
学芸員課程	「見学・学内実習」，「博物館実習（館園実習）」
司書課程	「図書館実習」，「図書館実習（司書教諭）」
社会教育主事課程	「社会教育実践演習」，「社会教育演習」

2．加入手続き・保険料

科目等履修生を除き，加入手続き・保険料とも不要（大学が手続き・負担）。

3．保険内容

学生が，上記「1．保険対象となる実習等」およびその往復中等で，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したことにより，法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を保険金支払いの対象とする。

4．補償金額

対人賠償と対物賠償合わせて１名１事故１億円限度

5．保険加入期間

上記「１．保険対象となる実習等」に指定された実習等を履修・体験する年度。実習等に関わる活動に対し保険対象となるので，期間内であっても，実習等に関わらない活動（個人的訪問など）は対象とならない。

6．事故発生時の連絡

事故等発生時には，速やかに池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室（TEL：03-3985-2229）に連絡し，指示を受けること。

Ⅷ 修了に関すること

1 修了者の発表

1．修了者発表

卒業（修了）予定者ならびに科目等履修生で，各課程の修了要件を満たした者を，３月中旬に成績参照システムにおいて発表する。各課程修了予定者は，必ず本人が修了の可否を確認すること。発表日時等詳細については，R Guideで確認すること。なお，電話や電子メールなどでの問い合わせには一切応じない。

2．特別卒業・修了（9月卒業・修了）

特別卒業・修了（９月卒業・修了）を希望する場合は，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に相談すること。

3．大学院学生（教職課程除く）

学芸員課程・司書課程（図書館司書コース）・社会教育主事課程に登録している大学院学生で，大学院修了を待たずに各課程修了の要件を満たした場合は，当該大学院の修了年度末でなくても修了証書を取得することができる。該当者は，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に詳細を確認すること。

2 教員免許状および修了証書の授与

1．授与される免許状・修了証書

学校・社会教育講座では，学部卒業式・大学院学位授与式の当日に免許状および修了証書を授与する。

教職課程：「教育職員免許状」（学部：１種，大学院：専修）

学芸員課程・司書課程（図書館司書コース）・社会教育主事課程：「修了証書」

司書課程（学校図書館司書教諭コース）は，申請を希望する前年度の12月に資格申請書類を受領し，所定の手続きを行い，資格要件を満たした者に，申請年度末（３月）に郵送にて修了証書が送付される（詳細は「司書課程（学校図書館司書教諭コース）5 学校図書館司書教諭資格申請について」を確認すること）。

2．授与日程

池袋・新座両キャンパス所属の学部学生・科目等履修生・大学院学生に対し，池袋キャンパスにて授与する。日程等詳細については，R Guideで確認すること。

3 不足単位の卒業後の修得方法について

卒業（修了）時までに課程修了に必要な単位に不足があり，未修了のまま卒業（修了）した場合，次の方法により不足単位を補うことができる。

⑴ 本学の「学校・社会教育講座科目等履修生」となり，単位を修得する方法。
→次項 4 立教大学学校・社会教育講座科目等履修生制度について 参照

⑵ 本学大学院に進学し，単位を修得する方法。
→大学院進学後に改めて「講座登録」する必要がある。

⑶ 他大学の学部・大学院入学，通信教育の利用や科目等履修生としての受講により，単位を修得する方法。
→本学が発行する「学力に関する証明書」「単位修得証明書」等の単位修得証明（「Ⅸ 講座関連の各種証明書」参照）に基づき，他大学が修得すべき科目等を指導する。

→他大学では，本学とは資格取得要件を満たすカリキュラムが異なるため，必ずしも本学での不足単位のみを修得すれば要件を満たすとは限らない。

4　立教大学学校・社会教育講座科目等履修生制度について

本制度は，卒業・修了時に単位不足があったために講座の課程未修了となった者に対し，科目単位で履修することができる制度である。なお本学では，学部・大学院に学籍を有したままで科目等履修生になることはできない。また，本学には学校・社会教育講座科目等履修生制度とは別に，立教大学科目等履修生制度があるので，混同しないよう注意すること。

参考：2020年度「立教大学学校・社会教育講座科目等履修生」選考試験要項（抜粋）

1　募集人数

各課程とも若干名。

※履修できる課程は１課程に限ります。ただし、本学在学中に2課程を併修し、双方とも未修了の場合に限り、その2課程の履修を認めます。

2　出願資格

次の⑴～⑶のすべてを満たす方。

⑴　免許状または資格取得の意思を明確に有する方。

⑵　科目等履修生として在籍可能な2年以内に所定の単位を修得することが可能な方。

⑶　出願する課程が定める以下の条件をすべて満たす方。

＜教職課程＞

①　本学の学部を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方、または本学の大学院を修了した方および2020年3月修了見込みの方。

②　中学校または高等学校教諭もしくはその両方の1種免許状の取得を希望する方。

③　取得を希望する免許状が、出身（卒業・卒業見込み）学科で取得可能な教科である方（ただし、文学科については出身専修で取得可能な教科、教育学科については出身の専攻で取得可能な教科に限る）。

※課程認定を取り下げた学部・学科（一部教科のみ取り下げの場合も含む）の出身者については、入学年度が課程認定取り下げ前であり、かつ在学中に教職課程に登録していた方。ただし、課程認定を受けていた最終年度から数えて6年目を出願可能な最終年度とする。

＜学芸員課程＞

①　日本の大学（短期大学を除く）を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方。

＜司書課程　図書館司書コース＞

①　日本の大学（短期大学を除く）を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方。

＜司書課程　学校図書館司書教諭コース＞

①　日本の大学（短期大学を除く）を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方。

②　教育職員免許状を既に取得している方および2020年3月取得見込みの方、または本学在学中に教職課程と司書課程学校図書館司書教諭コースに登録しており、かつ双方とも未修了（見込みを含む）の方。

＜社会教育主事課程＞

①　本学の学部を卒業した方および2020年3月卒業見込みの方、または本学の大学院を修了した方および2020年3月修了見込みの方。

3　全課程共通の出願上の注意

⑴　学校・社会教育講座科目等履修生として本学に籍を置く間は、本学を含むすべての大学・大学院等に正規学生として在籍することは認めません。

⑵　各課程の現行カリキュラムに従って資格を得ようとする場合のみ受け入れます。原則として他大学と並行しての履修は認めません。

⑶　「立教大学科目等履修生」への併願ならびに並行しての在籍は認めません。

※参考資料として前年度の選考試験要項を各キャンパスの教務事務センターで入手できるので，科目等履修生を希望する者は，早めに詳細を確認しておくこと。
※2021年度の選考試験要項は，2021年１月下旬から各キャンパスの教務事務センターで配付予定である。配付期間等については，2021年１月下旬に，掲示板および立教大学学校・社会教育講座ホームページにて発表する。

３．選考

試験日　　３月上旬
出願書類　志願票・出願理由書，成績証明書（学力に関する証明書），卒業（見込）証明書等
選考方法　筆記試験（一部免除制度あり），口頭試問
選考料　　6,000円（学芸員課程・司書課程の他大学出身者は，12,000円）

４．登録料・受講料

登録料　　20,000円（学芸員課程・司書課程の他大学出身者は，40,000円）
受講料　　１単位36,000円（履修登録する科目の単位数分の受講料となる）
※その他実習等にかかる費用は別途。

Ⅸ 講座関連の各種証明書

1 講座に関する各種証明書の種類と発行

証明書の種類	手数料	池袋キャンパス		新座キャンパス	
		発行場所	発行日	発行場所	発行日
教育職員免許状取得見込証明書	300円	教務事務センター 証明書自動発行機	即時	教務事務センター 証明書自動発行機	即時
修了見込証明書 （学芸員・司書・社会教育主事課程）					
科目等履修生在籍証明書					
学力に関する証明書 （教職課程）		教務事務センター	3日後※	教務事務センター	4日後※
単位修得証明書 （学芸員・司書・社会教育主事課程）			2日後※		3日後※
科目等履修生成績証明書					
人物に関する証明書 （証明印のみ）	無料	学校・社会教育講座 事務室	当日	学校・社会教育講座 事務室	2日後※

※上表の発行日は，おおむねの日数。土日祝日・閉室日を挟む場合や繁忙期については，より日数を必要とする場合があるので，日程に余裕をもって申請すること。

2 証明書発行に関する注意事項

⑴ 「教育職員免許状取得見込証明書」および「課程修了見込証明書（学芸員・司書・社会教育主事）」は，各課程に登録し，それぞれ「教育実習」「博物館実習」「図書館実習」「社会教育計画１（2019年度以前入学者）」「社会教育実践演習（2020年度以降入学者）」の科目を現学籍において履修中または単位修得済みの者に限り発行される（大学院学生はこの限りではない）。

⑵ 司書課程（学校図書館司書教諭コース）の修了見込証明書は発行していない。これに相当する証明書の提出を求められた場合は，①「教育職員免許状取得見込証明書」，②司書課程（学校図書館司書教諭コース）の「単位修得証明書」の双方をもってこれに代えること。

⑶ 「学力に関する証明書」，「単位修得証明書」は，原則として卒業（修了）者に発行する。

⑷ 「人物に関する証明書」は，本学専任教員（ゼミ担当，クラブ顧問等）に内容を記載してもらってから，学校・社会教育講座事務室窓口に持参し，証明印押印の依頼をすること。

⑸ 上記の講座関連の各種証明書は，原則として英文による証明書を発行しない。

⑹ 証明書の発行申請・受理をする場合は，必ず本人を証明するもの（在学生であれば学生証，その他は健康保険証など）を提示すること。

⑺ 講座関連の各種証明書は，卒業（見込）証明書，成績証明書などとは異なるので注意すること。

教職課程

2019年度以降入学者適用

1　教育職員免許状について
2　本学で取得できる免許状について
3　教育職員免許状（１種）取得のための要件
4　教育職員免許状（専修）取得のための要件
5　免許状取得までのアウトライン
6　介護等体験
7　教育実習について（中学校・高等学校）
8　教育実習参加準備について
9　教育職員免許状申請手続きについて
10　履修上の注意
11　カリキュラム
■　教職課程設置科目表
■　学科別・免許教科別「課程表」の見方
■　課程表（学科別・免許教科別）

2019年度以降（新教育職員免許法［平成28年改正法］施行後）の適用カリキュラムについて

2019年４月から，新教育職員免許法が施行された。これによる変更点，適用となるカリキュラム等の留意点は以下のとおりである。各自，自身の状況と適用カリキュラム等を必ず確認し，不明な点については学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

※2018年度以前の入学者であっても，免許状の取得に至らずに卒業した者が免許状の授与を受けるためには，改正された新法に基づく新課程で免許状授与の所要資格を得る必要があるので注意すること（卒業・退学後，間をおかずに大学院学生，科目等履修生，編入学生，再入学生等，学籍を変えた場合も同様）。

1．2019年度以降入学者適用カリキュラムは，主として，2019年度以降学部１年次入学者を対象としたカリキュラムである。

2．2018年度以前入学者適用カリキュラムからの主な変更点は以下のとおり。

⑴　科目区分の変更に伴う授業科目の新設

特別支援教育の理論と方法
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法

⑵「中・高教育実習」の先修科目の変更

2018年度以前カリキュラム	⇒	2019年度以降カリキュラム
教科教育法１	⇒	教科教育法１（注）
教科教育法演習１		教科教育法演習１（注）
教科教育法２		
教科教育法演習２		

（注）異文化コミュニケーション学科学生は，自学科開設の「教科の指導法」科目を修得すること。

3．入学（編入学）年度および学籍ごとの適用カリキュラム等

入学（編入学）年度	学籍の状況	条件	適用カリキュラム	新設２科目の修得	「中・高教育実習」の先修科目
2019年度以降	学部学生		2019年度以降	必要	2019年度以降カリキュラム
	・大学院学生 ・科目等履修生 ・再入学生 ・学士課程卒業後の編入学生	2021年度までに「教育実習」を修得見込の者	2018年度以前	必要	2018年度以前カリキュラム
		2022年度以降に「教育実習」を修得見込の者	2019年度以降	必要	2019年度以降カリキュラム
	学士課程在籍中の編入学生		2018年度以前	不要	2018年度以前カリキュラム
2018年度以前	2019年度以降も引き続き同学籍に在籍している者				

教職課程　2019年度以降入学者に適用

1　教育職員免許状について

教育職員免許法により，学校教育法における教員（大学・高専を除く）は，教育職員免許状を所持している者でなくてはならないと定められている。したがって，教職に就こうとする者はこの免許状を取得しなくてはならない。

1．種類

教育職員免許状は，普通免許状と臨時免許状に大別される。教諭には普通免許状が，助教諭には臨時免許状が必要であり，本学で取得できる免許状は普通免許状である。普通免許状は，基礎資格と修得すべき単位数により，専修（大学院で取得）と１種（学部で取得）とに分かれている。

2．効力

普通免許状は，ひとつの都道府県（教育委員会）から授与されるが，すべての都道府県において有効である。国公私立学校の別はない。従来は教育職員免許法に規定された欠格条項に抵触しない限り終身有効であったが，2007年６月の教育職員免許法改正に伴い，2009年４月から教員免許更新制が導入された。2009年４月１日以降に授与される教育職員免許状の有効期間は10年間で，更新には大学等での免許状更新講習受講・修了が必須となっている。

3．欠格条項

教育職員免許法第５条第１項但書（ただしがき）に抵触する場合は，授与されない。

1　18歳未満の者
2　高等学校を卒業しない者（通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む）。ただし，文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認めた者を除く。
3　成年被後見人又は被保佐人
4　禁錮（こ）以上の刑に処せられた者
5　免許失効（第10条第１項第２号又は第３号に規定）の日から３年を経過しない者
6　免許状取上げ処分（第11条第１項から第３項に規定）の日から３年を経過しない者
7　日本国憲法施行の日以後において，日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し，又はこれに加入した者

4．授与権者

文部科学大臣の監督のもとに，免許状授与の権限を国から委任された機関で，都道府県教育委員会がそれに当たる。

5．教員養成課程の認定

本学では，免許状授与のための課程として「正規の課程」と「科目等履修生（学部）による課程」とが文部科学大臣から認定を受けている。

2　本学で取得できる免許状について

1．免許状の種類

⑴　１種免許状

教育職員免許法に定められている「教職」ならびに「教科」に関する科目等の必要単位を修得し，学士の学位を取得した者には，本人の申請に基づいて，中学校１種および高等学校１種免許状が与えられる。

⑵　専修免許状

すでに中学校・高等学校の１種免許状を取得していることが前提となる。その１種免許状と，同一教科で専修免許状が認可されている大学院博士課程前期課程（修士課程）において，自専攻開設科目24単位以上を定められたとおりに修得し，修士の学位を取得した者には，本人の申請に基づいて，中学校専修および高等学校専修免許状が与えられる。

ただし，この場合大学院において修得する科目は限定される場合もある。

＊専修免許状についての詳細は，4　教育職員免許状（専修）取得のための要件　を参照のこと。

2．免許教科

本学で取得できる免許教科は，別表１・２のとおりである。学部・学科・専攻に認定された教科以外を取得することはできない。

ただし，以下の教科については，認定を受けた学科（専修）以外に所属する学生のうち，選考に合格した若干名に対し，免許状取得に必要な科目を履修することが許可される。対象者・選考方法は毎年度見直しが行われるので，2020年度については掲示で確認をすること（掲示場所・時期は，昨年の実施内容を参考にすること）。

2019年度実施内容（参考）

◆文学部文学科自専修以外の教科（英語・ドイツ語・フランス語・国語）

対 象 者…文学部文学科英米文学専修／ドイツ文学専修／フランス文学専修／日本文学専修／文芸・思想専修各専修所属の２年次生（2019年度選考時）で，所属専修に認められた教科の免許状取得予定者

履修開始…2020年４月から

掲示場所…文学部掲示板，池袋キャンパスの学校・社会教育講座掲示板（７月上旬掲示）

◆「保健体育」

詳細については掲示を確認のこと。

掲示場所…両キャンパスの学校・社会教育講座掲示板，池袋キャンパス教務全学用掲示板，新座キャンパス教務関係掲示板（7月上旬掲示）

別表１　本学が認定を受けている教育職員免許状の種類・教科一覧［学部］

学部	学科		適用者	種類	小学校（一種）	中学校（一種）									高等学校（一種）												
				教科		国語	社会	数学	理科	英語	ドイツ語	フランス語	保健体育	宗教	国語	地理歴史	公民	数学	理科	英語	ドイツ語	フランス語	保健体育	情報	商業	福祉	宗教
文	キリスト教		2019年度以降入学者				○							○		○	○										○
	史						○									○	○										
	教育	教育学専攻課程					○										○										
		初等教育専攻課程			○																						
	文	英米文学専修								○										○							
		ドイツ文学専修									○										○						
		フランス文学専修										○										○					
		日本文学専修				○									○												
		文芸・思想専修				○									○												
経済	経済															○											
	会計ファイナンス																							○			
	経済政策						○										○										
理	数							○										○						○			
	物理								○										○								
	化								○										○								
	生命理								○										○								
社会	社会						○										○										
	現代文化						○										○										
	メディア社会						○										○										
法	法						○										○										
	政治															○											
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション									○										○							
観光	交流文化						○									○											
コミュニティ福祉	福祉																								○		
	コミュニティ政策						○										○										
	スポーツウエルネス												○										○				

別表2　本学が認定を受けている教育職員免許状の種類・教科一覧［大学院］

研究科	専攻	適用者	種類	小学校（専修）	中学校（専修）									高等学校（専修）											
			教科		国語	社会	数学	理科	英語	ドイツ語	フランス語	保健体育	宗教	国語	地理歴史	公民	数学	理科	英語	ドイツ語	フランス語	保健体育	商業	福祉	宗教
キリスト教学	キリスト教学	2019年度以降入学者				○							○		○	○									○
文学	日本文学				○									○											
	英米文学								○										○						
	ドイツ文学									○										○					
	フランス文学										○										○				
	史学					○									○	○									
	超域文化学					○									○	○									
	教育学			○		○										○									
経済学	経済学					○									○	○							○		
理学	物理学							○										○							
	化学							○										○							
	数学						○										○								
	生命理学							○										○							
社会学	社会学					○										○									
法学	法学政治学					○										○									
観光学	観光学					○																			
コミュニティ福祉学	コミュニティ福祉学					○						○				○						○		○	
21世紀社会デザイン	比較組織ネットワーク学					○										○									
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション								○										○						

3 教育職員免許状（1種）取得のための要件

1．基礎資格

1種免許状は，「学士」の学位を有すること。

2．単位修得要件

⑴ 下表の最低修得単位数を，大学においてすべて修得すること。
詳細については、11 カリキュラム の別表３・４を参照のこと。
なお、下表は免許法上の最低修得単位数を示しているため、必ず自学部・自学科の「課程表」の単位数や履修条件に従うこと。

法令上の科目区分		最低修得単位数	
		中学校1種	高等学校1種
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20単位	20単位
	各教科の指導法	8単位	4単位
教育の基礎的理解に関する科目		10単位	10単位
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目		10単位	8単位
教育実践に関する科目		7単位	5単位
大学が独自に設定する科目		4単位	12単位
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2単位	
	体育	2単位	
	情報機器の操作	2単位	
	外国語コミュニケーション	2単位	

⑵ 中学校・高等学校免許状の両方を取得する場合は，免許状取得要件科目のうち，重複する科目については共通の科目として使用することができる。

⑶ 中学校免許状を取得する場合は，上記に加えて介護等体験を行う必要がある。
☞ 6 介護等体験 参照

免許状取得にあたっての留意点

一部の免許教科を除いて，中学校と高等学校の免許状を取得できる。高等学校だけの免許状を取得することも可能であるが，私立に限らず公立の場合でも中学・高校を一貫するタイプの学校が増えていく状況の中で，中学・高校両方の指導を担当できる教員の需要が高まることが予想される。従って，**可能な限り中学校・高等学校の両方の免許状を取得することが望ましい。**

また，複数の教科の免許状を取得できる学科の場合は，履修に際しては，各自の卒業までの単位修得について十分に熟慮したうえで計画すること。

4　教育職員免許状（専修）取得のための要件

専修免許状はその専攻の専門性に基づいて文部科学省に申請し，課程認定を受けている。大学院を修了しても，すでに修得しているすべての1種免許状の専修免許状を取得できるとは限らないので注意すること。

1．基礎資格

⑴　専修免許状は，修士の学位を有すること。

⑵　各免許教科の1種免許状（または1種免許状申請資格）を取得した者。または，各免許教科の1種免許状の申請資格を大学院修了までに取得できる者。

⑶　1種免許状と同一教科の専修免許状が認可されている専攻に在籍していること。

（例）国語科の中学・高等学校1種免許状を所持している学生が，

○　日本文学専攻に進学した場合は，国語科中学・高等学校専修免許状を取得することは可能

×　教育学専攻に進学した場合は，取得は不可能

2．単位修得要件

すでに1種免許状を取得している場合＊

①　学部の免許教科と大学院前期課程（修士課程）の免許教科が同じ場合は，免許１教科につき，大学院博士課程前期課程または修士課程での自専攻開設科目24単位以上を修得すること。同一専攻で複数の免許教科が認可されている場合は，免許教科ごとに専修免許状の取得要件となる科目が定められているので，次ページ以降の「専修免許状取得要件科目一覧」の指定された科目から24単位以上を修得すること。同一覧に記載のない専攻については，各自が所属する専攻の自専攻開設科目から24単位以上を修得すること。ただし，下記の科目（単位）は含まない。

・他大学大学院との単位互換制度により修得した科目

・修士論文および修士論文指導科目

・社会学研究科自由科目

・英米文学専攻「英米文学研究方法論１，２」

②　学部の免許教科と大学院前期課程（修士課程）の免許教科が異なる場合は，専修免許状は取得できない。

学部在学中に1種免許状を取得していない場合

大学院在学中に教職課程に登録し，１種免許状取得に必要な単位に加え，上記①の単位を修得すること。ただし，１種免許状の取得の可否，取得できる免許教科の種類は在籍研究科・専攻および出身大学・学部学科等により異なるため，専修免許状取得要件単位に加えて，１種免許状取得要件単位の修得も併せて希望する者は，必ず「大学院学生対象教職課程ガイダンス」に出席し，学校・社会教育講座事務室の指示を受けること（この場合に，一括申請で取得できる免許状は専修免許状のみであり，１種免許状はこれに包括される）。

☞「Ⅰ　登録について　4　大学院学生への注意」参照

なお，下記［注意］①に従い，１種免許状取得要件として新設された科目の修得が必要となるため，併せて確認すること。

［注意］

①　2019年度以降新たに1種免許状取得を希望する場合の適用カリキュラムについて

学部入学年度にかかわらず新教育職員免許法（平成28年改正法）を適用し，2019年度以降入学者適用カリキュラムを適用する。

②　学部科目を1種免許状の取得に必要な教職・教科に関する科目の所定単位とする時は，同科目を前期課程（修士課程）修了に必要な単位とすることはできない。

③　教育職員免許状の申請については，9　教育職員免許状申請手続きについてを参照し，遺漏なく手続きを行うこと。

【専修免許状取得要件科目一覧】

キリスト教学研究科　キリスト教学専攻

社会		地理歴史	公民・宗教
キリスト教学共同演習1・2	キリスト教思想史演習	古代イスラエル研究	キリスト教学共同演習1・2
アングリカニズム・エキュメニズム研究	聖書学演習（旧約）1・2	原始キリスト教研究	アングリカニズム・エキュメニズム研究
キリスト教倫理学研究	聖書学演習（新約）1・2	キリスト教史研究	キリスト教倫理学研究
現代神学思想研究	宗教史・宗教学演習	キリスト教美術研究	現代神学思想研究
古代イスラエル研究	キリスト教文化論演習1・2	アジア・キリスト教研究	比較宗教研究
原始キリスト教研究	宗教人間学演習	キリスト教音楽研究1・2	フィールドスタディ1・2
キリスト教史研究	アジア・キリスト教演習	キリスト教思想史演習	聖書学演習（旧約）1・2
キリスト教美術研究	宗教教育演習	キリスト教文化論演習1	聖書学演習（新約）1・2
比較宗教研究	フィールドワーク演習1・2	アジア・キリスト教演習	宗教史・宗教学演習
アジア・キリスト教研究	サーヴィスラーニング1・2	フィールドワーク演習1・2	キリスト教文化論演習2
フィールドスタディ1・2	会衆賛美論演習1・2	サーヴィスラーニング1・2	宗教人間学演習
キリスト教音楽研究1・2	教会音楽史演習1・2	会衆賛美論演習1・2	宗教教育演習
神学思想演習1・2		教会音楽史演習1・2	

文学研究科　史学専攻

社会		地理歴史	公民
日本史特殊研究1A	東洋史演習1A	日本史特殊研究1A	日本史特殊研究4A
日本史特殊研究1B	東洋史演習1B	日本史特殊研究1B	日本史特殊研究4B
日本史特殊研究2A	東洋史演習2A	日本史特殊研究2A	日本史特殊研究5A
日本史特殊研究2B	東洋史演習2B	日本史特殊研究2B	日本史特殊研究5B
日本史特殊研究3A	東洋史演習3A	日本史特殊研究3A	東洋史特殊研究1A
日本史特殊研究3B	東洋史演習3B	日本史特殊研究3B	東洋史特殊研究1B
日本史特殊研究4A	西洋史特殊研究2A	東洋史特殊研究3A	東洋史演習2A
日本史特殊研究4B	西洋史特殊研究2B	東洋史特殊研究3B	東洋史演習2B
日本史特殊研究5A	西洋史演習1A	東洋史演習1A	東洋史演習3A
日本史特殊研究5B	西洋史演習1B	東洋史演習1B	東洋史演習3B
東洋史特殊研究1A	西洋史演習2A	西洋史特殊研究2A	西洋史演習1A
東洋史特殊研究1B	西洋史演習2B	西洋史特殊研究2B	西洋史演習1B
東洋史特殊研究3A	西洋史演習3A	西洋史演習3A	西洋史演習2A
東洋史特殊研究3B	西洋史演習3B	西洋史演習3B	西洋史演習2B

文学研究科　超域文化学専攻

社会		地理歴史	公民
地域社会研究方法論A（合同ゼミナール）	地理学調査演習B（海外フィールドワーク）	地域社会研究方法論A（合同ゼミナール）	地域社会調査演習A（国内フィールドワーク）
地域社会研究方法論B（合同ゼミナール）	地域社会調査演習A（国内フィールドワーク）	地域社会研究方法論B（合同ゼミナール）	地域社会調査演習B（国内フィールドワーク）
地理学特殊研究1A（ヨーロッパ研究）	地域社会調査演習B（国内フィールドワーク）	地理学調査演習A（海外フィールドワーク）	文化人類学特殊研究1A（文化ダイナミクス論）
地理学特殊研究1B（ヨーロッパ研究）	地理学演習1A（地域研究論）	地理学調査演習B（海外フィールドワーク）	文化人類学特殊研究1B（文化ダイナミクス論）
地理学特殊研究2A（アジア･アフリカ研究）	地理学演習1B（地域研究論）	地理学特殊研究1A（ヨーロッパ研究）	文化人類学特殊研究2A（表象文化論）
地理学特殊研究2B（アジア･アフリカ研究）	地理学演習2A（地域史研究）	地理学特殊研究1B（ヨーロッパ研究）	文化人類学特殊研究2B（表象文化論）
地理学特殊研究3A（南北アメリカ研究）	地理学演習2B（地域史研究）	地理学特殊研究2A（アジア･アフリカ研究）	文化人類学特殊研究3A（民族誌）
地理学特殊研究3B（南北アメリカ研究）	文化人類学演習1A（民族文化論）	地理学特殊研究2B（アジア･アフリカ研究）	文化人類学特殊研究3B（民族誌）
文化人類学特殊研究1A（文化ダイナミクス論）	文化人類学演習1B（民族文化論）	地理学特殊研究3A（南北アメリカ研究）	文化人類学演習1A（民族文化論）
文化人類学特殊研究1B（文化ダイナミクス論）	文化人類学演習2A（文化環境論）	地理学特殊研究3B（南北アメリカ研究）	文化人類学演習1B（民族文化論）
文化人類学特殊研究2A（表象文化論）	文化人類学演習2B（文化環境論）	地理学演習1A（地域研究論）	文化人類学演習2A（文化環境論）
文化人類学特殊研究2B（表象文化論）	超域文化学演習1A（建築文化論）	地理学演習1B（地域研究論）	文化人類学演習2B（文化環境論）
文化人類学特殊研究3A（民族誌）	超域文化学演習1B（建築文化論）	地理学演習2A（地域史研究）	超域文化学演習2A（芸能論）
文化人類学特殊研究3B（民族誌）	超域文化学演習2A（芸能論）	地理学演習2B（地域史研究）	超域文化学演習2B（芸能論）
地理学調査演習A（海外フィールドワーク）	超域文化学演習2B（芸能論）	超域文化学演習1A（建築文化論）	
		超域文化学演習1B（建築文化論）	

経済学研究科　経済学専攻

社会・公民		地理歴史	商業
流通・分配特論1・2	農業政策特論1・2	経済学史特論1･2	経営史特論1･2
価値論特論1・2	世界経済特論1・2	アメリカ経済史特論1･2	会計史特論1･2
財政学1特論1・2	外国貿易特論1・2	イギリス経済史特論1･2	管理会計特論1･2
財政学2特論1・2	社会政策特論1・2	ドイツ経済史特論1･2	原価計算特論1･2
現代金融特論1・2	労働経済特論1・2	欧州経済史特論1･2	会計学特論1･2
国際金融特論1・2	中小企業特論1・2	日本経済史特論1･2	財務会計特論1･2
経済統計特論1・2	近代経済学2特論1･2	社会思想史特論1･2	経営分析特論1･2
近代経済学1特論1･2	経済政策特論1･2	経営史特論1･2	会計監査特論1･2
近代経済学3特論1･2	計量経済特論1･2	西洋史特論1･2	
工業経済特論1･2		東洋史特論1･2	
		日本経済特論1･2	
		アジア経済特論1･2	
		アジア経済史特論1･2	

観光学研究科　観光学専攻

社会	
観光研究基礎指導A・B　※	観光人類学研究(1)(2)(3)
観光研究演習A・B	観光地理学研究(1)(2)(3)
観光経済学研究	観光文学研究(1)(2)
観光社会学研究(1)(2)(3)	観光歴史学研究

〈注意〉
※印の科目は，科目担当者によっては免許取得要件として適用されない。

コミュニティ福祉学研究科　コミュニティ福祉学専攻

社会・公民	福祉	保健体育
コミュニティ政策研究2～8	コミュニティ政策研究1	スポーツウエルネス研究1～14・16
福祉人間学研究2～5	ソーシャルワーク研究1～10	
専門社会調査演習1～3	福祉人間学研究1	
特殊研究３（公民のみ）	特殊研究1・2・４・５	

〈注意〉
①2020年度以降に単位修得した場合にのみ免許状取得要件として適用される科目
「スポーツウエルネス研究16」

異文化コミュニケーション研究科　異文化コミュニケーション専攻

英語	
言語教育研究基礎論	Japanese Learners and Learning English in Japan
通訳翻訳研究基礎論	Japanese in Educational Settings: Classroom and Kyomuka
コミュニケーション研究基礎論	通訳翻訳研究特殊講義A
Japanese Education System and English Language Education in Japan	通訳翻訳研究特殊講義B
Teaching English Speaking/Listening to Japanese Students	通訳翻訳研究特殊講義C
Teaching English Reading/Writing to Japanese Students	通訳翻訳理論
言語コミュニケーション研究特殊講義A	通訳翻訳教育論
言語コミュニケーション研究特殊講義B	翻訳の原理と方法
言語コミュニケーション研究特殊講義C	翻訳演習1
言語コミュニケーション理論	翻訳演習2
言語教育研究特殊講義A	異文化コミュニケーション研究特殊講義A
言語教育研究特殊講義B	異文化コミュニケーション研究特殊講義B
言語教育研究特殊講義C	異文化コミュニケーション理論
言語教育理論A	コミュニケーション研究特殊講義B
言語教育理論B	コミュニケーション研究特殊講義C
Teaching EFL to Japanese School Children	コミュニケーション理論
Pedagogical English Grammar to Japanese Students	言語コミュニケーション研究基礎論
Teaching English Vocabulary to Japanese Students:Learning, Teaching and Use	Content and Learning Integrated Learning
	Curriculum and Syllabus Design
	Psychology of the Language Learner

5 免許状取得までのアウトライン

教職課程に登録して科目を履修するだけでは教員免許状を取得することはできない。

免許状取得までのおおまかなアウトラインを学年を追って下表にまとめたので参考にしてほしい。具体的な内容は，該当年度の『学校・社会教育講座履修要項』を参照すること。

また，日程等は掲示で知らせるので，必ず登校時には講座掲示板を確認するようこころがけること。[☞ 講座掲示板の場所は巻末の構内案内図を参照]

	主な内容	履修モデル
		科目は教育実習に参加するための先修科目（☞60ページ参照）
1年次	教職課程に登録 登録…Webサイトからの登録 納入…講座登録料納入 ⇒『講座履修要項』13ページを参照	教育原論 教育心理学 道徳教育の理論と方法 教育制度論・教育課程論 生徒・進路指導の理論と方法 「免許法施行規則第66条の6に定める科目」（日本国憲法*・体育*・情報機器の操作*・外国語コミュニケーション） ＊印の科目の中には抽選登録科目もあるので，1年次から履修・修得するよう努めること。
2年次	「履修の記録（履修カルテ）」作成始まる ☞61ページ 「次々年度教育実習ガイダンス」への出席 介護等体験参加のための手続きが始まる ☞58ページ 「介護等体験ガイダンス（登録）」への出席 教育実習希望校への訪問（春休み）☞60ページ	教職概論 教育方法論 学校教育相談の理論と方法 特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法 特別支援教育の理論と方法
3年次	教育実習参加のための手続きが始まる ☞61ページ ★教育実習先修科目（右列の網掛の科目）はこの年度終了時点までに修得しなくてはならない 介護等体験実施年度	（各）教科教育法1 （各）教科教育法演習1 （各）教科教育法2 （各）教科教育法演習2 （履修方法は64ページ参照） 中・高教育実習事前指導
4年次	教育実習実施年度 教員免許状一括申請手続き ☞62ページ	中・高教育実習または高校教育実習 教職実践演習（中・高）
	教育職員免許状	

6　介護等体験――体験は主に3年次で行う。ガイダンスは2年次の秋から始まる。

1. 介護等体験の義務づけ

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（通称：介護等体験に関する特例法）（1998年4月1日施行）により，小・中学校免許状取得希望者は，都道府県教育委員会への免許申請時に，介護等体験を行った旨の証明書を添付することが義務づけられた。

2. 体験の趣旨

法律では体験の趣旨について次のように規定している。

「個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めるために，小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に，障害者，高齢者等に対する介護，介助，これらの者との交流等の体験を行わせる。（要旨）」

3. 体験の施設と期間

体験を行う施設の種別は，法律で細かく規定されており，期間は７日以上とされている。一般的には，老人ホームなどの社会福祉施設で5日間，特別支援学校で２日間の計７日間である。

4. 対象学生

学部学生および大学院前期・後期課程学生，科目等履修生。

ただし，下記の⑴～⑹に該当する者は適用対象外。

⑴　「商業」「情報」「福祉」のみの免許状取得予定者

⑵　⑴以外の教科で高校のみの免許状取得予定者

⑶　既に介護等体験を行った者で，「介護等体験証明書」原本（写しは不可）を本学に提出可能な者。

⑷　コミュニティ福祉学部の学生で「所属学部設置の実習」を行う予定の者。ただし，施設の種類によっては介護等体験に代えることができない場合があるので，実習先が決定した段階で新座キャンパス学校･社会教育講座事務室に相談すること。

⑸　以下の免許・資格既得者

小学校または中学校の教育職員免許状（１種・２種・専修），保健師，助産師，看護師，准看護師，理学療法士，作業療法士，義肢装具士，社会福祉士，介護福祉士，特別支援学校教員

⑹　身体障害者手帳１級から６級所持者

5. 体験の失格

定められた事務手続きを所定の期限内に行わない等，手続き上の不備があった場合には，当該年度の介護等体験は失格となる。体験についての必要事項は全て学校・社会教育講座掲示板にて発表する。

掲示の見落しにより所定の手続きが完了しなかった場合も上記に準ずる。

6. 2021年度体験予定の学生

⑴　「介護等体験ガイダンス（登録）」への出席

2021年度の介護等体験への参加を希望する者は，以下の「介護等体験ガイダンス（登録）」に必ず出席すること。

> **日　時　　2020年11月［予定］**
> **＊日時・場所の詳細については，決定次第，学校・社会教育講座掲示板に掲示する（10月中旬の予定）。**

＊異文化コミュニケーション学部学生及び大学の留学制度を利用する学生で，留学により11月実施の上記ガイダンスに出席できない者のうち，2020年12月末までに留学から帰国する２年次生以上の学生は，以下のガイダンスへの参加を認めるものとする。

> **日　時　　2021年１月［予定］**
> **＊日時・場所の詳細については，決定次第，学校・社会教育講座掲示板に掲示する（12月上旬の予定）。**

＊無断欠席・遅刻・早退の場合は，2021年度の介護等体験への参加を放棄したものとみなす。

＊介護等体験に伴う都県への手続きは，学校・社会教育講座事務室が行う。学生がとる必要のある

手続きについては，上記「介護等体験ガイダンス（登録）」で詳細を説明する。

⑵ 書類提出・費用納入

所定の期間に書類提出および社会福祉施設体験費用納入を行う。費用は，介護等体験を行う都県によって異なる。詳細については，当該年度の講座履修要項を確認すること。

⑶ 「介護等体験ガイダンス（事前説明）」への出席

上記⑴⑵の手続きを完了している者は，2021年６月実施予定の「介護等体験ガイダンス（事前説明）」に出席すること。詳細については，当該年度の講座履修要項を確認すること。

⑷ 介護等体験証明書の提出

介護等体験終了後，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に提出する。詳細については，上記⑶「介護等体験ガイダンス（事前説明）」で指示する。

7. 2022年度体験予定の学生

⑴ 「介護等体験ガイダンス（登録）」への出席

2022年度の介護等体験への参加を希望する者は，2021年11月実施予定の「介護等体験ガイダンス（登録）」に必ず出席すること。詳細については，当該年度の講座履修要項を確認すること。

⑵ 書類提出・費用納入

所定の期間に書類提出および社会福祉施設体験費用納入を行う。費用は，介護等体験を行う都県によって異なる。詳細については，当該年度の講座履修要項を確認すること。

⑶ 「介護等体験ガイダンス（事前説明）」への出席

上記⑴⑵の手続きを完了している者は，2022年６月実施予定の「介護等体験ガイダンス（事前説明）」に出席すること。詳細については，当該年度の講座履修要項を確認すること。

⑷ 介護等体験証明書の提出

介護等体験終了後，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に提出する。詳細については，上記⑶「介護等体験ガイダンス（事前説明）」で指示する。

8. 3年次編入生，大学院新規入学生への注意

2020年度の介護等体験に参加することはできない。ただし，2019年度に参加申込手続きをし，所定の手続きを完了している場合はこの限りではない。

2021年度介護等体験については，前頁6. を参照し，ガイダンスの出席，申込手続をとること。

7 教育実習について（中学校・高等学校）

1. 教育実習とは

教育実習とは，教育職員免許状を取得するためには，絶対に欠かせない要件のひとつであり，学校教育の現場で校長および指導教諭のもとで教員として求められる知識・技能を修得することを目的とする。

2. 実習期間と必要単位数

免許状の種類	教育実習期間*	教育実習単位数**	事前指導単位数
中学校教諭免許状	３週間以上	４単位	１単位
高等学校教諭免許状	２週間以上	２単位	１単位

中学校または高等学校で３週間以上の教育実習を行えば，中学校・高等学校両方の免許状を同時に取得できる。

*実習期間は，実習校の都合で４週間（高校の場合は３週間）になる場合もある。

**実習校における教育実習のほかに直前に行われる大学の指導も含まれる。

3. 参加資格

1　**先修科目群**：教育実習前年度までに，以下の科目を修得していること。

免許状の種類	中学校・高等学校共通
先修科目	教育原論
	教育制度論・教育課程論
	教育心理学
	生徒・進路指導の理論と方法
	教職概論
	教科教育法１（注）
	教科教育法演習１（注）
	中・高教育実習事前指導

（注）異文化コミュニケーション学科学生は，自学科開設の「教科の指導法」科目を教育実習前年度までに修得すること。

＊「商業」希望者は，上記の他に「簿記１」「簿記２」を教育実習前年度までに修得すること。

2　**諸手続**：ガイダンスへの出席を含め実習までに必要な所定の手続きを，すべて完了していること。

3　定期健康診断・麻しん（はしか）の抗体検査を受け，健康に問題がないこと，麻しん（はしか）の抗体が十分あることが確認できること。

4. 教育実習校について

①原則として，出身校で行う。実習をおこなう学校は，中学・高校いずれでもよい。

各人の進路希望に即して，実習希望校種を選択すること。

②実習希望校訪問

教育実習の受入れ依頼については，２年次の「教育実習ガイダンス」等で説明する。実習校によっては，先着順，抽選，授業案・レポートによる選考，面接などを行って決定する場合があるので，なるべく早い時期に実習希望校を訪問することが必要となる。２年生から３年生になる２，３月に出身校を訪問し，申し込み時期・方法，受入れ状況を確認し，可能ならば口頭で内諾を得ておくことが望ましい。

実習希望校の選考にもれるなど，実習校確保が困難な場合は，学校・社会教育講座事務室に申し出て，なるべく早く善後策を講じること。

なお，立教池袋中学・高等学校，立教新座中学・高等学校，立教女学院中学・高等学校における教育実習は原則として出身者のみである。

5. 教育実習までの手続き等

次ページ 8 教育実習参加準備について をよく読んで実習前々年度から行われるガイダンス・事前指導に出席し，手続き等を必ず行うこと。

6. 2022年度教育実習参加予定の学生

⑴　**履修登録**

免許状取得に必要な単位数を満たすように慎重に確認すること。

「中・高教育実習」「高校教育実習」の履修登録は，手続き等がすべて完了していることを確認の上，大学が自動登録する。

⑵　**「教育実習確認票」交付**　2022年４月上旬（予定）

⑶　**教育実習関係書類提出**　2022年４月上旬（予定）

⑷　**定期健康診断の受診**

⑸　**教育実習直前指導**

日時　2022年４月下旬（予定） **場所**　未定

⑹　**教育実習（教育実習校での２～４週間の実習）**

⑺　**「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「授業案」の提出**

所定の期日までに提出のこと。

＊上記⑴～⑺の詳細については，2022年１月に配付予定の『教育実習ハンドブック（手続編）』を熟読すること。

7. 評価

「中・高教育実習」「高校教育実習」の単位は，以下の点を総合して評価する。

1．「教育実習直前指導」への出席

2．実習校からの評価

3．「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「研究授業で使用した授業案」

＊以下に該当した場合は，単位を認めない。

1．「教育実習直前指導」に無断欠席した場合

2．「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「研究授業で使用した授業案」を期限内に提出しなかった場合

8 教育実習参加準備について―教育実習事前指導について

1. 2022年度教育実習参加予定の学生―主に2年次生

■2022年度教育実習に参加希望の学生は，2020年度実施の以下のプログラムに必ず出席すること。

⑴ 「2022年度教育実習ガイダンス」への出席

2022年度に教育実習を希望する学生（2022年度に４年次以上になる学生）は，下記の「**2022年度教育実習ガイダンス**」に必ず出席すること。

このガイダンスで，「履修の記録」（☞下記参照）についても説明をする。

> **日　時　　2020年11月７日（土），11日（水），12日（木）**
> **＊日時・場所の詳細については，９月中旬に学校・社会教育講座掲示板に掲示する（いずれか１回に出席すること）。**

※異文化コミュニケーション学部学生及び大学の留学制度を利用する学生のみ，下記の日程となる。

> **【異文化コミュニケーション学部学生対象】／【大学の留学制度を利用する学生対象】**
> **日　時　　2020年７月４日（土）**
> **＊この「大学の留学制度を利用する学生」とは，2022年度教育実習に参加希望し，大学の留学制度を利用する２年次生以上の学生（留学期間：2020年度秋学期～2021年５月末）である。なお，留学期間の関係で2022年度教育実習に参加することができず，2023年度教育実習参加予定の学生も，当該ガイダンスに出席すること。**
> **＊日時・場所の詳細については，５月中旬に学校・社会教育講座掲示板に掲示する。**

欠席・遅刻・早退の場合は，2022年度教育実習の参加を認めない。

「履修の記録」について

教育職員免許法施行規則改正（2009年４月１日）により，「教職実践演習」（４年次秋学期必修）の履修修得が義務づけられた。一人ひとりの学生の教職課程の履修履歴を把握するための「履修の記録」作成も義務づけられた。

⑵ ⑴のガイダンスで配付する「履修の記録」を指示にしたがい作成すること。

9　教育職員免許状申請手続きについて

教育職員免許法で定める教育職員免許状取得の所要資格を満たした者は，教育委員会に申請手続きをとることにより，教育職員免許状が交付される。免許状授与申請手続きは本来個人で行う（個人申請）ものだが，卒業期（2～3月）は申請が集中するため大学が一括して教育委員会に申請手続きをとる。これを「一括申請」と呼ぶ。

1．一括申請の対象者

一括申請できるのは，卒業（修了）が確実の者で卒業（修了）時までに教職課程所定の単位を修得することが確実な者，または科目等履修生で教職課程所定の単位をその年度内に修得することが確実の者に限る。したがって，一括申請の手続きをしていても，１種免許状取得に必要な教職課程所定の単位や専修免許状取得に必要な自専攻開設科目等の単位が不足している場合，また，卒業（修了）判定が不合格となった場合は，免許状は交付されない。

また，一括申請の該当者であっても教育委員会の電算システム関係で対象外となる場合がある。その際は個人申請*をすること（該当者には個別に指示する）。

＊「５．個人申請」を参照のこと。

2．免許状の授与権者

教育職員免許状は，大学の所在地の教育委員会―池袋キャンパスの学生は東京都教育委員会，新座キャンパスの学生は埼玉県教育委員会―からそれぞれ交付される。

3．一括申請手続

キャンパスによって手続きの内容が異なる。下記注意点をよく読み手続きをすること。

【注意点】

⑴　所属するキャンパスで手続きをすること。

⑵　留年する場合は，次年度（卒業・修了する年度）にあらためて一括申請手続きをすること。

⑶　特別卒業（９月卒業）・特別修了（９月修了）を希望する場合は，一括申請の対象外となるため「個人申請」となる。

⑷　2023年４月以降に教員として就職する場合，一括申請手続をしないと３月末までに免許状を取得できないので注意すること。一括申請手続をせずに教員採用の内定を受けた者は，速やかに所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出ること。

⑸　「一括申請願」の提出によって本年度の申請を調査・確認するので，提出のない場合はいかなる理由があっても，一括申請はできない。

⑹　「一括申請願」提出後，途中で申請を取りやめる場合，また申請した教科の取り下げ等がある場合や，本籍地・姓名を変更した場合は，速やかに所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出ること。

【池袋キャンパスの学生】

⑴　**教育職員免許状一括申請願提出**

①　教育実習に参加する年度の４月上旬に池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室に提出すること。

②　卒業（修了）する年度の前年度までに教育実習を終了している場合は，池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室で「一括申請願」を受け取り，４月末日までに提出すること。

⑵　**「戸籍抄本」の準備**

本籍地等を確認するために提出が必要なため，10月の手続期間までに準備しておくこと。

⑶　**教育職員免許状の一括申請料納入・一括申請手続**

当該年度の４月に一括申請願を提出した学生は，10月下旬の所定の期日に下記の手続きを行うこと。

（一括申請手続きに必要な書類は，学校・社会教育講座事務室から大学に届けている現住所あてに９月下旬～10月上旬にレターパックで送付する。転居等により住所に変更があった場合は，速やかに住所変更手続きを行うこと。７月末までに手続きを行わなかった者は，学校・社会教育講座事務室に申し出ること。）

〈書類提出〉

黒のボールペンまたは万年筆を用いて，必要事項を記入し提出すること（プラスチック消しゴム等で

消せる筆記具は使用不可)。
〈申請料納入〉
① 一括申請料分の証紙を教務事務センターで購入。
② 「教育職員免許状一括申請料証紙貼付台紙」に申請に必要な証紙を貼付。
③ 池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室に「貼付台紙」(上記②),「教育職員免許状授与申請書(一括申請)宣誓書」(東京都教育委員会提出書類・本人の署名,捺印)および「戸籍抄本」を提出。宣誓書は朱肉使用のハンコを使用して捺印すること(インク浸透印－シャチハタ等－の使用不可)。
④ 一旦納入した申請料および提出書類はいかなる理由があっても返却しない。

【新座キャンパスの学生】

⑴ 教育職員免許状一括申請願提出
① 教育実習に参加する年度の４月上旬に新座キャンパス学校・社会教育講座事務室に提出すること。
② 卒業(修了)する年度の前年度までに教育実習を終了している場合は,新座キャンパス学校・社会教育講座事務室で「一括申請願」を受け取り,４月末日までに提出すること。

⑵ 「戸籍抄本」の準備
埼玉県教育委員会提出用に当該年度の10月１日以降発行の「戸籍抄本」を手元に準備しておくこと。

⑶ 教育職員免許状の一括申請料納入・一括申請手続
当該年度の４月に一括申請願を提出した学生は,10月下旬の所定の期日に下記の手続きを行うこと。
(一括申請手続きに必要な書類は,学校・社会教育講座事務室から大学に届けている現住所あてに９月下旬～10月上旬にレターパックで送付する。転居等により住所に変更があった場合は,速やかに住所変更手続きを行うこと。７月末までに手続きを行わなかった者は,学校・社会教育講座事務室に申し出ること。)
〈書類提出〉
黒のボールペンまたは万年筆を用いて,必要事項を記入し提出すること(プラスチック消しゴム等で消せる筆記具は使用不可)。
〈申請料納入〉
① 一括申請料分の証紙を教務事務センターで購入。
② 「教員免許状一括申請料証紙貼付台紙」に申請に必要な証紙を貼付。
③ 新座キャンパス学校・社会教育講座事務室に「貼付台紙」(上記②)と「教育職員免許状授与願」,「履歴書」(埼玉県教育委員会提出書類・本人の署名)および「戸籍抄本」を提出。
④ 一旦納入した申請料および提出書類はいかなる理由があっても返却しない。

4. １種免許状をすでに持っている大学院学生の場合

すでに１種免許状をもっている大学院学生の場合は,修了予定年度に「3. 一括申請手続」(前ページ)を行うこと。
ただし,「一括申請願」の提出は,４月末日までとし,この「申請願」提出の際に「１種免許状のコピー(両面)」を必ず添えること。

5. 個人申請

一括申請の手続きをとらなかった者は,「個人申請」となる。
なお,この場合の免許状の申請,授与は４月以降となるので注意すること。
1.「個人申請」は,卒業(修了)後,本人の居住する(住民票のある)都道府県の教育委員会へ必要書類一式を提出し,申請する。
2. 各都道府県教育委員会により申請方法が異なるので,申請する前にその教育委員会に問い合わせること。

6. 免許状の交付

教育職員免許状を一括申請した者には,卒業式または大学院学位授与式当日に免許状を交付する。詳細については,当該年度の講座履修要項,R Guideならびに学校・社会教育講座掲示板を確認すること。

10 履修上の注意

各学科（専修）・各教科の「課程表」のとおり，免許状取得に必要な科目を履修すること。科目履修に際しての留意点は以下のとおり。

1. 教職課程設置科目全般

⑴ 履修年次は「教職課程設置科目表」の配当年次に従うこと。
⑵ 教職課程設置科目については，同一科目の重複履修は認められない。

2. 各教科の指導法

各教科教育法の履修方法は以下のとおり。該当の学科（専修）・取得希望教科の「課程表」に従い，自学科（専修）で取得できる教科の教育法を履修すること（注１）。自学科（専修）で取得することが認められていない教科の教育法は，原則として履修することができない。以下を熟読のうえ履修すること。

（注１） 2019年度以降入学の異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科学生は，教職課程設置の「教科教育法」ではなく，自学科設置の「教科の指導法」科目を履修すること。
ただし，在学中に他学科に転科した場合は，修得済みの「教科の指導法」科目をもって，教職課程設置の「教科教育法」に充てることはできない。
詳細については，自学科の「課程表」ならびに異文化コミュニケーション学部履修要項を参照のこと。

⑴「教科教育法演習１」を履修するためには，「教科教育法１」を修得済みでなければならない。
⑵「教科教育法２」を履修するためには，「教科教育法１」を修得済みか同時履修しなければならない。
⑶「教科教育法演習２」を履修するためには，「教科教育法１」および「教科教育法２」を修得済みでなければならない。
⑷ 複数クラス開講の「教科教育法１」および「教科教育法演習１」については，同一アルファベットのクラスをセットで履修すること。また，複数クラス開講の「教科教育法２」および「教科教育法演習２」についても，同一アルファベットのクラスをセットで履修すること。
ただし，休学・留学などにより，異なる年度にまたがって「教科教育法１」と「教科教育法演習１」，または「教科教育法２」と「教科教育法演習２」を履修する場合は，所属キャンパスの教務事務センターに申し出ること。
⑸ 中学校１種免許状を取得するためには，取得希望免許教科の「教科教育法１」「教科教育法演習１」「教科教育法２」「教科教育法演習２」を修得する必要がある。このうち，「教科教育法１」および「教科教育法演習１」は、「教育実習」の先修科目である。
なお，中学・高校両方の免許状を取得する場合も，同様である（注２）。
（注２）「中学社会」「高校地理歴史」「高校公民」の免許状取得が可能な学科に在籍し，３教科すべてを取得希望の場合，下表のいずれかの組み合わせで合計12単位を修得すること。

Aパターン	Bパターン
社会・地理歴史科教育法１	社会・公民科教育法１
社会・地理歴史科教育法演習１	社会・公民科教育法演習１
社会・地理歴史科教育法２	社会・公民科教育法２
社会・地理歴史科教育法演習２	社会・公民科教育法演習２
社会・公民科教育法１	社会・地理歴史科教育法１
社会・公民科教育法演習１	社会・地理歴史科教育法演習１

⑹ 高等学校１種免許状のみを取得するためには，取得希望免許教科の「教科教育法１」「教科教育法演習１」を修得する必要がある。同２科目は，「教育実習」の先修科目である。
⑺ 複数教科（社会科・地理歴史科・公民科を除く）の免許状取得が可能な学科に在籍し，複数教科の免許状取得を希望する場合は，免許教科ごとに「教科教育法」を修得する必要がある。３年次にすべ

て履修できない場合は，「教育実習」を行う免許教科を優先して履修すること。

3. 特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法

⑴「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法（A）（N）」は，中高生対象の学習ボランティアに参加する体験を重視した科目内容である。４月期に科目コード登録を済ませたうえで，オリエンテーションに必ず出席し，指示に従うこと。詳細は，シラバス（Web）を参照すること。

「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法（A）（N）」オリエンテーション

■第１回（池袋）　４月15日（水）　18：10～　　7101教室
■第２回（新座）　４月17日（金）　18：10～　　N214教室
■第３回（池袋）　４月20日（月）　18：10～　　7101教室
※上記３回のうちいずれか１回に出席すること

⑵ 異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科の学生で，今年度秋学期に「海外留学研修Ａ」「海外留学研修Ｂ」の履修を予定している者は，今年度「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」を履修することはできない。また，今年度秋学期から翌年度春学期にかけて，「海外留学研修Ｃ１」「同Ｃ２」の履修を予定している者で，今年度「特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法」の履修を希望する者は，教務事務センターに申し出ること（「海外留学研修」については，異文化コミュニケーション学部履修要項を参照）。

4. 教育実習

⑴「中・高教育実習」または「高校教育実習」を履修するためには，教育実習前年度までに，以下の科目を修得済みでなければならない。

「中・高教育実習」 「高校教育実習」 先修科目	教育原論
	教育制度論・教育課程論
	教育心理学
	生徒・進路指導の理論と方法
	教職概論
	教科教育法１（注）
	教科教育法演習１（注）
	中・高教育実習事前指導

（注）異文化コミュニケーション学科学生は，自学科開設の「教科の指導法」科目を教育実習前年度までに修得すること。

＊「商業」希望者は，上記の他に「簿記１」「簿記２」を教育実習前年度までに修得すること。

⑵「中・高教育実習」「高校教育実習」は自動登録科目である。上記⑴の条件を満たし，かつ所定の手続きをすべて完了した者について，大学が履修登録を行う。

5. 教職実践演習

「教職実践演習（中・高）」は，「その他」登録科目である。履修する場合は，「教職実践演習（中・高）」履修希望届を所定の方法で提出すること。詳細については，当該年度の講座履修要項を参照のこと。

11 カリキュラム

別表３ 「教育職員免許法施行規則に定められた科目」と「本学における開講科目」

教育職員免許法施行規則に定められた科目	各科目に含めることが必要な事項	本学での開講科目名	必要単位数	
			中学1種	高校1種
教科及び教科の指導法に関する科目	・教科に関する専門的事項	各学科開講科目	20 注１	20 注１
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語科教育法１，２ 国語科教育法演習１，２ 社会・地理歴史科教育法１，２ 社会・地理歴史科教育法演習１，２ 社会・公民科教育法１，２ 社会・公民科教育法演習１，２ 数学科教育法１，２ 数学科教育法演習１，２ 理科教育法１，２ 理科教育法演習１，２ 英語科教育法１，２ 注２ 英語科教育法演習１，２ 注２ ドイツ語科教育法１，２ ドイツ語科教育法演習１，２ フランス語科教育法１，２ フランス語科教育法演習１，２ 宗教科教育法１，２ 宗教科教育法演習１，２ 保健体育科教育法１，２ 保健体育科教育法演習１，２	免許教科ごとに8	免許教科ごとに4 注２
		商業科教育法１ 商業科教育法演習１ 情報科教育法１ 情報科教育法演習１ 福祉科教育法１ 福祉科教育法演習１		
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	2	2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む）	教育制度論・教育課程論	2	2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の理論と方法	2	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と方法	2	
	・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2	2
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	2	2
	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校教育相談の理論と方法	2	2
教育実践に関する科目	・教育実習	中・高教育実習事前指導	1	1
		中・高教育実習	4	
		高校教育実習		2
	・教職実践演習	教職実践演習（中・高）	2	2
大学が独自に設定する科目 注１		「教科に関する専門的事項」超過分	4 注１	12 注１
		合　　計	59	59

注１　20単位を超えて修得した「教科に関する専門的事項」の単位は，「大学が独自に設定する科目」に算入される。
　　自由選択科目「教職特別演習」を修得した場合，その単位は，「大学が独自に設定する科目」に算入される。

注２　異文化コミュニケーション学科学生は，「課程表」を参照すること。

別表４　本学における免許状取得要件単位

区分		科目名		中学校免許状取得要件	高等学校免許状取得要件
「教科に関する専門的事項」は，所属学科（専修）・学校種・免許教科ごとに定められている。各「課程表」を参照すること。				24	32
必修科目A1	教育実習参加前年度までに単位の修得が必要	教育原論		2	2
		教育心理学		2	2
		教育制度論・教育課程論		2	2
		生徒・進路指導の理論と方法		2	2
		教職概論		2	2
		中・高教育実習事前指導		1	1
必修科目A2		教科教育法１　注１		2	2
		教科教育法演習１　注１		2	2
必修科目B	免許状申請時までに単位の修得が必要	道徳教育の理論と方法		2	
		特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法		2	2
		教育方法論		2	2
		学校教育相談の理論と方法		2	2
		特別支援教育の理論と方法		2	2
		教科教育法２　注１		2	
		教科教育法演習２　注１		2	
必修科目C	4年次以上	中・高教育実習		4	
		高校教育実習			2
必修科目D		教職実践演習（中・高）		2	2
自由選択科目	3年次以上	教職特別演習		2	2
必修科目	日本国憲法		科目名については各「課程表」を参照 注２	2	2
	体育			2	2
	情報機器の操作			2	2
	外国語コミュニケーション			2	2

注１　取得予定免許教科ごとに修得しなくてはならない。
　　異文化コミュニケーション学科学生は，「課程表」を参照すること。
注２　「免許法施行規則第66条の６に定める科目」は，本学では全学共通科目または各学部開講科目を履修することになる。科目の中には抽選登録科目もあるので科目設置学部の『履修要項』を熟読し，早い学年から履修・修得するよう努めること。

教職課程設置科目表

2019年度以降入学者適用

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目A-1（教育実習参加前年度まで必修）										
GX301	教育原論（A）	森田満夫	2	春	池袋	2	2	1·2·3·4	CET1100	
GX302	教育原論（B）	小川智瑞恵	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX303	教育原論（C）	篠原康正	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX304	教育原論（D）	藤本典裕	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX850	教育原論（M）	下地秀樹	2	春	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX851	教育原論（N）	東　宏行	2	春	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX611	教育心理学（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋	2	2	1·2·3·4	CET1100	
GX612	教育心理学（B）	駒屋雄高	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX613	教育心理学（C）	岸　竜馬	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX614	教育心理学（D）	野口隆子	2	春	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX710	教育心理学（M）	原　美香	2	春	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX711	教育心理学（N）	茂垣まどか	2	春	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX331	教育制度論・教育課程論（A）	森田満夫	2	秋	池袋	2	2	1·2·3·4	CET1100	
GX332	教育制度論・教育課程論（B）	福島賢二	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX333	教育制度論・教育課程論（C）	篠原康正	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX334	教育制度論・教育課程論（D）	藤本典裕	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1100	
GX855	教育制度論・教育課程論（M）	福島賢二	2	秋	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX856	教育制度論・教育課程論（N）	東　宏行	2	秋	新座			1·2·3·4	CET1100	
GX321	生徒・進路指導の理論と方法（A）	坂本保宏	2	秋	池袋	2	2	1·2·3·4	CET1300	
GX322	生徒・進路指導の理論と方法（B）	青木猛正	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1300	
GX323	生徒・進路指導の理論と方法（C）	三好昭子	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1300	
GX324	生徒・進路指導の理論と方法（D）	逸見敏郎	2	秋	池袋			1·2·3·4	CET1300	
GX870	生徒・進路指導の理論と方法（M）	平野和弘	2	秋	新座			1·2·3·4	CET1300	
GX871	生徒・進路指導の理論と方法（N）	原　美香	2	秋	新座			1·2·3·4	CET1300	
GA271	教職概論（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋	2	2	2·3·4	CET2000	
GA272	教職概論（B）	森田満夫	2	春	池袋			2·3·4	CET2000	
GA273	教職概論（C）	奈須恵子	2	春	池袋			2·3·4	CET2000	
GA274	教職概論（D）	逸見敏郎	2	春	池袋			2·3·4	CET2000	
GA732	教職概論（M）	青木猛正	2	春	新座			2·3·4	CET2000	
GA733	教職概論（N）	鵜殿　篤	2	春	新座			2·3·4	CET2000	
	中・高教育実習事前指導		1		池袋	1		3·4	CET3420	
	中・高教育実習事前指導（N）		1		新座			3·4	CET3420	
必修科目A-2（教育実習参加前年度までに必修-教科等により科目が異なる）										
	国語科教育法1		2		池袋	免許教科ごとに4単位	免許教科ごとに4単位	3·4	CET3200	
	国語科教育法演習1		2		池袋			3·4	CET3210	「国語科教育法1」先修
	社会・地理歴史科教育法1（A）		2		池袋			3·4	CET3200	
	社会・地理歴史科教育法1（B）		2		池袋			3·4	CET3200	
	社会・地理歴史科教育法1（N）		2		新座			3·4	CET3200	
	社会・地理歴史科教育法演習1（A）		2		池袋			3·4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（A）」先修
	社会・地理歴史科教育法演習1（B）		2		池袋			3·4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（B）」先修
	社会・地理歴史科教育法演習1（N）		2		新座			3·4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（N）」先修
	社会・公民科教育法1（A）		2		池袋			3·4	CET3200	
	社会・公民科教育法1（B）		2		池袋			3·4	CET3200	
	社会・公民科教育法1（N）		2		新座			3·4	CET3200	
	社会・公民科教育法演習1（A）		2		池袋			3·4	CET3210	「社会・公民科教育法1（A）」先修
	社会・公民科教育法演習1（B）		2		池袋			3·4	CET3210	「社会・公民科教育法1（B）」先修
	社会・公民科教育法演習1（N）		2		新座			3·4	CET3210	「社会・公民科教育法1（N）」先修
	数学科教育法1		2		池袋			3·4	CET3200	
	数学科教育法演習1		2		池袋			3·4	CET3210	「数学科教育法1」先修
	理科教育法1		2		池袋			3·4	CET3200	
	理科教育法演習1		2		池袋			3·4	CET3210	「理科教育法1」先修

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
	英語科教育法１（A）		2		池袋	免許教科ごとに4単位	免許教科ごとに4単位	3･4	CET3200	異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	英語科教育法１（B）		2		池袋			3･4	CET3200	異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	英語科教育法演習１（A）		2		池袋			3･4	CET3210	「英語科教育法１(A)」先修 異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	英語科教育法演習１（B）		2		池袋			3･4	CET3210	「英語科教育法１(B)」先修 異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	ドイツ語科教育法１		2		池袋			3･4	CET3200	
	ドイツ語科教育法演習１		2		池袋			3･4	CET3210	「ドイツ語科教育法１」先修
	フランス語科教育法１		2		池袋			3･4	CET3200	
	フランス語科教育法演習１		2		池袋			3･4	CET3210	「フランス語科教育法１」先修
	宗教科教育法１		2		池袋			3･4	CET3200	
	宗教科教育法演習１		2		池袋			3･4	CET3210	「宗教科教育法１」先修
	保健体育科教育法１		2		新座			3･4	CET3200	
	保健体育科教育法演習１		2		新座			3･4	CET3210	「保健体育科教育法１」先修
	商業科教育法１		2		池袋			3･4	CET3200	
	商業科教育法演習１		2		池袋			3･4	CET3210	「商業科教育法１」先修
	情報科教育法１		2		池袋			3･4	CET3200	
	情報科教育法演習１		2		池袋			3･4	CET3210	「情報科教育法１」先修
	福祉科教育法１		2		新座			3･4	CET3200	
	福祉科教育法演習１		2		新座			3･4	CET3210	「福祉科教育法１」先修
必修科目B（免許状申請時までに修得しなくてはならない科目）										
GA151	道徳教育の理論と方法（A）	走井洋一	2	春	池袋	2		1･2･3･4	CET1200	
GA152	道徳教育の理論と方法（B）	内海﨑貴子	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA153	道徳教育の理論と方法（C）	岩瀧大樹	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA154	道徳教育の理論と方法（D）	伊東　毅	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA750	道徳教育の理論と方法（M）	小川智瑞恵	2	春	新座			1･2･3･4	CET1200	
GA751	道徳教育の理論と方法（N）	鵜殿　篤	2	春	新座			1･2･3･4	CET1200	
GA162	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法（A）	全専任教員	2	通年他	池袋	2	2	2･3･4	CET2220	
GA760	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法（N）	全専任教員	2	通年他	新座			2･3･4	CET2220	
GA191	教育方法論（A）	富田充保	2	秋	池袋	2	2	2･3･4	CET2200	
GA192	教育方法論（B）	坂本保宏	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	
GA193	教育方法論（C）	永島孝嗣	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	
GA194	教育方法論（D）	澤田　稔	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	
GA740	教育方法論（M）	木村範子	2	秋	新座			2･3･4	CET2200	
GA742	教育方法論（N）	田中里佳	2	秋	新座			2･3･4	CET2200	
GA282	学校教育相談の理論と方法（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋	2	2	2･3･4	CET2300	
GA283	学校教育相談の理論と方法（B）	駒屋雄高	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA284	学校教育相談の理論と方法（C）	千葉健司	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA285	学校教育相談の理論と方法（D）	山崎洋史	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA870	学校教育相談の理論と方法（M）	小栗貴弘	2	春	新座			2･3･4	CET2300	
GA871	学校教育相談の理論と方法（N）	原　美香	2	春	新座			2･3･4	CET2300	
GA141	特別支援教育の理論と方法（A）	青木猛正	2	秋	池袋	2	2	2･3･4	CET2300	
GA142	特別支援教育の理論と方法（B）	武田瑞穂	2	秋	池袋			2･3･4	CET2300	
GA143	特別支援教育の理論と方法（C）	山下洋児	2	秋	池袋			2･3･4	CET2300	
GA144	特別支援教育の理論と方法（D）	青木猛正	2	秋	池袋			2･3･4	CET2300	
GA720	特別支援教育の理論と方法（M）	武田瑞穂	2	秋	新座			2･3･4	CET2300	
GA721	特別支援教育の理論と方法（N）	山下洋児	2	秋	新座			2･3･4	CET2300	
	国語科教育法２		2		池袋	免許教科ごとに4単位		3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「国語科教育法１」同時履修または先修
	国語科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「国語科教育法１」および「国語科教育法２」先修
	社会・地理歴史科教育法２（A）		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・地理歴史科教育法１」同時履修または先修
	社会・地理歴史科教育法２（B）		2		池袋			3･4	CET3200	
	社会・地理歴史科教育法２（N）		2		新座			3･4	CET3200	

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
	社会・地理歴史科教育法演習２（A）		2		池袋	免許教科ごとに4単位		3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・地理歴史科教育法１」および「社会・地理歴史科教育法２(A)」先修
	社会・地理歴史科教育法演習２（B）		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・地理歴史科教育法１」および「社会・地理歴史科教育法２(B)」先修
	社会・地理歴史科教育法演習２（N）		2		新座			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・地理歴史科教育法１」および「社会・地理歴史科教育法２(N)」先修
	社会・公民科教育法２（A）		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「社会・公民科教育法１」同時履修または先修
	社会・公民科教育法２（B）		2		池袋			3･4	CET3200	
	社会・公民科教育法２（N）		2		新座			3･4	CET3200	
	社会・公民科教育法演習２（A）		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・公民科教育法１」および「社会・公民科教育法２(A)」先修
	社会・公民科教育法演習２（B）		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・公民科教育法１」および「社会・公民科教育法２(B)」先修
	社会・公民科教育法演習２（N）		2		新座			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修,「社会・公民科教育法１」および「社会・公民科教育法２(N)」先修
	数学科教育法２		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「数学科教育法１」同時履修または先修
	数学科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「数学科教育法１」および「数学科教育法２」先修
	理科教育法２		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「理科教育法１」同時履修または先修
	理科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「理科教育法１」および「理科教育法２」先修
	英語科教育法２（A）		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「英語科教育法１」同時履修または先修 異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	英語科教育法２（B）		2		池袋			3･4	CET3200	
	英語科教育法演習２（A）		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「英語科教育法１」および「英語科教育法２(A)」先修 異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	英語科教育法演習２（B）		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「英語科教育法１」および「英語科教育法２(B)」先修 異文化コミュニケーション学科学生は「課程表」参照
	ドイツ語科教育法２		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「ドイツ語科教育法１」同時履修または先修
	ドイツ語科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「ドイツ語科教育法１」および「ドイツ語科教育法２」先修
	フランス語科教育法２		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「フランス語科教育法１」 同時履修または先修
	フランス語科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「フランス語科教育法１」および「フランス語科教育法２」先修
	宗教科教育法２		2		池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「宗教科教育法１」同時履修または先修
	宗教科教育法演習２		2		池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「宗教科教育法１」および「宗教科教育法２」先修
	保健体育科教育法２		2		新座			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修「保健体育科教育法１」同時履修または先修
	保健体育科教育法演習２		2		新座			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修「保健体育科教育法１」および「保健体育科教育法２」先修
必修科目C（教育実習）										
	中・高教育実習		4		池袋	4		4	CET4420	中学・高校免許取得希望者対象科目「中・高教育実習事前指導」先修
	中・高教育実習（N）		4		新座			4	CET4420	中学・高校免許取得希望者対象科目「中・高教育実習事前指導(N)」先修
	高校教育実習		2		池袋		2	4	CET4420	高校免許取得希望者対象科目「中・高教育実習事前指導」先修
	高校教育実習（N）		2		新座			4	CET4420	高校免許取得希望者対象科目「中・高教育実習事前指導(N)」先修
必修科目D（教職実践演習）										
	教職実践演習（中・高）（A）		2		池袋	2	2	4	CET4510	「中・高教育実習」または「高校教育実習」を同時履修または先修
	教職実践演習（中・高）（B）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（C）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（D）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（E）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（F）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（G）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（H）		2		池袋			4	CET4510	
	教職実践演習（中・高）（M）		2		新座			4	CET4510	「中・高教育実習(N)」または「高校教育実習(N)」を同時履修または先修
	教職実践演習（中・高）（N）		2		新座			4	CET4510	

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
自由選択科目										
	教職特別演習（A）		2		池袋	希望者		3･4	CET3610	
	教職特別演習（B）		2		池袋	希望者		3･4	CET3610	

以下の科目は，科目名が２０文字を超えるため，和文成績証明書には省略された科目名が記載される。

科目名	和文成績証明書に記載される科目名
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法(A)／(N)	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方

学科別・免許教科別「課程表」の見方

学部・学科（専修），免許状の学校種・教科，入学年度ごとに「課程表」が異なるので，該当する「課程表」を参照すること。

文学部キリスト教学科　　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

- ・必修（※）
  ：必ず修得
- ・選択必修（※）
  ：指定された枠内の科目から，指定された単位数を修得
- ・選択／自由選択
  ：各自が選択して修得

※一般的・包括的内容を含む科目

「必修・選択必修・選択・自由選択」の区分は，卒業要件と免許状取得要件とでは異なるので注意すること。

- ・キリスト教学入門講義１（２単位）
- ・キリスト教学入門講義２（２単位）

を表す。
単位欄に「各○」と記載されている科目は，免許取得要件上はセットで修得しなくても良い。

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件	法令上の区分
必修	日本史	2	文学部		4単位	日本史・外国史
	世界史	2				
選択	キリスト教学講義17～28，37，38	各2				
選択必修	地理学概説1	2		2単位選択必修	4単位以上	地理学（地誌を含む）
	地理学概説2	2				
	地誌学1	2		2単位選択必修		
	地誌学2	2				
必修	法律学	2			2単位	「社会学，経済学」
選択必修	社会学	2		2単位選択必修	2単位以上	
	経済学	2				
選択	キリスト教学講義13，35，36	各2			32単位	「哲学，倫理学，宗教学」
必修	キリスト教学講義11	各2				
	キリスト教学講義12					
選択	演習A1～A10	各2				
	キリスト教学入門講義1，2	各2				
	キリスト教学講義7～10	各2				
必修	社会・地理歴史科教育法1，2	各2		「社会・地理歴史科教育法1，2」「同演習1，2」または，「社会・公民科教育法1，2」「同演習1，2」のいずれか計8単位を修得	8単位	各教科の指導法
	社会・地理歴史科教育法演習1，2	各2				
	社会・公民科教育法1，2	各2				
	社会・公民科教育法演習1，2	各2				
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			理念，歴
	教職概論	2				教職の意
	教育制度論・教育課程論	2				制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2				心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2				特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2			27単位	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2				「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2				方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2				生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2				相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1				教育実習
	中・高教育実習	4				
	教職実践演習（中・高）	2				教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			-	大学が独自に設定する科目
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位	日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位	体育
	スポーツスタディ1～4	各2				
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位	外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位	情報機器の操作
	情報処理2	2				
	情報処理3a～3d	各2				
	情報処理4a～4d	各2				

免許取得要件を全て満たすこと。

指定された枠内の科目から，４単位以上を修得すること。

指定された枠内の科目から，２単位以上を修得すること。

10　履修上の注意
「２．各教科の指導法」を必ず確認のこと。

科目の中には抽選登録科目もあるので，早い学年から履修・修得するように努めること。

履修規定・登録方法等は，指定の「履修要項」で確認し，その内容に従うこと。
同じ科目名でも，自学部の「履修要項」に記載のある科目を修得しなければ，免許状取得要件を満たさない。
また，記載されている科目は毎年度開講されるとは限らないので，併せて確認すること。

「課程表」の見方に関する留意点

1．表に記載された注記や，参照を指示された別表がある場合は確認すること。

2．「課程表」の備考欄に年度指定の記載がある場合，指定されている以外の年度に修得した単位は，免許状取得要件とはならない。

3．「教科に関する専門的事項」の科目は廃止または追加されることがある。備考欄に「廃止」と記載されている場合，廃止される以前に修得していれば「教科に関する専門的事項」として認められる。また「新設」と記載されている場合，新設された年度以前に修得しても「教科に関する専門的事項」として認められない。

4．自学部・学科の異なる免許教科の「課程表」に同じ科目がある場合は，一度単位を修得すれば両教科の免許状取得に必要な単位数に算入することができる。
（例：「文学部キリスト教学科　中学社会」と「文学部キリスト教学科　高校地理歴史」）

5．「教科に関する専門的事項」の科目のうち，設置学部・学科の履修規定により同じ科目を２回以上重複履修できるのであれば，いずれの単位も免許状取得に必要な単位数に算入することができる。

6．「教科に関する専門的事項」のうち，必修・選択必修科目を「免許取得要件」に指定されたとおりに修得することを必須とする。それ以外は選択科目から修得し，免許状取得要件単位数を満たすこと。選択科目に未修得の区分があっても差し支えない。なお，必修・選択必修科目について，「免許取得要件」として指定された以上の単位数を修得した場合，超過分は免許状取得要件単位数（選択科目）として算入できる（ただし，「中学国語（１種）」の「書道１」「書道２」については取り扱いが異なるため，当該「課程表」の注記を確認のこと）。

7．免許状取得要件における「必修」「選択必修」「選択」等の履修区分は，卒業要件における履修区分とは異なる。

8．「教科に関する専門的事項」の科目が，卒業要件単位となるか否かについては，所属学部の履修要項を確認のこと。

文学部キリスト教学科　　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	文学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	世界史	2								
選択	キリスト教学講義17～28，37，38	各2								
選択必修	地理学概説1	2		2単位選択必修	4単位以上					地理学（地誌を含む。）
	地理学概説2	2								
	地誌学1	2		2単位選択必修						
	地誌学2	2								
必修	法律学	2			2単位					「法律学，政治学」
選択必修	社会学	2		2単位選択必修	2単位以上					「社会学，経済学」
	経済学	2								
選択	キリスト教学講義13，35，36	各2								
必修	キリスト教学講義11	各2			4単位					「哲学，倫理学，宗教学」
	キリスト教学講義12									
選択	演習A1～A10	各2								
	キリスト教学講義7～10	各2								
	キリスト教学入門講義1，2	各2								
必修	社会・地理歴史科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座	「社会・地理歴史科教育法1，2」「同演習1，2」または，「社会・公民科教育法1，2」「同演習1，2」のいずれか計8単位を修得	8単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1，2	各2								
	社会・公民科教育法1，2	各2								
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部キリスト教学科　高校地理歴史（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	文学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史
選択	キリスト教学講義37，38	各2								
必修	世界史	2			2単位					外国史
選択	キリスト教学講義17～28	各2								
必修	地理学概説1	2			8単位					人文地理学・自然地理学
	地理学概説2	2								
	自然地理学1	2								
	自然地理学2	2								
必修	地誌学1	2			4単位					地誌
	地誌学2	2								
必修	社会・地理歴史科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部キリスト教学科　高校公民（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	法律学	2	文学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
選択必修	社会学	2		2単位選択必修	2単位以上					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	経済学	2								
選択	キリスト教学講義13，35，36	各2								「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
必修	キリスト教学講義7，8	各2			4単位					
選択	演習A1～A10	各2								
	キリスト教学講義9～12，14	各2								
	キリスト教学入門講義1，2	各2								
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳，総合的学習の時間	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部キリスト教学科　　中学宗教（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	キリスト教学入門講義1，2	各2	文学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学
選択	キリスト教学講義1～4，7，8	各2								
必修	キリスト教学入門講義3，4	各2			4単位					宗教史
選択	キリスト教学講義19～28，37，38	各2		2020年度から廃止						
必修	キリスト教学講義9，10	各2			4単位					「教理学，哲学」
選択	キリスト教学講義5，6，33，34	各2								
必修	宗教科教育法1，2	各2			8単位				各教科の指導法	
	宗教科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部キリスト教学科　高校宗教（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	キリスト教学入門講義1，2	各2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学
選択	キリスト教学講義1～4，7，8	各2								
必修	キリスト教学入門講義3，4	各2			4単位					宗教史
選択	キリスト教学講義19～28，37，38	各2		2020年度から廃止						
必修	キリスト教学講義9，10	各2			4単位					「教理学，哲学」
選択	キリスト教学講義5，6，33，34	各2								
必修	宗教科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	宗教科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部史学科　　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
選択必修	日本史概論1	2	文学部	2単位選択必修	4単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	日本史概論2	2								
選択必修	世界史概論1	2		2単位選択必修						
	世界史概論2	2								
選択	史学講義1，3，5，9，15，27，28，31，32，36，39，42，43，49	各2		「史学講義49」は2020年度から新設						
	超域文化学講義8，12	各2								
選択必修	地理学概説1	2		2単位選択必修	4単位以上					地理学（地誌を含む。）
	地理学概説2	2								
	地誌学1	2		2単位選択必修						
	地誌学2	2								
選択	超域文化学講義3，15，16	各2								
選択必修	比較政治史1	2		2単位選択必修	2単位以上					「法律学，政治学」
	比較政治史2	2								
選択	史学講義10，19	各2								
必修	社会学	2			2単位					「社会学，経済学」
選択	史学講義21，23，38，45	各2								
	超域文化学講義4，7	各2								
選択必修	哲学概論1	2		2単位選択必修	2単位以上					「哲学，倫理学，宗教学」
	哲学概論2	2								
	哲学的人間学	2								
	現代倫理	2								
	倫理思想	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
選択	史学講義25	2								
	超域文化学講義11	2								
必修	社会・地理歴史科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座	「社会・地理歴史科教育法1，2」「同演習1，2」または，「社会・公民科教育法1，2」「同演習1，2」のいずれか計8単位を修得	8単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1，2	各2								
	社会・公民科教育法1，2	各2								
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			－			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部史学科　　高校地理歴史（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史概論1	2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史
	日本史概論2	2								
選択	史学講義27，28，31，32，36，39，42，43，49	各2		「史学講義49」は2020年度から新設						
必修	世界史概論1	2			4単位					外国史
	世界史概論2	2								
選択	史学講義1，3，5，9，15	各2								
選択	超域文化学講義8，12	各2								
必修	地理学概説1	2			8単位					人文地理学・自然地理学
	地理学概説2	2								
	自然地理学1	2								
	自然地理学2	2								
選択	超域文化学講義15，16	各2								
必修	地誌学1	2			4単位					地誌
	地誌学2	2								
選択	超域文化学講義3	2								
必修	社会・地理歴史科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			ー			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部史学科　高校公民（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	比較政治史1	2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
	比較政治史2	2								
選択	史学講義10，19	各2								「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
必修	社会学	2			2単位					
選択	史学講義21，23，38，45	各2								
選択	超域文化学講義4，7	各2								「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
選択必修	哲学概論1	2		6単位選択必修	6単位以上					
	哲学概論2	2								
	哲学的人間学	2								
	現代倫理	2								
	倫理思想	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
	心理学1	2								
	心理学2	2								
選択	史学講義25	2								
	超域文化学講義11	2								
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部教育学科　　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	文学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	世界史	2								
選択必修	地理学概説1	2		2単位選択必修	4単位以上					地理学（地誌を含む。）
	地理学概説2	2								
	地誌学1	2		2単位選択必修						
	地誌学2	2								
選択必修	法律学	2		2単位選択必修	2単位以上					「法律学，政治学」
	政治学	2								
選択	家庭教育論	2								
	環境教育論	2								
	教育制度・政策論	2								
	教育と福祉	2								
選択必修	社会学	2		2単位選択必修	2単位以上					「社会学，経済学」
	経済学	2								
選択	キリスト教学講義13，35，36	各2								
	史学講義21，23，24	各2								
必修	哲学的人間学	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学」
選択	人間と哲学1，2	各2								
	倫理思想	2								
	教育と宗教	2								
	キリスト教と教育1，2	各2								
	宗教思想1，2	各2								
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

（注）文学部教育学科教育学専攻課程の学生は，中学社会免許状取得要件科目（教職課程設置科目）の内，一部の科目について教育学科設置科目をもって充てることができる（㉗下表参照）。ただし，在学中に転科した場合は充てることができない。

教職課程設置科目	教育学科設置科目
教育原論	教育学
教育制度論・教育課程論	教育社会学1　および　教育課程論　【2科目必修】
教育心理学	教育心理学1
特別支援教育の理論と方法	特別支援教育の理論と方法
道徳教育の理論と方法	道徳教育の理論と方法
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	総合的な学習の時間の理論と方法　および　特別活動の理論と方法　【2科目必修】
教育方法論	教育方法学
生徒・進路指導の理論と方法	生徒指導・進路指導
学校教育相談の理論と方法	教育相談

文学部教育学科　高校公民（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	法律学	2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
	政治学	2								
選択	家庭教育論	2								
	環境教育論	2								
	教育制度・政策論	2								
	教育と福祉	2								
必修	社会学	2			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	経済学	2								
選択	キリスト教学講義13，35，36	各2								
	史学講義21，23，24	各2								
選択必修	哲学的人間学	2		4単位選択必修	4単位以上					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
	倫理思想	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
	心理学1	2								
	心理学2	2								
選択	教育と宗教	2								
	キリスト教と教育1，2	各2								
	人間と哲学1，2	各2								
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

（注）文学部教育学科教育学専攻課程の学生は，高校公民免許状取得要件科目（教職課程設置科目）の内，一部の科目について教育学科設置科目をもって充てることができる（☞下表参照）。ただし，在学中に転科した場合は充てることができない。

教職課程設置科目	教育学科設置科目
教育原論	教育学
教育制度論・教育課程論	教育社会学1　および　教育課程論　【2科目必修】
教育心理学	教育心理学1
特別支援教育の理論と方法	特別支援教育の理論と方法
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	総合的な学習の時間の理論と方法　および　特別活動の理論と方法　【2科目必修】
教育方法論	教育方法学
生徒・進路指導の理論と方法	生徒指導・進路指導
学校教育相談の理論と方法	教育相談

文学部文学科英米文学専修　中学英語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	文学講義1（英語学概説1）	2	文学部		6単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
必修	文学講義2（英語学概説2）	2	文学部		6単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
必修	文学講義31（音声学1）	2	文学部		6単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択	演習B17～B20，B27，B28	各2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択	文学講義27（英語発達史1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択	文学講義28（英語発達史2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択	文学講義29（英語構造論1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択	文学講義30（英語構造論2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
選択必修	文学講義3（イギリス文学概説1）	2	文学部	2単位選択必修	4単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択必修	文学講義4（イギリス文学概説2）	2	文学部	2単位選択必修	4単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択必修	文学講義5（アメリカ文学概説1）	2	文学部	2単位選択必修	4単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択必修	文学講義6（アメリカ文学概説2）	2	文学部	2単位選択必修	4単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択	演習B1～B16，B21～B26	各2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択	文学講義20（児童文学）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択	文学講義23（英語圏文学1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択	文学講義24（英語圏文学2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語文学
選択必修	英語表現演習1～20	各2	文学部	2単位選択必修	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語コミュニケーション
選択必修	文学講義35（イギリス文化1）	2	文学部	2単位選択必修	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択必修	文学講義36（イギリス文化2）	2	文学部	2単位選択必修	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択必修	文学講義37（アメリカ文化1）	2	文学部	2単位選択必修	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択必修	文学講義38（アメリカ文化2）	2	文学部	2単位選択必修	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義33（英米事情1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義34（英米事情2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義39（英語圏文化1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義40（英語圏文化2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義41（比較文化1）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
選択	文学講義42（比較文化2）	2	文学部			32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	異文化理解
必修	英語科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	各教科の指導法
必修	英語科教育法演習1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	各教科の指導法
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など
必修	教職概論	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	教職の意義など
必修	教育制度論・教育課程論	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	制度，経営，課程編成など
必修	教育心理学	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	心身の発達，学習など
必修	特別支援教育の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	特別支援の理解
必修	道徳教育の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「道徳」の理論と指導法
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
必修	教育方法論	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	方法，技術
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	生徒指導，進路指導
必修	学校教育相談の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	相談の理論と方法
必修	中・高教育実習事前指導	1	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習
必修	中・高教育実習	4	学校・社会教育講座		4単位	27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習
必修	教職実践演習（中・高）	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教育実践に関する科目	教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2	学校・社会教育講座		―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	体育	
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	体育	
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	情報機器の操作	
選択必修	情報処理2	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	情報機器の操作	
選択必修	情報処理3a～3d	各2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	情報機器の操作	
選択必修	情報処理4a～4d	各2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	情報機器の操作	

文学部文学科英米文学専修　高校英語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	文学講義1（英語学概説1）	2	文学部		6単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
必修	文学講義2（英語学概説2）	2								
必修	文学講義31（音声学1）	2								
選択	演習B17～B20，B27，B28	各2								
選択	文学講義27（英語発達史1）	2								
選択	文学講義28（英語発達史2）	2								
選択	文学講義29（英語構造論1）	2								
選択	文学講義30（英語構造論2）	2								
選択必修	文学講義3（イギリス文学概説1）	2		2単位選択必修	4単位以上					英語文学
選択必修	文学講義4（イギリス文学概説2）	2								
選択必修	文学講義5（アメリカ文学概説1）	2		2単位選択必修						
選択必修	文学講義6（アメリカ文学概説2）	2								
選択	演習B1～B16，B21～B26	各2								
選択	文学講義20（児童文学）	2								
選択	文学講義23（英語圏文学1）	2								
選択	文学講義24（英語圏文学2）	2								
選択必修	英語表現演習1～20	各2		2単位選択必修	2単位以上					英語コミュニケーション
選択必修	文学講義35（イギリス文化1）	2		2単位選択必修	2単位以上					異文化理解
選択必修	文学講義36（イギリス文化2）	2								
選択必修	文学講義37（アメリカ文化1）	2								
選択必修	文学講義38（アメリカ文化2）	2								
選択	文学講義33（英米事情1）	2								
選択	文学講義34（英米事情2）	2								
選択	文学講義39（英語圏文化1）	2								
選択	文学講義40（英語圏文化2）	2								
選択	文学講義41（比較文化1）	2								
選択	文学講義42（比較文化2）	2								
必修	英語科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
必修	英語科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
必修	教職概論	2							教職の意義など	
必修	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
必修	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
必修	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
必修	教育方法論	2							方法，技術	
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
必修	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
必修	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
必修	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
必修	中・高教育実習	4								
必修	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
選択必修	情報処理2	2								
選択必修	情報処理3a～3d	各2								
選択必修	情報処理4a～4d	各2								

文学部文学科ドイツ文学専修　　中学ドイツ語（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	文学講義101	2	文学部		2単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ドイツ語学
選択	ドイツ文学・文化演習6～8	各2								
	ドイツ文学・文化演習105，107	各2								
	文学講義104，105	各2								
選択必修	文学講義103	2		2単位選択必修	4単位以上					ドイツ文学
	文学講義106	2								
	文学講義118	2		2単位選択必修						
	文学講義168	2								
選択	演習C9，C10	各2								
	ドイツ文学・文化演習1～3	各2								
	ドイツ文学・文化演習109，111	各2								
	文学講義110，111，160，161	各2								
選択必修	ドイツ語表現演習1A，1B	各2		4単位選択必修	4単位以上					ドイツ語コミュニケーション
	ドイツ語表現演習2A，2B	各2								
	ドイツ語表現演習3A，3B	各2								
	ドイツ語表現演習4A，4B	各2								
	ドイツ語表現演習5	2								
	ドイツ語表現演習6	2								
必修	ドイツ語圏文化概論1	2			4単位					異文化理解
	ドイツ語圏文化概論2	2								
選択	演習C1～C8，C11，C12	各2								
	ドイツ文学・文化演習4，5	各2								
	ドイツ文学・文化演習101，103	各2								
	文学講義107～109，112～117，157，162，164	各2								
必修	ドイツ語科教育法1，2	各2			8単位					各教科の指導法
	ドイツ語科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動に関する科目	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1							教育実践に関する科目	教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			ー			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部文学科ドイツ文学専修　高校ドイツ語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	文学講義101	2	文学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ドイツ語学
選択	ドイツ文学・文化演習6～8	各2								
	ドイツ文学・文化演習105，107	各2								
	文学講義104，105	各2								
選択必修	文学講義103	2		2単位選択必修	4単位以上					ドイツ文学
	文学講義106	2								
	文学講義118	2		2単位選択必修						
	文学講義168	2								
選択	演習C9，C10	各2								
	ドイツ文学・文化演習1～3	各2								
	ドイツ文学・文化演習109，111	各2								
	文学講義110，111，160，161	各2								
選択必修	ドイツ語表現演習1A，1B	各2		4単位選択必修	4単位以上					ドイツ語コミュニケーション
	ドイツ語表現演習2A，2B	各2								
	ドイツ語表現演習3A，3B	各2								
	ドイツ語表現演習4A，4B	各2								
	ドイツ語表現演習5	2								
	ドイツ語表現演習6	2								
必修	ドイツ語圏文化概論1	2			4単位					異文化理解
	ドイツ語圏文化概論2	2								
選択	演習C1～C8，C11，C12	各2								
	ドイツ文学・文化演習4，5	各2								
	ドイツ文学・文化演習101，103	各2								
	文学講義107～109，112～117，157，162，164	各2								
必修	ドイツ語科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	ドイツ語科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部文学科フランス文学専修　中学フランス語（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	文学講義217	2	文学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	フランス語学
	文学講義218	2								
必修	フランス文学・文化概論	2			2単位					フランス文学
選択	演習D1～D12	各2								
	文学講義201～203，205～207，214	各2								
選択必修	フランス語表現演習1～10	各2		2単位選択必修	2単位以上					フランス語コミュニケーション
選択必修	文学講義204	2		2単位選択必修	2単位以上					異文化理解
	文学講義210	2								
	文学講義212	2								
	文学講義216	2								
選択	フランス文学・文化演習1～6	各2								
	文学講義208，209，211，213，215	各2								
必修	フランス語科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
	フランス語科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			ー			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部文学科フランス文学専修　高校フランス語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	文学講義217	2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	フランス語学
	文学講義218	2								
必修	フランス文学・文化概論	2			2単位					フランス文学
選択	演習D1～D12	各2								
	文学講義201～203，205～207，214	各2								
選択必修	フランス語表現演習1～10	各2		2単位選択必修	2単位以上					フランス語コミュニケーション
選択必修	文学講義204	2		2単位選択必修	2単位以上					異文化理解
	文学講義210	2								
	文学講義212	2								
	文学講義216	2								
選択	フランス文学・文化演習1～6	各2								
	文学講義208，209，211，213，215	各2								
必修	フランス語科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	フランス語科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

文学部文学科日本文学専修／文芸・思想専修　中学国語（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本語学概論1	2	文学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）
	日本語学概論2	2								
選択	文学講義315，316，337～339	各2								国文学（国文学史を含む。）
必修	日本文学概論	2			2単位					
選択	文学講義301～314，317～336	各2								漢文学
必修	漢文学概論	2			2単位					
選択	漢文学購読1～4	各2								書道（書写を中心とする。）
	哲学講義2	2								
選択必修	書道1	1		中学校免許状取得の場合のみ1単位選択必修 欄外（注）参照	1単位					
	書道2	1								
必修	国語科教育法1，2	各2			8単位				各教科の指導法	
	国語科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			27単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

（注）「書道1」「書道2」の修得単位について
中学校免許状取得の場合は，「書道1」か「書道2」のいずれか1単位を必ず修得すること。両方を修得しても，中学校免許状取得要件に算入できるのは1単位のみである。
高等学校免許状取得要件に参入することはできない。

文学部文学科日本文学専修／文芸・思想専修　高校国語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本語学概論1	2	文学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）
	日本語学概論2	2								
選択	文学講義315，316，337～339	各2								国文学（国文学史を含む。）
必修	日本文学概論	2			2単位					漢文学
選択	文学講義301～314，317～336	各2								
必修	漢文学概論	2			2単位					
選択	漢文学購読1～4	各2								
	哲学講義2	2								
必修	国語科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	国語科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目	教育実習	
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	文学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3a～3d	各2								
	情報処理4a～4d	各2								

経済学部経済学科　高校地理歴史（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	経済学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史
選択	日本経済史1，2	各2								
必修	世界史	2			2単位					外国史
選択	アジア経済史1，2	各2								
	アメリカ経済史	2								
	欧州経済史	2								
	経済学史1，2	各2								
	経済史1，2	各2								
	現代アメリカ経済史	2								
	現代ヨーロッパ経済史	2								
必修	地理学概説1	2			8単位					人文地理学・自然地理学
	地理学概説2	2								
	自然地理学1	2								
	自然地理学2	2								
選択	経済地理学1，2	各2								
必修	地誌学1	2			4単位					地誌
	地誌学2	2								
必修	社会・地理歴史科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2			2単位					
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
選択必修	日本国憲法	2	経済学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
	憲法1	2								
	憲法2	2								
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	情報処理入門1	2			2単位				情報機器の操作	

経済学部会計ファイナンス学科　高校商業（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	会計学1	2	経済学部		12単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	商業の関係科目
	会計学2	2								
	経営学1	2								
	経営学2	2								
	簿記1	2		欄外（注）参照						
	簿記2	2								
選択	会計監査論1，2	各2								
	会計史1，2	各2								
	会計情報論1，2	各2								
	管理会計論1，2	各2								
	経営史1，2	各2								
	経済情報処理A，B	各2								
	経営分析論1，2	各2								
	原価計算論1，2	各2								
	現代企業論1，2	各2								
	コーポレート・ファイナンス1，2	各2								
	コーポレートガバナンス論1，2	各2								
	国際会計論1，2	各2								
	財務会計論1，2	各2								
	税務会計論	2								
	財務情報処理A，B	各2								
	上級簿記1，2	各2								
	情報処理入門1，2	各2								
	政策情報処理A，B	各2								
	中級簿記1，2	各2								
	非営利会計論	2								
	マーケティング論1，2	各2								
必修	キャリアコンサルティング論	2			4単位					職業指導
	キャリアデザイン論	2								
必修	商業科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	商業科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	高校教育実習	2			2単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
選択必修	日本国憲法	2	経済学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
	憲法1	2								
	憲法2	2								
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	情報処理入門1	2			2単位					情報機器の操作

（注）「簿記１」「簿記２」は教育実習前年度までに修得しなければならない。

経済学部経済政策学科　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	経済学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	世界史	2								
選択	アジア経済史1，2	各2								
	アメリカ経済史	2								
	欧州経済史	2								
	経済学史1，2	各2								
	経済史1，2	各2								
	現代アメリカ経済史	2								
	現代ヨーロッパ経済史	2								
	日本経済史1，2	各2								
必修	地理学概説1	2			8単位					地理学（地誌を含む。）
	地理学概説2	2								
	地誌学1	2								
	地誌学2	2								
選択	経済地理学1，2	各2								
必修	政治学	2			2単位					「法律学，政治学」
選択	経済法1，2	各2								
	憲法1，2	各2								
	政策分析概論	2								
	租税法1，2	各2								
	民法1，2	各2								
必修	経済学1	2			4単位					「社会学，経済学」
	経済学2	2								
選択必修	国際経済論	2		2単位選択必修	2単位以上					
	世界経済論	2								
選択	アジア経済論	2								
	アメリカ経済論	2								
	開発経済学	2								
	経済政策論1，2	各2								
	国際金融論	2								
	国際経済政策論	2								
	国際貿易論	2								
	財政学1，2	各2								
	産業経済論1，2	各2								
	社会経済学1，2	各2								
	社会政策論1，2	各2								
	初級マクロ経済学1，2	各2								
	初級ミクロ経済学1，2	各2								
	租税論1，2	各2								
	地方財政論1，2	各2								
	中小企業論1，2	各2								
	統計学1，2	各2								
	日本経済論1，2	各2								
	農業経済論	2								
	農業政策論	2								
	労働経済論1，2	各2								
選択必修	哲学概論1	2		4単位選択必修	4単位以上					「哲学，倫理学，宗教学」
	哲学概論2	2								
	現代社会思想	2								
	社会思想史	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	中・高教育実習	4			4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
選択必修	日本国憲法	2	経済学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
	憲法1	2								
	憲法2	2								
選択必修	スポーツプログラム１～４	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1１～４，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	情報処理入門1	2			2単位					情報機器の操作

経済学部経済政策学科　高校公民（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	政治学	2	経済学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
選択	経済法1，2	各2								
	憲法1，2	各2								
	政策分析概論	2								
	租税法1，2	各2								
	民法1，2	各2								
必修	経済学1	2			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	経済学2	2								
選択	アジア経済論	2								
	開発経済学	2								
	経済政策論1，2	各2								
	国際金融論	2								
	国際経済論	2								
	国際貿易論	2								
	財政学1，2	各2								
	産業経済論1，2	各2								
	社会経済学1，2	各2								
	社会政策論1，2	各2								
	初級マクロ経済学1，2	各2								
	初級ミクロ経済学1，2	各2								
	世界経済論	2								
	租税論1，2	各2								
	地方財政論1，2	各2								
	中小企業論1，2	各2								
	統計学1，2	各2								
	日本経済論1，2	各2								
	農業経済論	2								
	農業政策論	2								
	労働経済論1，2	各2								
選択必修	哲学概論1	2		6単位選択必修	6単位以上					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
	哲学概論2	2								
	現代社会思想	2								
	社会思想史	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
	心理学1	2								
	心理学2	2								
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
選択必修	日本国憲法	2	経済学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
	憲法1	2								
	憲法2	2								
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	情報処理入門1	2			2単位				情報機器の操作	

理学部数学科　中学数学（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	代数学1	2	理学部		6単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学
	代数学1演習	1								
	代数学2	2								
	代数学2演習	1								
選択	数学入門	2								
	数学入門演習	1								
	線形代数学1	2								
	線形代数学1演習	1								
必修	幾何学1	2			6単位					幾何学
	幾何学1演習	1								
	幾何学2	2								
	幾何学2演習	1								
必修	解析学1	2			6単位					解析学
	解析学1演習	1								
	解析学2	2								
	解析学2演習	1								
選択	微分と積分入門	2								
	微分と積分入門演習	1								
必修	確率と統計1	2			4単位					「確率論，統計学」
	確率と統計2	2								
必修	計算機入門1	2			6単位					コンピュータ
	計算機入門1演習	1								
	計算機入門2	2								
	計算機入門2演習	1								
必修	数学科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	数学科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1							教育実践に関する科目	教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	計算機入門1演習	1			2単位					情報機器の操作
	計算機入門2演習	1								

理学部数学科　高校数学（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	代数学1	2	理学部		6単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学
	代数学1演習	1								
	代数学2	2								
	代数学2演習	1								
選択	数学入門	2								
	数学入門演習	1								
	線形代数学1	2								
	線形代数学1演習	1								
必修	幾何学1	2			6単位					幾何学
	幾何学1演習	1								
	幾何学2	2								
	幾何学2演習	1								
必修	解析学1	2			6単位					解析学
	解析学1演習	1								
	解析学2	2								
	解析学2演習	1								
選択	微分と積分入門	2								
	微分と積分入門演習	1								
必修	確率と統計1	2			4単位					「確率論，統計学」
	確率と統計2	2								
必修	計算機入門1	2			6単位					コンピュータ
	計算機入門1演習	1								
	計算機入門2	2								
	計算機入門2演習	1								
必修	数学科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	数学科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	計算機入門1演習	1			2単位				情報機器の操作	
	計算機入門2演習	1								

理学部数学科　高校情報（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	情報社会論	2	理学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理
	情報と倫理	2								
必修	計算機1	2			8単位					コンピュータ・情報処理（実習を含む。）
	計算機2	2								
	計算機3	2								
	計算機4	2								
選択	計算機諸論1～3	各2								
	情報数理1～3	各2								
	情報数理1演習	1								
	情報数理2演習	1								
必修	情報科学1（情報システム論）	2			4単位					情報システム（実習を含む。）
	情報科学2（情報システム論実習）	2								
選択	情報科学諸論1，2	各2								
必修	情報科学3（情報ネットワーク論）	2			4単位					情報通信ネットワーク（実習を含む。）
	情報科学4（情報ネットワーク論実習）	2								
選択	情報科学諸論3，4	各2								
必修	情報科学A	2			4単位					マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）
	情報科学6（マルチメディア論実習）	2								
選択	情報科学B	2								
必修	情報産業論	2			2単位					情報と職業
必修	情報科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	情報科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2			2単位					
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	計算機入門1演習	1			2単位				情報機器の操作	
	計算機入門2演習	1								

理学部物理学科　中学理科（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	物理学概論	2	理学部		2単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
選択	解析力学	2								
	基礎物理学演習1，2	各1								
	電磁気学1，2	各2								
	統計力学1	2								
	熱力学	2								
	力学1，2	各2								
	量子力学1	2								
必修	基礎物理実験	2			8単位					物理学実験（コンピュータ活用を含む。）
	コンピュータ実験1	1								
	コンピュータ実験2	1								
	物理学実験1	4								
必修	化学（物）	2			2単位					化学
必修	化学実験（物）	1			1単位					化学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	生物学（物）	2			2単位					生物学
必修	生物学実験（物）	1			1単位					生物学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	地学概説	2			2単位					地学
必修	地学総合実験	1			1単位					地学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	理科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
	理科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動に関する科目	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								教育実践に関する科目	教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					教育実習
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	コンピュータ実験1	1			2単位				情報機器の操作	
	コンピュータ実験2	1								

（注）「コンピュータ実験１」「コンピュータ実験２」「化学実験（物）」「生物学実験（物）」「基礎物理実験」「物理学実験１」と「教育実習」を同時に履修することは，物理学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部物理学科　高校理科（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	物理学概論	2	理学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
選択	解析力学	2								
	基礎物理学演習1，2	各1								
	電磁気学1，2	各2								
	統計力学1	2								
	熱力学	2								
	力学1，2	各2								
	量子力学1	2								
必修	化学(物)	2			2単位					化学
必修	生物学(物)	2			2単位					生物学
必修	地学概説	2			2単位					地学
必修	基礎物理実験	2			11単位					「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)，化学実験(コンピュータ活用を含む。)，生物学実験(コンピュータ活用を含む。)，地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
	コンピュータ実験1	1								
	コンピュータ実験2	1								
	物理学実験1	4								
	化学実験(物)	1								
	生物学実験(物)	1								
	地学総合実験	1								
必修	理科教育法1	2			4単位					各教科の指導法
	理科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習(中・高)	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			ー			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	コンピュータ実験1	1			2単位					情報機器の操作
	コンピュータ実験2	1								

(注)「コンピュータ実験1」「コンピュータ実験2」「化学実験(物)」「生物学実験(物)」「基礎物理実験」「物理学実験1」と「教育実習」を同時に履修することは，物理学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部化学科　　中学理科（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	物理学1（化）	2	理学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
	物理学2	2								
必修	物理学実験（化）	1			1単位					物理学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	物理化学1	2			4単位					化学
	物理化学入門	2								
選択	反応速度論	2								
	物理化学2	2								
	分析化学1	2								
	分析化学入門	2								
	無機化学1，2	各2								
	有機化学1～3	各2								
	有機構造決定法	2								
	有機合成化学	2								
必修	化学実験A	2			2単位					化学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	生物学（化）	2			2単位					生物学
必修	生物学実験（化）	1			1単位					生物学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	地学概説	2			2単位					地学
必修	地学総合実験	1			1単位					地学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	理科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
	理科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	道徳教育の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「道徳」の理論と指導法	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	情報科学（化）	2			2単位				情報機器の操作	

（注）「基礎化学実験」「化学実験A」「化学実験B」「化学実験C」と「教育実習」を同時に履修することは，化学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部化学科　高校理科（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	物理学１(化)	2	理学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
	物理学２	2								
必修	物理化学１	2			4単位					化学
	物理化学入門	2								
選択	反応速度論	2								
	物理化学２	2								
	分析化学１	2								
	分析化学入門	2								
	無機化学１，２	各2								
	有機化学１～３	各2								
	有機構造決定法	2								
	有機合成化学	2								
必修	生物学(化)	2			2単位					生物学
必修	地学概説	2			2単位					地学
必修	物理学実験(化)	1			5単位					「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)，化学実験(コンピュータ活用を含む。)，生物学実験(コンピュータ活用を含む。)，地学実験(コンピュータ活用を含む。)」
	化学実験Ａ	2								
	生物学実験(化)	1								
	地学総合実験	1								
必修	理科教育法１	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	理科教育法演習１	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1								
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位			教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習(中・高)	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の６に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム１～４	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ１～４，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	情報科学(化)	2			2単位					情報機器の操作

(注)「基礎化学実験」「化学実験A」「化学実験B」「化学実験C」と「教育実習」を同時に履修することは，化学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部生命理学科　中学理科（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	物理学1（生）	2	理学部		2単位	32単位以上 / 59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
必修	物理学実験（生）	1			1単位				物理学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	基礎化学	2		2020年度以降入学者適用	2単位				化学
必修	基礎化学1	2		2019年度入学者適用	4単位				
必修	基礎化学2	2		2019年度入学者適用					
必修	化学実験（生）	1			1単位				化学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	生命理学概論	2			2単位				生物学
選択	植物科学1	2		2019年度まで「植物科学」					
選択	植物科学	2		2020年度から「植物科学1」					
選択	植物科学2	2		2019年度まで「生物化学3」					
選択	生物化学3	2		2020年度から「植物科学2」					
選択	生物化学1，2	各2							
選択	生物物理学1，2	各2							
選択	動物科学	2							
選択	微生物科学	2							
選択	分子細胞学1～3	各2							
選択	分子生物学1～3	各2							
必修	生命理学基礎実験	2			2単位				生物学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	地学概説	2			2単位				地学
必修	地学総合実験	1			1単位				地学実験（コンピュータ活用を含む。）
必修	理科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法
必修	理科教育法演習1，2	各2							
必修	教育原論	2				27単位	教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
必修	教職概論	2							教職の意義など
必修	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など
必修	教育心理学	2							心身の発達，学習など
必修	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解
必修	道徳教育の理論と方法	2					道徳，総合的学習，生徒指導，教育相談に関する科目		「道徳」の理論と指導法
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」
必修	教育方法論	2							方法，技術
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導
必修	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法
必修	中・高教育実習事前指導	1					教育実践に関する科目		教育実習
必修	中・高教育実習	4			4単位				
必修	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―		大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位		第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2							
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション
必修	基礎情報科学	2			2単位				情報機器の操作

（注）「物理学実験（生）」「化学実験（生）」「生命理学基礎実験」「生命理学実験１」「生命理学実験２A」「生命理学実験２B」と「教育実習」を同時に履修することは，生命理学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部生命理学科　高校理科（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	物理学1（生）	2	理学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学
必修	基礎化学	2		2020年度以降入学者適用	2単位					化学
	基礎化学1	2		2019年度入学者適用	4単位					
	基礎化学2	2		2019年度入学者適用						
必修	生命理学概論	2			2単位					生物学
選択	植物科学1	2		2019年度まで「植物科学」						
	植物科学	2		2020年度から「植物科学1」						
	植物科学2	2		2019年度まで「生物化学3」						
	生物化学3	2		2020年度から「植物科学2」						
	生物化学1，2	各2								
	生物物理学1，2	各2								
	動物科学	2								
	微生物科学	2								
	分子細胞学1～3	各2								
	分子生物学1～3	各2								
必修	地学概説	2			2単位					地学
必修	物理学実験（生）	1			5単位					「物理学実験（コンピュータ活用を含む。），化学実験（コンピュータ活用を含む。），生物学実験（コンピュータ活用を含む。），地学実験（コンピュータ活用を含む。）」
	化学実験（生）	1								
	生命理学基礎実験	2								
	地学総合実験	1								
必修	理科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	理科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位			教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1							教育実践に関する科目	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	理学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	基礎情報科学	2			2単位					情報機器の操作

（注）「物理学実験（生）」「化学実験（生）」「生命理学基礎実験」「生命理学実験１」「生命理学実験２A」「生命理学実験２B」と「教育実習」を同時に履修することは，生命理学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

社会学部社会学科　　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
選択必修	日本史	2	社会学部	「日本史（2単位）」か「日本史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	日本史概論1	2								
	日本史概論2	2								
	世界史	2		「世界史（2単位）」か「世界史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位					
	世界史概論1	2								
	世界史概論2	2								
必修	地誌学1	2			8単位					地理学（地誌を含む。）
	地誌学2	2								
	地理学概説1	2								
	地理学概説2	2								
必修	政治学A（政治学理論）	2			4単位					「法律学，政治学」
	国際政治と紛争	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学」
	社会学原論2	2								
選択	NPO／NGOの社会学	2								
	アイデンティティ論	2								
	セクシュアリティの社会学	2								
	ライフコース論	2								
	逸脱の社会学	2								
	家族社会学	2								
	共生社会論	2								
	差別と偏見の社会学	2								
	社会階層論	2								
	社会学史	2								
	社会問題の社会学	2								
	少子・高齢社会論	2								
	社会人口学	2								
	平等と公正	2								
	歴史社会学	2								
必修	社会認識と哲学	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学」
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2（アプリケーション）	2								
	社会調査法3	2								

社会学部社会学科　高校公民（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	政治学A（政治学理論）	2	社会学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
	国際政治と紛争	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	社会学原論2	2								
選択	NPO／NGOの社会学	2								
	アイデンティティ論	2								
	セクシュアリティの社会学	2								
	ライフコース論	2								
	逸脱の社会学	2								
	家族社会学	2								
	共生社会論	2								
	差別と偏見の社会学	2								
	社会階層論	2								
	社会学史	2								
	社会問題の社会学	2								
	少子・高齢社会論	2								
	社会人口学	2								
	平等と公正	2								
	歴史社会学	2								
必修	社会認識と哲学	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2（アプリケーション）	2								
	社会調査法3	2								

社会学部現代文化学科　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	日本史	2	社会学部	「日本史（2単位）」か「日本史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
必修	日本史概論1	2								
必修	日本史概論2	2								
必修	世界史	2		「世界史（2単位）」か「世界史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位					
必修	世界史概論1	2								
必修	世界史概論2	2								
必修	地誌学1	2			8単位					地理学（地誌を含む。）
必修	地誌学2	2								
必修	地理学概説1	2								
必修	地理学概説2	2								
必修	国際関係論	2			2単位					「法律学，政治学」
選択	環境政策論	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学」
必修	社会学原論2	2								
選択	アートの社会学	2								
選択	エスニシティ論	2								
選択	エスノグラフィー論	2								
選択	グローバル都市論	2								
選択	セラピー文化論	2								
選択	環境と人類	2								
選択	環境教育論	2								
選択	消費文化論	2								
選択	国際社会学	2								
選択	生活文化論	2								
選択	多文化の社会理論	2								
選択	都市コミュニティ論	2								
選択	都市マイノリティ論	2								
選択	都市生活誌	2								
選択	民族文化誌	2								
必修	宗教社会学	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学」
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
必修	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
必修	教職概論	2								教職の意義など
必修	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
必修	教育心理学	2								心身の発達，学習など
必修	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
必修	道徳教育の理論と方法	2						道徳，総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「道徳」の理論と指導法
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
必修	教育方法論	2								方法，技術
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
必修	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
必修	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
必修	中・高教育実習	4			4単位					
必修	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位					情報機器の操作
選択必修	情報処理2（アプリケーション）	2								
選択必修	社会調査法3	2								

社会学部現代文化学科　高校公民（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	国際関係論	2	社会学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
選択	環境政策論	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	社会学原論2	2								
選択	アートの社会学	2								
	エスニシティ論	2								
	エスノグラフィー論	2								
	グローバル都市論	2								
	セラピー文化論	2								
	環境と人類	2								
	環境教育論	2								
	消費文化論	2								
	国際社会学	2								
	生活文化論	2								
	多文化の社会理論	2								
	都市コミュニティ論	2								
	都市マイノリティ論	2								
	都市生活誌	2								
	民族文化誌	2								
必修	宗教社会学	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2（アプリケーション）	2								
	社会調査法3	2								

社会学部メディア社会学科　中学社会（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史	2	社会学部	「日本史（2単位）」か「日本史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
必修	日本史概論1	2								
必修	日本史概論2	2								
必修	世界史	2		「世界史（2単位）」か「世界史概論1，2（4単位）」を選択必修	2単位または4単位					
必修	世界史概論1	2								
必修	世界史概論2	2								
必修	地誌学1	2			8単位					地理学（地誌を含む。）
必修	地誌学2	2								
必修	地理学概説1	2								
必修	地理学概説2	2								
必修	政治学B（現代政治）	2			4単位					「法律学，政治学」
必修	国際政治	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学」
必修	社会学原論2	2								
選択	webスタディーズ	2								
選択	コミュニケーション政策論	2								
選択	視覚文化論	2								
選択	メディア史	2								
選択	メディア素養論	2								
選択	メディアとジェンダー	2								
選択	ニュースの社会学1，3，4，5	各2								
選択	映像メディア論	2								
選択	出版産業論	2								
選択	音楽社会学	2								
選択	メディア・テクノロジー・社会	2								
選択	若者とメディア	2								
必修	情報社会と倫理	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学」
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
必修	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
必修	教職概論	2							教職の意義など	
必修	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
必修	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
必修	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
必修	道徳教育の理論と方法	2						道徳，総合的な学習，生徒指導，教育相談に関する科目	「道徳」の理論と指導法	
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
必修	教育方法論	2							方法，技術	
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
必修	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
必修	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
必修	中・高教育実習	4			4単位					
必修	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位				情報機器の操作	
選択必修	情報処理2（アプリケーション）	2								
選択必修	社会調査法3	2								

社会学部メディア社会学科　　高校公民（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	政治学B（現代政治）	2	社会学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
	国際政治	2								
必修	社会学原論1	2			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
	社会学原論2	2								
選択	webスタディーズ	2								
	コミュニケーション政策論	2								
	視覚文化論	2								
	メディア史	2								
	メディア素養論	2								
	メディアとジェンダー	2								
	ニュースの社会学1，3，4，5	各2								
	映像メディア論	2								
	出版産業論	2								
	音楽社会学	2								
	メディア・テクノロジー・社会	2								
	若者とメディア	2								
必修	情報社会と倫理	2			2単位					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位				教育実習	
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	社会学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1（入門）	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2（アプリケーション）	2								
	社会調査法3	2								

法学部法学科　中学社会（1種）

2019年度以降1年次入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分		
必修	日本史概説	2	法学部		4単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	世界史概説	2								
選択	アジア政治論	4								
	アメリカ政治論	4								
	欧州政治思想史	4								
	国際政治史	2								
	日本政治史	4								
	日本政治思想史(1)	2		2019年度まで「日本政治思想史」						
	日本政治思想史(2)	2								
	日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史(1)」および「日本政治思想史(2)」						
	比較憲法	2								
	法制史(西洋法制史)	2								
	法制史(東洋法制史)	2								
	法制史(日本法制史)	2								
	ヨーロッパ政治論	4								
必修	地理学概説1	2			8単位					地理学(地誌を含む。)
	地理学概説2	2								
	地誌学1	2								
	地誌学2	2								
必修	法学入門	2			4単位					「法律学，政治学」
	政治学入門	2								
選択	行政学1，2	各2								
	行政法1，2	各4								
	刑法(1)	4		2019年度まで「刑法総論」						
	刑法総論	4		2020年度から「刑法(1)」						
	刑法(2)	4		2019年度まで「刑法各論」						
	刑法各論	4		2020年度から「刑法(2)」						
	経済法1，2	各2								
	現代政治理論	4								
	憲法(1)	4		2019年度まで「憲法A(人権)」						
	憲法A(人権)	4		2020年度から「憲法(1)」						
	憲法(2)	2		2019年度まで「憲法B(統治)」						
	憲法B(統治)	2		2020年度から「憲法(2)」						
	国際政治	4								
	国際法1，2	各4								
	政治過程論1，2	各2								
	日本政治論	4								
	比較政治理論	2								
	民法1	4								
	民法5	4								
	労働法	4								
必修	経済原論	4			4単位					「社会学，経済学」
選択	財政学	4								
	社会運動論	4								
	社会政策論	4								
	政治社会学	2								
	統計学	4								
	法社会学1，2	各2								
選択必修	哲学概論1	2		4単位選択必修	4単位以上					「哲学，倫理学，宗教学」
	哲学概論2	2								
	哲学的人間学	2								
	現代倫理	2								
	倫理思想	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
選択	法哲学	4								
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解

次頁へ続く

教職課程（2019年度以降入学者適用）

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分	
必修	道徳教育の理論と方法	2	学校・社会教育講座			27単位	59単位以上	生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2							方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習
	中高教育実習	4			4単位				
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			ー			大学が独自に設定する科目	
選択必修	憲法（2）	2	法学部	2019年度まで「憲法B」	2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法
	憲法B	2		2020年度から「憲法（2）」					
選択必修	スポーツプログラム1 ～ 4	各1			2単位				体育
	スポーツスタディ1 1 ～ 4，e	各2							
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション
必修	情報処理入門	2			2単位				情報機器の操作

法学部法学科　高校公民（1種）

2019年度以降1年次入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分		
必修	法学入門	2	法学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
	政治学入門	2								
選択	行政学1，2	各2								
	行政法1，2	各4								
	経済法1，2	各2								
	刑法（1）	4		2019年度まで「刑法総論」						
	刑法総論	4		2020年度から「刑法（1）」						
	刑法（2）	4		2019年度まで「刑法各論」						
	刑法各論	4		2020年度から「刑法（2）」						
	現代政治理論	4								
	憲法（1）	4		2019年度まで「憲法A（人権）」						
	憲法A（人権）	4		2020年度から「憲法（1）」						
	憲法（2）	2		2019年度まで「憲法B（統治）」						
	憲法B（統治）	2		2020年度から「憲法（2）」						
	国際政治	4								
	国際法1，2	各4								
	政治過程論1，2	各2								
	日本政治論	4								
	比較政治理論	2								
	民法1	4								
	民法5	4								
	労働法	4								
必修	経済原論	4			4単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
選択	財政学	4								
	社会運動論	4								
	社会政策論	4								
	政治社会学	2								
	統計学	4								
	法社会学1，2	各2								
選択必修	哲学概論1	2		6単位選択必修	6単位以上					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
	哲学概論2	2								
	哲学的人間学	2								
	現代倫理	2								
	倫理思想	2								
	宗教思想1	2								
	宗教思想2	2								
	心理学1	2								
	心理学2	2								
選択	法哲学	4								
必修	社会・公民科教育法1	2			4単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	

次頁へ続く

教職課程（2019年度以降入学者適用）

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分	
必修	中・高教育実習事前指導	1	学校・社会教育講座			23単位または25単位	59単位以上	教育実践に関する科目	教育実習
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位				
	中・高教育実習	4							
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2	法学部		ー			大学が独自に設定する科目	
選択必修	憲法（2）	2		2019年度まで「憲法B」	2単位				日本国憲法
	憲法B	2		2020年度から「憲法（2）」					
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2							
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション
必修	情報処理入門	2			2単位				情報機器の操作

法学部政治学科　高校地理歴史（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	日本史概説	2	法学部		2単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史
選択	日本政治史	4								
	日本政治思想史(1)	2		2019年度まで「日本政治思想史」						
	日本政治思想史(2)	2								
	日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史(1)」および「日本政治思想史(2)」						
	法制史(日本法制史)	2								
必修	世界史概説	2			2単位					外国史
選択	アジア政治論	4								
	アメリカ政治論	4								
	欧州政治思想史	4								
	国際政治史	2								
	比較憲法	2								
	法制史(西洋法制史)	2								
	法制史(東洋法制史)	2								
	ヨーロッパ政治論	4								
必修	地理学概説1	2			8単位					人文地理学・自然地理学
	地理学概説2	2								
	自然地理学1	2								
	自然地理学2	2								
必修	地誌学1	2			4単位					地誌
	地誌学2	2								
必修	社会・地理歴史科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2			2単位					
	教職実践演習(中・高)	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
選択必修	憲法(2)	2	法学部	2019年度まで「憲法B」	2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
	憲法B	2		2020年度から「憲法(2)」						
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	情報処理入門	2			2単位				情報機器の操作	

異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科　中学英語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
選択必修	Introduction to the Study of English	2	異文化コミュニケーション学部	2単位選択必修 「Introduction to the Study of English」は2020年度から新設	2単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
	英語学概論	2								
選択	Motivation in Language Learning	2		2020年度から新設						
	外国語教育評価論 ／（DLP）Measurement and Evaluation in Language Education	2								
	コミュニケーション文法	2		2020年度から新設						
	第1言語習得理論	2								
	第2言語習得理論 ／（DLP）Theories of Second Language Acquisition	2								
必修	英語圏文学論	2			2単位					英語文学
選択必修	Seminar in English A	2		2単位選択必修	2単位以上					英語コミュニケーション
	Seminar in English B	2								
選択	Seminar in English C〜F	各2								
	コミュニケーションセミナー 3A−R（英語）	4								
必修	Cultural Exchange	2			2単位					異文化理解
選択	Intercultural Communication in the Language Classroom	2		2020年度から新設						
	Introduction to Intercultural Communication	2								
	Language Policy and Multilingualism	2								
	異文化コミュニケーション概論	2								
	異文化コミュニケーション特論A，B	各2								
	異文化トレーニング演習	2								
	グローバル社会とコミュニケーション	2								
	語用論 ／（DLP）Pragmatics	2								
	社会言語学 ／（DLP）Sociolinguistics	2								
	対人コミュニケーション論	2								
	多文化共生特論	2								
	多文化共生概論	2		2019年度まで「多文化共生論」						
	多文化共生論	2		2020年度から「多文化共生概論」						
	通訳翻訳と多文化社会 ／（DLP）Translation and Interpreting in Multicultural Society	2								
	バイリンガリズム研究 ／（DLP）Bilingualism	2								
必修	英語教育学	2		教育実習参加前年度までに必修	8単位					各教科の指導法
	英語コミュニケーション教育学	2								
	Teaching English to Speakers of Other Languages: Basic Principles	2		教育実習前年度までに修得することが望ましい						
	英語科教育研究	2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実習に関する科目	教育実践	教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		

次頁へ続く

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件	法令上の区分	
必修	日本国憲法	2	異文化コミュニケーション学部		2単位	第66条の6に定める科目	日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位		体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2					
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位		外国語コミュニケーション
必修	コンピュータ・リテラシー	2			2単位		情報機器の操作

異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科　高校英語（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
選択必修	Introduction to the Study of English	2	異文化コミュニケーション学部	2単位選択必修 「Introduction to the Study of English」は2020年度から新設	2単位以上	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学
	英語学概論	2								
選択	Motivation in Language Learning	2		2020年度から新設						
	外国語教育評価論 ／（DLP）Measurement and Evaluation in Language Education	2								
	コミュニケーション文法	2		2020年度から新設						
	第1言語習得理論	2								
	第2言語習得理論 ／（DLP）Theories of Second Language Acquisition	2								
必修	英語圏文学論	2			2単位					英語文学
選択必修	Seminar in English A	2		2単位選択必修	2単位以上					英語コミュニケーション
	Seminar in English B	2								
選択	Seminar in English C～F	各2								
	コミュニケーションセミナー 3A－R（英語）	4								
必修	Cultural Exchange	2			2単位					異文化理解
選択	Intercultural Communication in the Language Classroom	2		2020年度から新設						
	Introduction to Intercultural Communication	2								
	Language Policy and Multilingualism	2								
	異文化コミュニケーション概論	2								
	異文化コミュニケーション特論A，B	各2								
	異文化トレーニング演習	2								
	グローバル社会とコミュニケーション	2								
	語用論 ／（DLP）Pragmatics	2								
	社会言語学 ／（DLP）Sociolinguistics	2								
	対人コミュニケーション論	2								
	多文化共生特論	2								
	多文化共生概論	2		2019年度まで「多文化共生論」						
	多文化共生論	2		2020年度から「多文化共生概論」						
	通訳翻訳と多文化社会 ／（DLP）Translation and Interpreting in Multicultural Society	2								
	バイリンガリズム研究 ／（DLP）Bilingualism	2								
必修	英語教育学	2		教育実習参加前年度までに必修	8単位				各教科の指導法	
	英語コミュニケーション教育学	2								
	Teaching English to Speakers of Other Languages: Basic Principles	2		教育実習前年度までに修得することが望ましい						
	英語科教育研究	2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		

次頁へ続く

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件	法令上の区分	
必修	日本国憲法	2	異文化コミュニケーション学部		2単位	第66条の6に定める科目	日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位		体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2					
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位		外国語コミュニケーション
必修	コンピュータ・リテラシー	2			2単位		情報機器の操作

観光学部交流文化学科　　中学社会（１種）

2019年度以降１年次入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分		
必修	日本史1	2	観光学部		8単位	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
必修	日本史2	2								
必修	外国史1	2								
必修	外国史2	2								
選択	観光史	2		2019年度以前入学者のみ適用						
選択	観光人類学7（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」						
選択	開発と文化	2		2020年度から「観光人類学7（開発援助）」						
選択	観光歴史学2（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」						
選択	植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学2（近代）」						
選択	観光歴史学概論	2		2020年度から新設 2020年度以降交流文化学科入学者のみ適用						
選択	農村観光論	2								
必修	地理学1	2			6単位					地理学（地誌を含む。）
必修	地理学2	2								
必修	地誌学	2								
選択	アジア太平洋観光論	2		2019年度以前入学者のみ適用						
選択	観光人類学1（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学1」						
選択	観光人類学1	2		2020年度から「観光人類学1（文化の表象）」						
選択	観光人類学8（生態）	2		2019年度まで「観光人類学2」						
選択	観光人類学2	2		2020年度から「観光人類学8（生態）」						
選択	観光地理学1（都市）	2		2019年度まで「観光地理学2」						
選択	観光地理学2	2		2020年度から「観光地理学1（都市）」						
選択	観光地理学3（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学1」						
選択	観光地理学1	2		2020年度から「観光地理学3（リゾート地）」						
選択	観光地理学5（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」						
選択	観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学5（自然環境）」						
選択	観光地理学7（外国地誌1）	2		2019年度まで「外国地誌1」						
選択	外国地誌1	2		2020年度から「観光地理学7（外国地誌1）」						
選択	観光地理学8（外国地誌2）	2		2019年度まで「外国地誌2」						
選択	外国地誌2	2		2020年度から「観光地理学8（外国地誌2）」						
選択	観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究1（地理学の方法）」						
選択	交流文化研究1（地理学の方法）	2		2020年度から「観光地理学概論」						
選択	都市観光論	2								
選択必修	法学1	2		4単位選択必修	4単位以上					「法律学,政治学」
選択必修	法学2	2								
選択必修	政治学	2								
選択	観光政策・行政論	2								
選択必修	社会学1	2		4単位選択必修	4単位以上					「社会学，経済学」
選択必修	社会学2	2								
選択必修	経済学	2								
選択	観光概論	2		2019年度以前入学者のみ適用						
選択	観光学概論	2		2020年度から新設 2020年度以降入学者のみ適用						
選択	観光計画論	2								
選択	観光経済学	2								
選択	観光交通論（国際航空）	2								
選択	観光交通論（鉄道等）	2								
選択	観光社会学2（移動）	2		2019年度まで「観光社会学2」						

次頁へ続く

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件			法令上の区分		
選択	観光社会学2	2	観光学部	2020年度から「観光社会学2（移動）」		32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「社会学，経済学」
	観光社会学3（ジェンダー）	2		2019年度まで「観光とジェンダー」						
	観光とジェンダー	2		2020年度から「観光社会学3（ジェンダー）」						
	観光社会学6（若者）	2		2019年度まで「観光社会学1」						
	観光社会学1	2		2020年度から「観光社会学6（若者）」						
	観光社会学概論	2		2019年度まで「交流文化研究3（社会学の方法）」						
	交流文化研究3（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」						
	観光と社会6（国際関係）	2		2019年度まで「移住と定着」						
	移住と定着	2		2020年度から「観光と社会6（国際関係）」						
	観光調査・研究法入門	2		2019年度以前入学者のみ適用						
	観光調査法	2		2019年度以前入学者のみ適用						
選択必修	哲学	2		2単位選択必修	2単位以上					「哲学，倫理学，宗教学」
	観光行動論	2								
選択	観光文学5（思想）	2		2019年度まで「旅行経験分析法」						
	旅行経験分析法	2		2020年度から「観光文学5（思想）」						
必修	社会・地理歴史科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
	社会・地理歴史科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	道徳教育の理論と方法	2						道徳，総合的な学習，生徒指導，教育相談に関する科目	「道徳」の理論と指導法	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	観光学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ11～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
必修	データ情報処理	2			2単位				情報機器の操作	

観光学部交流文化学科　高校地理歴史（１種）

2019年度以降１年次入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得条件		法令上の区分		
必修	日本史1	2	観光学部		4単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史
	日本史2	2								
選択	観光史	2		2019年度以前入学者のみ適用						
	農村観光論	2								
必修	外国史1	2			4単位					外国史
	外国史2	2								
選択	観光人類学7（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」						
	開発と文化	2		2020年度から「観光人類学7（開発援助）」						
	観光歴史学2（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」						
	植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学2（近代）」						
必修	地理学1	2			6単位					人文地理学・自然地理学
	地理学2	2								
	自然地理学	2								
選択	アジア太平洋観光論	2		2019年度以前入学者のみ適用						
	観光社会学概論	2		2019年度まで「交流文化研究3（社会学の方法）」						
	交流文化研究3（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」						
	観光人類学1（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学1」						
	観光人類学1	2		2020年度から「観光人類学1（文化の表象）」						
	観光人類学8（生態）	2		2019年度まで「観光人類学2」						
	観光人類学2	2		2020年度から「観光人類学8（生態）」						
	観光人類学概論	2		2019年度まで「交流文化研究2（文化人類学の方法）」						
	交流文化研究2（文化人類学の方法）	2		2020年度から「観光人類学概論」						
	観光地理学1（都市）	2		2019年度まで「観光地理学2」						
	観光地理学2	2		2020年度から「観光地理学1（都市）」						
	観光地理学3（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学1」						
	観光地理学1	2		2020年度から「観光地理学3（リゾート地）」						
	観光地理学5（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」						
	観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学5（自然環境）」						
	観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究1（地理学の方法）」						
	交流文化研究1（地理学の方法）	2		2020年度から「観光地理学概論」						
	都市観光論	2								
必修	地誌学	2			2単位					地誌
選択	観光地理学7（外国地誌1）	2		2019年度まで「外国地誌1」						
	外国地誌1	2		2020年度から「観光地理学7（外国地誌1）」						
	観光地理学8（外国地誌2）	2		2019年度まで「外国地誌2」						
	外国地誌2	2		2020年度から「観光地理学8（外国地誌2）」						
必修	社会・地理歴史科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
	社会・地理歴史科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教科に関する専門的事項	教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1							教育実践に関する科目	
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	観光学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム１～４	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ１ １～４，ｅ	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
必修	データ情報処理	2			2単位					情報機器の操作

コミュニティ福祉学部福祉学科　高校福祉（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件		法令上の区分		
必修	社会福祉入門演習	2	コミュニティ福祉学部		6単位	40単位以上	63単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	社会福祉学（職業指導を含む。）
	現代社会と福祉1	2								
	現代社会と福祉2	2								
選択	社会福祉法制	2								
	社会保障総論	2								
	社会保障論	2								
必修	高齢者福祉論	2			6単位					高齢者福祉，児童福祉・障害者福祉
	児童福祉論	2								
	障害者福祉論	2								
選択	高齢者福祉実践論	2								
	児童福祉実践論	2								
必修	社会福祉援助技術論1	2			4単位					社会福祉援助技術
	精神保健福祉援助技術総論	2								
選択	社会調査法	2								
	社会福祉援助技術論2～4	各2								
必修	介護概論	2			4単位					介護理論・介護技術
	介護技術論	2								
選択必修	実習指導	4		4単位選択必修	12単位以上					社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）
	精神保健福祉援助実習指導1	4								
	社会福祉援助技術演習1	2		「社会福祉援助技術演習1～3」から4単位、または「精神保健福祉援助演習（基礎）および実習指導2」から4単位選択必修						
	社会福祉援助技術演習2	1								
	社会福祉援助技術演習3	1								
	精神保健福祉援助演習（基礎）	3								
	精神保健福祉援助実習指導2	1								
	社会福祉援助技術現場実習	4		4単位選択必修						
	精神保健福祉援助実習	4								
必修	医学概論	2			2単位					人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解
必修	発育・発達・加齢論	2			2単位					加齢に関する理解・障害に関する理解
必修	福祉科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位				各教科の指導法	
	福祉科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目	教育実習	
	高校教育実習	2			2単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	コミュニティ福祉学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3	2								
	情報処理4	2								

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科　中学社会（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	日本史1	2	コミュニティ福祉学部		8単位	34単位以上	61単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史
	日本史2	2								
	外国史1	2								
	外国史2	2								
必修	地理学1	2			6単位					地理学（地誌を含む。）
	地理学2	2								
	地誌学	2								
選択必修	法学1	2		4単位選択必修	4単位以上					「法律学，政治学」
	法学2	2								
	政治学	2								
選択	コミュニティ政策学入門	2								
	家族政策	2								
	健康政策	2								
	自治体政策論	2								
	社会開発論	2								
	政策科学	2								
	地方財政論	2								
	地方自治論	2								
	福祉制度論	2								
選択必修	社会学1	2		4単位選択必修	4単位以上					「社会学，経済学」
	社会学2	2								
	経済学	2								
選択	コミュニティ・ビジネス	2								
	パートナーシップ論	2								
	リサーチ方法論1	2								
	リサーチ方法論2	2								
	多文化社会論	2								
	逸脱と紛争の修復	2								
	現代コミュニティ論	2								
	国際NGO論	2								
	国際福祉論	2								
	社会問題の社会学	2								
	障害者スポーツ論	2								
	統計学入門	2								
必修	公共哲学	2			4単位					「哲学，倫理学，宗教学」
	いのちの倫理学	2								
選択	コミュニティ人間形成論	2								
	持続可能な福祉コミュニティ	2								
必修	社会・公民科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位				各教科の指導法	
	社会・公民科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	道徳教育の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目	「道徳」の理論と指導法	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2							「総合的な学習の時間」，「特別活動」	
	教育方法論	2							方法，技術	
	生徒・進路指導の理論と方法	2							生徒指導，進路指導	
	学校教育相談の理論と方法	2							相談の理論と方法	
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		
	中・高教育実習	4			4単位				教育実習	
	教職実践演習（中・高）	2							教職実践演習	
自由選択	教職特別演習	2			－			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	コミュニティ福祉学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理1	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理2	2								
	情報処理3	2								
	情報処理4	2								

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科　高校公民（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
必修	法学1	2	コミュニティ福祉学部		6単位	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」
必修	法学2	2								
必修	政治学	2								
選択	コミュニティ政策学入門	2								
選択	家族政策	2								
選択	健康政策	2								
選択	自治体政策論	2								
選択	社会開発論	2								
選択	政策科学	2								
選択	地方財政論	2								
選択	地方自治論	2								
選択	福祉制度論	2								
必修	社会学1	2			6単位					「社会学，経済学（国際経済を含む。）」
必修	社会学2	2								
必修	経済学	2								
選択	コミュニティ・ビジネス	2								
選択	パートナーシップ論	2								
選択	リサーチ方法論1	2								
選択	リサーチ方法論2	2								
選択	多文化社会論	2								
選択	逸脱と紛争の修復	2								
選択	現代コミュニティ論	2								
選択	国際NGO論	2								
選択	国際福祉論	2								
選択	社会問題の社会学	2								
選択	障害者スポーツ論	2								
選択	統計学入門	2								
選択必修	公共哲学	2		6単位選択必修	6単位以上					「哲学，倫理学，宗教学，心理学」
選択必修	いのちの倫理学	2								
選択必修	心理学1	2								
選択必修	心理学2	2								
選択	コミュニティ人間形成論	2								
選択	持続可能な福祉コミュニティ	2								
必修	社会・公民科教育法1	2	学校・社会教育講座		4単位					各教科の指導法
必修	社会・公民科教育法演習1	2								
必修	教育原論	2				23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
必修	教職概論	2								教職の意義など
必修	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
必修	教育心理学	2								心身の発達，学習など
必修	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
必修	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						道徳・総合的学習・生徒指導・教育相談に関する科目		「総合的な学習の時間」，「特別活動」
必修	教育方法論	2								方法，技術
必修	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
必修	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
必修	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		教育実習
必修	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					
必修	中・高教育実習	4								
必修	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	コミュニティ福祉学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
選択必修	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
選択必修	情報処理2	2								
選択必修	情報処理3	2								
選択必修	情報処理4	2								

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科　中学保健体育（1種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
選択必修	運動方法学演習1（フィットネス）	2	コミュニティ福祉学部	8単位選択必修	8単位以上	32単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技
	運動方法学演習2（陸上競技）	2								
	運動方法学演習3（球技:屋外ゴール型）	2								
	運動方法学演習4（球技:屋外ネット型）	2								
	運動方法学演習5（スキー）	2								
	運動方法学演習6（野外活動:キャンプ）	2								
	運動方法学演習7（球技:屋内）	2								
	運動方法学演習8（武道）	2								
	運動方法学演習9（水泳）	2								
必修	スポーツ科学総論	2			4単位					「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」・運動学（運動方法学を含む。）
	運動方法学	2								
選択必修	ウエルネス科学総論	2		2単位選択必修	2単位以上					
	スポーツウエルネス心理学	2								
	スポーツ社会学	2								
	スポーツ倫理学	2								
選択	コミュニティスポーツ論	2								
	バイオメカニクス	2								
	メンタルマネジメント	2								
必修	運動生理学	2			4単位					生理学（運動生理学を含む。）
	生理学	2								
選択	運動・スポーツ栄養学	2								
	運動処方・療法	2								
	解剖学	2								
	生活習慣病の科学	2								
必修	公衆衛生学	2			2単位					衛生学・公衆衛生学
選択必修	リスクマネジメント論	2		2単位選択必修	2単位以上					学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
	小児保健・精神保健	2								
選択	ウエルネススポーツ医学	2								
必修	保健体育科教育法1，2	各2	学校・社会教育講座		8単位					各教科の指導法
	保健体育科教育法演習1，2	各2								
必修	教育原論	2				27単位		教育の基礎的理解に関する科目		理念，歴史など
	教職概論	2								教職の意義など
	教育制度論・教育課程論	2								制度，経営，課程編成など
	教育心理学	2								心身の発達，学習など
	特別支援教育の理論と方法	2								特別支援の理解
	道徳教育の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・特別活動	「道徳」の理論と指導法
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2								「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実習に関する科目	教育実践	教育実習
	中・高教育実習	4			4単位					
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	コミュニティ福祉学部		2単位			第66条の6に定める科目		日本国憲法
選択必修	スポーツプログラム1～4	各1			2単位					体育
	スポーツスタディ1～4，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位					外国語コミュニケーション
選択必修	情報処理1	2			2単位					情報機器の操作
	情報処理2	2								
	情報処理3	2								
	情報処理4	2								

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科　高校保健体育（１種）

2019年度以降入学者適用

履修区分	科目	単位	要項	備考	免許取得要件			法令上の区分		
選択必修	運動方法学演習１（フィットネス）	2	コミュニティ福祉学部	8単位選択必修	8単位以上	36単位以上	59単位以上	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技
	運動方法学演習２（陸上競技）	2								
	運動方法学演習３（球技：屋外ゴール型）	2								
	運動方法学演習４（球技：屋外ネット型）	2								
	運動方法学演習５（スキー）	2								
	運動方法学演習６（野外活動：キャンプ）	2								
	運動方法学演習７（球技：屋内）	2								
	運動方法学演習８（武道）	2								
	運動方法学演習９（水泳）	2								
必修	スポーツ科学総論	2			4単位					「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」・運動学（運動方法学を含む。）
	運動方法学	2								
選択必修	ウエルネス科学総論	2		2単位選択必修	2単位以上					
	スポーツウエルネス心理学	2								
	スポーツ社会学	2								
	スポーツ倫理学	2								
選択	コミュニティスポーツ論	2								
	バイオメカニクス	2								
	メンタルマネジメント	2								
必修	運動生理学	2			4単位					生理学（運動生理学を含む。）
	生理学	2								
選択	運動・スポーツ栄養学	2								
	運動処方・療法	2								
	解剖学	2								
	生活習慣病の科学	2								
必修	公衆衛生学	2			2単位					衛生学・公衆衛生学
選択必修	リスクマネジメント論	2		2単位選択必修	2単位以上					学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）
	小児保健・精神保健	2								
選択	ウエルネススポーツ医学	2								
必修	保健体育科教育法１	2			4単位				各教科の指導法	
	保健体育科教育法演習１	2								
必修	教育原論	2	学校・社会教育講座			23単位または25単位		教育の基礎的理解に関する科目	理念，歴史など	
	教職概論	2							教職の意義など	
	教育制度論・教育課程論	2							制度，経営，課程編成など	
	教育心理学	2							心身の発達，学習など	
	特別支援教育の理論と方法	2							特別支援の理解	
	特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2						生徒指導・教育相談に関する科目	道徳・総合的学習・	「総合的な学習の時間」，「特別活動」
	教育方法論	2								方法，技術
	生徒・進路指導の理論と方法	2								生徒指導，進路指導
	学校教育相談の理論と方法	2								相談の理論と方法
	中・高教育実習事前指導	1						教育実践に関する科目		
	高校教育実習	2		中・高両免許を取得希望の場合は「中・高教育実習」を修得	2単位または4単位					教育実習
	中・高教育実習	4								
	教職実践演習（中・高）	2								教職実践演習
自由選択	教職特別演習	2			―			大学が独自に設定する科目		
必修	日本国憲法	2	コミュニティ福祉学部		2単位			第66条の6に定める科目	日本国憲法	
選択必修	スポーツプログラム１～４	各1			2単位				体育	
	スポーツスタディ１～４，e	各2								
選択必修	卒業に必要な全学共通科目言語教育科目	各1または各2			2単位				外国語コミュニケーション	
選択必修	情報処理１	2			2単位				情報機器の操作	
	情報処理２	2								
	情報処理３	2								
	情報処理４	2								

教職課程

2010～2018年度入学者適用

1　教育職員免許状について
2　本学で取得できる免許状について
3　教育職員免許状（１種）取得のための要件
4　免許状取得までのアウトライン
5　介護等体験
6　教育実習について（中学校・高等学校）
7　教育実習参加準備について
8　教育職員免許状申請手続きについて
9　教職に関する科目－履修上の注意－
10　教職に関する科目－カリキュラム－
■　教職課程（中学校１種・高等学校１種）［教職に関する科目］科目表

【2016 ～ 2018 年度入学者適用】学科別・免許教科別科目一覧
■　免許法施行規則第66条の６に定める科目－履修上の注意とカリキュラム－
■　教科に関する科目－履修上の注意とカリキュラム－
■　「教科に関する科目」よくある質問
■　教科に関する科目（学科別・免許教科別）

【2010 ～ 2015 年度入学者適用】学科別・免許教科別科目一覧
■　免許法施行規則第66条の６に定める科目－履修上の注意とカリキュラム－
■　教科に関する科目－履修上の注意とカリキュラム－
■　「教科に関する科目」よくある質問
■　教科に関する科目（学科別・免許教科別）

【専修免許状について－履修上の注意とカリキュラム－（大学院学生対象）】

2019年度以降（新教育職員免許法［平成28年改正法］施行後）の適用カリキュラムについて

2019年４月から，新教育職員免許法が施行された。これによる変更点，適用となるカリキュラム等の留意点は以下のとおりである。各自，自身の状況と適用カリキュラム等を必ず確認し，不明な点については学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

※2018年度以前の入学者であっても，免許状の取得に至らずに卒業した者が免許状の授与を受けるためには，改正された新法に基づく新課程で免許状授与の所要資格を得る必要があるので注意すること（卒業・退学後，間をおかずに大学院学生，科目等履修生，編入学生，再入学生等，学籍を変えた場合も同様）。

1．2019年度以降入学者適用カリキュラムは，主として，2019年度以降学部１年次入学者を対象としたカリキュラムである。

2．2018年度以前入学者適用カリキュラムからの主な変更点は以下のとおり。

⑴ 科目区分の変更に伴う授業科目の新設

特別支援教育の理論と方法
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法

⑵「中・高教育実習」の先修科目の変更

2018年度以前カリキュラム	⇒	2019年度以降カリキュラム
教科教育法１	⇒	教科教育法１（注）
教科教育法演習１		教科教育法演習１（注）
教科教育法２		
教科教育法演習２		

（注）異文化コミュニケーション学科学生は，自学科開設の「教科の指導法」科目を修得すること。

3．入学（編入学）年度および学籍ごとの適用カリキュラム等

入学（編入学）年度	学籍の状況	条件	適用カリキュラム	新設２科目の修得	「中・高教育実習」の先修科目
2019年度以降	学部学生		2019年度以降	必要	2019年度以降カリキュラム
	・大学院学生 ・科目等履修生 ・再入学生 ・学士課程卒業後の編入学生	2021年度までに「教育実習」を修得見込の者	2018年度以前	必要	2018年度以前カリキュラム
		2022年度以降に「教育実習」を修得見込の者	2019年度以降	必要	2019年度以降カリキュラム
	学士課程在籍中の編入学生		2018年度以前	不要	2018年度以前カリキュラム
2018年度以前	2019年度以降も引き続き同学籍に在籍している者				

教職課程　2010～2018年度入学者に適用

1　教育職員免許状について

教育職員免許法により，学校教育法における教員（大学・高専を除く）は，教育職員免許状を所持している者でなくてはならないと定められている。したがって，教職に就こうとする者はこの免許状を取得しなくてはならない。

1．種類

教育職員免許状は，普通免許状と臨時免許状に大別される。教諭には普通免許状が，助教諭には臨時免許状が必要であり，本学で取得できる免許状は普通免許状である。普通免許状は，基礎資格と修得すべき単位数により，専修（大学院で取得）と１種（学部で取得）とに分かれている。

2．効力

普通免許状は，ひとつの都道府県（教育委員会）から授与されるが，すべての都道府県において有効である。国公私立学校の別はない。従来は教育職員免許法に規定された欠格条項に抵触しない限り終身有効であったが，2007年６月の教育職員免許法改正に伴い，2009年４月から教員免許更新制が導入された。2009年４月１日以降に授与される教育職員免許状の有効期間は10年間で，更新には大学等での免許状更新講習受講・修了が必須となっている。

3．欠格条項

教育職員免許法第５条第１項但書（ただしがき）に抵触する場合は，授与されない。

1　18歳未満の者
2　高等学校を卒業しない者（通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む）。ただし，文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認めた者を除く。
3　成年被後見人又は被保佐人
4　禁錮（こ）以上の刑に処せられた者
5　免許失効（第10条第１項第２号又は第３号に規定）の日から３年を経過しない者
6　免許状取上げ処分（第11条第１項から第３項に規定）の日から３年を経過しない者
7　日本国憲法施行の日以後において，日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し，又はこれに加入した者

4．授与権者

文部科学大臣の監督のもとに，免許状授与の権限を国から委任された機関で，都道府県教育委員会がそれに当たる。

5．教員養成課程の認定

本学では，免許状授与のための課程として「正規の課程」と「科目等履修生（学部）による課程」とが文部科学大臣から認定を受けている。

2　本学で取得できる免許状について

1．免許状の種類

⑴　１種免許状

教育職員免許法に定められている「教職」ならびに「教科」に関する科目等の必要単位を修得し，学士の学位を取得した者には，本人の申請に基づいて，中学校１種および高等学校１種免許状が与えられる。

⑵　専修免許状

すでに中学校・高等学校の１種免許状を取得していることが前提となる。その１種免許状と，同一教科で専修免許状が認可されている大学院博士課程前期課程（修士課程）において，自専攻開設科目24単位以上を定められたとおりに修得し，修士の学位を取得した者には，本人の申請に基づいて，中学校専修および高等学校専修免許状が与えられる（免許法第５条別表第１以外で高等学校１種免許状を取得している場合を除く）。

ただし，この場合大学院において修得する科目は限定される場合もある。

＊専修免許状についての詳細は，280ページ「専修免許状について－履修上の注意とカリキュラム－」を参照のこと。

2．免許教科

本学で取得できる免許教科は，別表１・２のとおりである。学部・学科・専攻に認定された教科以外を取得することはできない。

ただし，以下の教科については，認定を受けた学科（専修）以外に所属する学生のうち，選考に合格した若干名に対し，免許状取得に必要な科目を履修することが許可される。対象者・選考方法は毎年度見直しが行われるので，2020年度については掲示で確認をすること（掲示場所・時期は，昨年の実施内容を参考にすること）。

2019年度実施内容（参考）

◆文学部文学科自専修以外の教科（英語・ドイツ語・フランス語・国語）

対 象 者…文学部文学科英米文学専修／ドイツ文学専修／フランス文学専修／日本文学専修／文芸・思想専修各専修所属の２年次生（2019年度選考時）で，所属専修に認められた教科の免許状取得予定者

履修開始…2020年４月から

掲示場所…文学部掲示板，池袋キャンパスの学校・社会教育講座掲示板（７月上旬掲示）

◆「保健体育」

詳細については掲示を確認のこと。

掲示場所…両キャンパスの学校・社会教育講座掲示板，池袋キャンパス教務全学用掲示板，新座キャンパス教務関係掲示板（7月上旬掲示）

別表１ 本学の各学部・各学科に認定された免許状の種類と免許教科

【池袋キャンパス】

学部	学科		免許教科		
			小学校（1種）	中学校（1種）	高等学校（1種）
文学部	キリスト教学科		／	社　会 宗　教	地理歴史 公　民 宗　教
	史学科		／	社　会	地理歴史 公　民
	教育学科[注1]	教育学専攻課程	／	社　会	公　民
		初等教育専攻課程	小学校	／	／
	文学科	英米文学専修	／	英　語	英　語
		ドイツ文学専修	／	ドイツ語	ドイツ語
		フランス文学専修	／	フランス語	フランス語
		日本文学専修	／	国　語	国　語
		文芸・思想専修	／	国　語	国　語
経済学部	経済学科		／	社　会	地理歴史 公　民 商　業
	会計ファイナンス学科		／	社　会	公　民 商　業
	経済政策学科		／	社　会	地理歴史 公　民 商　業
経営学部	経営学科		／	（社会）[注3]	（公民）[注3] （情報）[注2]
	国際経営学科		／	（社会）[注3]	（公民）[注3]

学部	学科	免許教科		
		小学校（1種）	中学校（1種）	高等学校（1種）
理学部	数学科	／	数　学	数　学 情　報
	物理学科	／	理　科	理　科
	化学科	／	理　科	理　科
	生命理学科	／	理　科	理　科
社会学部	社会学科	／	社　会	公　民
	現代文化学科	／	社　会	公　民
	メディア社会学科	／	社　会	公　民
法学部	法学科	／	社　会	地理歴史 公　民
	政治学科	／	社　会	地理歴史 公　民
	国際ビジネス法学科	／	社　会	地理歴史 公　民
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	／	英　語	英　語

注1　教育学科の学生は，専攻課程によって＜中学・高校＞か＜小学校＞に分かれる。両方の免許を取得することはできない。

注2　経営学科の「高校情報」は，2011年度学部１年次入学者までが対象となる。2012年度以降学部１年次入学者は取得できない。

注3　経営学科・国際経営学科の「中学社会」「高校公民」は，2015年度学部1年次入学者までが対象となる。2016年度以降学部1年次入学者は取得できない。

【新座キャンパス】

学部	学科	免許教科		
		小学校（1種）	中学校（1種）	高等学校（1種）
観光学部	観光学科	／	社　会	地理歴史 （公民）[注4] （商業）[注4]
	交流文化学科	／	社　会	地理歴史 （公民）[注4] （商業）[注4]
現代心理学部	心理学科	／	／	（公民）[注5]
	映像身体学科	／	／	／

学部	学科	免許教科		
		小学校（1種）	中学校（1種）	高等学校（1種）
コミュニティ福祉学部	福祉学科	／	社　会	公　民 福　祉
	コミュニティ政策学科	／	社　会	公　民
	スポーツウエルネス学科	／	保健体育	保健体育

注4　観光学科・交流文化学科の「高校公民」「高校商業」は，2012年度学部１年次入学者までが対象となる。2013年度以降学部１年次入学者は取得できない。

注5　心理学科の「高校公民」は2015年度学部1年次入学者までが対象となる。2016年度以降学部1年次入学者は取得できない。

別表２ 本学の大学院各専攻に認定された免許状の種類と免許教科

研究科	専攻	免許教科		
		小学校（専修）	中学校（専修）	高等学校（専修）
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	／	社会 宗教	地理歴史 公民 宗教
文学研究科	日本文学専攻	／	国語	国語
	英米文学専攻	／	英語	英語
	ドイツ文学専攻	／	ドイツ語	ドイツ語
	フランス文学専攻	／	フランス語	フランス語
	史学専攻	／	社会	地理歴史 公民
	超域文化学専攻	／	社会	地理歴史 公民
	教育学専攻	小学校	社会	公民
	比較文明学専攻	／	社会	公民
経済学研究科	経済学専攻	／	社会	地理歴史 公民 商業
理学研究科	物理学専攻	／	理科	理科
	化学専攻	／	理科	理科
	数学専攻	／	数学	数学
	生命理学専攻	／	理科	理科

研究科	専攻	免許教科		
		小学校（専修）	中学校（専修）	高等学校（専修）
社会学研究科	社会学専攻	／	社会	公民
法学研究科	法学政治学専攻	／	社会	公民
観光学研究科	観光学専攻	／	社会	（公民）[注1] （商業）[注1]
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	／	社会 保健体育	公民 福祉 保健体育
現代心理学研究科	心理学専攻	／	／	（公民）[注3]
	臨床心理学専攻	／	／	（公民）[注3]
経営学研究科	経営学専攻	／	（社会）[注3]	（公民）[注3]
21世紀社会デザイン研究科	比較組織ネットワーク学専攻	／	社会	公民
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	／	（社会）[注2] 英語	（公民）[注2] 英語

注1　観光学専攻の「高校公民」「高校商業」は，2016年度大学院1年次入学者までが対象となる。2017年度以降大学院1年次入学者は取得できない。

注2　異文化コミュニケーション専攻の「中学社会」「高校公民」は，2015年度大学院1年次入学者までが対象となり，2016年度以降大学院1年次入学者は取得できない。

注3　心理学専攻・臨床心理学専攻の「高校公民」ならびに，経営学専攻の「中学社会」「高校公民」は，2018年度大学院1年次入学者までが対象となる。2019年度以降大学院1年次入学者は，取得できない。

※出身学部・学科において同一教科の一種免許状が認可されていない場合は，所属している専攻に認可されていても専修免許状を取得することはできない。

3　教育職員免許状（1種）取得のための要件

1．基礎資格

1種免許状は，「学士」の学位を有すること。

2．単位修得要件

下表の最低修得単位数を，大学においてすべて修得する必要がある。

法令上の科目区分		最低修得単位数	
		中学校1種	高等学校1種
教職に関する科目		33単位	25単位
教科に関する科目(※1)(※3)		28単位（※2）	36単位
教科又は教職に関する科目		(※3)	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（※4）	日本国憲法	2単位	
	体育	2単位	
	情報機器の操作	2単位	
	外国語コミュニケーション	2単位	

※1　「教科に関する科目」については，所属する学科ならびに免許教科ごとに異なるため，該当ページを熟読すること。
⇒2016～2018年度入学者：162ページ～参照
⇒2010～2015年度入学者：218ページ～参照
※2　「中学国語」のみ29単位
※3　3．注意事項⑵⑶を参照。
※4　全学共通科目・全学共通カリキュラムまたは各学部開講科目を充てている。
⇒2016～2018年度入学者：156・157ページ参照
⇒2010～2015年度入学者：211～213ページ参照

3．注意事項

⑴　中学校・高等学校の免許状を両方取得する場合は，「教職に関する科目」・「教科に関する科目」とも，重複する科目については共通の科目として使用することができる。

⑵　本学では，高等学校免許状取得において「道徳教育の理論と方法（道徳教育の研究）」（2単位）および「（各）教科教育法演習２」（2単位…下記注意参照）を「教科又は教職に関する科目」とする。2010年度～2013年度入学者のうち，高等学校免許状のみの取得希望者に限り，この単位を「教科に関する科目」の選択科目の単位数に加算できる場合がある。**詳細は，学校・社会教育講座事務室に必ず確認すること。**

注意　この場合の「（各）教科教育法演習２」は取得予定免許教科にかかわる「教科教育法演習２」が対象となり，それ以外は認められない。

⑶　「教職特別演習」（2単位）は，2010～2013年度入学者に限りこの単位を，「教科に関する科目」の選択科目の単位数に加算できる場合がある。**詳細は，学校・社会教育講座事務室に必ず確認すること。**

⑷　中学校免許状を取得する場合は，上記に加えて介護等体験を行うことが必要。

☞ 5 介護等体験 参照

免許状取得にあたっての留意点

一部の免許教科を除いて，中学校と高等学校の免許状を取得できる。高等学校だけの免許状を取得することも可能であるが，私立に限らず公立の場合でも中学・高校を一貫するタイプの学校が増えていく状況の中で，中学・高校両方の指導を担当できる教員の需要が高まることが予想される。したがって，**可能な限り中学校・高等学校の両方の免許状を取得することが望ましい。**

また，複数の教科の免許状を取得できる学科の場合は，履修に際しては，各自の卒業までの単位修得について十分に熟慮したうえで計画すること。

4 免許状取得までのアウトライン

教職課程に登録して科目を履修するだけでは教員免許状を取得することはできない。

免許状取得までのおおまかなアウトラインを学年を追って下表にまとめたので参考にしてほしい。具体的な内容は，該当年度の『学校・社会教育講座履修要項』を参照すること。

また，日程等は掲示で知らせるので，必ず登校時には講座掲示板を確認するようこころがけること。[☞ 講座掲示板の場所は巻末の構内案内図を参照]

	主な内容	「教職に関する科目」「免許法施行規則第66条の6に定める科目」の履修モデル
		科目は教育実習に参加するための先修科目（☞139ページ参照）
1年次	教職課程に登録 登録…Webサイトからの登録 納入…講座登録料納入 ⇒『講座履修要項』13ページを参照	教育原論 教育心理学 道徳教育の理論と方法（道徳教育の研究） 教育制度論・教育課程論 生徒・進路指導の理論と方法 「免許法施行規則第66条の6に定める科目」（日本国憲法*・体育*・情報機器の操作*・外国語コミュニケーション） ＊印の科目の中には抽選登録科目もあるので，1年次から履修・修得するよう努めること。
2年次	「履修の記録（履修カルテ）」作成始まる ☞141ページ 「次々年度教育実習ガイダンス」（7月または11月予定）への出席 介護等体験参加のための手続きが始まる ☞137ページ 「介護等体験ガイダンス（登録）」への出席 教育実習希望校への訪問（春休み）☞139ページ	教職概論 教育方法論 学校教育相談の理論と方法 特別活動の理論と方法（特別活動の研究）
3年次	教育実習参加のための手続きが始まる ☞141ページ ★教育実習先修科目（右列の網掛の科目）はこの年度終了時点までに修得しなくてはならない 介護等体験実施年度	（各）教科教育法1 （各）教科教育法演習1 （各）教科教育法演習2 （各）教科教育法2 （履修方法は145ページ参照） 中・高教育実習事前指導 または 高校教育実習事前指導
4年次	教育実習実施年度 教員免許状一括申請手続き ☞143ページ	中・高教育実習または高校教育実習 教職実践演習（中・高）
	教育職員免許状	

5　介護等体験――体験は主に3年次で行う。ガイダンスは2年次の秋から始まる。

1. 介護等体験の義務づけ

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（通称：介護等体験に関する特例法）（1998年4月1日施行）により，小・中学校免許状取得希望者は，都道府県教育委員会への免許申請時に，介護等体験を行った旨の証明書を添付することが義務づけられた。

2. 体験の趣旨

法律では体験の趣旨について次のように規定している。

「個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めるために，小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に，障害者，高齢者等に対する介護，介助，これらの者との交流等の体験を行わせる。（要旨）」

3. 体験の施設と期間

体験を行う施設の種別は，法律で細かく規定されており，期間は７日以上とされている。一般的には，老人ホームなどの社会福祉施設で5日間，特別支援学校で２日間の計７日間である。

4. 対象学生

学部学生および大学院前期・後期課程学生，科目等履修生。

ただし，下記の⑴～⑹に該当する者は適用対象外。

⑴　「商業」「情報」「福祉」のみの免許状取得予定者

⑵　⑴以外の教科で高校のみの免許状取得予定者

⑶　既に介護等体験を行った者で，「介護等体験証明書」原本（写しは不可）を本学に提出可能な者。

⑷　コミュニティ福祉学部の学生で「所属学部設置の実習」を行う予定の者。ただし，施設の種類によっては介護等体験に代えることができない場合があるので，実習先が決定した段階で新座キャンパス学校･社会教育講座事務室に相談すること。

⑸　以下の免許・資格既得者

小学校または中学校の教育職員免許状（１種・２種・専修），保健師，助産師，看護師，准看護師，理学療法士，作業療法士，義肢装具士，社会福祉士，介護福祉士，特別支援学校教員

⑹　身体障害者手帳１級から６級所持者

5. 体験の失格

定められた事務手続きを所定の期限内に行わない等，手続き上の不備があった場合には，当該年度の介護等体験は失格となる。体験についての必要事項はすべて学校・社会教育講座掲示板にて発表する。

掲示の見落しにより所定の手続きが完了しなかった場合も上記に準ずる。

6. 2020年度体験予定の学生―主に3年次生

2019年度中に「介護等体験ガイダンス（登録）」に出席し，必要な手続きを完了しているものは以下の指示に従って手続きを進めること。

⑴　書類提出・費用納入

以下のとおり，書類提出および社会福祉施設体験費用納入を行う。費用は介護等体験を行う都県によって異なる。（東京都は10,260円，埼玉県は8,000円）

所属キャンパス	提出期間	提出先
池袋	4月1日（水）・2日（木）17：00締切	2号館　池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室
新座	3月26日（木）・27日（金）16：30締切	7号館　新座キャンパス学校・社会教育講座事務室

⑵　**「介護等体験ガイダンス（事前説明）」への出席**

日　時　　**2020年６月20日（土）［午後］**
場　所　　**池袋キャンパス　7101教室**
＊開始時間等詳細については，決定次第，学校・社会教育講座掲示板に掲示する。

無断欠席・遅刻・早退の場合は，2020年度の介護等体験への参加を放棄したものと見なす。

このガイダンスでは，体験先，期間の発表や実際の体験に際して必要な説明を行うほか，前年度体験者の体験報告等を行う予定。

⑶ 介護等体験証明書の提出

介護等体験終了後，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に提出する。提出期間については上記「介護等体験ガイダンス（事前説明）」で指示する。

7. 2021年度体験予定の学生

⑴ 希望者は，「**介護等体験ガイダンス（登録）**」に必ず出席すること。

日　時　　2020年11月［予定］
＊日時・場所の詳細については，決定次第，学校・社会教育講座掲示板に掲示する（10月上旬の予定）。

＊異文化コミュニケーション学部学生及び大学の留学制度を利用する学生で，留学により11月実施の上記ガイダンスに出席できない者のうち，2020年12月末までに留学から帰国する２年次生以上の学生は，以下のガイダンスへの参加を認めるものとする。

日　時　　2021年１月［予定］
＊日時・場所の詳細については，決定次第，学校・社会教育講座掲示板に掲示する（12月上旬の予定）。

無断欠席・遅刻・早退の場合は2021年度の介護等体験への参加を放棄したものと見なす。

⑵ 申込手続

介護等体験に伴う都県への手続きは，学校・社会教育講座事務室が行う。

学生がとらなくてはならない手続きについては，上記「介護等体験ガイダンス（登録）」で詳細を説明する。

8. 3年次編入生，大学院新規入学生への注意

2020年度の介護等体験に参加することはできない。ただし，2019年度に参加申込手続きをし，所定の手続きを完了している場合はこの限りではない。

2021年度介護等体験については上記７．を参照し，ガイダンスの出席，申込手続をとること。

6 教育実習について（中学校・高等学校）

1. 教育実習とは

教育実習とは，教育職員免許状を取得するためには，絶対に欠かせない要件の一つであり，学校教育の現場で校長および指導教諭のもとで教員として求められる知識・技能を修得することを目的とする。

2. 実習期間と必要単位数

免許状の種類	教育実習期間*	教育実習単位数**	事前指導単位数
中学校教諭免許状	３週間以上	４単位	１単位
高等学校教諭免許状	２週間以上	２単位	１単位

中学校または高等学校で３週間以上の教育実習を行えば，中学校・高等学校両方の免許状を同時に取得できる。

*実習期間は，実習校の都合で４週間（高校の場合は３週間）になる場合もある。
**実習校における教育実習のほかに直前に行われる大学の指導も含まれる。

3. 参加資格

1　**先修科目群**：教育実習前年度までに，以下の科目を修得していること。
中学・高校両方の免許状を希望する場合は，中学校免許状取得希望の条件を満たすこと。

免許状の種類	中学校免許状取得希望	高等学校免許状取得希望
先修科目	教育原論	教育原論
	教育制度論・教育課程論	教育制度論・教育課程論
	教育心理学	教育心理学
	生徒・進路指導の理論と方法	生徒・進路指導の理論と方法
	教職概論	教職概論
	教科教育法１	教科教育法１
	教科教育法演習１	教科教育法演習１
	教科教育法演習２	高校教育実習事前指導
	中・高教育実習事前指導	

＊「商業」希望者は，上記のほかに「簿記（論）」「簿記（論）１・２」を教育実習前年度までに修得すること。

注意　同一科目名の教科教育法がある場合は，「教科教育法１」と「教科教育法演習１」は，必ず同じアルファベットの科目を履修すること。（ 9 教職に関する科目ー履修上の注意ー「2．教科教育法」を参照）。

2　**諸手続**：ガイダンスへの出席を含め実習までに必要な所定の手続きを，すべて完了していること。

3　定期健康診断・麻しん（はしか）の抗体検査を受け，健康に問題がないこと，麻しん（はしか）の抗体が十分あることが確認できること。

4. 教育実習校について

①原則として，出身校で行う。実習を行う学校は，中学・高校いずれでもよい。

各人の進路希望に即して，実習希望校種を選択すること。

②実習希望校訪問

教育実習の受入れ依頼については，２年次の「教育実習ガイダンス」等で説明する。実習校によっては，先着順，抽選，授業案・レポートによる選考，面接などを行って決定する場合があるので，なるべく早い時期に実習希望校を訪問することが必要となる。２年生から３年生になる２，３月に出身校を訪問し，申し込み時期・方法，受入れ状況を確認し，可能ならば口頭で内諾を得ておくことが望ましい。

実習希望校の選考にもれるなど，実習校確保が困難な場合は，学校・社会教育講座事務室に申し出て，なるべく早く善後策を講じること。

なお，立教池袋中学・高等学校，立教新座中学・高等学校，立教女学院中学・高等学校における教育実習は原則として出身者のみである。

5. 教育実習までの手続き等

次ページ 7 教育実習参加準備について をよく読んで実習前々年度から行われるガイダンス・事前指導に出席し，手続き等を必ず行うこと。

6. 2020年度教育実習参加予定の学生 ―主に4年次生

⑴　**履修登録**

「教職に関する科目」，「教科に関する科目」，「免許法施行規則第66条の６に定める科目」を満たすように慎重に確認すること。

「中・高教育実習」「高校教育実習」の履修登録は，手続き等がすべて完了していることを確認の上，大学が自動登録する。

⑵　**「教育実習確認票」交付**　2020年４月２日（木）

⑶　**教育実習関係書類提出**　2020年４月６日（月），７日（火）９：00～17：00

⑷　**定期健康診断の受診**

⑸ 教育実習直前指導

日時　2020年４月18日（土）13：25〜15：40（予定）
場所　池袋キャンパス　7102教室

⑹ 教育実習（教育実習校での２〜４週間の実習）

⑺「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「授業案」の提出

所定の期日までに提出のこと。

上記１〜７の詳細については，2020年１月に配付した『教育実習ハンドブック（手続編）』を熟読すること。

7. 評価

「中・高教育実習」「高校教育実習」の単位は，以下の点を総合して評価する。

１．「教育実習直前指導」への出席
２．実習校からの評価
３．「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「研究授業で使用した授業案」

＊以下に該当した場合は，単位を認めない。

１．「教育実習直前指導」に無断欠席した場合
２．「教育実習の記録」「教育実習事後レポート」「研究授業で使用した授業案」を期限内に提出しなかった場合

7 教育実習参加準備について―教育実習事前指導について

1. 2022年度教育実習参加予定の学生

■2022年度教育実習に参加希望の学生は，2020年度実施の以下のプログラムに必ず出席すること。

⑴ 「2022年度教育実習ガイダンス」への出席

2022年度に教育実習を希望する学生（2022年度に４年次以上になる学生）は，下記の「2022年度教育実習ガイダンス」に必ず出席すること。

このガイダンスで，「履修の記録」（☞下記参照）についても説明をする。

> **日　時　　2020年11月７日（土），11日（水），12日（木）**
> **＊日時・場所の詳細については，９月中旬に学校・社会教育講座掲示板に掲示する（いずれか１回に出席すること）。**

※異文化コミュニケーション学部学生及び大学の留学制度を利用する学生のみ，下記の日程となる。

> **【異文化コミュニケーション学部学生対象】／【大学の留学制度を利用する学生対象】**
> **日　時　　2020年７月４日（土）**
> **＊この「大学の留学制度を利用する学生」とは，2022年度教育実習に参加希望し，大学の留学制度を利用する２年次生以上の学生（留学期間：2020年度秋学期～2021年５月末）である。なお，留学期間の関係で2022年度教育実習に参加することができず，2023年度教育実習参加予定の学生も，当該ガイダンスに出席すること。**
> **＊日時・場所の詳細については，５月中旬に学校・社会教育講座掲示板に掲示する。**

欠席・遅刻・早退の場合は，2022年度教育実習の参加を認めない。

📖「履修の記録」について

教育職員免許法施行規則改正（2009年４月１日）により，「教職実践演習」（４年次秋学期必修）の履修修得が義務づけられた。一人ひとりの学生の教職課程の履修履歴を把握するための「履修の記録」作成も義務づけられた。

⑵ ⑴のガイダンスで配付する「履修の記録」を指示に従い作成すること。

2. 2021年度教育実習参加予定の学生 ―主に3年次生

■2019年７月または11月開催の「2021年度教育実習ガイダンス」に出席し，「履修の記録」の記入作成を行っている学生対象

下記の条件を満たせば，2021年度「中・高教育実習」または「高校教育実習」の履修が認められる。

⑴ 次ページの「2020年度日程表」の**「中・高教育実習事前指導」「高校教育実習事前指導」**に出席すること。

⑵ 教育実習先修科目の単位を2020年度終了時点ですべて修得できていること。

⑶ 教育実習に必要な書類の提出をはじめとして指示された手続きをすべて滞りなく済ませていること。

■2019年７月または11月開催の「2021年度教育実習ガイダンス」に出席していない学生

＊主な対象者；①3年次生以上で2020年度から教職課程履修を開始する学部学生（３年次編入学生も含む）
②2020年度から教職課程履修を開始する大学院学生

下記の条件を満たせば，2021年度「中・高教育実習」または「高校教育実習」の履修が認められる。

⑴ 2020年4月に行われる**「2021年度教育実習ガイダンス（補充）」**に出席すること。

⑵ 次ページの「2020年度日程表」の**「中・高教育実習事前指導」「高校教育実習事前指導」**に出席すること。

⑶ 教育実習先修科目の単位を2020年度終了時点ですべて修得できていること。

⑷ 教育実習に必要な書類の提出をはじめとして指示された手続きをすべて滞りなく進めていること。

注意

1．2020年４月以降実施される「**教育実習事前指導**」（**下記日程表参照**）に欠席・遅刻・早退の場合は，2021年度教育実習の参加を認めない。
2．2019年７月または11月開催の「2021年度教育実習ガイダンス」に出席していない者は，「2021年度教育実習ガイダンス（補充）」（４月11日）に出席しなければ，以後の「事前指導」への参加は認めないので注意すること。

■2020年度日程表

<table>
<tr><th colspan="2">履修科目
日　程</th><th colspan="3">中・高教育実習事前指導[注1]
高校教育実習事前指導[注1]</th><th colspan="3">教科教育法演習２[注1]</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>11日（土）</td><td>13:25〜</td><td colspan="2">2021年度教育実習ガイダンス（補充）[注2]</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">５月</td><td>６日（水）</td><td>18:10〜</td><td>事前指導Ⅰ[注3]（池袋）</td><td rowspan="2">必ず所属キャンパスの事前指導Ⅰに出席のこと</td><td colspan="3" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>８日（金）</td><td>18:10〜</td><td>事前指導Ⅰ[注3]（新座）</td></tr>
<tr><td>11日（月）</td><td colspan="3" rowspan="3"></td><td>18:10〜</td><td>「教科教育法演習２」オリエンテーション（池袋）</td><td rowspan="3">3回のうちいずれか1回に出席のこと</td></tr>
<tr><td>15日（金）</td><td>18:10〜</td><td>「教科教育法演習２」オリエンテーション（新座）</td></tr>
<tr><td>16日（土）</td><td>13:25〜</td><td>「教科教育法演習２」オリエンテーション（池袋）</td></tr>
<tr><td>６月</td><td>13日（土）［予定］</td><td colspan="3"></td><td>午後</td><td colspan="2">「教科教育法演習２」（講義編）</td></tr>
<tr><td>９月</td><td>下旬</td><td colspan="3"></td><td colspan="3">「教科教育法演習２」授業案提出[注4]</td></tr>
<tr><td rowspan="3">10月</td><td>８日（木）</td><td>18:10〜</td><td>事前指導Ⅱ（新座）</td><td rowspan="3">3回のうちいずれか1回に出席のこと</td><td colspan="3" rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>10日（土）</td><td>13:25〜</td><td>事前指導Ⅱ（池袋）</td></tr>
<tr><td>12日（月）</td><td>18:10〜</td><td>事前指導Ⅱ（池袋）</td></tr>
<tr><td>11月</td><td>中旬</td><td colspan="3"></td><td colspan="3">「教科教育法演習２」レポート提出[注4]</td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td>14日（土）［予定］</td><td colspan="3"></td><td>午後</td><td colspan="2">「教科教育法演習２」（添削編）その1[注4]</td></tr>
<tr><td>１月</td><td>16日（土）［予定］</td><td colspan="3"></td><td>午後</td><td colspan="2">「教科教育法演習２」（添削編）その2[注4]</td></tr>
</table>

注１　詳細は，各科目のシラバス（Web）を参照すること。

注２　2019年７月または11月に実施された「2021年度教育実習ガイダンス」に出席していないものは必ずこの補充のガイダンスに出席すること。

2021年度教育実習ガイダンス（補充）
４月11日（土）13：25〜　7102教室
※池袋キャンパスのみの開催となる。詳細については，学校・社会教育講座掲示板に掲示する。
※いずれのキャンパスの学生もこの補充に出席すること。

注３　「教育実習事前指導Ⅰ」は，所属するキャンパス毎に内容が異なるので，必ず所属するキャンパスの「教育実習事前指導Ⅰ」に出席すること。

教育実習事前指導Ⅰ
■池袋キャンパス　５月６日（水）18：10〜　7101教室
■新座キャンパス　５月８日（金）18：10〜　N214教室
詳細については，所属するキャンパスの学校・社会教育講座掲示板に掲示する。出席できない場合は，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に相談すること。

注４　内容および日程については，「教科教育法演習２」オリエンテーションで説明される。

8　教育職員免許状申請手続きについて

教育職員免許法で定める教育職員免許状取得の所要資格を満たした者は，教育委員会に申請手続きをとることにより，教育職員免許状が交付される。免許状授与申請手続きは本来個人で行う（個人申請）ものだが，卒業期（2～3月）は申請が集中するため大学が一括して教育委員会に申請手続きをとる。これを「一括申請」と呼ぶ。

1．一括申請の対象者

一括申請できるのは，卒業（修了）が確実の者で卒業（修了）時までに教職課程所定の単位を修得することが確実な者，または科目等履修生で教職課程所定の単位をその年度内に修得することが確実の者に限る。したがって，一括申請の手続きをしていても，「教職に関する科目」・「教科に関する科目」・「免許法施行規則第66条の６に定める科目」・専修免許状取得に必要な自専攻開設科目等の単位が不足している場合，また，卒業（修了）判定が不合格となった場合は，免許状は交付されない。

また，一括申請の該当者であっても教育委員会の電算システム関係で対象外となる場合がある。その際は個人申請*をすること（該当者には個別に指示する）。

＊「５．個人申請」を参照のこと。

2．免許状の授与権者

教育職員免許状は，大学の所在地の教育委員会―池袋キャンパスの学生は東京都教育委員会，新座キャンパスの学生は埼玉県教育委員会―からそれぞれ交付される。

3．一括申請手続【注意点】

キャンパスによって手続きの内容が異なる。下記注意点をよく読み手続きをすること。

⑴　所属するキャンパスで手続きをすること。

⑵　留年する場合は，次年度（卒業・修了する年度）にあらためて一括申請手続きをすること。

⑶　特別卒業（９月卒業）・特別修了（９月修了）を希望する場合は，一括申請の対象外となるため「個人申請」となる。

⑷　2021年４月以降に教員として就職する場合，一括申請手続をしないと３月末までに免許状を取得できないので注意すること。一括申請手続をせずに教員採用の内定を受けた者は，速やかに所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出ること。

⑸「一括申請願」の提出によって本年度の申請を調査・確認するので，提出のない場合はいかなる理由があっても，一括申請はできない。

⑹「一括申請願」提出後，途中で申請を取りやめる場合，また申請した教科の取り下げ等がある場合や，本籍地・姓名を変更した場合は，速やかに所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に申し出ること。

【池袋キャンパスの学生】

⑴　**教育職員免許状一括申請願提出**

①　本年度教育実習に参加する学生は，４月６日（月）または７日（火）に池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室に提出すること。

②　前年度までに教育実習を終了している場合は，池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室に「一括申請願」を用意してあるので４月末日までに提出すること。

⑵　**「戸籍抄本」の準備**

本籍地等を確認するために提出が必要なため，10月の手続期間までに準備しておくこと。

⑶　**教育職員免許状の一括申請料納入・一括申請手続**

10月下旬に下記の手続きを行うこと。日程等詳細については，掲示を確認すること。

（一括申請手続きに必要な書類は，学校・社会教育講座事務室から大学に届けている現住所あてに９月下旬～10月上旬にレターパックで送付する。転居等により住所に変更があった場合は，速やかに住所変更手続きを行うこと。７月末までに手続きを行わなかった者は，学校・社会教育講座事務室に申し出ること。）

〈書類提出〉

黒のボールペンまたは万年筆を用いて，必要事項を記入し提出すること（プラスチック消しゴム等で消せる筆記具は使用不可）。

〈申請料納入〉

① 一括申請料分の証紙を教務事務センターで購入。

② 「教育職員免許状一括申請料証紙貼付台紙」に申請に必要な証紙を貼付。

③ 池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室に「貼付台紙」（上記②），「教育職員免許状授与申請書（一括申請）宣誓書」（東京都教育委員会提出書類・本人の署名，捺印）および「戸籍抄本」を提出。宣誓書は朱肉使用のハンコを使用して捺印すること（インク浸透印－シャチハタ等－の使用不可）。

④ 一旦納入した申請料および提出書類はいかなる理由があっても返却しない。

【新座キャンパスの学生】

⑴ 教育職員免許状一括申請願提出

① 本年度教育実習に参加する学生は，４月６日（月）または７日（火）に新座キャンパス学校・社会教育講座事務室に提出すること。

② 前年度までに教育実習を終了している場合は，新座キャンパス学校・社会教育講座事務室に「一括申請願」を用意してあるので４月末日までに提出すること。

⑵ 「戸籍抄本」の準備

埼玉県教育委員会提出用に当該年度の10月１日以降発行の「戸籍抄本」を手元に準備しておくこと。

⑶ 教育職員免許状の一括申請料納入・一括申請手続

10月下旬に下記の手続きを行うこと。日程等詳細については，掲示を確認すること。

（一括申請手続きに必要な書類は，学校・社会教育講座事務室から大学に届けている現住所あてに９月下旬～10月上旬にレターパックで送付する。転居等により住所に変更があった場合は，速やかに住所変更手続きを行うこと。７月末までに手続きを行わなかった者は，学校・社会教育講座事務室に申し出ること。）

〈書類提出〉

黒のボールペンまたは万年筆を用いて，必要事項を記入し提出すること（プラスチック消しゴム等で消せる筆記具は使用不可）。

〈申請料納入〉

① 一括申請料分の証紙を教務事務センターで購入。

② 「教員免許状一括申請料証紙貼付台紙」に申請に必要な証紙を貼付。

③ 新座キャンパス学校・社会教育講座事務室に「貼付台紙」（上記②）と「教育職員免許状授与願」，「履歴書」（埼玉県教育委員会提出書類・本人の署名）および「戸籍抄本」を提出。

④ 一旦納入した申請料および提出書類はいかなる理由があっても返却しない。

4. １種免許状をすでに持っている大学院学生の場合

すでに１種免許状をもっている大学院学生の場合は，修了予定年度に「３．一括申請手続」（前ページ）を行うこと。

ただし，「一括申請願」の提出は，４月末日までとし，この「申請願」提出の際に「１種免許状のコピー（両面）」を必ず添えること。

5. 個人申請

一括申請の手続きをとらなかった者は，「個人申請」となる。

なお，この場合の免許状の申請，授与は４月以降となるので注意すること。

1．「個人申請」は，卒業（修了）後，本人の居住する（住民票のある）都道府県の教育委員会へ必要書類一式を提出し，申請する。

2．各都道府県教育委員会により申請方法が異なるので，申請する前にその教育委員会に問い合わせること。

6. 免許状の交付

教育職員免許状を一括申請した者には，下記のとおり免許状を卒業式または大学院学位授与式当日に交付する。

■学部卒業生・科目等履修生

2021年３月24日（水）または３月25日（木）
時間はいずれも9：00〜18：00
池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室
☞新座キャンパスの学部学生も池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室で交付する。

■大学院修了者

2021年３月25日（木）9：00〜18：00
池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室
☞新座キャンパスの大学院学生も池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室で交付する。

9 教職に関する科目―履修上の注意―

1. 教職に関する科目全般

⑴ 履修年次は科目表（152〜154ページ）に従うこと。
⑵「教職に関する科目」は，同一科目の重複履修は認められない。
⑶ 文学部教育学科教育学専攻の学生は，「教職に関する科目」について教育学科設置の科目をもって充てることができる。☞下記表１参照
ただし，在学中に転科した場合は充てることができない。

表1

教職に関する科目	教育学科設置科目
教育原論	教育学
教育心理学	教育心理学1
教育制度論・教育課程論	教育社会学1 および 教育課程論 【2科目必修】
道徳教育の理論と方法	道徳教育の理論と方法
特別活動の理論と方法	特別活動の理論と方法
教育方法論	教育方法学
生徒・進路指導の理論と方法	生徒指導・進路指導
学校教育相談の理論と方法	教育相談 または カウンセリング 【いずれか１科目を選択必修】

2. 教科教育法

1．履修登録方法

「（各）教科教育法演習２」の履修を希望する場合には**４月期に科目コード登録**を済ませたうえで，下記のオリエンテーションのいずれかの回に必ず出席しなければならない。

詳細は，履修を希望する科目のシラバス（Web）を参照すること。

「（各）教科教育法演習２」オリエンテーション

■第１回（池袋） ５月11日（月）18：10〜 7101教室
■第２回（新座） ５月15日（金）18：10〜 N214教室
■第３回（池袋） ５月16日（土）13：25〜 7102教室
※上記３回のうちいずれか１回に出席すること

2．各教科教育法の履修方法

各教科教育法の履修方法は以下のとおり。表２・表３・表４を参照して自学科で取得できる教科の教育法を履修すること。自学科で取得することが認められていない教科の教育法は，原則として履修することができない。
免許状取得に必要な単位数以外にも，教育実習の先修規定や，単位修得の順序があるので，以下の注意を十分熟読して履修すること。

表2　各教科教育法の履修方法

	国語／数学／理科／英語／ドイツ語／フランス語／宗教／社会と地理歴史＊／社会と公民＊／保健体育	国語／数学／理科／英語／ドイツ語／フランス語／宗教／商業／情報／福祉／地理歴史／公民／保健体育
中学1種	教科教育法1　教科教育法演習1	
高校1種	教科教育法2　教科教育法演習2	
高校1種のみ		教科教育法1　教科教育法演習1

科目は，教育実習前年度までに修得しなくてはならない。

＊社会・地理歴史・公民すべての免許状の取得を希望する場合は，表３を参照してAまたはBパターンのいずれかで10単位すべて履修すること。

⑴「教科教育法１」の単位を修得しなければ「教科教育法演習１」「教科教育法２」を履修することはできない。

なお，秋学期開講科目「教科教育法演習１」「教科教育法２」を春学期に引き続き履修する場合は，忘れずに９月期に科目コード登録をすること。

⑵「教科教育法演習２」は，「教科教育法１」と同時履修するか，「教科教育法１」の単位を修得した後でなければ履修することはできない。４月期に科目コード登録をすること。

⑶「教科教育法演習２」は，同一年度に１科目のみしか登録できないので注意すること。複数教科の免許取得希望の場合は，基本的には教育実習の教科を優先して履修するように計画を立てることが望ましい。

⑷「社会・地理歴史科教育法」と「社会・公民科教育法」については，以下のことを注意して登録・履修すること。

■「社会・地理歴史科教育法１」―「社会・地理歴史科教育法演習１」および「社会・公民科教育法１」―「社会・公民科教育法演習１」

→春学期と秋学期で同一アルファベットの「教科教育法１」と「演習１」をセットで履修すること。ただし，休学・留学などにより，異なる年度にまたがって「教科教育法１」と「演習１」を履修する場合には，所属キャンパスの教務事務センターに申し出ること。

例）○「社会・地歴科教育法１（B)」―「社会・地歴科教育法演習１（B)」

×「社会・公民科教育法１（N)」―「社会・公民科教育法演習１（B)」

■「社会・地理歴史科教育法２」および「社会・公民科教育法２」

→所属するキャンパスに設置されている科目を履修すること。他の正課の授業との重複という事由により，所属キャンパスの設置科目が履修できない場合は，所属キャンパスの教務事務センターに申し出ること。

⑸**「英語科教育法１」と「英語科教育法演習１」**

春学期と秋学期で同一アルファベットの「教科教育法１」と「演習１」をセットで履修すること。ただし，休学・留学などにより，異なる年度にまたがって「教科教育法１」と「演習１」を履修する場合には，教務事務センターに申し出ること。

⑹ 異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科の学生は，異文化コミュニケーション学科設置科目「英語科教育研究」（DM689）をもって，「英語科教育法２」に充てることができる。ただし，在学中に他学科に転科した場合は充てることができない。

中学･高校両方の免許状取得希望

① 中学･高校両方の免許状を取得希望の場合

「教科教育法１」（春学期２単位）
「教科教育法２」（秋学期２単位）
「教科教育法演習１」（秋学期２単位）　…「教科教育法１」の単位を修得しなくては履修できない
「教科教育法演習２」（通年他２単位）　…「教科教育法１」と同時履修，または「教科教育法１」の単位修得後履修
※上記は，すべて３年次以上対象の科目である。

科目は，教育実習先修科目である。

「社会（中学）」「地理歴史（高校）」「公民（高校）」のすべての免許状の取得が可能な学科に在籍し，すべての免許状取得希望の場合は，次の表３「社会・地理歴史・公民すべての免許状取得の場合の履修方法」を参照して，Ａパターンまたは Ｂパターンのいずれかで合計10単位が必修である。

☞ 対象学科
キリスト教学科，史学科，経済学科，経済政策学科，法学科，国際ビジネス法学科，政治学科，観光学科*，交流文化学科*

＊観光学科・交流文化学科は2012年度学部１年次入学者までが対象となる。

表3　社会・地理歴史・公民すべての免許状取得の場合の履修方法

Aパターン	Bパターン
社会・地理歴史科教育法1	社会・公民科教育法1
社会・地理歴史科教育法2	社会・公民科教育法2
社会･地理歴史科教育法演習1	社会・公民科教育法演習1
社会･地理歴史科教育法演習2	社会・公民科教育法演習2
社会・公民科教育法1	社会・地理歴史科教育法1

科目は，教育実習先修科目である。

高校のみの免許状取得希望

② 高校１種のみの免許状を取得希望の場合（商業・福祉・情報を含む）

「教科教育法１」（春学期２単位）
「教科教育法演習１」（秋学期２単位）　…「教科教育法１」の単位を修得しなくては履修できない
※上記は，すべて３年次以上対象の科目である。

科目は，教育実習先修科目である。

「教科教育法演習２」の単位を修得した場合は，「教科又は教職に関する科目」とし，「教科に関する科目」の選択科目の単位に加算できる場合がある。ただし，取得予定免許教科にかかわる「教科教育法演習２」に限る。詳細は，3 教育職員免許状（１種）取得のための要件「３．注意事項(2)」を必ず参照すること。

複数教科の免許状取得希望

③ 複数教科の免許状を取得希望の場合

複数教科（社会科・地理歴史科・公民科をのぞく）の免許状の取得が可能な学科に在籍し，複数教科の免許状取得を希望する場合は，免許教科毎に教科教育法を修得しなくてはならない。３年次に全て履修できない場合は，教育実習を行う免許教科を優先すること。

☞ 対象学科
キリスト教学科，経済学科，会計ファイナンス学科，経済政策学科，経営学科*，数学科，観光学科**，交流文化学科**，福祉学科

＊経営学科の「高校情報」は，2011年度学部１年次入学者までが対象となり，2012年度以降学部１年次入学者は取得できない。また，経営学科の「中学社会」「高校公民」は，2015年度学部1年次入学者までが対象となり，2016年度以降学部1年次入学者は取得できない。
＊＊観光学科・交流文化学科の「高校商業」は，2012年度学部１年次入学者までが対象となる。2013年度以降学部１年次入学者は取得できない。

取得予定教科別の教科教育法履修科目

取得予定免許教科別に修得しなくてはならない「教科教育法」科目は，次の表４のとおりである。

表4　取得予定免許教科別の教科教育法の履修科目

取得予定教科	中・高免許取得希望	高校免許取得希望
国語科	国語科教育法1 国語科教育法演習1 国語科教育法演習2 国語科教育法2	国語科教育法1 国語科教育法演習1
社会科と地理歴史科**	社会・地理歴史科教育法１* 社会・地理歴史科教育法演習１* 社会・地理歴史科教育法演習2 社会・地理歴史科教育法2 ＊同一アルファベットの「教育法1」と「演習1」をセットで履修すること	社会・地理歴史科教育法１* 社会・地理歴史科教育法演習１*
社会科と公民科**	社会・公民科教育法１* 社会・公民科教育法演習１* 社会・公民科教育法演習2 社会・公民科教育法２ ＊同一アルファベットの「教育法1」と「演習1」をセットで履修すること	社会・公民科教育法１* 社会・公民科教育法演習１*
数学科	数学科教育法1 数学科教育法演習1 数学科教育法演習2 数学科教育法2	数学科教育法1 数学科教育法演習1
理科	理科教育法1 理科教育法演習1 理科教育法演習2 理科教育法2	理科教育法1 理科教育法演習1
英語科	英語科教育法１* 英語科教育法演習１* 英語科教育法演習2 英語科教育法2 ＊同一アルファベットの「教育法1」と「演習1」をセットで履修すること	英語科教育法１* 英語科教育法演習１*
ドイツ語科	ドイツ語科教育法1 ドイツ語科教育法演習1 ドイツ語科教育法演習2 ドイツ語科教育法2	ドイツ語科教育法1 ドイツ語科教育法演習1
フランス語科	フランス語科教育法1 フランス語科教育法演習1 フランス語科教育法演習2 フランス語科教育法2	フランス語科教育法1 フランス語科教育法演習1

宗教科	宗教科教育法1 宗教科教育法演習1 宗教科教育法演習2 宗教科教育法2	宗教科教育法1 宗教科教育法演習1
保健体育科	保健体育科教育法1 保健体育科教育法演習1 保健体育科教育法演習2 保健体育科教育法2	保健体育科教育法1 保健体育科教育法演習1
商業科		商業科教育法1 商業科教育法演習1
情報科		情報科教育法1 情報科教育法演習1
福祉科		福祉科教育法1 福祉科教育法演習1

科目は，教育実習先修科目である。

＊＊社会科，地理歴史科，公民科すべてを取得希望の学生は，表３を参照すること。

３．特別活動の理論と方法（特別活動の研究）

⑴「特別活動の理論と方法（A)」は，中高生対象の学習ボランティアに参加する体験を重視した科目内容である。履修を希望する場合には，**４月期に科目コード登録**※を済ませた上で，下記のオリエンテーションにいずれか１回必ず出席し，指示に従うこと。

※2018年度に，「その他」登録から科目コード登録に変更となった。

詳細は，シラバス（Web）を参照すること。

「特別活動の理論と方法(A)」オリエンテーション

■第１回（池袋）　４月15日（水）18：10～　　7101教室
■第２回（新座）　４月17日（金）18：10～　　N214教室
■第３回（池袋）　４月20日（月）18：10～　　7101教室
※上記３回のうちいずれか１回に出席すること

⑵　異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科の学生で，今年度秋学期に「海外留学研修Ａ」「同Ｂ」の履修を予定している者は，今年度「特別活動の理論と方法（Ａ)」を履修することはできない。また、今年度秋学期から翌年度春学期にかけて、「海外留学研修Ｃ１」「同Ｃ２」の履修を予定している者で，今年度「特別活動の理論と方法（Ａ)」の履修を希望するものは，教務事務センターに申し出ること（「海外留学研修」については，異文化コミュニケーション学部履修要項を参照)。

４．教職実践演習

「教職実践演習（中・高)」は，「その他」登録科目である。履修する場合には，「教職実践演習（中・高)」履修希望届を下記の所定期間内に所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に提出すること。所定期間内に提出しなかった場合は，今年度の履修はできず，免許状の取得も不可となるので注意すること。

なお、「教職実践演習（中・高)」は，原則として，所属するキャンパスの開講科目を履修しなければならない。所属するキャンパスの開講科目を履修できない場合は，履修希望届提出時に申し出ること。

履修希望届配付	４月18日（土）　13：25～ 2020年度教育実習直前指導にて配付
履修希望届提出	４月20日（月）～24日（金）９：00～17：00【厳守】 池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室 新座キャンパス学校・社会教育講座事務室
結果発表	７月６日（月）　所属キャンパスの学校・社会教育講座掲示板

10 教職に関する科目―カリキュラム―

本学の「教職に関する科目」とその単位数は下表のとおりである。

教育職員免許法施行規則に定められた科目	各科目に含めることが必要な事項	本学での開講科目名	必要単位数	
			中学１種	高校１種
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2	2
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	2
	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	教育心理学	2	2
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項	教育制度論・教育課程論	2	2
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法			
	・各教科の指導法	国語科教育法１，２ 国語科教育法演習１，２ 社会･地理歴史科教育法１，２ 社会･地理歴史科教育法演習１，２ 社会･公民科教育法１，２ 社会･公民科教育法演習１，２ 数学科教育法１，２ 数学科教育法演習１，２ 理科教育法１，２ 理科教育法演習１，２ 英語科教育法１，２ 英語科教育法演習１，２ ドイツ語科教育法１，２ ドイツ語科教育法演習１，２ フランス語科教育法１，２ フランス語科教育法演習１，２ 宗教科教育法１，２ 宗教科教育法演習１，２ 保健体育科教育法１，２ 保健体育科教育法演習１，２	＊ 免許教科ごとに 8	＊ 免許教科ごとに 4
		商業科教育法１ 商業科教育法演習１ 情報科教育法１ 情報科教育法演習１ 福祉科教育法１ 福祉科教育法演習１		
	・道徳の指導法	＊＊ 道徳教育の理論と方法 （道徳教育の研究）	2	
	・特別活動の指導法	＊＊ 特別活動の理論と方法 （特別活動の研究）	2	2
	・教育の方法及び技術 （情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	2	2
生徒指導，教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	2
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校教育相談の理論と方法	2	2
教育実習		中・高教育実習事前指導	1	
		高校教育実習事前指導		1
		中・高教育実習	4	
		高校教育実習		2
教職実践演習		教職実践演習（中・高）	2	2
		合　　計	33	25

＊9 教職に関する科目―履修上の注意― 「2．教科教育法」を参照すること。

＊＊2016年度から科目名が変更になった。（ ）内は旧科目名。

【免許状取得要件単位】

区分			科目名		中学校 免許状取得	高等学校 免許状取得
教職に関する科目	必修科目A1	教育実習参加前年度までに単位の修得が必要	教育原論		2	2
			教育心理学		2	2
			教育制度論·教育課程論		2	2
			生徒・進路指導の理論と方法		2	2
			教職概論		2	2
			中·高教育実習事前指導		1	
			高校教育実習事前指導			1
	必修科目A2 注1		教科教育法１		2	2
			教科教育法演習１		2	2
			教科教育法演習２ 注2		2	
	必修科目B	免許状申請時までに単位の修得が必要	道徳教育の理論と方法 注3		2	
			特別活動の理論と方法 注3		2	2
			教育方法論		2	2
			学校教育相談の理論と方法		2	2
			教科教育法２		2	
	必修科目C	4年次以上	中·高教育実習		4	
			高校教育実習			2
	D 必修科目		教職実践演習（中・高）		2	2
教科に関する科目	教科に関する科目は，免許教科ごと，所属学科ごと，中学校·高等学校の校種ごとに定められている。162・218ページ以降の所属学科・取得予定免許教科・校種ごとの表を参考にすること。					
教科又は教職に関する科目	自由選択科目	3年次以上	教職特別演習		2	2
免許法施行規則第66条の6に定める科目 注4	必修科目		日本国憲法	科目名については156・211ページ以降を参照	2	2
			体育		2	2
			情報機器の操作		2	2
			外国語コミュニケーション		2	2

注1　取得予定免許教科ごとに修得しなくてはならない。

注2　履修方法は，9 教職に関する科目－履修上の注意－「2．教科教育法」参照。
同一年度に1科目のみしか登録できないので注意すること。複数教科の免許取得希望の場合は，基本的には教育実習の教科を優先して履修するように計画を立てることが望ましい。

注3　「道徳教育の理論と方法」は，2015年度以前開講科目「道徳教育の研究」と同一科目である。同様に「特別活動の理論と方法」は，2015年度以前開講科目「特別活動の研究」と同一科目である。

注4　「免許法施行規則第66条の６に定める科目」は，本学では全学共通科目，全学共通カリキュラムまたは各学部開講科目を履修することになる。科目の中には抽選登録科目もあるので科目設置学部および全学共通カリキュラムの『履修要項』を熟読し，早い学年から履修・修得するよう努めること。

教職課程（中学校1種・高等学校1種）[教職に関する科目]科目表

2010～2018年度入学者適用

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目A-1（教育実習参加前年度まで必修）										
GX301	教育原論（A）	森田満夫	2	春	池袋	2	2	1･2･3･4	CET1100	
GX302	教育原論（B）	小川智瑞恵	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX303	教育原論（C）	篠原康正	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX304	教育原論（D）	藤本典裕	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX850	教育原論（M）	下地秀樹	2	春	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX851	教育原論（N）	東　宏行	2	春	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX611	教育心理学（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋	2	2	1･2･3･4	CET1100	
GX612	教育心理学（B）	駒屋雄高	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX613	教育心理学（C）	岸　竜馬	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX614	教育心理学（D）	野口隆子	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX710	教育心理学（M）	原　美香	2	春	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX711	教育心理学（N）	茂垣まどか	2	春	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX331	教育制度論・教育課程論（A）	森田満夫	2	秋	池袋	2	2	1･2･3･4	CET1100	
GX332	教育制度論・教育課程論（B）	福島賢二	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX333	教育制度論・教育課程論（C）	篠原康正	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX334	教育制度論・教育課程論（D）	藤本典裕	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1100	
GX855	教育制度論・教育課程論（M）	福島賢二	2	秋	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX856	教育制度論・教育課程論（N）	東　宏行	2	秋	新座			1･2･3･4	CET1100	
GX321	生徒・進路指導の理論と方法（A）	坂本保宏	2	秋	池袋	2	2	1･2･3･4	CET1300	
GX322	生徒・進路指導の理論と方法（B）	青木猛正	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1300	
GX323	生徒・進路指導の理論と方法（C）	三好昭子	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1300	
GX324	生徒・進路指導の理論と方法（D）	逸見敏郎	2	秋	池袋			1･2･3･4	CET1300	
GX870	生徒・進路指導の理論と方法（M）	平野和弘	2	秋	新座			1･2･3･4	CET1300	
GX871	生徒・進路指導の理論と方法（N）	原　美香	2	秋	新座			1･2･3･4	CET1300	
GA271	教職概論（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋	2	2	2･3･4	CET2000	
GA272	教職概論（B）	森田満夫	2	春	池袋			2･3･4	CET2000	
GA273	教職概論（C）	奈須恵子	2	春	池袋			2･3･4	CET2000	
GA274	教職概論（D）	逸見敏郎	2	春	池袋			2･3･4	CET2000	
GA732	教職概論（M）	青木猛正	2	春	新座			2･3･4	CET2000	
GA733	教職概論（N）	鵜殿　篤	2	春	新座			2･3･4	CET2000	
その他登録	中・高教育実習事前指導	全専任教員	1	通年他	池袋	1		3･4	CET3420	
その他登録	中・高教育実習事前指導（N）	全専任教員	1	通年他	新座			3･4	CET3420	
その他登録	高校教育実習事前指導	全専任教員	1	通年他	池袋		1	3･4	CET3420	
その他登録	高校教育実習事前指導（N）	全専任教員	1	通年他	新座			3･4	CET3420	
必修科目A-2（教育実習参加前年度までに必修-教科等により科目が異なる）										
GA401	国語科教育法1	鈴野高志	2	春	池袋	免許教科ごとに6単位	免許教科ごとに4単位	3･4	CET3200	
GA403	国語科教育法演習1	鈴野高志	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「国語科教育法1」先修
GA404	国語科教育法演習2	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「国語科教育法1」同時履修または先修
GA411	社会・地理歴史科教育法1（A）	奈須恵子	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA415	社会・地理歴史科教育法1（B）	中條克俊	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA821	社会・地理歴史科教育法1（N）	岡明秀忠	2	春	新座			3･4	CET3200	
GA413	社会・地理歴史科教育法演習1（A）	奈須恵子	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（A）」先修
GA417	社会・地理歴史科教育法演習1（B）	中條克俊	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（B）」先修
GA823	社会・地理歴史科教育法演習1（N）	岡明秀忠	2	秋	新座			3･4	CET3210	「社会・地理歴史科教育法1（N）」先修
GA414	社会・地理歴史科教育法演習2（A）	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「社会・地理歴史科教育法1」同時履修または先修
GA824	社会・地理歴史科教育法演習2（N）	専任教員	2	通年他	新座			3･4	CET3210	
GA421	社会・公民科教育法1（A）	森田満夫	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA425	社会・公民科教育法1（B）	矢野博之	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA831	社会・公民科教育法1（N）	下地秀樹	2	春	新座			3･4	CET3200	

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
GA423	社会・公民科教育法演習１（A）	森田満夫	2	秋	池袋	免許教科ごとに6単位	免許教科ごとに4単位	3･4	CET3210	「社会･公民科教育法1（A）」先修
GA427	社会・公民科教育法演習１（B）	矢野博之	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「社会･公民科教育法1（B）」先修
GA833	社会・公民科教育法演習１（N）	名取克也	2	秋	新座			3･4	CET3210	「社会･公民科教育法1（N）」先修
GA424	社会・公民科教育法演習２（A）	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「社会･公民科教育法１」同時履修または先修
GA834	社会・公民科教育法演習２（N）	専任教員	2	通年他	新座			3･4	CET3210	
GA431	数学科教育法１	内田芳宏	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA433	数学科教育法演習１	内田芳宏	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「数学科教育法１」先修
GA434	数学科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「数学科教育法１」同時履修または先修
GA441	理科教育法１	渡部智博	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA443	理科教育法演習１	渡部智博	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「理科教育法１」先修
GA444	理科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「理科教育法１」同時履修または先修
GA451	英語科教育法１（A）	伊東武彦	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA455	英語科教育法１（B）	吉住香織	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA453	英語科教育法演習１（A）	伊東武彦	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「英語科教育法１（A）」先修
GA457	英語科教育法演習１（B）	吉住香織	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「英語科教育法１（B）」先修
GA454	英語科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「英語科教育法１」同時履修または先修
GA461	ドイツ語科教育法１	保阪良子	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA463	ドイツ語科教育法演習１	保阪良子	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「ドイツ語科教育法１」先修
GA464	ドイツ語科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「ドイツ語科教育法１」同時履修または先修
GA471	フランス語科教育法１	土屋良二	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA473	フランス語科教育法演習１	土屋良二	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「フランス語科教育法１」先修
GA474	フランス語科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「フランス語科教育法１」同時履修または先修
GA481	宗教科教育法１	新井美穂	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA483	宗教科教育法演習１	新井美穂	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「宗教科教育法１」先修
GA484	宗教科教育法演習２	専任教員	2	通年他	池袋			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「宗教科教育法１」同時履修または先修
GA861	保健体育科教育法１	内田雄三	2	春	新座			3･4	CET3200	
GA863	保健体育科教育法演習１	内田雄三	2	秋	新座			3･4	CET3210	「保健体育科教育法１」先修
GA864	保健体育科教育法演習２	専任教員	2	通年他	新座			3･4	CET3210	中学校免許取得希望者必修 「保健体育科教育法１」同時履修または先修
GA491	商業科教育法１	親泊寛昌	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA492	商業科教育法演習１	親泊寛昌	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「商業科教育法１」先修
GA841	商業科教育法１（N）	親泊寛昌	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA842	商業科教育法演習１（N）	親泊寛昌	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「商業科教育法１（N）」先修
GA501	情報科教育法１	鍋島尚子	2	春	池袋			3･4	CET3200	
GA502	情報科教育法演習１	鍋島尚子	2	秋	池袋			3･4	CET3210	「情報科教育法１」 先修
GA851	福祉科教育法１	藤井佳子	2	春	新座			3･4	CET3200	
GA852	福祉科教育法演習１	藤井佳子	2	秋	新座			3･4	CET3210	「福祉科教育法１」先修
必修科目B（免許状申請時までに修得しなくてはならない科目）										
GA151	道徳教育の理論と方法（A）	走井洋一	2	春	池袋	2		1･2･3･4	CET1200	（旧科目名　道徳教育の研究）
GA152	道徳教育の理論と方法（B）	内海崎貴子	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA153	道徳教育の理論と方法（C）	岩瀧大樹	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA154	道徳教育の理論と方法（D）	伊東　毅	2	春	池袋			1･2･3･4	CET1200	
GA750	道徳教育の理論と方法（M）	小川智瑞恵	2	春	新座			1･2･3･4	CET1200	
GA751	道徳教育の理論と方法（N）	鵜殿　篤	2	春	新座			1･2･3･4	CET1200	
GA161	特別活動の理論と方法（A）	全専任教員	2	通年他	池袋/新座	2	2	2･3･4	CET2220	（旧科目名　特別活動の研究）
GA191	教育方法論（A）	富田充保	2	秋	池袋	2	2	2･3･4	CET2200	
GA192	教育方法論（B）	坂本保宏	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	
GA193	教育方法論（C）	永島孝嗣	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	
GA194	教育方法論（D）	澤田　稔	2	秋	池袋			2･3･4	CET2200	

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講時期	開講キャンパス	必要単位数 中学	必要単位数 高校	配当年次	科目ナンバリング	備考
GA740	教育方法論（M）	木村範子	2	秋	新座	2	2	2･3･4	CET2200	
GA742	教育方法論（N）	田中里佳	2	秋	新座			2･3･4	CET2200	
GA282	学校教育相談の理論と方法（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA283	学校教育相談の理論と方法（B）	駒屋雄高	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA284	学校教育相談の理論と方法（C）	千葉健司	2	春	池袋	2	2	2･3･4	CET2300	
GA285	学校教育相談の理論と方法（D）	山崎洋史	2	春	池袋			2･3･4	CET2300	
GA870	学校教育相談の理論と方法（M）	小栗貴弘	2	春	新座			2･3･4	CET2300	
GA871	学校教育相談の理論と方法（N）	原　美香	2	春	新座			2･3･4	CET2300	
GA402	国語科教育法２	齋藤知也	2	秋	池袋	免許教科ごとに2単位		3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「国語科教育法１」先修
GA412	社会・地理歴史科教育法２（A）	奈須恵子	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・地理歴史科教育法１」先修
GA416	社会・地理歴史科教育法２（B）	中條克俊	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・地理歴史科教育法１」先修
GA822	社会・地理歴史科教育法２（N）	岡明秀忠	2	秋	新座			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・地理歴史科教育法１」先修
GA422	社会・公民科教育法２（A）	竹内久顕	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・公民科教育法１」先修
GA426	社会・公民科教育法２（B）	中條克俊	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・公民科教育法１」先修
GA832	社会・公民科教育法２（N）	高橋実奈	2	秋	新座			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「社会・公民科教育法１」先修
GA432	数学科教育法２	砂井博光	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「数学科教育法１」先修
GA442	理科教育法２	渡部智博	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「理科教育法１」先修
GA452	英語科教育法２	渡邊万里子	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「英語科教育法１」先修
GA462	ドイツ語科教育法２	梶谷雄二	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「ドイツ語科教育法１」先修
GA472	フランス語科教育法２	明石伸子	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「フランス語科教育法１」先修
GA482	宗教科教育法２	新井美穂	2	秋	池袋			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「宗教科教育法１」先修
GA862	保健体育科教育法２	内田雄三	2	秋	新座			3･4	CET3200	中学校免許取得希望者必修 「保健体育科教育法１」先修
必修科目C（教育実習）										
自動登録	中・高教育実習	全専任教員	4	通年他	池袋	4		4	CET4420	中学･高校免許取得希望者対象科目 「中･高教育実習事前指導」先修
自動登録	中・高教育実習（N）	全専任教員	4	通年他	新座			4	CET4420	中学･高校免許取得希望者対象科目 「中･高教育実習事前指導（N）」先修
自動登録	高校教育実習	全専任教員	2	通年他	池袋		2	4	CET4420	高校免許取得希望者対象科目 「高校教育実習事前指導」先修
自動登録	高校教育実習（N）	全専任教員	2	通年他	新座			4	CET4420	高校免許取得希望者対象科目 「高校教育実習事前指導（N）」先修
必修科目D（教職実践演習）										
その他登録	教職実践演習（中・高）（A）	中田奈穂美	2	秋	池袋	2	2	4	CET4510	
その他登録	教職実践演習（中・高）（B）	森田満夫	2	秋	池袋			4	CET4510	「中･高教育実習」または 「高校教育実習」を 同時履修または先修
その他登録	教職実践演習（中・高）（C）	逸見敏郎	2	秋	池袋			4	CET4510	
その他登録	教職実践演習（中・高）（D）	奈須恵子	2	秋	池袋			4	CET4510	
その他登録	教職実践演習（中・高）（E）		2		池袋			4	CET4510	2020年度休講
その他登録	教職実践演習（中・高）（F）	佐々木竜太	2	秋	池袋			4	CET4510	「中･高教育実習」または 「高校教育実習」を 同時履修または先修
その他登録	教職実践演習（中・高）（G）	吉住香織	2	秋	池袋			4	CET4510	
その他登録	教職実践演習（中・高）（H）		2		池袋			4	CET4510	2020年度休講
その他登録	教職実践演習（中・高）（M）	岩瀧大樹	2	秋	新座			4	CET4510	「中･高教育実習（N）」または 「高校教育実習（N）」を 同時履修または先修
その他登録	教職実践演習（中・高）（N）	飯田武志	2	秋	新座			4	CET4510	
選択科目										
GA321	教職特別演習（A）	奈須恵子	2	秋	池袋	希望者		3･4	CET3610	
自動登録	教職特別演習（B）	全専任教員	2	秋他	池袋	希望者		3･4	CET3610	2020年度教育実習特例

学科別・免許教科別科目一覧【2016～2018年度入学者適用】

免許法施行規則第66条の6に定める科目　―履修上の注意とカリキュラム―

下表に沿って各科目区分２単位以上，計８単位以上修得すること。

科目の中には抽選登録科目もある。抽選もれすることもあるので，１年次から履修・修得に努めること。

免許法施行規則第66条の6 に定める科目区分 （免許状取得に必要な単位数）	本学における科目
日本国憲法（２単位）	**全学部学生対象（法学部学生を除く）** 全学共通科目「**日本国憲法**」 **又は（所属学部学生対象）** 経済学部学生は自学部設置の「**憲法１**」「**憲法２**」
	法学部学生対象 自学部設置の「**憲法（2)**」「**憲法Ｂ**」
体育（２単位）	**全学部対象** 全学共通科目 「**スポーツプログラム**」又は「**スポーツスタディ**」 ※免許状取得に必要な単位数は２単位である。単位数が１単位の科目もあるので注意すること。 なお，免許状取得に必要な２単位について，科目の指定はない。
外国語コミュニケーション（２単位）	**全学部対象** 卒業に必要な全学共通科目言語教育科目
情報機器の操作（２単位） ※大学院学生および科目等履修生は，教務事務センターに申し出ること。	**学部・学科による指定科目** **次ページ参照** ※科目によっては，免許状取得要件として対象となる履修年度が定められているものがある。その場合は，指定された年度以外に修得しても免許状取得要件として認められないので，注意すること。

2020年度　教職課程　「免許法施行規則第66条の6」に定める科目「情報機器の操作」　学部開講科目

以下の科目の履修方法・講義内容等については，各学部・学科の履修要項・シラバスおよびR Guideで確認すること。
大学院学生および学校・社会教育講座科目等履修生の履修登録方法については，各科目履修登録前の手続きを要する。詳細は，学校・社会教育講座の掲示板で確認すること。

対象		科目コードまたは登録方法	科目名	単位数と開講学期		配当年次				備考
学部	学科			春学期	秋学期	1年	2年	3年	4年	
文	全学科	抽選	情報処理１	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理２		2	○	○	○	○	
		抽選	情報処理3a～3d	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理4a～4d		2	○	○	○	○	
経済	経済	BX331～BX335	情報処理入門１	2		○				
	経済政策	BX336～BX338	情報処理入門１	2		○				
	会計ファイナンス	BX339～BX341	情報処理入門１	2		○				
	全学科	抽選（BX353）	情報処理入門１	2			○	○	○	
理	数	CA010	計算機入門１演習	1		○				
		CA012	計算機入門２演習		1	○				
	物理	CB059	コンピュータ実験１	1		○				
		CB060	コンピュータ実験２		1	○				
	化	CC202	情報科学（化）	2			○	○	○	
	生命理	CD022	基礎情報科学	2		○				
社会	全学科	DK248	情報処理１（入門）	2		○	○	○	○	
		DK249	情報処理２（アプリケーション）		2	○	○	○	○	
		DK021～DK029	社会調査法３	2			○			
法	全学科	右記備考参照	情報処理入門	2		○				学部１年次生は抽選登録。 学部２年次以上の履修希望者は，教務事務センターでの事前手続きを要する。詳細は法学部履修要項で確認すること。
			情報処理入門		2	○				
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	抽選	コンピュータ・リテラシー	2		○	○	○	○	
観光	全学科	その他	データ情報処理		2	○	○	○	○	
コミュニティ福祉	全学科	抽選	情報処理１	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理２		2	○	○	○	○	
		抽選	情報処理３	2			○	○	○	
		抽選	情報処理４		2		○	○	○	

教科に関する科目　―履修上の注意とカリキュラム―

162ページ以降の学科（専修）別／免許教科別　「教科に関する科目」における「教科に関する科目」表の見方

対象とする入学年度

学部・学科（専修）名

文学部 キリスト教学科　2016〜2018年度入学者対象

中学社会（1種）

免許状の学校種・教科・種類

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則，登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	必修	
		世界史	2	必修	
	B	演習A1〜A10	各2		
		キリスト教学講義 17〜28，37，38	各2		
		キリスト教学入門講義3・4	各2		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	2単位選択必修	
		地理学概説2	2		
		地誌学1	2	2単位選択必修	
		地誌学2	2		
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法律学	2	「法律学」および「政治学」または「比較政治史1・2」の組み合わせで4単位選択必修	
		政治学	2		
		比較政治史1	2		
		比較政治史2	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学	2	必修	
		経済学	2	必修	
	B	キリスト教学講義13，35，36	各2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	倫理思想	2	4単位選択必修	
		宗教思想1	2		
		宗教思想2	2		
	B	キリスト教学講義5，6	各2		2019年度まで区分「日本史及び外国史(B)」
		キリスト教学講義 7，8，11，12	各2		
		キリスト教学入門講義1・2	各2		

免許教科に応じて免許取得要件として必要とされる「教科に関する科目」

本学では法令上の「科目区分」に対して，各学部が定める科目が設定されている。

A　免許状取得のための　必修科目・選択必修科目（一般的・包括的内容を含む科目）

免許状取得のために，「履修方法」で指示されたとおりに修得する科目。

［必修］：必ず修得しなければならない科目

［選択必修］：指定された枠内の科目から，指定された単位数を修得しなければならない科目

B　免許状取得のための　選択科目

免許状取得のために，各自が選択して修得する科目。単位未修得の科目区分があっても差し支えない。

「必修・選択必修」「選択」の表示は，卒業要件と免許取得要件とでは異なるので注意すること。

「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意

1．対象とする入学年度，免許状の学校種・教科・種類などを必ず確認すること。また科目によっては，履修年度が指定されているので注意すること。対象ではない科目や対象とならない年度で科目の単位を修得しても，免許状取得の要件とはならない。

2．教科に関する科目の履修規則・登録方法等は，各学部の『履修要項』を確認し，その内容に従うこと。同じ科目名でも，自学部『履修要項』に記載のある科目を修得しなければ，免許状取得の要件とはならない。
また，記載されている科目は毎年度開講されるとは限らないので，合わせて各学部『履修要項』で確認すること。

3．単位数の欄は，左欄の科目の単位数を示している。「各○」と記されている場合は，左欄それぞれの科目の単位数が同じ単位数であることを示す。「各○」と記されている科目は，免許状取得要件上はセットで修得しなくて良い。

4．表の下に記載された注記や，参照を指示された別表を確認すること。

5．科目は廃止または追加されることがある。備考に「廃止」と記されている場合，廃止される以前に修得していれば，「教科に関する科目」として認められる。また「新設」と記されている場合，新設された年度以前に修得しても，「教科に関する科目」として認められない。

「教科に関する科目」の修得に関わる注意

1．「教科に関する科目」は，免許状取得要件単位数として，中学校免許状取得のためには28単位以上（「国語」のみ29単位以上），高等学校免許状取得のためには36単位以上，修得しなければならない。
　このうち，「（免許法施行規則に定める）科目区分」にあるＡ欄の必修科目・選択必修科目を「履修方法」に指定されたとおりに修得することを必須とする。それ以外はＢ欄のうちから修得し，それぞれの免許状取得要件単位数を満たすこと。Ｂ欄の単位修得にあたっては，「（免許法施行規則に定める）科目区分」に未修得の区分があっても差し支えない。

2．Ａ欄の単位修得にあたっては，「履修方法」に指定された以上の単位数を修得した場合，指定単位数の超過分は免許状取得要件単位数（選択科目）として算入できる。（ただし，「国語」の「書道１」「書道２」の取り扱いについては異なるので，当該ページ注記で確認すること）

「教科に関する科目」よくある質問

Q 所属する学部の履修要項に書かれている「必修」と，教職課程の「教科に関する科目」の「必修」の違いは何ですか？

A 所属する学部の履修要項の「必修」は卒業のための必修科目で，「教科に関する科目」の「必修」は免許状取得のための必修科目で，必ずしも一致していません。

Q 「教科に関する科目」は，卒業に必要な単位にもなりますか？

A 卒業要件単位となるか否かは科目によって異なりますので，所属する学部・学科の『履修要項』で確認をしてください。

Q 中学・高校の両方の免許状を取得するためには，「教科に関する科目」を合計36単位修得すれば良いのですか？

A 合計単位としては36単位以上を充たし，さらに各学科・免許教科で定められたA区分科目（必修・選択必修）を指定されたとおり修得しなくてはなりません。

Q 「社会」と「公民」の免許状を取得したい場合，自分が所属する学科の「教科に関する科目」一覧表では，「社会」と「公民」に同じ科目がありますが，二度履修しなければなりませんか？

A 同じ科目であれば，一度単位を修得すれば，「社会」と「公民」両方の「教科に関する科目」の必要単位にあてることができます。

Q 「教科に関する科目」のうち，同じ科目を２回単位修得しました。どのような扱いになりますか？

A その科目の設置学部・学科の履修規則により，単位修得済みの科目を再履修できるのであれば，いずれの単位も「教科に関する科目」として，免許状取得に必要な単位数に算入することができます。

Q “4単位選択必修”と指示されているところ，6単位を修得した場合，その差の２単位はどのような扱いになりますか？

A 指示された以上に修得した選択必修科目の単位数は，免許状取得に必要な「教科に関する科目」の単位数に算入できます。ただし，免許教科「国語」の「書道１・２」は上記の扱いとは異なりますので，「教科に関する科目」表の注記を確認してください。

Q 一覧表の「備考」に指定されている以外の年度に修得した科目の単位は，「教科に関する科目」の単位とはならないのでしょうか？

A 「教科に関する科目」の単位とはなりません。適用されていない「教科に関する科目」の単位を修得しても免許状を取得できないので十分注意しましょう。また，「教科に関する科目」は在学中に変更されることがあります。指定された年度に履修していれば在学途中で科目が廃止されても修得した単位は有効です。

Q 教育実習までに単位修得するべき「教科に関する科目」はどれですか？

A 理学部（数学科を除く）では，指定された実験科目と教育実習の同時履修は認められません。また，免許教科「商業」の簿記に関する科目は，教育実習までに単位修得しなければなりません。該当する「教科に関する科目」の履修上の注意を確認してください。

Q 「地理歴史」の免許状取得を希望する史学科学生です。世界史専修に進む予定ですが，外国史の科目ばかり履修しても問題ないでしょうか。

A 「教科に関する科目」に示されたとおりに単位を修得すれば，免許状取得上は問題ありませんが，「地理歴史」の免許状を取得するということは，高校で「日本史」「世界史」「地理」の全ての教科を教える資格を持つことになります。そのため，不得意な分野があれば積極的に勉強するよう心がけることが必要です。

Q 以前修得した科目の備考欄に「2017年度から廃止」と記されています。私が修得したこの科目の単位は，どのような扱いになりますか？

A この場合，その科目を2016年度に修得していれば本要項の一覧表に記載されている教科・区分・ＡＢの別のとおり「教科に関する科目」として適用されます。つまり，廃止年度より前に当該科目の単位を修得していれば，当該科目が位置づけられている要件の単位を修得したものとみなされます。

文学部 キリスト教学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則，登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	必修	
		世界史	2	必修	
	B	演習Ａ１～Ａ10	各２		
		キリスト教学講義17～28，37，38	各２		
		キリスト教学入門講義３・４	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	２単位選択必修	
		地理学概説２	2		
		地誌学１	2	２単位選択必修	
		地誌学２	2		
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法律学	2	「法律学」および「政治学」または「比較政治史１・２」の組み合わせで４単位選択必修	
		政治学	2		
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度･政策論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学	2	必修	
		経済学	2	必修	
	B	キリスト教学講義13，35，36	各２		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	倫理思想	2	４単位選択必修	
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	キリスト教学講義５，６	各２		2019年度まで区分「日本史及び外国史(B)」
		キリスト教学講義７，８，11，12	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		

文学部 キリスト教学科　2016～2018年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史	2	必修	
	B	キリスト教学講義37，38	各2		
外国史	A	世界史	2	必修	
	B	演習Ａ１～Ａ10	各2		
		キリスト教学講義５，６	各2		2020年度から廃止
		キリスト教学講義17～28	各2		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		自然地理学１	2	必修	
		自然地理学２	2	必修	
	B	なし			
地誌	A	地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			

文学部 キリスト教学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法律学	2	「法律学」および「政治学」または「比較政治史１・２」の組み合わせで４単位選択必修	
		政治学	2		
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学	2	必修	
		経済学	2	必修	
	B	キリスト教学講義13，35，36	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	倫理思想	2	４単位選択必修	
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	キリスト教学講義 ７，８，11，12，14	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		

文学部 キリスト教学科　2016～2018年度入学者対象

中学・高校宗教（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
宗教学	A	宗教思想１	2	必修	
		宗教思想２	2	必修	
		キリスト教学入門講義１	2	２単位選択必修	
		キリスト教学入門講義２	2		
	B	キリスト教学講義 １～４，７，８	各２		
宗教史	A	キリスト教学入門講義３	2	必修	
		キリスト教学入門講義４	2	必修	
	B	キリスト教学講義 19～28，37，38	各２		2020年度から廃止
「教理学，哲学」	A	キリスト教学講義９	2	２単位選択必修	
		キリスト教学講義10	2		
		哲学概論１	2	２単位選択必修	
		哲学概論２	2		
	B	キリスト教学講義 ５，６，33，34	各２		
		現代倫理	2		
		哲学講義１・２	各２		
		哲学的人間学	2		

文学部 史学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史概論１	2	２単位選択必修	
		日本史概論２	2		
		世界史概論１	2	２単位選択必修	
		世界史概論２	2		
	B	史学講義 １～９，11，13～16，22，27，28，31，32，34～36，38～40，42，43，45，46，49，51，54	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	２単位選択必修	
		地理学概説２	2		
		地誌学１	2	２単位選択必修	
		地誌学２	2		
	B	超域文化学講義 ３～５，15～17，23，24	各２		
「法律学，政治学」	A	法律学	2	２単位選択必修	
		政治学	2		
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	史学講義 10，17～19，29，30，33，37，41，44，47，48	各２		
「社会学，経済学」	A	社会学	2	２単位選択必修	
		経済学	2		
	B	史学講義21，23，24	各２		
		超域文化学講義 ７～９，11～14	各２		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	２単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教の多様性と社会	2		
	B	史学講義25，26，50	各２		

文学部 史学科　2016～2018年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史概論１	2	必修	
		日本史概論２	2	必修	
	B	史学講義 27，28，31，32，34～36，38～40，42，43，45，46，49，51，54	各２		
外国史	A	世界史概論１	2	必修	
		世界史概論２	2	必修	
	B	史学講義 １～９，11，13～16，22	各２		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		自然地理学１	2	必修	
		自然地理学２	2	必修	
	B	超域文化学講義 15～17，23，24	各２		
地誌	A	地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	超域文化学講義３～５	各２		

文学部 史学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法律学	2	「比較政治史１・２」または「法律学」・「政治学」の組み合わせで４単位選択必修	
		政治学	2		
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	史学講義 10，17～19，29，30，33，37，41，44，47，48	各２		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学	2	２単位選択必修	
		経済学	2		
	B	史学講義21，23，24	各２		
		超域文化学講義 ７～９，11～14	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	６単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教の多様性と社会	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	キリスト教学講義11・12	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		
		史学講義25，26，50	各２		

文学部 教育学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	必修	
		世界史	2	必修	
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	2単位選択必修	
		地理学概説２	2		
		地誌学１	2	2単位選択必修	
		地誌学２	2		
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法律学	2	２単位選択必修	
		政治学	2		
	B	家庭教育論	2		
		環境教育論	2		
		教育制度･政策論	2		
		教育と福祉	2		
「社会学，経済学」	A	社会学	2	２単位選択必修	
		経済学	2		
	B	キリスト教学講義13，35，36	各2		
		史学講義21，23，24	各2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学的人間学	2	必修	
	B	人間と哲学１・２	各２		2017年度から新設
		倫理思想	2		
		宗教思想１・２	各２		
		教育と宗教	2		
		キリスト教と教育１・２	各２		

文学部 教育学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。）」，政治学（国際政治を含む。）」	A	法律学	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	家庭教育論	2		
		環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
		教育と福祉	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学	2	必修	
		経済学	2	必修	
	B	キリスト教学講義13，35，36	各2		
		史学講義21，23，24	各2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学的人間学	2	4単位選択必修	
		倫理思想	2		
		宗教思想1	2		
		宗教思想2	2		
		心理学1	2		
		心理学2	2		
	B	人間と哲学1・2	各2		2017年度から新設
		教育と宗教	2		
		キリスト教と教育1・2	各2		

文学部 文学科 英米文学専修 2016〜2018年度入学者対象

中学・高校英語（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
英語学	A	文学講義１	2	必修	
		文学講義２	2	必修	
	B	演習Ｂ17〜Ｂ20，Ｂ27，Ｂ28	各２		
		文学講義27〜30	各２		
英米文学	A	文学講義３	2	２単位選択必修	
		文学講義４	2		
		文学講義５	2	２単位選択必修	
		文学講義６	2		
	B	演習Ｂ１〜Ｂ16，Ｂ21〜Ｂ26	各２		
		文学講義７〜14，17〜26	各２		
英語コミュニケーション	A	文学講義31	2	必修	
		英語表現演習１〜20	各２	４単位選択必修	
	B	なし			
異文化理解	A	文学講義33	2	４単位選択必修	
		文学講義34	2		
		文学講義35	2		
		文学講義36	2		
		文学講義37	2		
		文学講義38	2		
	B	文学講義15，16，39〜42	各２		

文学部 文学科 ドイツ文学専修 2016〜2018年度入学者対象

中学・高校ドイツ語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則，登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
ドイツ語学	A	文学講義101	2	必修	
	B	ドイツ文学･文化演習 6〜8，105，107	各2		
		文学講義104･105	各2		
ドイツ文学	A	文学講義103	2	2単位選択必修	
		文学講義106	2		
		文学講義118	2	2単位選択必修	
		文学講義168	2		
	B	演習C9･C10	各2		
		ドイツ文学･文化演習 1〜3，109，111	各2		
		文学講義 110，111，160，161	各2		
ドイツ語コミュニケーション	A	ドイツ語表現演習1A･1B	各2	4単位選択必修	
		ドイツ語表現演習2A･2B	各2		
		ドイツ語表現演習3A･3B	各2		
		ドイツ語表現演習4A･4B	各2		
		ドイツ語表現演習5	2		
		ドイツ語表現演習6	2		
	B	なし			
異文化理解	A	ドイツ語圏文化概論1	2	必修	
		ドイツ語圏文化概論2	2	必修	
	B	演習C1〜C8，C11，C12	各2		
		ドイツ文学･文化演習 4，5，101，103	各2		
		文学講義 107〜109，112〜117，157，162，164	各2		

文学部 文学科 フランス文学専修 2016～2018年度入学者対象

中学・高校フランス語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
フランス語学	A	文学講義217	2	必修	
		文学講義218	2	必修	
	B	なし			
フランス文学	A	フランス文学･文化概論	2	必修	
	B	演習Ｄ１～12	各2		
		文学講義 201～203，205～207，214	各2		
フランス語コミュニケーション	A	フランス語表現演習１～10	各2	２単位選択必修	
	B	なし			
異文化理解	A	文学講義204	2	２単位選択必修	
		文学講義210	2		
		文学講義212	2		
		文学講義216	2		
	B	フランス文学･文化演習１～８	各2		
		文学講義211，213，215	各2		

文学部 文学科 日本文学専修／文芸・思想専修 2016～2018年度入学者対象

中学・高校国語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は29単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	A	日本語学概論１	2	必修	
		日本語学概論２	2	必修	
	B	文学講義 315，316，337～339，409，411，412	各２		
国文学（国文学史を含む。）	A	日本文学概論	2	必修	
	B	文学講義 301～314，317～336，416，417	各２		
漢文学	A	漢文学概論	2	必修	
	B	漢文学講読１～４	各２		
		哲学講義２	2		
書道（書写を中心とする。）	A	書道１	1	中学校免許状取得の場合のみ１単位選択必修 欄外（注）参照	
		書道２	1		
	B	なし			

（注）「書道１」「書道２」の修得単位について

●中学校免許状取得の場合は，「書道１」か「書道２」のいずれかの単位を必ず修得すること。
両方を修得しても，中学校免許状取得のための必要単位数（29単位）の中に算入できるのは１単位のみである。

●高等学校免許状取得のための必要単位数（36単位）の中に算入することはできない。

経済学部
経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	必修	
		世界史	2	必修	
	B	アジア経済史１・２	各２		
		アメリカ経済史	2		
		アメリカ経済政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		欧州経済史	2		
		経営史１・２	各２		
		経済学史１・２	各２		
		経済史１・２	各２		
		現代アメリカ経済史	2		
		現代ヨーロッパ経済史	2		
		日本経済史１・２	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	経済地理学１・２	各２		
「法律学，政治学」	A	政治学	2	必修	
	B	経済法１・２	各２		
		憲法１・２	各２		
		政策分析概論	2		
		租税法１・２	各２		
		都市政策論１・２	各２		
		民法１・２	各２		
「社会学，経済学」	A	経済学１	2	必修	
		経済学２	2	必修	
		国際経済論	2	２単位選択必修	
		世界経済論	2		
	B	アジア経済論	2		
		外国為替論	2		
		開発経済学	2		
		経済政策論１・２	各２		
		国際金融論	2		
		国際経済政策論	2		
		国際貿易論	2		
		財政学１・２	各２		
		産業経済論１・２	各２		
		社会経済学１・２	各２		
		社会政策論１・２	各２		
		消費者政策論	2		
		初級マクロ経済学１・２	各２		
		初級ミクロ経済学１・２	各２		
		生活経済論	2		
		租税論１・２	各２		
		地方財政論１・２	各２		
		中級マクロ経済学	2		
		中級ミクロ経済学	2		
		中小企業論１・２	各２		
		統計学１・２	各２		
		農業経済論	2		
		農業政策論	2		
		日本経済論１・２	各２		
		比較経済体制論１・２	各２		2019年度から廃止
		流通経済論	2		
		流通政策論	2		
		労働経済論１・２	各２		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	4単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		現代社会思想	2		
		社会思想史	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	なし			

経済学部
経済学科／経済政策学科

2016〜2018年度入学者対象

高校地理歴史（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史	2	必修	
	B	日本経済史1・2	各2		
外国史	A	世界史	2	必修	
	B	アジア経済史1・2	各2		
		アメリカ経済史	2		
		アメリカ経済政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		欧州経済史	2		
		経営史1・2	各2		
		経済学史1・2	各2		
		経済史1・2	各2		
		現代アメリカ経済史	2		
		現代ヨーロッパ経済史	2		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		自然地理学1	2	必修	
		自然地理学2	2	必修	
	B	経済地理学1・2	各2		
地誌	A	地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			

経済学部
経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	政治学	2	必修	
	B	経済法1・2	各2		
		憲法1・2	各2		
		政策分析概論	2		
		租税法1・2	各2		
		都市政策論1・2	各2		
		民法1・2	各2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	経済学1	2	必修	
		経済学2	2	必修	
		国際経済論	2	2単位選択必修	
		世界経済論	2		
	B	アジア経済論	2		
		外国為替論	2		
		開発経済学	2		
		経済政策論1・2	各2		
		国際金融論	2		
		国際経済政策論	2		
		国際貿易論	2		
		財政学1・2	各2		
		産業経済論1・2	各2		
		社会経済学1・2	各2		
		社会政策論1・2	各2		
		消費者政策論	2		
		初級マクロ経済学1・2	各2		
		初級ミクロ経済学1・2	各2		
		生活経済論	2		
		租税論1・2	各2		
		地方財政論1・2	各2		
		中級マクロ経済学	2		
		中級ミクロ経済学	2		
		中小企業論1・2	各2		
		統計学1・2	各2		
		日本経済論1・2	各2		
		農業経済論	2		
		農業政策論	2		
		比較経済体制論1・2	各2		2019年度から廃止
		流通経済論	2		
		流通政策論	2		
		労働経済論1・2	各2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論1	2	6単位選択必修	
		哲学概論2	2		
		現代社会思想	2		
		社会思想史	2		
		宗教思想1	2		
		宗教思想2	2		
		心理学1	2		
		心理学2	2		
	B	なし			

経済学部
経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科

2016〜2018年度入学者対象

高校商業（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
商業の関係科目	A	会計学1	2	必修	
		会計学2	2	必修	
		経営学1	2	必修	
		経営学2	2	必修	
		※簿記1	2	必修	
		※簿記2	2	必修	
	B	会計監査論1・2	各2		
		会計史1・2	各2		
		会計情報論1・2	各2		
		会計政策論1・2	各2		2020年度から廃止
		環境会計論	2		
		管理会計論1・2	各2		
		企業法1・2	各2		
		経営史1・2	各2		2020年度から廃止
		経営分析論1・2	各2		
		経済情報処理A・B	各2		
		原価計算論1・2	各2		
		現代企業論1・2	各2		
		コーポレートガバナンス論1・2	各2		
		コーポレート・ファイナンス1・2	各2		
		国際会計論1・2	各2		
		国際経営論1・2	各2		
		財務会計論1・2	各2		
		財務情報処理A・B	各2		
		上級簿記1・2	各2		
		情報処理入門1	2		
		政策情報処理A・B	各2		
		税務会計論	2		
		中級簿記1・2	各2		
		非営利会計論	2		
		ポートフォリオ論	2		
		マーケティング論1・2	各2		
職業指導	A	キャリアコンサルティング論	2	4単位選択必修	2018年度まで「職業指導概論」
		キャリアデザイン論	2		
		職業指導概論	4		2019年度から「キャリアコンサルティング論」および「キャリアデザイン論」
	B	なし			

※「簿記1」「簿記2」は教育実習前年度までに修得しなければならない。

理学部 数学科　2016〜2018年度入学者対象

中学・高校数学（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
代数学	A	代数学１	2	必修	
		代数学１演習	1	必修	
		代数学２	2	必修	
		代数学２演習	1	必修	
	B	数学入門	2		
		数学入門演習	1		
		線形代数学１	2		
		線形代数学１演習	1		
		代数学３	2		
		代数学諸論１〜６	各２		
幾何学	A	幾何学１	2	必修	
		幾何学１演習	1	必修	
		幾何学２	2	必修	
		幾何学２演習	1	必修	
	B	位相空間論Ａ	2		
		幾何学３	2		
		幾何学諸論１〜６	各２		
解析学	A	解析学１	2	必修	
		解析学１演習	1	必修	
		解析学２	2	必修	
		解析学２演習	1	必修	
	B	解析学３	2		
		解析学諸論１〜６	各２		
		微分と積分１	2		
		微分と積分１演習	1		
		微分と積分入門	2		
		微分と積分入門演習	1		
「確率論，統計学」	A	確率と統計１	2	必修	
		確率と統計２	2	必修	
	B	確率論諸論１〜４	各２		
		統計数学諸論１〜４	各２		
コンピュータ	A	計算機入門１	2	必修	
		計算機入門１演習	1	必修	
		計算機入門２	2	必修	
		計算機入門２演習	1	必修	
	B	応用数学諸論１〜６	各２		

理学部 数学科　2016～2018年度入学者対象

高校情報（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
情報社会及び情報倫理	A	情報社会論	2	必修	
		情報と倫理	2	必修	
	B	なし			
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	A	計算機１	2	必修	
		計算機２	2	必修	
		計算機３	2	必修	
		計算機４	2	必修	
	B	計算機諸論１～３	各２		
		情報数理１～３	各２		
		情報数理１演習	1		
		情報数理２演習	1		
情報システム（実習を含む。）	A	情報科学１（情報システム論）	2	必修	
		情報科学２（情報システム論実習）	2	必修	
	B	情報科学諸論１・２	各２		
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	A	情報科学３（情報ネットワーク論）	2	必修	
		情報科学４（情報ネットワーク論実習）	2	必修	
	B	情報科学諸論３・４	各２		
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	A	情報科学Ａ	2	必修	
		情報科学６（マルチメディア論実習）	2	必修	
	B	情報科学Ｂ	2		
		情報科学諸論６	2		
情報と職業	A	情報産業論	2	必修	
	B	なし			

理学部 物理学科　2016～2018年度入学者対象

中学・高校理科（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	物理学概論	2	必修	
	B	解析力学	2		
		基礎物理学演習 1・2	各1		
		電気力学	2		
		電磁気学 1・2	各2		
		統計力学 1・2	各2		
		熱力学	2		
		物性概論	2		
		力学 1・2	各2		
		流体力学	2		
		量子力学 1・2	各2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	基礎物理実験	2	必修	
		コンピュータ実験 1	1	必修	
		コンピュータ実験 2	1	必修	
		物理学実験 1	4	必修	
	B	物理学実験 2	4		
化学	A	化学（物）	2	必修	
	B	天然物有機化学	2		
		有機化学 1～3	各2		
		有機構造決定法	2		
		有機合成化学	2		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	化学実験（物）	1	必修	
	B	なし			
生物学	A	生物学（物）	2	必修	
	B	生物化学 1・2	各2		
		生物物理学 1・2	各2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	生物学実験（物）	1	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

物理学科学生への注意
「コンピュータ実験1」，「コンピュータ実験2」，「化学実験（物）」，「生物学実験（物）」，「基礎物理実験」，「物理学実験1」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部　化学科　2016～2018年度入学者対象

中学・高校理科（1種）

A　の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A　・ B　合わせて中学教員免許は２８単位以上，高校教員免許は３６単位以上修得すること。
※１５８ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	物理学１（化）	2	必修	
		物理学２	2	必修	
	B	なし			
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	物理学実験（化）□	1	必修	
	B	なし			
化学	A	物理化学１	2	必修	
		物理化学入門	2	必修	
	B	高分子化学	2		
		高分子物性	2		
		天然物有機化学	2		
		反応速度論	2		
		物理化学２	2		
		分析化学１	2		
		分析化学２	2		
		分析化学入門	2		
		無機化学１	2		
		無機化学２	2		
		有機化学１～３	各２		
		有機構造決定法	2		
		有機合成化学	2		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	化学実験Ａ	2	必修	
		化学実験Ｂ□	4	必修	
		化学実験Ｃ	4	必修	
	B	なし			
生物学	A	生物学（化）	2	必修	
	B	植物科学１	2		２０１９年度まで「植物科学」
		植物科学	2		２０２０年度から「植物科学１」
		生物化学１・２	各２		
		生物物理学１・２	各２		
		バイオテクノロジー	2		
		分子細胞学１	2		
		分子生物学１・２	各２		
		分子発生生物学	2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	生物学実験（化）□	1	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

化学科学生への注意
「基礎化学実験」，「化学実験Ａ」，「化学実験Ｂ」，「化学実験Ｃ」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

理学部 生命理学科　2016～2018年度入学者対象

中学・高校理科（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	物理学１（生）	2	必修	
	B	物理学２	2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	物理学実験（生）	1	必修	
	B	なし			
化学	A	基礎化学１	2	必修	
		基礎化学２	2	必修	
	B	なし			
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	化学実験（生）	1	必修	
	B	なし			
生物学	A	生命理学概論	2	必修	
	B	植物科学１	2		2019年度まで「植物科学」
		植物科学	2		2020年度から「植物科学１」
		植物科学２	2		2019年度まで「生物化学３」
		生物化学３	2		2020年度から「植物科学２」
		生物化学１・２	各２		
		生物物理学１・２	各２		
		動物科学	2		
		微生物科学	2		
		分子細胞学１～３	各２		
		分子生物学１～３	各２		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	生命理学基礎実験	2	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

生命理学科学生への注意
「物理学実験（生）」，「化学実験（生）」，「生命理学基礎実験」，「生命理学実験１」，「生命理学実験２Ａ」，「生命理学実験２Ｂ」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

社会学部 社会学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1	2		
		日本史概論2	2		
		世界史	2	「世界史（2単位）」か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1	2		
		世界史概論2	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	NPO／NGOの社会学	2		
		webスタディーズ	2		
		アイデンティティ論	2		
		逸脱の社会学	2		
		エスノメソドロジー	2		
		家族社会学	2		
		開発・発展の社会学	2		
		環境社会論	2		
		共生社会論	2		
		教育社会学	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		公共政策とガバナンス	2		
		コミュニケーション論	2		
		差別と偏見の社会学	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		
		質的調査法	2		
		シミュレーションの社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		
		社会階層論	2		
		社会学史	2		
		社会人口学	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		社会問題の社会学	2		
		少子・高齢社会論	2		
		消費社会論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		
		セクシュアリティの社会学	2		
		相互行為論	2		
		多変量解析	2		
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		
		都市社会論	2		
		比較社会・文化論	2		
		福祉の社会学	2		
		紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		
		平等と公正	2		
		保健・医療の社会学	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア社会学	2		
		ライフコース論	2		
		歴史社会学	2		
		労働社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	４単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
	B	なし			

社会学部 社会学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	NPO／NGOの社会学	2		
		webスタディーズ	2		
		アイデンティティ論	2		
		逸脱の社会学	2		
		エスノメソドロジー	2		
		家族社会学	2		
		開発・発展の社会学	2		
		環境社会論	2		
		共生社会論	2		
		教育社会学	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		公共政策とガバナンス	2		
		コミュニケーション論	2		
		差別と偏見の社会学	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		
		質的調査法	2		
		シミュレーションの社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		
		社会階層論	2		
		社会学史	2		
		社会人口学	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		社会問題の社会学	2		
		少子・高齢社会論	2		
		消費社会論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		
		セクシュアリティの社会学	2		
		相互行為論	2		
		多変量解析	2		
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		
		都市社会論	2		
		比較社会・文化論	2		
		福祉の社会学	2		
		紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	平等と公正	2		
		保健・医療の社会学	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア社会学	2		
		ライフコース論	2		
		歴史社会学	2		
		労働社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	６単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	なし			

社会学部 現代文化学科　2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1	2		
		日本史概論2	2		
		世界史	2	「世界史（2単位）か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1	2		
		世界史概論2	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	環境政策論	2		
		国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	webスタディーズ	2		
		アートの社会学	2		
		エスニシティ論	2		
		エスノグラフィー論	2		
		エスノメソドロジー	2		
		開発・発展の社会学	2		
		科学技術論	2		
		環境と人類	2		
		環境と文化	2		
		環境教育論	2		
		環境社会論	2		
		教育社会学	2		
		くらしの環境史	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		グローバル都市論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		国際社会学	2		
		コミュニケーション論	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		
		写真文化論	2		
		社会言語学	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		消費社会論	2		
		消費文化論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		
		生活文化論	2		
		生命・身体の社会学	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	青年期の社会学	2		
		セラピー文化論	2		
		多文化の社会理論	2		
		地域社会学	2		
		都市コミュニティ論	2		
		都市とメディア	2		
		都市マイノリティ論	2		
		都市社会構造論	2		
		都市社会論	2		
		都市生活誌	2		
		都市文化論	2		
		「人間の安全保障」とNGO	2		
		パフォーマンス文化論	2		
		比較社会・文化論	2		
		紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		
		文化変容論	2		
		マイグレーション論	2		
		まちづくり論	2		
		民族文化誌	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	4単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
	B	なし			

社会学部 現代文化学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	環境政策論	2		
		国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	webスタディーズ	2		
		アートの社会学	2		
		エスニシティ論	2		
		エスノグラフィー論	2		
		エスノメソドロジー	2		
		開発・発展の社会学	2		
		科学技術論	2		
		環境と人類	2		
		環境と文化	2		
		環境教育論	2		
		環境社会論	2		
		教育社会学	2		
		くらしの環境史	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		グローバル都市論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		国際社会学	2		
		コミュニケーション論	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		
		写真文化論	2		
		社会言語学	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		消費社会論	2		
		消費文化論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		
		生活文化論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		
		セラピー文化論	2		
		多文化の社会理論	2		
		地域社会学	2		
		都市コミュニティ論	2		
		都市とメディア	2		
		都市マイノリティ論	2		
		都市社会構造論	2		
		都市社会論	2		
		都市生活誌	2		
		都市文化論	2		
		「人間の安全保障」とNGO	2		
		パフォーマンス文化論	2		
		比較社会・文化論	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		
		文化変容論	2		
		まちづくり論	2		
		マイグレーション論	2		
		民族文化誌	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	６単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	なし			

社会学部 メディア社会学科 2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1	2		
		日本史概論2	2		
		世界史	2	「世界史（2単位）」か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1	2		
		世界史概論2	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	webスタディーズ	2		
		映像メディア論	2		
		エスノメソドロジー	2		
		音楽社会学	2		
		オーディエンス論	2		
		開発・発展の社会学	2		
		環境社会論	2		
		教育社会学	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		コミュニケーション政策論	2		
		コミュニケーション論	2		
		災害情報論	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		視覚文化論	2		
		自己と他者の社会学	2		
		質的調査法	2		
		ジャーナリズム論	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		出版産業論	2		
		消費社会論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		
		多変量解析	2		
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		
		都市社会論	2		
		ニュースの社会学1～5	各2		
		「人間の安全保障」とNGO	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	比較社会・文化論	2		
		紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア・テクノロジー・社会	2		
		メディアとジェンダー	2		
		メディア産業論	2		
		メディア史	2		
		メディア社会学	2		
		メディア素養論	2		
		リスク・コミュニケーション論	2		
		若者とメディア	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	４単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
	B	なし			

社会学部 メディア社会学科 2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		
		政治学B（現代政治）	2		
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	
		社会学原論2	2	必修	
	B	webスタディーズ	2		
		映像メディア論	2		
		エスノメソドロジー	2		
		オーディエンス論	2		
		音楽社会学	2		
		開発・発展の社会学	2		
		環境社会論	2		
		教育社会学	2		
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		
		現代社会と政策	2		
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		
		公共性の社会学	2		
		コミュニケーション政策論	2		
		コミュニケーション論	2		
		災害情報論	2		
		ジェンダーの社会学	2		
		視覚文化論	2		
		自己と他者の社会学	2		
		質的調査法	2		
		ジャーナリズム論	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		
		出版産業論	2		
		消費社会論	2		
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		
		成熟社会論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		
		多変量解析	2		
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		
		都市社会論	2		
		ニュースの社会学1～5	各2		
		「人間の安全保障」とNGO	2		
		比較社会・文化論	2		
		紛争と和解・共生	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		
		文化表象論	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア・テクノロジー・社会	2		
		メディアとジェンダー	2		
		メディア産業論	2		
		メディア史	2		
		メディア社会学	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	メディア素養論	2		
		リスク・コミュニケーション論	2		
		若者とメディア	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	６単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		宗教社会学	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	なし			

法学部
法学科／国際ビジネス法学科／政治学科

2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史概説	2	必修	
		世界史概説	2	必修	
	B	アジア政治論	4		
		アメリカ政治論	4		
		欧州政治思想史	4		
		国際政治史	2		
		日本政治史	4		
		日本政治思想史（1）	2		2019年度まで「日本政治思想史」
		日本政治思想史（2）	2		
		日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史（1）」および「日本政治思想史（2）」
		比較憲法	2		
		法制史（西洋法制史）	2		
		法制史（東洋法制史）	2		
		法制史（日本法制史）	2		
		ヨーロッパ政治論	4		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学入門	2	必修	
		政治学入門	2	必修	
	B	行政学1・2	各2		
		行政法1・2	各4		
		経済法1・2	各2		
		刑法（1）	4		2019年度まで「刑法総論」
		刑法総論	4		2020年度から「刑法（1）」
		刑法（2）	4		2019年度まで「刑法各論」
		刑法各論	4		2020年度から「刑法（2）」
		現代政治理論	4		
		憲法（1）	4		2019年度まで「憲法A（人権）」
		憲法A（人権）	4		2020年度から「憲法（1）」
		憲法（2）	2		2019年度まで「憲法B（統治）」
		憲法B（統治）	2		2020年度から「憲法（2）」
		国際政治	4		
		国際法1・2	各4		
		商法1	4		
		政治過程論1・2	各2		2018年度まで「政治過程論」
		政治過程論	4		2019年度から「政治過程論1」および「政治過程論2」
		日本政治論	4		
		比較政治理論	2		
		民法1	4		
		民法2	2		
		民法3	4		
		民法4	2		
		民法5	4		
		労働法	4		
「社会学，経済学」	A	経済原論	4	必修	
	B	財政学	4		
		社会運動論	4		
		社会政策論	4		
		政治社会学	2		
		統計学	4		
		法社会学1・2	各2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	4単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	法哲学	4		

法学部
法学科／国際ビジネス法学科／政治学科

2016～2018年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史概説	2	必修	
	B	日本政治史	4		
		日本政治思想史（１）	2		2019年度まで「日本政治思想史」
		日本政治思想史（２）	2		
		日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史（１）」および「日本政治思想史（２）」
		法制史（日本法制史）	2		
外国史	A	世界史概説	2	必修	
	B	アジア政治論	4		
		アメリカ政治論	4		
		欧州政治思想史	4		
		国際政治史	2		
		比較憲法	2		
		法制史（西洋法制史）	2		
		法制史（東洋法制史）	2		
		ヨーロッパ政治論	4		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		自然地理学１	2	必修	
		自然地理学２	2	必修	
	B	なし			
地誌	A	地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			

法学部
法学科／国際ビジネス法学科／政治学科　2016～2018年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学入門	2	必修	
		政治学入門	2	必修	
	B	行政学１・２	各２		
		行政法１・２	各４		
		経済法１・２	各２		
		刑法（１）	4		2019年度まで「刑法総論」
		刑法総論	4		2020年度から「刑法（１）」
		刑法（２）	4		2019年度まで「刑法各論」
		刑法各論	4		2020年度から「刑法（２）」
		現代政治理論	4		
		憲法（１）	4		2019年度まで「憲法A（人権）」
		憲法A（人権）	4		2020年度から「憲法（１）」
		憲法（２）	2		2019年度まで「憲法B（統治）」
		憲法B（統治）	2		2020年度から「憲法（２）」
		国際政治	4		
		国際法１・２	各４		
		商法１	4		
		政治過程論１・２	各２		2018年度まで「政治過程論」
		政治過程論	4		2019年度から「政治過程論１」および「政治過程論２」
		日本政治論	4		
		比較政治理論	2		
		民法１	4		
		民法２	2		
		民法３	4		
		民法４	2		
		民法５	4		
		労働法	4		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	経済原論	4	必修	
	B	財政学	4		
		社会運動論	4		
		社会政策論	4		
		政治社会学	2		
		統計学	4		
		法社会学１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	６単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	法哲学	4		

異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科　2016〜2018年度入学者対象

中学・高校英語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
英語学	A	Introduction to the Study of English	2	2単位選択必修	2020年度から新設 DLP科目
		英語学概論	2		
		英語教育学	2		
	B	Motivation in Language Learning	2		2020年度から新設
		Teaching English to Speakers of Other Languages: Basic Principles	2		DLP科目
		英語コミュニケーション教育学	2		
		外国語教育評価論／Measurement and Evaluation in Language Education	2		「Measurement and Evaluation in Language Education」はDLP科目
		コミュニケーション文法	2		2020年度から新設
		第1言語習得理論	2		
		第2言語習得理論／Theories of Second Language Acquisition	2		「Theories of Second Language Acquisition」はDLP科目
英米文学	A	英語圏文学論	2	必修	
	B	間文化研究A	2		2017年度以前入学者のみ適用 2019年度まで「複合地域文化研究A」
		複合地域文化研究A	2		2017年度以前入学者のみ適用 2020年度から「間文化研究A」
英語コミュニケーション	A	Seminar in English A	2	2単位選択必修	
		Seminar in English B	2		
	B	Seminar in English C〜F	各2		
		コミュニケーションセミナー 3A−R（英語）／Communication Seminar 3A-R（English）	4		「Communication Seminar 3A-R（English）」はDLP科目
異文化理解	A	Cultural Exchange	2	必修	
	B	Intercultural Communication in the Language Classroom	2		2020年度から新設
		Introduction to Intercultural Communication	2		DLP科目
		Language Policy and Multilingualism	2		DLP科目
		異文化コミュニケーション概論	2		
		異文化コミュニケーション特論A・B	各2		
		異文化トレーニング演習	2		
		グローバル社会とコミュニケーション	2		
		語用論／Pragmatics	2		「Pragmatics」はDLP科目
		社会言語学／Sociolinguistics	2		「Sociolinguistics」はDLP科目
		対人コミュニケーション論	2		
		多文化共生特論	2		
		多文化共生概論	2		2019年度まで「多文化共生論」
		多文化共生論	2		2020年度から「多文化共生概論」
		通訳翻訳と多文化社会／Translation and Interpreting in Multicultural Society	2		「Translation and Interpreting in Multicultural Society」はDLP科目
		バイリンガリズム研究／Bilingualism	2		「Bilingualism」はDLP科目

観光学部
観光学科／交流文化学科

2016～2018年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は、自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	観光史	2		
		観光人類学７　（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」
		開発と文化	2		2020年度から「観光人類学７　（開発援助）」
		観光歴史学２　（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」
		植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学２　（近代）」
		農村観光論	2		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	アジア太平洋観光論	2		
		観光人類学１　（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学１」
		観光人類学１	2		2020年度から「観光人類学１　（文化の表象）」
		観光人類学８　（生態）	2		2019年度まで「観光人類学２」
		観光人類学２	2		2020年度から「観光人類学８　（生態）」
		観光地理学１　（都市）	2		2019年度まで「観光地理学２」
		観光地理学２	2		2020年度から「観光地理学１　（都市）」
		観光地理学３　（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学１」
		観光地理学１	2		2020年度から「観光地理学３　（リゾート地）」
		観光地理学５　（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」
		観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学５　（自然環境）」
		観光地理学７　（外国地誌１）	2		2019年度まで「外国地誌１」
		外国地誌１	2		2020年度から「観光地理学７　（外国地誌１）」
		観光地理学８　（外国地誌２）	2		2019年度まで「外国地誌２」
		外国地誌２	2		2020年度から「観光地理学８　（外国地誌２）」
		観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究１（地理学の方法）」
		交流文化研究１（地理学の方法）	2		2020年度から「観光地理学概論」
		都市観光論	2		
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	観光政策・行政論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本	2		
	B	観光概論	2		
		観光計画論	2		
		観光経済学	2		
		観光交通論（国際航空）	2		
		観光交通論（鉄道等）	2		
		観光社会学２　（移動）	2		2019年度まで「観光社会学２」
		観光社会学２	2		2020年度から「観光社会学２　（移動）」
		観光社会学３　（ジェンダー）	2		2019年度まで「観光とジェンダー」
		観光とジェンダー	2		2020年度から「観光社会学３　（ジェンダー）」
		観光社会学６　（若者）	2		2019年度まで「観光社会学１」
		観光社会学１	2		2020年度から「観光社会学６　（若者）」
		観光社会学概論	2		2019年度まで「交流文化研究３　（社会学の方法）」
		交流文化研究３　（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」
		観光調査・研究法入門	2		
		観光調査法	2		
		観光と社会６　（国際関係）	2		2019年度まで「移住と定着」
		移住と定着	2		2020年度から「観光と社会６　（国際関係）」
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学	2	２単位選択必修	
		観光行動論	2		
	B	観光文学５　（思想）	2		2019年度まで「旅行経験分析法」
		旅行経験分析法	2		2020年度から「観光文学５　（思想）」

観光学部
観光学科／交流文化学科　2016～2018年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は、自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
	B	観光史	2		
		農村観光論	2		
外国史	A	外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	観光人類学７　（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」
		開発と文化	2		2020年度から「観光人類学７　（開発援助）」
		観光歴史学２　（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」
		植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学２　（近代）」
人文地理学及び自然地理学	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		自然地理学	2	必修	
	B	アジア太平洋観光論	2		
		観光社会学概論	2		2019年度まで「交流文化研究３　（社会学の方法）」
		交流文化研究３　（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」
		観光人類学１　（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学１」
		観光人類学１	2		2020年度から「観光人類学１　（文化の表象）」
		観光人類学８　（生態）	2		2019年度まで「観光人類学２」
		観光人類学２	2		2020年度から「観光人類学８　（生態）」
		観光人類学概論	2		2019年度まで「交流文化研究２　（文化人類学の方法）」
		交流文化研究２　（文化人類学の方法）	2		2020年度から「観光人類学概論」
		観光地理学１　（都市）	2		2019年度まで「観光地理学２」
		観光地理学２	2		2020年度から「観光地理学１　（都市）」
		観光地理学３　（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学１」
		観光地理学１	2		2020年度から「観光地理学３　（リゾート地）」
		観光地理学５　（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」
		観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学５　（自然環境）」
		観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究１（地理学の方法）」
		交流文化研究１（地理学の方法）	2		2020年度から「観光地理学概論」
		都市観光論	2		
地誌	A	地誌学	2	必修	
	B	観光地理学７　（外国地誌１）	2		2019年度まで「外国地誌１」
		外国地誌１	2		2020年度から「観光地理学７　（外国地誌１）」
		観光地理学８　（外国地誌２）	2		2019年度まで「外国地誌２」
		外国地誌２	2		2020年度から「観光地理学８　（外国地誌２）」

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2016～2018年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	人権論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本	2		
	B	家族社会学	2		
		家族福祉論	2		
		公的扶助論	2		
		高齢社会システム論	2		
		ジェンダー論	2		
		社会問題の社会学	2		
		障害学入門	2		
		女性福祉論	2		
		セクソロジー	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		福祉文化論	2		
		福祉マネジメント論	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	現代キリスト教人間学	2	必修	
	B	いのちの倫理学	2		
		グリーフスタディ	2		
		持続可能な福祉コミュニティ	2		

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2016〜2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学1	2	必修	
		法学2	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	人権論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学1	2	必修	
		社会学2	2	必修	
		経済学	2	必修	
		世界経済と日本	2	必修	
	B	家族社会学	2		
		家族福祉論	2		
		公的扶助論	2		
		高齢社会システム論	2		
		ジェンダー論	2		
		社会問題の社会学	2		
		障害学入門	2		
		女性福祉論	2		
		セクソロジー	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		福祉文化論	2		
		福祉マネジメント論	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	いのちの倫理学	2	6単位選択必修	
		現代キリスト教人間学	2		
		心理学1	2		
		心理学2	2		
	B	グリーフスタディ	2		
		持続可能な福祉コミュニティ	2		
		老年臨床心理学	2		

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2016～2018年度入学者対象

高校福祉（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
社会福祉学（職業指導を含む。）	A	現代社会と福祉１	2	必修	
		現代社会と福祉２	2	必修	
		社会福祉入門演習	2	必修	
	B	社会福祉法制	2		
		社会保障総論	2		
		社会保障論	2		
高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	A	高齢者福祉論	2	必修	
		児童福祉論	2	必修	
		障害者福祉論	2	必修	
	B	高齢者福祉実践論	2		
		児童福祉実践論	2		
社会福祉援助技術	A	社会福祉援助技術論１	2	必修	
		精神保健福祉援助技術総論	2	必修	
	B	社会調査法	2		
		社会福祉援助技術論２～４	各２		
介護理論及び介護技術	A	介護概論	2	必修	
		介護技術論	2	必修	
	B	なし			
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	A	実習指導	4	４単位選択必修	
		精神保健福祉援助実習指導１	4		
		① 社会福祉援助技術演習１	2	①または②のグループ（計４単位）のどちらかを選択必修	
		① 社会福祉援助技術演習２	1		
		① 社会福祉援助技術演習３	1		
		② 精神保健福祉援助演習（基礎）	3		
		② 精神保健福祉援助実習指導２	1		
		社会福祉援助技術現場実習	4	４単位選択必修	
		精神保健福祉援助実習	4		
	B	なし			
人体構造及び日常生活行動に関する理解	A	医学概論	2	必修	
	B	なし			
加齢及び障害に関する理解	A	発育・発達・加齢論	2	必修	
	B	なし			

コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 2016～2018年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	家族政策	2		
		健康政策	2		
		コミュニティ政策学入門	2		
		自治体政策論	2		
		社会開発論	2		
		人権論	2		
		政策科学	2		
		地方財政論	2		
		地方自治論	2		
		福祉制度論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本	2		
	B	アジアの宗教と文化	2		
		逸脱と紛争の修復	2		
		家族社会学	2		
		現代コミュニティ論	2		
		高齢社会システム論	2		
		国際ＮＧＯ論	2		
		国際福祉論	2		
		コミュニティ・ビジネス	2		
		ジェンダー論	2		
		社会保障総論	2		
		社会保障論	2		
		社会問題の社会学	2		
		障害学入門	2		
		障害者スポーツ論	2		
		セクソロジー	2		
		多文化社会論	2		
		統計学入門	2		
		パートナーシップ論	2		
		福祉文化論	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		リサーチ方法論１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	公共哲学	2	必修	
		いのちの倫理学	2	必修	
	B	グリーフスタディ	2		
		現代キリスト教人間学	2		
		コミュニティ人間形成論	2		
		コミュニティ福祉とキリスト教	2		
		持続可能な福祉コミュニティ	2		
		日本の文化と思想	2		

コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 2016～2018年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学１	2	必修	
		法学２	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	家族政策	2		
		健康政策	2		
		コミュニティ政策学入門	2		
		自治体政策論	2		
		社会開発論	2		
		人権論	2		
		政策科学	2		
		地方財政論	2		
		地方自治論	2		
		福祉制度論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学１	2	必修	
		社会学２	2	必修	
		経済学	2	必修	
		世界経済と日本	2	必修	
	B	アジアの宗教と文化	2		
		逸脱と紛争の修復	2		
		家族社会学	2		
		現代コミュニティ論	2		
		高齢社会システム論	2		
		国際ＮＧＯ論	2		
		国際福祉論	2		
		コミュニティ・ビジネス	2		
		ジェンダー論	2		
		社会保障総論	2		
		社会保障論	2		
		社会問題の社会学	2		
		障害学入門	2		
		障害者スポーツ論	2		
		セクソロジー	2		
		多文化社会論	2		
		統計学入門	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		パートナーシップ論	2		
		福祉文化論	2		
		リサーチ方法論１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	公共哲学	2	６単位選択必修	
		いのちの倫理学	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	グリーフスタディ	2		
		現代キリスト教人間学	2		
		コミュニティ人間形成論	2		
		コミュニティ福祉とキリスト教	2		
		持続可能な福祉コミュニティ	2		
		日本の文化と思想	2		
		人間心理の深層	2		
		ライフサイクルの心理学	2		

コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科 2016～2018年度入学者対象

中学・高校保健体育（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※158ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※自学部『履修要項』に記載のある科目を履修すること。履修規則・登録方法等は，自学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
体育実技	A	運動方法学演習１（フィットネス）	2	８単位選択必修	
		運動方法学演習２（陸上競技）	2		
		運動方法学演習３（球技：屋外ゴール型）	2		
		運動方法学演習４（球技：屋外ネット型）	2		
		運動方法学演習５（スキー）	2		
		運動方法学演習６（野外活動：キャンプ）	2		
		運動方法学演習７（球技：屋内）	2		
		運動方法学演習８（武道）	2		
		運動方法学演習９（水泳）	2		
	B	なし			
「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	A	運動方法学	2	必修	
		スポーツ科学総論	2	必修	
		ウエルネス科学総論	2	２単位選択必修	
		スポーツウエルネス心理学	2		
		スポーツ社会学	2		
		スポーツ倫理学	2		
	B	コミュニティスポーツ論	2		
		バイオメカニクス	2		
		メンタルマネジメント	2		
生理学（運動生理学を含む。）	A	生理学	2	必修	
		運動生理学	2	必修	
	B	運動処方･療法	2		
		運動･スポーツ栄養学	2		
		解剖学	2		
		生活習慣病の科学	2		
		発育･発達･加齢論	2		
衛生学及び公衆衛生学	A	公衆衛生学	2	必修	
	B	ウエルネス福祉論	2		
学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）	A	小児保健･精神保健	2	２単位選択必修	
		リスクマネジメント論	2		
	B	ウエルネススポーツ医学	2		

学科別・免許教科別科目一覧【2010～2015年度入学者適用】

免許法施行規則第66条の6に定める科目　―履修上の注意とカリキュラム―

下表に沿って各科目区分２単位以上，計８単位以上修得すること。

科目の中には抽選登録科目もある。抽選もれすることもあるので，１年次から履修・修得に努めること。

免許法施行規則第66条の6 に定める科目区分 （免許状取得に必要な単位数）	本学における科目
日本国憲法（２単位）	**全学部生対象** 全学共通カリキュラム「**日本国憲法**」 **又は（所属学部生対象）** 経済学部学生は自学部設置の「**憲法１**」「**憲法２**」 法学部学生は自学部設置の「**憲法（２）**」「**憲法Ｂ**」「**憲法１**」
体育（２単位）	**全学部対象** 全学共通カリキュラム 「**スポーツプログラム**」又は「**スポーツスタディ**」 ※免許状取得に必要な単位数は２単位である。単位数が１単位の科目もあるので注意すること。 なお，免許状取得に必要な２単位について，科目の指定はない。
外国語コミュニケーション（２単位）	**全学部対象** 卒業に必要な全学共通カリキュラム言語教育科目
情報機器の操作（２単位） ※2011年度以前に学部１年次に入学した者は，2011年度以前に指定されていた科目を指定された年度（講座履修要項に記載されている当該年度）に修得していれば免許取得要件として認められる。 ※大学院学生および科目等履修生は，教務事務センターに申し出ること。	**学部・学科による指定科目** **次ページ参照** ※科目によっては，免許状取得要件として対象となる履修年度が定められているものがある。その場合は，指定された年度以外に修得しても免許状取得要件として認められないので，注意すること。

2020年度　教職課程　「免許法施行規則第66条の6」に定める科目「情報機器の操作」　学部開講科目

以下の科目の履修方法・講義内容等については，各学部・学科の履修要項・シラバスおよびR Guideで確認すること。
大学院学生および学校・社会教育講座科目等履修生の履修登録方法については，各科目履修登録前の手続きを要する。詳細は，学校・社会教育講座の掲示板で確認すること。

対象		科目コードまたは登録方法	科目名	単位数と開講学期		配当年次				備考
学部	学科			春学期	秋学期	1年	2年	3年	4年	
文	全学科	抽選	情報処理１	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理２		2	○	○	○	○	
		抽選	情報処理3a～3d	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理4a～4d		2	○	○	○	○	
経済	経済	BX331～BX335	情報処理入門１	2		○				2015年度まで「情報処理入門」
	経済政策	BX336～BX338	情報処理入門１	2		○				2015年度まで「情報処理入門」
	会計ファイナンス	BX339～BX341	情報処理入門１	2		○				2015年度まで「情報処理入門」
	全学科	抽選（BX353）	情報処理入門１	2			○	○	○	2015年度まで「情報処理入門」
理	数	CA010	計算機入門１演習	1		○				
		CA012	計算機入門２演習		1	○				
	物理	CB059	コンピュータ実験１	1		○				
		CB060	コンピュータ実験２		1	○				
	化	CC043	基礎情報科学	2		○				
	生命理	CD022	基礎情報科学	2		○				
社会	全学科	DK248	情報処理１（入門）	2		○	○	○	○	2012年度以降学部1年次入学者および2011年度以前現代文化学科1年次入学者対象
		DK249	情報処理２（アプリケーション）		2	○	○	○	○	2012年度以降学部1年次入学者および2011年度以前社会学科1年次入学者対象
		DK021～DK029	社会調査法３	2			○			2012年度以降学部1年次入学者対象
	社会	DA211	社会学データ実習	2			○			2011年度以前学部１年次入学者対象 2012年度以前に履修した場合は「教科に関する科目」としてカウントされる。 2017年度以降廃止
	現代文化	DD227	社会調査法３	2			○	○	○	2011年度以前学部１年次入学者対象 ただし「社会統計学１」として2012年度以前に履修した場合は「教科に関する科目」としてカウントされる。
	メディア社会	DE431	社会調査法３	2		○	○	○	○	2011年度以前学部１年次入学者対象 ただし「データ分析」として2012年度以前に履修した場合は「教科に関する科目」としてカウントされる。
法	全学科	右記備考参照	情報処理入門	2		○				学部１年次生は抽選登録 学部２年次以上の履修希望者は，教務事務センターでの事前手続きを要する。詳細は法学部履修要項で確認すること。
			情報処理入門		2	○				
			情報処理（文学部「情報処理3d」）							法学部学生は，2012・2013年度に修得した場合に限り，“情報機器の操作（２単位）”を修得したものとみなす。 2014年度以降廃止
			情報処理（文学部「情報処理4d」）							

対象		科目コードまたは登録方法	科目名	単位数と開講学期		配当年次				備考
学部	学科			春学期	秋学期	1年	2年	3年	4年	
経営	全学科	抽選	ICTリテラシー	2		○	○	○	○	
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	抽選	コンピュータ・リテラシー	2		○	○	○	○	
観光	全学科	その他	データ情報処理		2	○	○	○	○	
コミュニティ福祉	全学科	抽選	情報処理１	2		○	○	○	○	
		抽選	情報処理２		2	○	○	○	○	
		抽選	情報処理３	2			○	○	○	
		抽選	情報処理４		2		○	○	○	
現代心理	心理	その他	情報処理		2	○	○	○	○	

注　2012年度から“情報機器の操作（２単位）”は各学部・学科開講科目を履修することになった。2011年度までに全学共通カリキュラム科目「情報科学Ａ・Ｂ」・「情報処理１〜４」・「情報科学入門」，数学科「計算機入門１・２」，物理学科「情報処理」，現代文化学科「情報処理入門」を修得した場合は，“情報機器の操作（２単位）”を修得したこととみなす。不明な点は，所属するキャンパスの学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

教科に関する科目　―履修上の注意とカリキュラム―

218ページ以降の学科（専修）別／免許教科別 「教科に関する科目」における「教科に関する科目」表の見方

対象とする入学年度

学部・学科（専修）名

文学部 キリスト教学科　2010〜2015年度入学者対象

中学社会（1種）

免許状の学校種・教科・種類

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（2単位）」か	
		日本史概論1	2	「日本史概論1・2（計	
		日本史概論2	2	4単位）」を選択必修	
		世界史	2	「世界史（2単位）」か	
		世界史概論1	2	「世界史概論1・2（計	
		世界史概論2	2	4単位）」を選択必修	
	B	演習A1〜A10	各2		
		キリスト教学講義 5，6，17〜24	各2		
		キリスト教学講義37	2		2016年度まで「日本宗教史1」
		日本宗教史1	2		2017年度から「キリスト教学講義37」
		キリスト教学講義38	2		2016年度まで「日本宗教史2」
		日本宗教史2	2		2017年度から「キリスト教学講義38」
		キリスト教学入門講義3・4	各2		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1	2	必修	
		地理学概説2	2	必修	
		地誌学1	2	必修	
		地誌学2	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		比較政治史1	2		
		比較政治史2	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
		民法1・2〈経済学部〉	各2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	4単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論1〈社会学部〉	2		
		社会学原論2〈社会学部〉	2		
		経済原論A〈経済学部〉	4		
		経済原論B〈経済学部〉	4		
	B	キリスト教学講義35・36	各2		
		史学講義21，23，24	各2		
		社会政策論1・2〈経済学部〉	各2		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論1	2	4単位選択必修	
		哲学概論2	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想1	2		
		宗教思想2	2		
	B	キリスト教学講義 7，8，11，12	各2		
		キリスト教学入門講義1・2	各2		

免許教科に応じて免許取得要件として必要とされる「教科に関する科目」

本学では法令上の「科目区分」に対して，各学部が定める科目（他学部との併置科目含む）が設定されている。

科目名の後ろに〈 〉が記してあるものは，その科目の開講学部等を示す。記していないものは自学部・自学科開講科目である。

A　免許状取得のための　必修科目・選択必修科目（一般的・包括的内容を含む科目）

免許状取得のために，「履修方法」で指示されたとおりに修得する科目。

［必修］：必ず修得しなければならない科目

［選択必修］：指定された枠内の科目から，指定された単位数を修得しなければならない科目

B　免許状取得のための　選択科目

免許状取得のために，各自が選択して修得する科目。単位未修得の科目区分があっても差し支えない。

「必修・選択必修」「選択」の表示は，卒業要件と免許取得要件とでは異なるので注意すること。

「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意

1．対象とする入学年度，免許状の学校種・教科・種類などを必ず確認すること。また科目によっては，履修年度が指定されているので注意すること。対象ではない科目や対象とならない年度で科目の単位を修得しても，免許状取得の要件とはならない。

2．教科に関する科目の履修規則・登録方法等は，各学部の『履修要項』を確認し，その内容に従うこと。科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，その科目の開講学部・学科等を示している。同じ科目名でも，指定された開講学部・学科の科目を修得しなければ，免許状取得の要件とはならない。
また，記載されている科目は毎年度開講されるとは限らないので，合わせて各学部『履修要項』で確認すること。

3．単位数の欄は，左欄の科目の単位数を示している。「各○」と記されている場合は，左欄それぞれの科目の単位数が同じ単位数であることを示す。「各○」と記されている科目は，免許状取得要件上はセットで修得しなくて良い。

4．表の下に記載された注記や，参照を指示された別表を確認すること。

5．科目は廃止または追加されることがある。備考に「廃止」と記されている場合，廃止される以前に修得していれば，「教科に関する科目」として認められる。また「新設」と記されている場合，新設された年度以前に修得しても，「教科に関する科目」として認められない。

「教科に関する科目」の修得に関わる注意

1．「教科に関する科目」は，免許状取得要件単位数として，中学校免許状取得のためには28単位以上（「国語」のみ29単位以上），高等学校免許状取得のためには36単位以上，修得しなければならない。
このうち，「（免許法施行規則に定める）科目区分」にあるＡ欄の必修科目・選択必修科目を「履修方法」に指定されたとおりに修得することを必須とする。それ以外はＢ欄のうちから修得し，それぞれの免許状取得要件単位数を満たすこと。Ｂ欄の単位修得にあたっては，「（免許法施行規則に定める）科目区分」に未修得の区分があっても差し支えない。

2．Ａ欄の単位修得にあたっては，「履修方法」に指定された以上の単位数を修得した場合，指定単位数の超過分は免許状取得要件単位数（選択科目）として算入できる。（ただし，「国語」の「書道１」「書道２」の取り扱いについては異なるので，当該ページ注記で確認すること）

3．本学では，「教職に関する科目」の「道徳教育の理論と方法」（2単位），「（各）教科教育法演習２」（2単位），「教職特別演習」（2単位）を「教科に関する科目」の選択科目の単位に加算できる場合がある。詳細は，3 教育職員免許状（１種）取得のための要件「３．注意事項（2），（3）」を必ず参照すること。

「教科に関する科目」よくある質問

Q 所属する学部の履修要項に書かれている「必修」と，教職課程の「教科に関する科目」の「必修」の違いは何ですか？

A 所属する学部の履修要項の「必修」は卒業のための必修科目で，「教科に関する科目」の「必修」は免許状取得のための必修科目で，必ずしも一致していません。

Q 「教科に関する科目」は，卒業に必要な単位にもなりますか？

A 卒業要件単位となるか否かは科目によって異なりますので，所属する学部・学科の『履修要項』で確認をしてください。

Q 中学・高校の両方の免許状を取得するためには，「教科に関する科目」を合計36単位修得すれば良いのですか？

A 合計単位としては36単位以上を充たし，さらに各学科・免許教科で定められたA区分科目（必修・選択必修）を指定されたとおり修得しなくてはなりません。

Q 「社会」と「公民」の免許状を取得したい場合，自分が所属する学科の「教科に関する科目」一覧表では，「社会」と「公民」に同じ科目がありますが，二度履修しなければなりませんか？

A 同じ科目であれば，一度単位を修得すれば，「社会」と「公民」両方の「教科に関する科目」の必要単位にあてることができます。

Q 「教科に関する科目」のうち，同じ科目を２回単位修得しました。どのような扱いになりますか？

A その科目の設置学部・学科の履修規則により，単位修得済みの科目を再履修できるのであれば，いずれの単位も「教科に関する科目」として，免許状取得に必要な単位数に算入することができます。

Q “4単位選択必修”と指示されているところ，6単位を修得した場合，その差の２単位はどのような扱いになりますか？

A 指示された以上に修得した選択必修科目の単位数は，免許状取得に必要な「教科に関する科目」の単位数に算入できます。ただし，免許教科「国語」の「書道１・２」は上記の扱いとは異なりますので，「教科に関する科目」表の注記を確認してください。

Q 一覧表の「備考」に指定されている以外の年度に修得した科目の単位は，「教科に関する科目」の単位とはならないのでしょうか？

A 「教科に関する科目」の単位とはなりません。適用されていない「教科に関する科目」の単位を修得しても免許状を取得できないので十分注意しましょう。また，「教科に関する科目」は在学中に変更されることがあります。指定された年度に履修していれば在学途中で科目が廃止されても修得した単位は有効です。

Q 教育実習までに単位修得するべき「教科に関する科目」はどれですか？

A 理学部（数学科を除く）では，指定された実験科目と教育実習の同時履修は認められません。また，免許教科「商業」の簿記に関する科目は，教育実習までに単位修得しなければなりません。該当する「教科に関する科目」の履修上の注意を確認してください。

Q 「地理歴史」の免許状取得を希望する史学科学生です。世界史専修に進む予定ですが，外国史の科目ばかり履修しても問題ないでしょうか。

A 「教科に関する科目」に示されたとおりに単位を修得すれば，免許状取得上は問題ありませんが，「地理歴史」の免許状を取得するということは，高校で「日本史」「世界史」「地理」の全ての教科を教える資格を持つことになります。そのため，不得意な分野があれば積極的に勉強するよう心がけることが必要です。

Q 以前修得した科目の備考欄に「2016年度から廃止」と記されています。私が修得したこの科目の単位は，どのような扱いになりますか？

A この場合，その科目を2015年度以前に修得していれば本要項の一覧表に記載されている教科・区分・ＡＢの別の通り「教科に関する科目」として適用されます。つまり，廃止年度より前に当該科目の単位を修得していれば，当該科目が位置づけられている要件の単位を修得したものとみなされます。

文学部 キリスト教学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１	2		
		日本史概論２	2		
		世界史	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１	2		
		世界史概論２	2		
	B	演習Ａ１～Ａ10	各２		
		キリスト教学講義５，６，17～24	各２		
		キリスト教学講義37	2		2016年度まで「日本宗教史１」
		日本宗教史１	2		2017年度から「キリスト教学講義37」
		キリスト教学講義38	2		2016年度まで「日本宗教史２」
		日本宗教史２	2		2017年度から「キリスト教学講義38」
		キリスト教学入門講義３・４	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	４単位選択必修	
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度･政策論	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	４単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論１〈社会学部〉	2		
		社会学原論２〈社会学部〉	2		
		経済原論Ａ〈経済学部〉	4		
		経済原論Ｂ〈経済学部〉	4		
	B	キリスト教学講義35･36	各２		
		史学講義21，23，24	各２		
		社会政策論１・２〈経済学部〉	各２		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	４単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	キリスト教学講義７，８，11，12	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 キリスト教学科　2010～2015年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１	2		
		日本史概論２	2		
	B	キリスト教学講義37	2		2016年度まで「日本宗教史１」
		日本宗教史１	2		2017年度から「キリスト教学講義37」
		キリスト教学講義38	2		2016年度まで「日本宗教史２」
		日本宗教史２	2		2017年度から「キリスト教学講義38」
外国史	A	世界史	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１	2		
		世界史概論２	2		
	B	演習Ａ１～Ａ10	各２		
		キリスト教学講義 5，6，17，18，21～24	各２		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		自然地理学１	2	必修	
		自然地理学２	2	必修	
	B	なし			
地誌	A	地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 キリスト教学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	4単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論１〈社会学部〉	2		
		社会学原論２〈社会学部〉	2		
		経済原論Ａ〈経済学部〉	4		
		経済原論Ｂ〈経済学部〉	4		
	B	キリスト教学講義35・36	各２		
		史学講義21，23，24	各２		
		社会政策論１・２〈経済学部〉	各２		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	6単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	キリスト教学講義７，８，11，12	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 キリスト教学科　2010～2015年度入学者対象

中学・高校宗教（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
宗教学	A	宗教思想１	2	必修	
		宗教思想２	2	必修	
		キリスト教学入門講義１	2	２単位選択必修	
		キリスト教学入門講義２	2		
	B	キリスト教学講義 １～４，７～10	各２		
		哲学講義５～７	各２		
宗教史	A	キリスト教学入門講義３	2	必修	
		キリスト教学入門講義４	2	必修	
	B	キリスト教学講義 13，14，19，20	各２		
		キリスト教学講義29，30	各２		2019年度から廃止
「教理学，哲学」	A	哲学概論１	2	必修	
		哲学概論２	2	必修	
	B	現代倫理	2		
		哲学講義１・２	各２		
		哲学的人間学	2		

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 史学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１	2		
		日本史概論２	2		
		世界史	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１	2		
		世界史概論２	2		
	B	演習Ｇ１～Ｇ24	各２		
		演習Ｈ１～Ｈ22	各２		
		史学講義 １～11，13～19，22，25～51，54	各２		
		キリスト教学講義37	2		2016年度まで「日本宗教史１」
		日本宗教史１	2		2017年度から「キリスト教学講義37」
		キリスト教学講義38	2		2016年度まで「日本宗教史２」
		日本宗教史２	2		2017年度から「キリスト教学講義38」
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	超域文化学講義 ３～５，15～17，23，24	各２		
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	４単位選択必修	
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	４単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論１〈社会学部〉	2		
		社会学原論２〈社会学部〉	2		
		経済原論Ａ〈経済学部〉	4		
		経済原論Ｂ〈経済学部〉	4		
	B	教育社会学２	2		
		史学講義21，23，24	各２		
		社会政策論１・２〈経済学部〉	各２		
		超域文化学講義 ７～９，11～14	各２		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	４単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	キリスト教学講義 11，12，15，16	各２		
		キリスト教学入門講義１～４	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 史学科　2010～2015年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１	2		
		日本史概論２	2		
	B	史学講義27～51，54	各２		
外国史	A	世界史	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１	2		
		世界史概論２	2		
	B	史学講義 １～11，13～19，22，25，26	各２		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		自然地理学１	2	必修	
		自然地理学２	2	必修	
	B	超域文化学講義 ３～５，15～17，23，24	各２		
地誌	A	地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 史学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		比較政治史１	2		
		比較政治史２	2		
	B	環境教育論	2		
		教育制度・政策論	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	4単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論１〈社会学部〉	2		
		社会学原論２〈社会学部〉	2		
		経済原論Ａ〈経済学部〉	4		
		経済原論Ｂ〈経済学部〉	4		
	B	教育社会学２	2		
		史学講義21，23，24	各２		
		社会政策論１・２〈経済学部〉	各２		
		超域文化学講義 ７～９，11～14	各２		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１	2	6単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	キリスト教学講義11・12	各２		
		キリスト教学入門講義１・２	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 教育学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１	2		
		日本史概論２	2		
		世界史	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１	2		
		世界史概論２	2		
	B	日本宗教史１・２	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１	2	必修	
		地理学概説２	2	必修	
		地誌学１	2	必修	
		地誌学２	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	４単位選択必修	
		比較政治史　１	2		
		比較政治史　２	2		
	B	環境教育論	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	４単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論１〈社会学部〉	2		
		社会学原論２〈社会学部〉	2		
		経済原論Ａ〈経済学部〉	4		
		経済原論Ｂ〈経済学部〉	4		
	B	キリスト教学講義35･36	各２		
		史学講義21，23，24	各２		
		社会政策論１・２〈経済学部〉	各２		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１	2	４単位選択必修	
		哲学概論２	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想１	2		
		宗教思想２	2		
	B	教育と宗教	2		
		キリスト教学講義11･12	各２		
		キリスト教学講義15･16	各２		2013年度以前に履修した場合に適用
		キリスト教学入門講義１・２	各２		
		キリスト教と教育１・２※	各２		2014年度以降に履修した場合に適用

※2013年度以前に「キリスト教と教育１・２」を修得した者は，講座事務室に申し出ること。

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 教育学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		比較政治史1	2		
		比較政治史2	2		
	B	環境教育論	2		
		民法1・2〈経済学部〉	各2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論〈社会学部〉	4	4単位選択必修	2013年度から廃止
		社会学原論1〈社会学部〉	2		
		社会学原論2〈社会学部〉	2		
		経済原論A〈経済学部〉	4		
		経済原論B〈経済学部〉	4		
	B	キリスト教学講義35･36	各2		
		史学講義21，23，24	各2		
		社会政策論1・2〈経済学部〉	各2		
		文学講義216	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論1	2	6単位選択必修	
		哲学概論2	2		
		哲学的人間学	2		
		現代倫理	2		
		倫理思想	2		
		宗教思想1	2		
		宗教思想2	2		
		心理学1	2		
		心理学2	2		
	B	教育と宗教	2		
		キリスト教学講義11･12	各2		
		キリスト教学講義15･16	各2		2013年度以前に履修した場合に適用
		キリスト教学入門講義1・2	各2		
		キリスト教と教育1・2※	各2		2014年度以降に履修した場合に適用

※2013年度以前に「キリスト教と教育1・2」を修得した者は，講座事務室に申し出ること。

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 文学科 英米文学専修 2010～2015年度入学者対象

中学・高校英語（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
英語学	A	文学講義１	2	必修	
		文学講義２	2	必修	
	B	演習Ｂ17～Ｂ20，Ｂ27，Ｂ28	各２		Ｂ27・Ｂ28は2013年度から新設
		文学講義27～30	各２		
英米文学	A	文学講義３	2	２単位選択必修	
		文学講義４	2		
		文学講義５	2	２単位選択必修	
		文学講義６	2		
	B	演習Ｂ１～Ｂ16，Ｂ21～Ｂ26	各２		Ｂ25・Ｂ26は2012年度から新設
		文学講義７～14，17～26	各２		
英語コミュニケーション	A	文学講義31	2	必修	
		英語表現演習１～20	各２	４単位選択必修	
	B	なし			
異文化理解	A	文学講義33～38	各２	４単位選択必修	
	B	文学講義15，16，39～42	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 文学科 ドイツ文学専修 2010〜2015年度入学者対象

中学・高校ドイツ語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
ドイツ語学	A	文学講義101	2	必修	
	B	ドイツ文学･文化演習 7〜9，17〜19	各2		
		文学講義104･105	各2		
ドイツ文学	A	文学講義103	2	2単位選択必修	2010年度までは必修であったが，現在は全学生とも選択必修
		文学講義106	2		
		文学講義118	2	2単位選択必修	2010年度までは選択であったが，現在は全学生とも選択必修
		文学講義168	2		
	B	演習C9･C10	各2		
		ドイツ文学･文化演習 1〜3，12，13	各2		
		文学講義 110，111，160，161	各2		
ドイツ語コミュニケーション	A	ドイツ語表現演習1A･1B	各2	4単位選択必修	
		ドイツ語表現演習2A･2B	各2		
		ドイツ語表現演習3A･3B	各2		
		ドイツ語表現演習4A･4B	各2		
		ドイツ語表現演習5	2		
		ドイツ語表現演習6	2		
	B	なし			
異文化理解	A	ドイツ語圏文化概論1	2	必修	
		ドイツ語圏文化概論2	2	必修	2010年度までは選択であったが，現在は全学生とも必修
	B	演習C1〜C8，C11，C12	各2		C11･C12は，2013年度から新設
		ドイツ文学･文化演習 4〜6，16	各2		
		文学講義 107〜109，112〜117，157，162，164	各2		109は，2010年度まで必修であったが，現在は全学生とも選択

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 文学科 フランス文学専修 2010〜2015年度入学者対象

中学・高校フランス語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
フランス語学	A	文学講義217	2	必修	
		文学講義218	2	必修	
	B	なし			
フランス文学	A	フランス文学･文化概論	2	必修	
	B	演習Ｄ１〜Ｄ12	各２		
		文学講義 201〜203，205〜207，214	各２		
フランス語コミュニケーション	A	フランス語表現演習１〜10	各２	２単位選択必修	
	B	なし			
異文化理解	A	文学講義204	2	２単位選択必修	
		文学講義210	2		
		文学講義212	2		
		文学講義216	2		
	B	フランス文学･文化演習１〜８	各２		
		文学講義211，213，215	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

文学部 文学科 日本文学専修／文芸・思想専修 2010〜2015年度入学者対象

中学・高校国語（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は29単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	A	日本語学概論１	2	必修	
		日本語学概論２	2	必修	
	B	文学講義 315，316，337〜339，409，411，412	各２		
国文学（国文学史を含む。）	A	日本文学概論	2	必修	
	B	文学講義 301〜314，317〜336，416，417	各２		
漢文学	A	漢文学概論	2	必修	
	B	漢文学講読１〜４	各２		
		哲学講義２	2		
書道（書写を中心とする。）	A	書道１	1	中学校免許状取得の場合のみ１単位選択必修 欄外（注）参照	
		書道２	1		
	B	なし			

（注）「書道１」「書道２」の修得単位について
●中学校免許状取得の場合は，「書道１」か「書道２」のいずれかの単位を必ず修得すること。
両方を修得しても，中学校免許状取得のための必要単位数（29単位）の中に算入できるのは１単位のみである。
●高等学校免許状取得のための必要単位数（36単位）の中に算入することはできない。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経済学部
経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史	2	2016年度までに「日本史〈文学部〉」か「日本史概論１・２」を未修得の場合必修	2017年度から新設
		日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2017年度から廃止
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
		世界史	2	2016年度までに「世界史〈文学部〉」か「世界史概論１・２」を未修得の場合必修	2017年度から新設
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2017年度から廃止
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア経済史１・２	各２		
		アメリカ経済史	2		
		アメリカ経済政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		欧州経済史	2		
		経営史１・２	各２		
		経済学史１・２	各２		
		経済史	4		2015年度から廃止
		経済史１・２	各２		2015年度から新設
		現代アメリカ経済史	2		
		現代ヨーロッパ経済史	2		
		日本経済史１・２	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	経済地理学１・２	各２		
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	４単位選択必修	
		政治学	4		
	B	経済法１・２	各２		
		憲法１・２	各２		
		政策分析概論	2		
		租税法１・２	各２		
		都市政策論１・２	各２		
		民法１・２	各２		
「社会学，経済学」	A	経済学	4	必修	
		国際経済論	2	２単位選択必修	
		世界経済論	2		
	B	アジア経済論	2		
		外国為替論	2		
		開発経済学	2		
		経済政策論１・２	各２		
		国際金融論	2		
		国際経済政策論	2		
		国際貿易論	2		
		財政学１・２	各２		
		産業経済論１・２	各２		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	社会経済学１・２	各２		2016年度まで「経済原論Ａ」 2017年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用
		経済原論Ａ	4		2017年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用 会計ファイナンス学科学生の既修得単位は B に含む
		社会政策論１・２	各２		
		消費者政策論	2		
		初級マクロ経済学１	2		2016年度まで「経済原論Ｂ」 2017年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用
		初級ミクロ経済学１	2		
		経済原論Ｂ	4		2017年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用 会計ファイナンス学科学生の既修得単位は B に含む
		初級マクロ経済学２	2		2016年度まで「マクロ経済学１」
		マクロ経済学１	2		2017年度から「初級マクロ経済学２」
		初級ミクロ経済学２	2		2016年度まで「ミクロ経済学１」
		ミクロ経済学１	2		2017年度から「初級ミクロ経済学２」
		生活経済論	2		
		租税論１・２	各２		
		地方財政論１・２	各２		
		中級マクロ経済学	2		2017年度まで「マクロ経済学２」
		マクロ経済学２	2		2018年度から「中級マクロ経済学」
		中級ミクロ経済学	2		2017年度まで「ミクロ経済学２」
		ミクロ経済学２	2		2018年度から「中級ミクロ経済学」
		中小企業論１・２	各２		
		統計学１・２	各２		
		日本経済論１・２	各２		
		農業経済論	2		
		農業政策論	2		
		比較経済体制論１・２	各２		2019年度から廃止
		流通経済論	2		
		流通政策論	2		2016年度まで「流通産業と政策」
		流通産業と政策	2		2017年度から「流通政策論」
		労働経済論１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	4単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		現代社会思想	2		
		社会思想史	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経済学部
経済学科／経済政策学科

2010～2015年度入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史	2	2016年度までに「日本史〈文学部〉」か「日本史概論１・２」を未修得の場合必修	2017年度から新設
		日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2017年度から廃止
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
	B	日本経済史１・２	各２		
外国史	A	世界史	2	2016年度までに「世界史〈文学部〉」か「世界史概論１・２」を未修得の場合必修	2017年度から新設
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2017年度から廃止
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア経済史１・２	各２		
		アメリカ経済史	2		
		アメリカ経済政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		欧州経済史	2		
		経営史１・２	各２		
		経済学史１・２	各２		
		経済史	4		2015年度から廃止
		経済史１・２	各２		2015年度から新設
		現代アメリカ経済史	2		
		現代ヨーロッパ経済史	2		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		自然地理学１〈文学部〉	2	必修	
		自然地理学２〈文学部〉	2	必修	
	B	経済地理学１・２	各２		
地誌	A	地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経済学部 経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科

2010～2015年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。また，履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	必修	
		政治学	4	必修	
	B	経済法１・２	各２		
		憲法１・２	各２		
		政策分析概論	2		
		租税法１・２	各２		
		都市政策論１・２	各２		
		民法１・２	各２		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	経済学	4	必修	
		国際経済論	2	２単位選択必修	
		世界経済論	2		
	B	アジア経済論	2		
		外国為替論	2		
		開発経済学	2		
		経済政策論１・２	各２		
		国際金融論	2		
		国際経済政策論	2		
		国際貿易論	2		
		財政学１・２	各２		
		産業経済論１・２	各２		
		社会経済学１・２	各２		2016年度まで「経済原論Ａ」 2017年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用
		経済原論Ａ	4		2017年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用 会計ファイナンス学科学生の既修得単位は B に含む
		社会政策論１・２	各２		
		消費者政策論	2		
		初級マクロ経済学１	2		2016年度まで「経済原論Ｂ」 2017年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用
		初級ミクロ経済学１	2		
		経済原論Ｂ	4		2017年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用 会計ファイナンス学科学生の既修得単位は B に含む
		初級マクロ経済学２	2		2016年度まで「マクロ経済学１」
		マクロ経済学１	2		2017年度から「初級マクロ経済学２」
		初級ミクロ経済学２	2		2016年度まで「ミクロ経済学１」
		ミクロ経済学１	2		2017年度から「初級ミクロ経済学２」
		生活経済論	2		
		租税論１・２	各２		
		地方財政論１・２	各２		
		中級マクロ経済学	2		2017年度まで「マクロ経済学２」
		マクロ経済学２	2		2018年度から「中級マクロ経済学」
		中級ミクロ経済学	2		2017年度まで「ミクロ経済学２」
		ミクロ経済学２	2		2018年度から「中級ミクロ経済学」
		中小企業論１・２	各２		
		統計学１・２	各２		
		日本経済論１・２	各２		
		農業経済論	2		
		農業政策論	2		
		比較経済体制論１・２	各２		2019年度から廃止
		流通経済論	2		
		流通政策論	2		2016年度まで「流通産業と政策」
		流通産業と政策	2		2017年度から「流通政策論」
		労働経済論１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	６単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		現代社会思想	2		
		社会思想史	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		心理学１〈文学部〉	2		
		心理学２〈文学部〉	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経済学部 経済学科／会計ファイナンス学科／経済政策学科

2010～2015年度入学者対象

高校商業（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
商業の関係科目	A	会計学１	2	必修	2016年度まで「会計学」 2017年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用
		会計学２	2	必修	
		会計学	4	必修	2017年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用 経済学科・経済政策学科学生の既修得単位は A に含む
		経営学１	2	必修	
		経営学２	2	必修	
		※簿記１	2	必修	2015年度まで「簿記」 2016年度から経済学科・経済政策学科学生のみ適用
		※簿記２	2	必修	
		※簿記	4	必修	2016年度から会計ファイナンス学科学生のみ適用 経済学科・経済政策学科学生の既修得単位は A に含む
	B	会計監査論１・２	各２		
		会計史１・２	各２		
		会計情報論１・２	各２		
		会計政策論１・２	各２		2020年度から廃止
		環境会計論	2		
		管理会計論１・２	各２		
		企業法１・２	各２		
		経営史１・２	各２		2020年度から廃止
		経営分析論１・２	各２		
		経済情報処理Ａ・Ｂ	各２		
		経済情報処理Ｃ	2		2017年度から廃止
		原価計算論１・２	各２		
		現代企業論１	2		2016年度まで「現代企業論」
		現代企業論	2		2017年度から「現代企業論１」
		現代企業論２	2		2016年度まで「現代企業と政府」
		現代企業と政府	2		2017年度から「現代企業論２」
		コーポレートガバナンス論１・２	各２		
		コーポレート・ファイナンス１・２	各２		
		国際会計論１・２	各２		
		国際経営論１・２	各２		
		財務会計論１・２	各２		
		財務情報処理Ａ・Ｂ	各２		
		上級簿記１・２	各２		
		情報処理入門１	2		2015年度まで「情報処理入門」
		情報処理入門	2		2016年度から「情報処理入門１」
		政策情報処理Ａ・Ｂ	各２		
		税務会計論	2		
		中級簿記１・２	各２		
		非営利会計論	2		
		ポートフォリオ論	2		
		マーケティング論１・２	各２		
職業指導	A	キャリアコンサルティング論	2	４単位選択必修	2018年度まで「職業指導概論」
		キャリアデザイン論	2		
		職業指導概論	4		2019年度から「キャリアコンサルティング論」および「キャリアデザイン論」
	B	なし			

※「簿記」または「簿記１，２」は教育実習前年度までに修得しなければならない。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

理学部 数学科　2010〜2015年度入学者対象

中学・高校数学（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許28単位以上，高校教員免許36単位以上　修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
代数学	A	代数学１	2	必修	
		代数学１演習	1	必修	
		代数学２	2	必修	
		代数学２演習	1	必修	
	B	数学入門	2		
		数学入門演習	1		
		線形代数学１	2		
		線形代数学１演習	1		
		代数学３	2		
		代数学諸論１〜６	各２		
幾何学	A	幾何学１	2	必修	
		幾何学１演習	1	必修	
		幾何学２	2	必修	
		幾何学２演習	1	必修	
	B	位相空間論Ａ	2		
		幾何学３	2		
		幾何学諸論１〜６	各２		
解析学	A	解析学１	2	必修	
		解析学１演習	1	必修	
		解析学２	2	必修	
		解析学２演習	1	必修	
	B	解析学３	2		
		解析学諸論１〜６	各２		
		微分と積分１	2		
		微分と積分１演習	1		
		微分と積分入門	2		
		微分と積分入門演習	1		
「確率論，統計学」	A	確率と統計１	2	必修	
		確率と統計２	2	必修	
	B	確率論諸論１〜４	各２		
		統計数学諸論１〜４	各２		
コンピュータ	A	計算機入門１	2	必修	
		計算機入門１演習	1	必修	
		計算機入門２	2	必修	
		計算機入門２演習	1	必修	
	B	応用数学諸論１〜６	各２		

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

理学部 数学科　2010〜2015年度入学者対象

高校情報（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
情報社会及び情報倫理	A	情報と倫理〈全カリ〉	2	必修	
		情報社会論〈経営学部〉	2	2013年度以前履修者は2単位選択必修。2013年度までに「情報社会論〈経営学部〉」を未修得の者，および2014・2015年度入学者は，「情報社会論〈社会学部〉」が必修となる。	2014年度から廃止
		情報社会論〈社会学部〉	2		
	B	なし			
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	A	計算機1	2	必修	
		計算機2	2	必修	
		計算機3	2	必修	
		計算機4	2	必修	
	B	計算機諸論1〜3	各2		
		情報数理1〜3	各2		
		情報数理1演習	1		
		情報数理2演習	1		
情報システム（実習を含む。）	A	情報科学1（情報システム論）	2	必修	
		情報科学2（情報システム論実習）	2	必修	
	B	情報科学諸論1・2	各2		
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	A	情報科学3（情報ネットワーク論）	2	必修	
		情報科学4（情報ネットワーク論実習）	2	必修	
	B	情報科学諸論3・4	各2		
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	A	情報科学A〈全カリ〉	2	必修	
		情報科学6（マルチメディア論実習）	2	必修	
	B	情報科学B〈全カリ〉	2		
		情報科学諸論6	2		
情報と職業	A	情報産業論	2	2014年度までに「情報産業論〈経営学部〉」を未修得の者，および2015年度入学者は，「情報産業論」が必修となる。	2015年度から新設
		情報産業論〈経営学部〉	2		2015年度から廃止
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

理学部 物理学科　2010～2015年度入学者対象

中学・高校理科（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	現代物理学序論	2	必修	
		物理の学び方	2	必修	
	B	科学史	2		
		基礎物理学演習 1・2	各1		
		電気力学	2		
		電磁気学1・2	各2		
		統計力学1・2	各2		
		物性概論	2		
		力学1・2	各2		
		流体力学	2		
		量子力学 1・2	各2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	基礎物理実験	2	必修	
		コンピュータ実験 1	1	必修	
		コンピュータ実験 2	1	必修	
		物理学実験 1	4	必修	
		物理学実験 2	4	必修	
	B	なし			
化学	A	化学（物）	2	必修	
	B	天然物有機化学	2		2015年度まで「生体関連物質の化学」
		生体関連物質の化学	2		2016年度から「天然物有機化学」
		有機化学 1～3	各2		
		有機構造決定法	2		
		有機合成化学	2		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	2単位のうち1単位	必修	
	B	なし			
生物学	A	生物学（物）	2	必修	
	B	生物化学 1・2	各2		
		生物物理学 1・2	各2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	2単位のうち1単位	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

物理学科学生への注意
「理科実験」，「基礎物理実験」，「物理学実験１」，「物理学実験２」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

理学部　化学科　2010～2015年度入学者対象

中学・高校理科（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許は２８単位以上，高校教員免許は３６単位以上修得すること。
※２１４ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	物理学１（化）	2	必修	
		物理学２	2	必修	
	B	なし			
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	２単位のうち１単位	必修	
	B	なし			
化学	A	化学結合論	2	必修	
		物理化学序論	2	必修	
	B	化学平衡論	2		２０１７年度から廃止
		機器分析化学	2		２０１３年度まで「先端分析化学」 ２０１８年度から廃止予定
		先端分析化学	2		２０１４年度から「機器分析化学」
		高分子化学	2		
		高分子物性	2		
		天然物有機化学	2		２０１５年度まで「生体関連物質の化学」
		生体関連物質の化学	2		２０１６年度から「天然物有機化学」
		電極化学	2		２０１７年度から廃止
		反応速度論	2		
		分析化学Ａ	2		
		分析化学２	2		２０１６年度まで「分析化学Ｂ」
		分析化学Ｂ	2		２０１１年度から新設 ２０１７年度から「分析化学２」
		無機化学Ａ	2		２０１１年度から新設
		無機化学２	2		２０１６年度まで「無機化学Ｂ」
		無機化学Ｂ	2		２０１１年度から新設 ２０１７年度から「無機化学２」
		有機化学１～３	各２		
		有機構造決定法	2		
		有機合成化学	2		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	化学実験１	2	必修	
		化学実験３	6	必修	
	B	なし			
生物学	A	生物学（化）	2	必修	
	B	植物科学１	2		２０１９年度まで「植物科学」
		植物科学	2		２０２０年度から「植物科学１」
		生物化学１・２	各２		
		生物物理学１・２	各２		
		バイオテクノロジー	2		
		分子細胞学１	2		
		分子生物学１・２	各２		
		分子発生生物学	2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	２単位のうち１単位	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

化学科学生への注意
「理科実験」，「化学実験１」，「化学実験２」，「化学実験３」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

理学部 生命理学科　2010～2015年度入学者対象

中学・高校理科（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
物理学	A	物理学１（生）	2	必修	
	B	物理学２	2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	２単位のうち１単位	必修	
	B	なし			
化学	A	基礎化学１	2	必修	
		基礎化学２	2	必修	
	B	なし			
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	理科実験	２単位のうち１単位	必修	
	B	なし			
生物学	A	生命理学概論	2	必修	
	B	行動生態学	2		2016年度から廃止
		植物科学１	2		2019年度まで「植物科学」
		植物科学	2		2020年度から「植物科学１」
		植物科学２	2		2019年度まで「生物化学３」
		生物化学３	2		2020年度から「植物科学２」
		生物化学１・２	各２		
		生物物理学１・２	各２		
		動物科学	2		2014年度以降履修者のみ適用
		微生物科学	2		2014年度以降履修者のみ適用
		分子細胞学１～３	各２		
		分子生物学１～３	各２		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	生命理学基礎実験	2	必修	
	B	なし			
地学	A	地学概説	2	必修	
	B	なし			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	A	地学総合実験	1	必修	
	B	なし			

生命理学科学生への注意
「理科実験」，「生命理学基礎実験」，「生命理学実験１」，「生命理学実験２」と「教育実習」を同時に履修することは，学科の規定により認めない。
教育実習校受入れ依頼の段階から注意すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 社会学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史〈文学部〉	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1〈文学部〉	2		
		日本史概論2〈文学部〉	2		
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（2単位）」か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1〈文学部〉	2		
		世界史概論2〈文学部〉	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説2〈文学部〉	2	必修	
		地誌学1〈文学部〉	2	必修	
		地誌学2〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「政治学2」
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	NPO／NGOの社会学	2		
		webスタディーズ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		アイデンティティ論	2		
		逸脱の社会学	2		
		医療経済論	2		2014年度から廃止
		エスノメソドロジー	2		2012年度以降入学者のみ適用
		開発・発展の社会学	2		
		家族社会学	2		
		環境社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		共生社会論	2		
		教育社会学	2		2012年度から新設
		グローバリゼーション論	2		2011年度まで「世界システム論」
		世界システム論	2		2012年度から「グローバリゼーション論」
		グローバル社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会と政策	2		
		現代社会研究1	2		2013年度から廃止
		現代社会研究1（感情の社会学）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究2	2		2013年度から廃止
		現代社会研究2（小集団論）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究3	2		2013年度から廃止
		現代社会研究4	2		2013年度から廃止
		現代社会研究4（社会的ネットワーク論）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究5	2		2013年度から廃止
		現代社会研究5（リスク社会論）	2		2013年度から廃止
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		2011年度まで「現代社会理論」
		現代社会理論	2		2012年度から「現代社会論」
		現代文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		公共性の社会学	2		
		公共政策とガバナンス	2		2012年度まで「社会保障論」
		社会保障論	2		2013年度から「公共政策とガバナンス」
		コミュニケーション論	2		2011年度まで「コミュニケーションの理論」

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	コミュニケーションの理論	2		2012年度から「コミュニケーション論」
		差別と偏見の社会学	2		
		産業システム変動論	2		2014年度から廃止
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		2011年度まで「自己の社会学」
		自己の社会学	2		2012年度から「自己と他者の社会学」
		質的調査法	2		2012年度まで「質的研究法」
		質的研究法	2		2013年度から「質的調査法」
		シミュレーションの社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会階層論	2		
		社会学データ実習	2		2012年度以前履修した場合に適用、2013年度以降履修した場合は「情報機器の操作」
		社会学史	2		
		社会人口学	2		2012年度まで「人口動態学」
		人口動態学	2		2013年度から「社会人口学」
		社会調査法１・２	各２		
		社会統計学	2		
		社会問題の社会学	2		
		少子・高齢社会論	2		2012年度まで「高齢社会論」
		高齢社会論	2		2013年度から「少子・高齢社会論」
		少子社会論	2		2013年度から廃止
		消費社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		情報社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		セクシュアリティの社会学	2		2012年度まで「意識変動論」
		意識変動論	2		2013年度から「セクシュアリティの社会学」
		相互行為論	2		
		多変量解析	2		2014年度から新設
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		2012年度以降入学者のみ適用
		都市社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		比較社会・文化論	2		2011年度まで「比較社会論」
		比較社会論	2		2012年度から「比較社会・文化論」
		フィールドワークの技法	2		2014年度から廃止
		福祉の社会学	2		
		福祉経済論	2		2014年度から廃止
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		平等と公正	2		
		保健・医療の社会学	2		
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「メディア社会学」
		メディア・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ライフコース論	2		
		歴史社会学	2		
		労働社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	4単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		2011年度まで「宗教と社会〈現代文化学科〉」
		宗教と社会〈現代文化学科〉	2		2012年度から「宗教社会学」
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 社会学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「政治学2」
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	NPO／NGOの社会学	2		
		webスタディーズ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		アイデンティティ論	2		
		医療経済論	2		2014年度から廃止
		逸脱の社会学	2		
		エスノメソドロジー	2		2012年度以降入学者のみ適用
		開発・発展の社会学	2		
		家族社会学	2		
		環境社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		共生社会論	2		
		教育社会学	2		2012年度から新設
		グローバリゼーション論	2		2011年度まで「世界システム論」
		世界システム論	2		2012年度から「グローバリゼーション論」
		グローバル社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会と政策	2		
		現代社会研究1	2		2013年度から廃止
		現代社会研究1（感情の社会学）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究2	2		2013年度から廃止
		現代社会研究2（小集団論）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究3	2		2013年度から廃止
		現代社会研究4	2		2013年度から廃止
		現代社会研究4（社会的ネットワーク論）	2		2013年度から廃止
		現代社会研究5	2		2013年度から廃止
		現代社会研究5（リスク社会論）	2		2013年度から廃止
		現代社会変動論	2		
		現代社会論	2		2011年度まで「現代社会理論」
		現代社会理論	2		2012年度から「現代社会論」
		現代文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		公共性の社会学	2		
		公共政策とガバナンス	2		2012年度まで「社会保障論」
		社会保障論	2		2013年度から「公共政策とガバナンス」
		コミュニケーション論	2		2011年度まで「コミュニケーションの理論」
		コミュニケーションの理論	2		2012年度から「コミュニケーション論」
		差別と偏見の社会学	2		
		産業システム変動論	2		2014年度から廃止
		ジェンダーの社会学	2		
		自己と他者の社会学	2		2011年度まで「自己の社会学」
		自己の社会学	2		2012年度から「自己と他者の社会学」
		質的調査法	2		2012年度まで「質的研究法」
		質的研究法	2		2013年度から「質的調査法」
		シミュレーションの社会学	2		
		ジャーナリズム論	2		2012年度以降入学者のみ適用

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	社会階層論	2		
		社会学データ実習	2		2012年度以前履修した場合に適用、2013年度以降履修した場合は「情報機器の操作」
		社会学史	2		
		社会人口学	2		2012年度まで「人口動態学」
		人口動態学	2		2013年度から「社会人口学」
		社会調査法１・２	各２		
		社会統計学	2		
		社会問題の社会学	2		
		少子・高齢社会論	2		2012年度まで「高齢社会論」
		高齢社会論	2		2013年度から「少子・高齢社会論」
		少子社会論	2		2013年度から廃止
		消費社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		情報社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		
		生命・身体の社会学	2		
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		相互行為論	2		
		セクシュアリティの社会学	2		2012年度まで「意識変動論」
		意識変動論	2		2013年度から「セクシュアリティの社会学」
		多変量解析	2		2014年度から新設
		地域社会学	2		
		都市とメディア	2		2012年度以降入学者のみ適用
		都市社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		比較社会・文化論	2		2011年度まで「比較社会論」
		比較社会論	2		2012年度から「比較社会・文化論」
		フィールドワークの技法	2		2014年度から廃止
		福祉の社会学	2		
		福祉経済論	2		2014年度から廃止
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		平等と公正	2		
		保健・医療の社会学	2		
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「メディア社会学」
		メディア・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ライフコース論	2		
		歴史社会学	2		
		労働社会学	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	6単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		2011年度まで「宗教と社会〈現代文化学科〉」
		宗教と社会〈現代文化学科〉	2		2012年度から「宗教社会学」
		心理学１〈文学部〉	2		
		心理学２〈文学部〉	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 現代文化学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史〈文学部〉	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1〈文学部〉	2		
		日本史概論2〈文学部〉	2		
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（2単位）」か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1〈文学部〉	2		
		世界史概論2〈文学部〉	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説2〈文学部〉	2	必修	
		地誌学1〈文学部〉	2	必修	
		地誌学2〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「政治学2」
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	環境政策論	2		
		国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	webスタディーズ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		アートの社会学	2		2012年度まで「アーツマネジメント論」
		アーツマネジメント論	2		2013年度から「アートの社会学」
		エスニシティ論	2		
		エスノグラフィー論	2		2012年度まで「質的調査法」
		質的調査法	2		2013年度から「エスノグラフィー論」
		エスノメソドロジー	2		2012年度以降入学者のみ適用
		開発・発展の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		科学技術論	2		2011年度まで「資源環境エネルギー論」
		資源環境エネルギー論	2		2012年度から「科学技術論」
		環境と人類	2		
		環境と文化	2		2012年度まで「環境と文化2」
		環境と文化2	2		2013年度から「環境と文化」
		環境教育論	2		
		環境社会論	2		2011年度まで「環境と文化1」
		環境と文化1	2		2012年度から「環境社会論」
		教育社会学	2		2012年度から新設
		くらしの環境史	2		2012年度まで「生活環境論」
		生活環境論	2		2011年度以前履修者のみ適用 2013年度から「くらしの環境史」
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		2011年度まで「国際社会と文化1」
		国際社会と文化1	2		2012年度から「グローバル社会論」
		グローバル都市論	2		
		現代社会と政策	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会変動論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代文化論	2		2011年度まで「文化基礎論1」
		文化基礎論1	2		2012年度から「現代文化論」
		公共性の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		国際社会学	2		2012年度まで「国際社会と文化2」
		国際社会と文化2	2		2013年度から「国際社会学」
		コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ジェンダーの社会学	2		2012年度から新設
		自己と他者の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	ジャーナリズム論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		写真文化論	2		2012年度まで「文化認識論」
		文化認識論	2		2013年度から「写真文化論」
		社会言語学	2		2011年度まで「言語と社会」
		言語と社会	2		2012年度から「社会言語学」
		社会調査法１	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会調査法２	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会統計学	2		2012年度まで「社会統計学２」
		社会統計学２	2		2013年度から「社会統計学」
		社会統計学１	2		2012年度以前に履修した場合に適用，2013年度から「社会調査法３」（情報機器の操作科目）
		消費社会論	2		
		消費文化論	2		2012年度まで「現代社会と文化２」
		現代社会と文化２	2		2013年度から「消費文化論」
		情報社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生活文化論	2		
		生命・身体の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		セラピー文化論	2		2012年度まで「現代社会と文化１」
		現代社会と文化１	2		2013年度から「セラピー文化論」
		多文化の社会理論	2		
		多変量解析	2		2013年度まで「社会統計学３」
		社会統計学３	2		2011年度以前入学者のみ適用 2014年度から「多変量解析」
		地域社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		都市コミュニティ論	2		
		都市とメディア	2		
		都市マイノリティ論	2		2012年度まで「都市とマイノリティ論」
		都市とマイノリティ論	2		2013年度から「都市マイノリティ論」
		都市社会構造論	2		2012年度まで「都市と文化２」
		都市と文化２	2		2013年度から「都市社会構造論」
		都市社会論	2		2011年度まで「都市と文化１」
		都市と文化１	2		2012年度から「都市社会論」
		都市生活誌	2		2012年度まで「都市生活構造論」
		都市生活構造論	2		2013年度から「都市生活誌」
		都市文化論	2		2013年度から新設
		「人間の安全保障」とＮＧＯ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		パフォーマンス文化論	2		
		比較社会・文化論	2		2011年度まで「比較文化論」
		比較文化論	2		2012年度から「比較社会・文化論」
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化とエスニシティ	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	4		2011年度以前入学者のみ適用
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		2011年度まで「文化基礎論２」
		文化基礎論２	2		2012年度から「文化表彰論」
		文化変容論	2		
		マイグレーション論	2		
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「メディア社会学」
		まちづくり論	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		民族文化誌	2		2012年度以降入学者のみ適用
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	４単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		2011年度まで「宗教と社会」
		宗教と社会	2		2012年度から「宗教社会学」
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 現代文化学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「政治学2」
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	環境政策論	2		
		国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	webスタディーズ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		アートの社会学	2		2012年度まで「アーツマネジメント論」
		アーツマネジメント論	2		2013年度から「アートの社会学」
		エスニシティ論	2		
		エスノグラフィー論	2		2012年度まで「質的調査法」
		質的調査法	2		2013年度から「エスノグラフィー論」
		エスノメソドロジー	2		2012年度以降入学者のみ適用
		科学技術論	2		2011年度まで「資源環境エネルギー論」
		資源環境エネルギー論	2		2012年度から「科学技術論」
		開発・発展の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		環境と人類	2		
		環境と文化	2		2012年度まで「環境と文化2」
		環境と文化2	2		2013年度から「環境と文化」
		環境教育論	2		
		環境社会論	2		2011年度まで「環境と文化1」
		環境と文化1	2		2012年度から「環境社会論」
		教育社会学	2		2012年度から新設
		くらしの環境史	2		2012年度まで「生活環境論」
		生活環境論	2		2013年度から「くらしの環境史」
		グローバリゼーション論	2		
		グローバル社会論	2		2011年度まで「国際社会と文化1」
		国際社会と文化1	2		2012年度から「グローバル社会論」
		グローバル都市論	2		
		現代社会と政策	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会変動論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代文化論	2		2011年度まで「文化基礎論1」
		文化基礎論1	2		2012年度から「現代文化論」
		公共性の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		国際社会学	2		2012年度まで「国際社会と文化2」
		国際社会と文化2	2		2013年度から「国際社会学」
		コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ジェンダーの社会学	2		2012年度から新設
		自己と他者の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ジャーナリズム論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		写真文化論	2		2012年度まで「文化認識論」
		文化認識論	2		2013年度から「写真文化論」
		社会言語学	2		2011年度まで「言語と社会」
		言語と社会	2		2012年度から「社会言語学」
		社会調査法1	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会調査法2	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会統計学	2		2012年度まで「社会統計学2」
		社会統計学2	2		2013年度から「社会統計学」
		社会統計学1	2		2012年度以前に履修した場合に適用，2013年度から「社会調査法3」（情報機器の操作）
		消費社会論	2		

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ＡＢの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	消費文化論	2		2012年度まで「現代社会と文化２」
		現代社会と文化２	2		2013年度から「消費文化論」
		情報社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生活文化論	2		
		生命・身体の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		セラピー文化論	2		2012年度まで「現代社会と文化１」
		現代社会と文化１	2		2013年度から「セラピー文化論」
		多文化の社会理論	2		
		多変量解析	2		2013年度まで「社会統計学３」
		社会統計学３	2		2011年度以前入学者のみ適用 2014年度から「多変量解析」
		地域社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		都市コミュニティ論	2		
		都市とメディア	2		
		都市マイノリティ論	2		2012年度まで「都市とマイノリティ論」
		都市とマイノリティ論	2		2013年度から「都市マイノリティ論」
		都市社会構造論	2		2012年度まで「都市と文化２」
		都市と文化２	2		2013年度から「都市社会構造論」
		都市社会論	2		2011年度まで「都市と文化１」
		都市と文化１	2		2012年度から「都市社会論」
		都市生活誌	2		2012年度まで「都市生活構造論」
		都市生活構造論	2		2013年度から「都市生活誌」
		都市文化論	2		2013年度から新設
		「人間の安全保障」とＮＧＯ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		パフォーマンス文化論	2		
		比較社会・文化論	2		2011年度まで「比較文化論」
		比較文化論	2		2012年度から「比較社会・文化論」
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化とエスニシティ	2		
		文化の社会学	2		
		文化の社会理論	4		2011年度以前入学者のみ適用
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		2011年度まで「文化基礎論２」
		文化基礎論２	2		2012年度から「文化表象論」
		文化変容論	2		
		マイグレーション論	2		
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「メディア社会学」
		まちづくり論	2		
		民族文化誌	2		2012年度以降入学者のみ適用
		メディア・コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	６単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		2011年度まで「宗教と社会」
		宗教と社会	2		2012年度から「宗教社会学」
		心理学１〈文学部〉	2		
		心理学２〈文学部〉	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 メディア社会学科 2010～2015年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史〈文学部〉	2	「日本史（2単位）」か「日本史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		日本史概論1〈文学部〉	2		
		日本史概論2〈文学部〉	2		
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（2単位）」か「世界史概論1・2（計4単位）」を選択必修	
		世界史概論1〈文学部〉	2		
		世界史概論2〈文学部〉	2		
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説1〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説2〈文学部〉	2	必修	
		地誌学1〈文学部〉	2	必修	
		地誌学2〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「現代政治」（B）
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	現代政治	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」（A）
		国際関係論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	webスタディーズ	2		
		映像メディア論	2		2012年度まで「メディア各論2」
		メディア各論2（放送）	2		2013年度から「映像メディア論」
		映像文化論	2		2014年度から廃止
		エスノメソドロジー	2		
		オーディエンス論	2		2013年度から新設
		音楽社会学	2		2015年度まで「メディア文化論」
		メディア文化論	2		2016年度から「音楽社会学」
		開発・発展の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		環境社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		教育社会学	2		2012年度から新設
		グローバリゼーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		グローバル社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会と政策	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会変動論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		公共性の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		コミュニケーション政策論	2		
		コミュニケーション論	2		
		災害情報論	2		2012年度まで「メディア技術史」
		メディア技術史	2		2013年度から「災害情報論」
		ジェンダーの社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		視覚文化論	2		2012年度まで「ジャーナリズム各論4」 2013～2015年度まで「写真ジャーナリズム論」
		写真ジャーナリズム論	2		2012年度まで「ジャーナリズム各論4」 2016年度から「視覚文化論」
		ジャーナリズム各論4（報道と写真）	2		2013～2015年度まで「写真ジャーナリズム論」 2016年度から「視覚文化論」
		自己と他者の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		質的調査法	2		2013年度から新設， 2012年度以降入学者のみ適用
		ジャーナリズム各論1（政治・経済）	2		2014年度から廃止
		ジャーナリズム各論2（国際）	2		2014年度から廃止
		ジャーナリズム各論3（映像報道論）	2		2014年度から廃止

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ＡＢの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	ジャーナリズム論	2		
		社会調査法１・２	各２		
		社会統計学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		出版産業論	2		2012年度まで「メディア各論３」 2013～2015年度まで「出版・ネットメディア論」
		出版・ネットメディア論	2		2012年度まで「メディア各論３」 2016年度から「出版産業論」
		メディア各論３（出版）	2		2013～2015年度まで「出版・ネットメディア論」 2016年度から「出版産業論」
		消費社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		情報行動論	2		2014年度から廃止
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生命・身体の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		多変量解析	2		2014年度から新設
		地域社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		データ分析	2		2011年度以前入学者が2012年度以前履修の場合に適用，2012年度以降は「社会調査法３」（情報機器の操作科目）
		都市とメディア	2		2011年度まで「地域メディア論」
		地域メディア論	2		2012年度から「都市とメディア」
		都市社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ニュースの社会学１	2		2015年度まで「比較ジャーナリズム論」
		比較ジャーナリズム論	2		2013年度から新設 2016年度から「ニュースの社会学１」
		ニュースの社会学２	2		2015年度まで「オルタナティブ・メディア論」
		オルタナティブ・メディア論	2		2016年度から「ニュースの社会学２」
		ニュースの社会学３	2		2012年度まで「メディア各論１」 2013～2015年度まで「新聞ジャーナリズム論」
		新聞ジャーナリズム論	2		2012年度まで「メディア各論１」 2016年度から「ニュースの社会学３」
		メディア各論１（新聞）	2		2013年度から「新聞ジャーナリズム論」 2016年度から「ニュースの社会学３」
		ニュースの社会学４	2		2016年度から新設
		ニュースの社会学５	2		2015年度まで「言説分析」
		言説分析	2		2016年度から「ニュースの社会学５」
		「人間の安全保障」とＮＧＯ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ネットワーク文化論	2		2014年度から廃止
		比較社会・文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア・テクノロジー・社会	2		2015年度まで「メディア理論」
		メディア理論	2		2016年度から「メディア・テクノロジー・社会」
		メディアデザイン論	2		2014年度から廃止
		メディアとジェンダー	2		
		メディア各論４（映画）	2		2014年度から廃止
		メディア産業論	2		
		メディア史	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション史」
		マス・コミュニケーション史	2		2013年度から新設 2016年度から「メディア史」
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2016年度から「メディア社会学」
		メディア素養論	2		2015年度まで「メディア・リテラシー」
		メディア・リテラシー	2		2016年度から「メディア素養論」

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	リスク・コミュニケーション論	2		2012年度まで「リスクコミュニケーション論」 2013～2015年度まで「危機管理論」
		危機管理論	2		2012年度まで「リスクコミュニケーション論」 2016年度から「リスク・コミュニケーション論」
		リスクコミュニケーション論	2		2013～2015年度まで「危機管理論」 2016年度から「リスク・コミュニケーション論」
		若者とメディア	2		2013年度から新設
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	４単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

社会学部 メディア社会学科 2010〜2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	4単位選択必修	
		政治学A（政治学理論）	2		2011年度まで「政治学1」
		政治学1	2		2012年度から「政治学A（政治学理論）」
		政治学B（現代政治）	2		2011年度まで「現代政治」(B)
		政治学2	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」
	B	現代政治	2		2012年度から「政治学B（現代政治）」(A)
		国際関係論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学原論1	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論2	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論	4	必修	2011年度以前入学者のみ適用
	B	webスタディーズ	2		
		映像メディア論	2		2012年度まで「メディア各論2」
		メディア各論2（放送）	2		2013年度から「映像メディア論」
		映像文化論	2		2014年度から廃止
		エスノメソドロジー	2		
		オーディエンス論	2		2013年度から新設
		音楽社会学	2		2015年度まで「メディア文化論」
		メディア文化論	2		2016年度から「音楽社会学」
		開発・発展の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		環境社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		教育社会学	2		2012年度から新設
		グローバリゼーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		グローバル社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会と政策	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会変動論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会論	2		
		現代文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		公共性の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		コミュニケーション政策論	2		
		コミュニケーション論	2		
		災害情報論	2		2012年度まで「メディア技術史」
		メディア技術史	2		2013年度から「災害情報論」
		ジェンダーの社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		視覚文化論	2		2012年度まで「ジャーナリズム各論4」 2013〜2015年度まで「写真ジャーナリズム論」
		写真ジャーナリズム論	2		2012年度まで「ジャーナリズム各論4」 2016年度から「視覚文化論」
		ジャーナリズム各論4（報道と写真）	2		2013年度から「写真ジャーナリズム論」 2016年度から「視覚文化論」
		自己と他者の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		質的調査法	2		2013年度から新設， 2012年度以降入学者のみ適用
		ジャーナリズム各論1（政治・経済）	2		2014年度から廃止
		ジャーナリズム各論2（国際）	2		2014年度から廃止
		ジャーナリズム各論3（映像報道論）	2		2014年度から廃止
		ジャーナリズム論	2		
		社会調査法1・2	各2		
		社会統計学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		出版産業論	2		2012年度まで「メディア各論3」 2013〜2015年度まで「出版・ネットメディア論」
		出版・ネットメディア論	2		2012年度まで「メディア各論3」 2016年度から「出版産業論」
		メディア各論3（出版）	2		2013〜2015年度まで「出版・ネットメディア論」 2016年度から「出版産業論」

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ＡＢの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	B	消費社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		情報行動論	2		2014年度から廃止
		情報社会論	2		
		職業選択・キャリア形成論	2		2013年度から新設
		成熟社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生命・身体の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		青年期の社会学	2		2012年度から新設
		多変量解析	2		2014年度から新設
		地域社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		データ分析	2		2011年度以前入学者が2012年度以前履修の場合に適用，2012年度以降は「社会調査法３」（情報機器の操作科目）
		都市とメディア	2		2011年度まで「地域メディア論」
		地域メディア論	2		2012年度から「都市とメディア」
		都市社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ニュースの社会学１	2		2015年度まで「比較ジャーナリズム論」
		比較ジャーナリズム論	2		2013年度から新設 2016年度から「ニュースの社会学１」
		ニュースの社会学２	2		2015年度まで「オルタナティブ・メディア論」
		オルタナティブ・メディア論	2		2016年度から「ニュースの社会学２」
		ニュースの社会学３	2		2012年度まで「メディア各論１」 2013～2015年度まで「新聞ジャーナリズム論」
		新聞ジャーナリズム論	2		2012年度まで「メディア各論１」 2016年度から「ニュースの社会学３」
		メディア各論１（新聞）	2		2013年度から「新聞ジャーナリズム論」 2016年度から「ニュースの社会学３」
		ニュースの社会学４	2		2016年度から新設
		ニュースの社会学５	2		2015年度まで「言説分析」
		言説分析	2		2016年度から「ニュースの社会学５」
		「人間の安全保障」とＮＧＯ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		ネットワーク文化論	2		2014年度から廃止
		比較社会・文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		紛争と和解・共生	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化の社会理論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		文化表象論	2		
		メディア・コミュニケーション論	2		
		メディア・テクノロジー・社会	2		2015年度まで「メディア理論」
		メディア理論	2		2016年度から「メディア・テクノロジー・社会」
		メディアデザイン論	2		2014年度から廃止
		メディアとジェンダー	2		
		メディア各論４（映画）	2		2014年度から廃止
		メディア産業論	2		
		メディア史	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション史」
		マス・コミュニケーション史	2		2013年度から新設 2016年度から「メディア史」
		メディア社会学	2		2015年度まで「マス・コミュニケーション論」
		マス・コミュニケーション論	2		2016年度から「メディア社会学」
		メディア素養論	2		2015年度まで「メディア・リテラシー」
		メディア・リテラシー	2		2016年度から「メディア素養論」
		リスク・コミュニケーション論	2		2012年度まで「リスクコミュニケーション論」 2013～2015年度まで「危機管理論」
		危機管理論	2		2012年度まで「リスクコミュニケーション論」 2016年度から「リスク・コミュニケーション論」
		リスクコミュニケーション論	2		2013～2015年度まで「危機管理論」 2016年度から「リスク・コミュニケーション論」
		若者とメディア	2		2013年度から新設

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	6単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		宗教社会学	2		
		心理学１〈文学部〉	2		
		心理学２〈文学部〉	2		
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

法学部
法学科/国際ビジネス法学科／政治学科

2010～2015年度学部１年次入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史概説	2	2015年度までに「日本史」か「日本史概論１・２」を未修得の場合必修	2016年度から新設
		日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2016年度から廃止
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
		世界史概説	2	2015年度までに「世界史」か「世界史概論１・２」を未修得の場合必修	2016年度から新設
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2016年度から廃止
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア政治論	4		
		アメリカ政治論	4		
		欧州政治思想史	4		
		国際政治史	2		
		日本政治史	4		
		日本政治思想史（１）	2		2019年度まで「日本政治思想史」
		日本政治思想史（２）	2		
		日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史（１）」および「日本政治思想史（２）」
		比較憲法	2		
		法制史（西洋法制史）	2		
		法制史（東洋法制史）	2		
		法制史（日本法制史）	2		
		ヨーロッパ政治論	4		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学入門	2	必修	
		政治学入門	2	必修	
	B	行政学	4		2014年度から廃止
		行政学１・２	各２		2014年度から新設
		行政法１・２	各４		
		経済法１・２	各２		
		刑法（１）	4		2019年度まで「刑法総論」
		刑法総論	4		2020年度から「刑法（１）」
		刑法（２）	4		2019年度まで「刑法各論」
		刑法各論	4		2020年度から「刑法（２）」 2015年度までは２単位
		現代政治理論	4		
		憲法（１）	4		2019年度まで「憲法A（人権）」
		憲法A（人権）	4		2016年度から新設 2020年度から「憲法（１）」
		憲法（２）	2		2019年度まで「憲法B（統治）」
		憲法B（統治）	2		2016年度から新設 2020年度から「憲法（２）」
		憲法１	2		2016年度から廃止
		憲法２	4		2016年度から廃止
		国際政治	4		
		国際法１・２	各４		
		商法１	4		
		政治過程論１・２	各２		2018年度まで「政治過程論」

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学，政治学」	B	政治過程論	4		2019年度から「政治過程論１」および「政治過程論２」 2013年度までは２単位
		日本政治論	4		
		比較政治理論	2		
		民法１	4		
		民法２	2		
		民法３	4		
		民法４	2		
		民法５	4		2013年度までは２単位
		労働法	4		
「社会学，経済学」	A	経済原論	4	必修	
	B	財政学	4		2011年度から新設
		財政学１・２	各２		2011年度から廃止
		社会運動論	4		
		社会政策論	4		2011年度から新設
		社会政策論１・２	各２		2011年度から廃止
		政治社会学	2		
		統計学	4		
		法社会学１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	４単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		哲学的人間学〈文学部〉	2		
		現代倫理〈文学部〉	2		
		倫理思想〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
	B	法哲学	4		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

法学部
法学科/国際ビジネス法学科／政治学科

2010～2015年度学部１年次入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史概説	2	2015年度までに「日本史」か「日本史概論１・２」を未修得の場合必修	2016年度から新設
		日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2016年度から廃止
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
	B	日本政治史	4		
		日本政治思想史（１）	2		2019年度まで「日本政治思想史」
		日本政治思想史（２）	2		
		日本政治思想史	4		2020年度から「日本政治思想史（１）」および「日本政治思想史（２）」
		法制史（日本法制史）	2		
外国史	A	世界史概説	2	2015年度までに「世界史」か「世界史概論１・２」を未修得の場合必修	2016年度から新設
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	2016年度から廃止
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア政治論	4		
		アメリカ政治論	4		
		欧州政治思想史	4		
		国際政治史	2		
		比較憲法	2		
		法制史（西洋法制史）	2		
		法制史（東洋法制史）	2		
		ヨーロッパ政治論	4		
人文地理学及び自然地理学	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		自然地理学１〈文学部〉	2	必修	
		自然地理学２〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			
地誌	A	地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

法学部
法学科/国際ビジネス法学科／政治学科

2010～2015年度学部１年次入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学入門	2	必修	
		政治学入門	2	必修	
	B	行政学	4		2014年度から廃止
		行政学１・２	各２		2014年度から新設
		行政法１・２	各４		
		経済法１・２	各２		
		刑法（１）	4		2019年度まで「刑法総論」
		刑法総論	4		2020年度から「刑法（１）」
		刑法（２）	4		2019年度まで「刑法各論」
		刑法各論	4		2020年度から「刑法（２）」 2015年度までは２単位
		現代政治理論	4		
		憲法（１）	4		2019年度まで「憲法A（人権）」
		憲法A（人権）	4		2016年度から新設 2020年度から「憲法(1)」
		憲法（２）	2		2019年度から「憲法B（統治）」
		憲法B（統治）	2		2016年度から新設 2020年度から「憲法（２）」
		憲法１	2		2016年度から廃止
		憲法２	4		2016年度から廃止
		国際政治	4		
		国際法１・２	各４		
		商法１	4		
		政治過程論１・２	各２		2018年度まで「政治過程論」
		政治過程論	4		2019年度から「政治過程論１」 および「政治過程論２」 2013年度までは２単位
		日本政治論	4		
		比較政治理論	2		
		民法１	4		
		民法２	2		
		民法３	4		
		民法４	2		
		民法５	4		2013年度までは２単位
		労働法	4		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	経済原論	4	必修	
	B	財政学	4		2011年度から新設
		財政学１・２	各２		2011年度から廃止
		社会運動論	4		
		社会政策論	4		2011年度から新設
		社会政策論１・２	各２		2011年度から廃止
		政治社会学	2		
		統計学	4		
		法社会学１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	６単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		哲学的人間学〈文学部〉	2		
		現代倫理〈文学部〉	2		
		倫理思想〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
		心理学１〈文学部〉	2		
		心理学２〈文学部〉	2		
	B	法哲学	4		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経営学部 経営学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア経済史１・２〈経済学部〉	各２		
		アメリカ経済史〈経済学部〉	2		
		欧州経済史〈経済学部〉	2		
		経営史	2		
		経済学史１・２〈経済学部〉	各２		
		経済史〈経済学部〉	4		2015年度から廃止
		経済史１・２〈経済学部〉	各２		2015年度から新設
		現代アメリカ経済史〈経済学部〉	2		
		現代ヨーロッパ経済史〈経済学部〉	2		
		日本経済史１・２〈経済学部〉	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	経済地理学１・２〈経済学部〉	各２		
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	必修	
		法への招待〈全カリ〉	2	２単位選択必修	2016年度以降履修者のみ適用
		現代社会と法〈全カリ〉	2		2016年度から廃止
	B	企業法１・２〈経済学部〉	各２		
		憲法１・２〈経済学部〉	各２		
		ビジネスロー	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学」	A	経済学入門	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論１〈社会学部〉	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用
		社会学原論２〈社会学部〉	2	必修	2015年度から新設
		社会学原論	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
	B	Financial Accounting	2		2012年度まで「International Accounting」
		International Accounting	2		2013年度から「Financial Accounting」
		経営戦略論	2		
		経営と社会	2		2012年度から新設 2012年度以降履修者のみ適用
		国際経営論	2		
		組織マネジメント	2		
		非営利組織論	2		2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
		ビジネスエコノミクス	2		
		ビジネス概論Ｂ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		マーケティング・マネジメント	2		2012年度まで「マーケティング」
		マーケティング	2		2013年度から「マーケティング・マネジメント」
		マクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		ミクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	4 単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
	B	人材マネジメント論	2		
		組織行動論	2		
		リーダーシップ論	2		2014年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経営学部 経営学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	必修	
		法への招待〈全カリ〉	2	2単位選択必修	2016年度以降履修者のみ適用
		現代社会と法〈全カリ〉	2		2016年度から廃止
	B	企業法1・2〈経済学部〉	各2		
		憲法1・2〈経済学部〉	各2		
		ビジネスロー	2		
		民法1・2〈経済学部〉	各2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	経済学入門	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論1〈社会学部〉	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用
		社会学原論2〈社会学部〉	2	必修	2015年度から新設
		社会学原論	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
	B	Financial Accounting	2		2012年度まで「International Accounting」
		International Accounting	2		2013年度から「Financial Accounting」
		経営戦略論	2		
		経営と社会	2		2012年度から新設 2012年度以降履修者のみ適用
		国際経営論	2		
		組織マネジメント	2		
		非営利組織論	2		2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
		ビジネスエコノミクス	2		
		ビジネス概論B	2		2012年度以降入学者のみ適用
		マーケティング・マネジメント	2		2012年度まで「マーケティング」
		マーケティング	2		2013年度から「マーケティング・マネジメント」
		マクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		ミクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論1〈文学部〉	2	6単位選択必修	
		哲学概論2〈文学部〉	2		
		宗教思想1〈文学部〉	2		
		宗教思想2〈文学部〉	2		
		心理学1〈文学部〉	2		
		心理学2〈文学部〉	2		
	B	人材マネジメント論	2		
		組織行動論	2		
		リーダーシップ論	2		2014年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経営学部 経営学科 2010・2011年度入学者対象

高校情報（１種）（＊2012年度以降入学者は取得不可）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高等教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
情報社会及び情報倫理	A	情報社会論〈社会学部〉	2	「情報リテラシーA」（2単位）または「情報社会論」「情報と倫理」（計4単位）を修得すること。	2014年度から新設
		情報と倫理〈全カリ〉	2		2014年度から新設
		情報リテラシーA	2		2014年度から廃止
	B	企業倫理	2		2014年度から廃止
		経営と社会	2		
		社会調査入門〈全カリ〉	2		2014年度から新設
		社会調査の技法〈全カリ〉	2		2014年度から新設
		社会調査法A	2		2014年度から廃止
		社会調査法B	2		2014年度から廃止
コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	A	ＩＣＴリテラシー	2	２単位選択必修	2011年度まで「情報リテラシーB」
		情報リテラシーB	2		2012年度から「ＩＣＴリテラシー」
	B	社会調査実習	4		
		多変量解析入門〈全カリ〉	2		2015年度から新設
		多変量解析	2		2015年度から廃止
		ビジネスリテラシー１	2		2011年度まで「統計学入門１」
		統計学入門１	2		2012年度から「ビジネスリテラシー１」
		ビジネスリテラシー２	2		2012年度まで「統計学入門２」
		統計学入門２	2		2013年度から「ビジネスリテラシー２」
情報システム（実習を含む。）	A	データ・マイニング	2	２単位選択必修	2014年度まで「データサイエンス」
		データサイエンス	2		2015年度から「データ・マイニング」
		マーケティング・リサーチ	2	２単位選択必修	2012年度まで「経営情報論」
		経営情報論	2		2013年度から「マーケティング・リサーチ」
	B	オペレーションズ・リサーチ	2		2015年度から廃止
		情報科学１（情報システム論）〈理学部〉	2		
情報通信ネットワーク（実習を含む。）	A	情報科学３（情報ネットワーク論）〈理学部〉	2	必修	2015年度以降履修者のみ適用 2014年度以前の修得単位は B に含む
		情報ネットワーク論	2	必修	2015年度から廃止
	B	なし			
マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	A	情報科学A〈全カリ〉	2	必修	
		情報科学B〈全カリ〉	2	必修	
	B	なし			
情報と職業	A	ｅビジネス＆マーケティング	2	２単位選択必修	2013年度まで「ｅビジネス論」
		ｅビジネス論	2		2014年度から「ｅビジネス＆マーケティング」
		情報産業論〈理学部〉	2	２単位選択必修	2015年度から新設
		情報産業論	2		2015年度から廃止
	B	ＣＳＲ	2		2011年度まで「企業の社会的責任」
		企業の社会的責任	2		2012年度から「ＣＳＲ」

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経営学部 国際経営学科　2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史〈文学部〉	2	「日本史（２単位）」か「日本史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		日本史概論１〈文学部〉	2		
		日本史概論２〈文学部〉	2		
		世界史〈文学部〉	2	「世界史（２単位）」か「世界史概論１・２（計４単位）」を選択必修	
		世界史概論１〈文学部〉	2		
		世界史概論２〈文学部〉	2		
	B	アジア経済史１・２〈経済学部〉	各２		
		アメリカ経済史〈経済学部〉	2		
		欧州経済史〈経済学部〉	2		
		経営史	2		
		経済学史１・２〈経済学部〉	各２		
		経済史〈経済学部〉	4		2015年度から廃止
		経済史１・２〈経済学部〉	各２		2015年度から新設
		現代アメリカ経済史〈経済学部〉	2		
		現代ヨーロッパ経済史〈経済学部〉	2		
		日本経済史１・２〈経済学部〉	各２		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学概説１〈文学部〉	2	必修	
		地理学概説２〈文学部〉	2	必修	
		地誌学１〈文学部〉	2	必修	
		地誌学２〈文学部〉	2	必修	
	B	経済地理学１・２〈経済学部〉	各２		
「法律学，政治学」	A	国際政治〈法学部〉	4	必修	
		法への招待〈全カリ〉	2	２単位選択必修	2016年度以降履修者のみ適用
		現代社会と法〈全カリ〉	2		2016年度から廃止
	B	企業法１・２〈経済学部〉	各２		
		憲法１・２〈経済学部〉	各２		
		ビジネスロー	2		
		民法１・２〈経済学部〉	各２		
「社会学，経済学」	A	経済学入門	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論１〈社会学部〉	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用
		社会学原論２〈社会学部〉	2	必修	2015年度から新設
		社会学原論	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
	B	Business and Society	2		2012年度まで「Introduction to Business and Society」
		Introduction to Business and Society	2		2013年度から「Business and Society」
		Financial Accounting	2		2012年度まで「International Accounting」
		International Accounting	2		2013年度から「Financial Accounting」
		経営戦略論	2		
		経営と社会	2		
		国際経営論	2		
		組織マネジメント	2		
		ビジネスエコノミクス	2		
		ビジネス概論Ｂ	2		2012年度以降入学者のみ適用
		マーケティング・マネジメント	2		2012年度まで「マーケティング」
		マーケティング	2		2013年度から「マーケティング・マネジメント」
		マクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		ミクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用

次頁へ続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	AB の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学概論１〈文学部〉	2	4 単位選択必修	
		哲学概論２〈文学部〉	2		
		宗教思想１〈文学部〉	2		
		宗教思想２〈文学部〉	2		
	B	企業倫理	2		2014年度から廃止
		人材マネジメント論	2		
		組織行動論	2		
		リーダーシップ論	2		2014年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

経営学部 国際経営学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	A B の別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	国際政治〈法学部〉	4	必修	
		法への招待〈全カリ〉	2	2単位選択必修	2016年度以降履修者のみ適用
		現代社会と法〈全カリ〉	2		2016年度から廃止
	B	企業法1・2〈経済学部〉	各2		
		憲法1・2〈経済学部〉	各2		
		ビジネスロー	2		
		民法1・2〈経済学部〉	各2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）	A	経済学入門	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		社会学原論1〈社会学部〉	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用
		社会学原論2〈社会学部〉	2	必修	2015年度から新設
		社会学原論	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2015年度から廃止
	B	Business and Society	2		2012年度まで「Introduction to Business and Society」
		Introduction to Business and Society	2		2013年度から「Business and Society」
		Financial Accounting	2		2012年度まで「International Accounting」
		International Accounting	2		2013年度から「Financial Accounting」
		経営戦略論	2		
		経営と社会	2		
		国際経営論	2		
		組織マネジメント	2		
		ビジネスエコノミクス	2		
		ビジネス概論B	2		2012年度以降入学者のみ適用
		マーケティング・マネジメント	2		2012年度まで「マーケティング」
		マーケティング	2		2013年度から「マーケティング・マネジメント」
		マクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		ミクロ経済学	2		2011年度以前入学者のみ適用
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学概論1〈文学部〉	2	6単位選択必修	
		哲学概論2〈文学部〉	2		
		宗教思想1〈文学部〉	2		
		宗教思想2〈文学部〉	2		
		心理学1〈文学部〉	2		
		心理学2〈文学部〉	2		
	B	企業倫理	2		2014年度から廃止
		人材マネジメント論	2		
		組織行動論	2		
		リーダーシップ論	2		2014年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科　2010～2015年度入学者対象

中学・高校英語（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許は36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
英語学	A	英語学概論	2	２単位選択必修	
		英語教育学	2		2016年度新設
		英語教育学概論	2	2011年度以前入学者のみ２単位選択必修	2011年度以前入学者のみ適用 2016年度から廃止
		英語教育学概論1	2		2012年度から廃止
		英語教育学概論2	2		2012年度から廃止
		英語教授法	2		2011年度以前入学者のみ適用 2016年度から廃止
	B	Teaching English to Speakers of Other Languages: Basic Principles	2		2016年度新設
		英語音声学	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		英語学特論	2		2012年度から新設 2016年度から廃止
		英語教育学概論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		英語コミュニケーション教育学	2		2016年度から新設
		英文法演習	2		2012年度から新設 2016年度から廃止
		英文法概論	2		2012年度から廃止
		英文法特論	2		2012年度から廃止
		外国語教育評価論	2		2015年度まで区分「異文化理解（B）」
		※専門演習	2		2011年度以前入学者のみ適用
		※卒業研究指導演習１，２	各２		2011年度以前入学者のみ適用
		第１言語習得理論	2		2015年度まで区分「異文化理解（B）」
		第２言語習得理論	2		2015年度まで区分「異文化理解（B）」の「第２言語習得理論1」
英米文学	A	英語圏文学論	2	必修	
	B	※専門演習	2		2011年度以前入学者のみ適用
		南北アメリカ研究Ａ	2		2012年度から廃止
		間文化研究A	2		2017年度以前入学者のみ適用 2019年度まで「複合地域文化研究A」
		複合地域文化研究A	2		2017年度以前入学者のみ適用 2020年度から「間文化研究A」
英語コミュニケーション	A	コミュニケーションセミナー１Ａ（英語）	2	必修	
		コミュニケーションセミナー１Ｃ（英語）	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用
		コミュニケーションセミナー２Ｃ（英語）	2	必修	
		コミュニケーションセミナー３Ａ（英語）	2	必修	
		英語音声学	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2016年度から廃止
	B	Seminar in English B	2		2016年度から新設
		Seminar in English C	2		2016年度から新設
		Seminar in English F	2		2016年度から新設
		コミュニケーションセミナー3A-R（英語）	4		
		コミュニケーションセミナー4Ａ（英語）	2		2016年度から廃止
		コミュニケーションセミナー4Ｃ（英語）	2		2016年度から廃止
		コミュニケーションセミナー5Ａ（英語）	2		2016年度から廃止
		コミュニケーションセミナー5Ｃ（英語）	2		2016年度から廃止
		コミュニケーションセミナー6Ａ（英語）	2		2012年度から廃止
		コミュニケーションセミナー6Ｃ（英語）	2		2012年度から廃止

次頁に続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
異文化理解	A	Cultural Exchange	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		異文化コミュニケーション概論	2	必修	2012年度から新設
		異文化コミュニケーション特論	2	必修	2011年度以前入学者のみ適用 2016年度から廃止
		異文化コミュニケーション論A	2	必修	2012年度から廃止
		異文化コミュニケーション論B	2	必修	2012年度から廃止
	B	Language Policy and Multilingualism	2		2016年度から新設
		異文化コミュニケーション特論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		異文化コミュニケーション特論A	2		2016年度から新設
		異文化コミュニケーション特論B	2		2016年度から新設
		異文化交流史	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		異文化トレーニング演習	2		2016年度から新設
		外国語教育政策	2		2012年度から廃止
		グローバル社会とコミュニケーション	2		2012年度以降入学者のみ適用 2015年度まで「国際コミュニケーション論」
		国際コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「グローバル社会とコミュニケーション」
		言語習得1・2	各2		2012年度から廃止
		語用論	2		
		社会言語学	2		2012年度から新設
		社会言語学1・2	各2		2012年度から廃止
		※専門演習	2		2011年度以前入学者のみ適用
		早期外国語教育	2		2016年度から廃止
		※卒業研究指導演習1・2	各2		2011年度以前入学者のみ適用
		第2言語習得理論2	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		対人コミュニケーション論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		多文化共生特論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2015年度まで「多文化関係論」
		多文化関係論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から「多文化共生特論」
		多文化共生概論	2		2019年度まで「多文化共生論」
		多文化共生論	2		2020年度から「多文化共生概論」
		通訳翻訳と多文化社会	2		2016年度から新設
		バイリンガリズム	2		2012年度から廃止
		バイリンガリズム研究	2		2015年度まで「バイリンガリズムA」
		バイリンガリズムA	2		2012年度から新設 2016年度から「バイリンガリズム研究」
		バイリンガリズムB	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		比較文化論	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度から廃止
		比較文化論概論	2		2016年度から廃止
		翻訳論A	2		2016年度から廃止

※印のついている「専門演習」「卒業研究指導演習1，2」については，一部の科目が教科に関する科目の選択科目の単位として算入できる。履修年度・担当教員により参入される区分が異なる。なお，該当科目については，開講年次に，異文化コミュニケーション学部の履修要項で確認すること。

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

観光学部
観光学科／交流文化学科

2013～2015年度学部１年次入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	観光史	2		
		観光人類学７　（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」
		開発と文化	2		2020年度から「観光人類学７　（開発援助）」
		観光歴史学２　（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」
		植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学２　（近代）」
		農村観光論	2		
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	アジア太平洋観光論	2		
		観光人類学１　（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学１」
		観光人類学１	2		2020年度から「観光人類学１　（文化の表象）」
		観光人類学８　（生態）	2		2019年度まで「観光人類学２」
		観光人類学２	2		2020年度から「観光人類学８　（生態）」
		観光地理学１　（都市）	2		2019年度まで「観光地理学２」
		観光地理学２	2		２０２０年度から「観光地理学１　（都市）」
		観光地理学３　（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学１」
		観光地理学１	2		2020年度から「観光地理学３　（リゾート地）」
		観光地理学５　（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」
		観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学５　（自然環境）」
		観光地理学７　（外国地誌１）	2		2019年度まで「外国地誌１」
		外国地誌１	2		2020年度から「観光地理学７　（外国地誌１）」
		観光地理学８　（外国地誌２）	2		2019年度まで「外国地誌２」
		外国地誌２	2		2020年度から「観光地理学８　（外国地誌２）」
		観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究１（地理学の方法）」
		交流文化研究１（地理学の方法）	2		2014年度以降履修者のみ適用 2020年度から「観光地理学概論」
		都市観光論	2		
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	観光政策・行政論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本〈全カリ〉	2		
	B	観光概論	2		
		観光計画論	2		
		観光経済学	2		
		観光交通論（国際航空）	2		観光学科のみ適用
		観光交通論（鉄道等）	2		観光学科のみ適用
		観光社会学２　（移動）	2		2019年度まで「観光社会学２」
		観光社会学２	2		2020年度から「観光社会学２　（移動）」
		観光社会学６　（若者）	2		2019年度まで「観光社会学１」
		観光社会学１	2		2020年度から「観光社会学６　（若者）」
		観光社会学概論	2		2014年度以降履修者のみ適用 2019年度まで「交流文化研究３　（社会学の方法）」
		交流文化研究３　（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」

次頁に続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「社会学，経済学」	B	観光と社会６　（国際関係）	2		交流文化学科のみ適用 2019年度まで「移住と定着」
		移住と定着	2		交流文化学科のみ適用 2020年度から「観光と社会６　（国際関係）」
		観光調査・研究法入門	2		
		観光調査法	2		
		地域経済学	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学	2	２単位選択必修	
		観光行動論	2		
	B	観光社会学３　（ジェンダー）	2		2019年度まで「観光と性」
		観光と性	2		2020年度から「観光社会学３　（ジェンダー）」
		観光文学５　（思想）	2		2019年度まで「旅行経験分析法」
		旅行経験分析法	2		2020年度から「観光文学５　（思想）」

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

観光学部
観光学科／交流文化学科

2013～2015年度学部１年次入学者対象

高校地理歴史（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
	B	観光史	2		
		農村観光論	2		
外国史	A	外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	観光人類学７　（開発援助）	2		2019年度まで「開発と文化」
		開発と文化	2		2020年度から「観光人類学７　（開発援助）」
		観光歴史学２　（近代）	2		2019年度まで「植民地と観光」
		植民地と観光	2		2020年度から「観光歴史学２　（近代）」
人文地理学及び自然地理学	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		自然地理学	2	必修	
	B	アジア太平洋観光論	2		
		観光社会学概論	2		2019年度まで「交流文化研究３　（社会学の方法）」
		交流文化研究３　（社会学の方法）	2		2020年度から「観光社会学概論」
		観光人類学１　（文化の表象）	2		2019年度まで「観光人類学１」
		観光人類学１	2		2020年度から「観光人類学１　（文化の表象）」
		観光人類学８　（生態）	2		2019年度まで「観光人類学２」
		観光人類学２	2		2020年度から「観光人類学８　（生態）」
		観光人類学概論	2		2019年度まで「交流文化研究２　（文化人類学の方法）」
		交流文化研究２　（文化人類学の方法）	2		2020年度から「観光人類学概論」
		観光地理学１　（都市）	2		2019年度まで「観光地理学２」
		観光地理学２	2		2020年度から「観光地理学１　（都市）」
		観光地理学３　（リゾート地）	2		2019年度まで「観光地理学１」
		観光地理学１	2		2020年度から「観光地理学３　（リゾート地）」
		観光地理学５　（自然環境）	2		2019年度まで「観光と自然環境」
		観光と自然環境	2		2020年度から「観光地理学５　（自然環境）」
		観光地理学概論	2		2019年度まで「交流文化研究１（地理学の方法）」
		交流文化研究１（地理学の方法）	2		2020年度から「観光地理学概論」
		都市観光論	2		
地誌	A	地誌学	2	必修	
	B	観光地理学７　（外国地誌１）	2		2019年度まで「外国地誌１」
		外国地誌１	2		2020年度から「観光地理学７　（外国地誌１）」
		観光地理学８　（外国地誌２）	2		2019年度まで「外国地誌２」
		外国地誌２	2		2020年度から「観光地理学８　（外国地誌２）」

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2010～2015年度入学者対象

中学社会（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	人権論	2		
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本〈全カリ〉	2		
	B	家族社会学	2		
		家族福祉論	2		
		公的扶助論	2		
		ジェンダー論	2		
		社会福祉施設経営論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		社会問題の社会学	2		2012年度以降入学者のみ履修可 2014年度以降履修者より適用
		障害学入門	2		
		女性福祉論	2		
		セクソロジー	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		福祉文化論	2		
		福祉マネジメント論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		福祉臨床原論	2		2014年度から廃止
		臨床社会学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		老年学	2		
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学的人間学	2	2011年度以前入学者は４単位選択必修 2012年度以降入学者は「現代キリスト教人間学」必修のみ	2012年度から廃止
		現代キリスト教人間学	2		
		宗教人間学	2		2011年度以前入学者のみ適用 2016年度から廃止
	B	いのちの倫理学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		グリーフスタディ	2		
		芸術的人間学	2		2013年度から廃止
		生命倫理	2		2011年度以前入学者のみ適用
		生命倫理政策入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		福祉人間学	2		2013年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2010～2015年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学１	2	必修	
		法学２	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	人権論	2		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学１	2	必修	
		社会学２	2	必修	
		経済学	2	必修	
		世界経済と日本〈全カリ〉	2	必修	
	B	家族社会学	2		
		家族福祉論	2		
		公的扶助論	2		
		ジェンダー論	2		
		社会福祉施設経営論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		社会問題の社会学	2		2012年度以降入学者のみ履修可 2014年度以降履修者より適用
		障害学入門	2		
		女性福祉論	2		
		セクソロジー	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		福祉文化論	2		
		福祉マネジメント論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		福祉臨床原論	2		2014年度から廃止
		臨床社会学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		老年学	2		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学的人間学	2	6単位選択必修	2012年度から廃止
		いのちの倫理学	2		2012年度以降入学者のみ適用 2016年度履修者から選択必修（A） 2015年度履修者まで選択（B）
		現代キリスト教人間学	2		
		宗教人間学	2		2016年度から廃止 2011年度以前入学者のみ適用
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	グリーフスタディ	2		
		芸術的人間学	2		2013年度から廃止
		生命倫理	2		2011年度以前入学者のみ適用
		生命倫理政策入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		福祉人間学	2		2013年度から廃止
		リハビリテーション心理学	2		2014年度から廃止
		老年臨床心理学	2		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 福祉学科 2011～2015年度入学者対象

高校福祉（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
社会福祉学（職業指導を含む。）	A	社会福祉原論	2	必修	2011年度入学者のみ適用
		福祉学入門	2	必修	2011年度入学者のみ適用
		現代社会と福祉１	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		現代社会と福祉２	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		コミュニティ福祉学入門	2	必修	
	B	社会福祉と法	2		2012年度から廃止
		社会福祉法制	2		
		社会保障総論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会保障論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会保障論１・２	各２		2011年度入学者のみ適用
高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	A	高齢者福祉論	2	必修	
		児童福祉論	2	必修	
		障害者福祉論	2	必修	
	B	高齢者福祉実践論	2		
		児童福祉実践論	2		
社会福祉援助技術	A	社会福祉援助技術論１	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
		※（社会福祉・精神保健福祉）援助技術総論	2	必修	2011年度入学者のみ適用
		精神保健福祉援助技術総論	2	必修	2012年度以降入学者のみ適用
	B	グループワーク	2		2011年度入学者のみ適用
		ケースワーク	2		2011年度入学者のみ適用
		コミュニティワーク	2		2011年度入学者のみ適用
		社会調査法	2		
		社会福祉援助技術論２～４	各２		2012年度以降入学者のみ適用
介護理論及び介護技術	A	介護概論	2	必修	
		介護技術論	2	必修	
	B	なし			
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	A	実習指導	4	４単位選択必修	
		精神保健福祉援助実習指導１	4		2012年度以降入学者のみ適用
		① 社会福祉援助技術演習１	2	①～③のグループ（計４単位）のいずれかを選択必修	
		① 社会福祉援助技術演習２	1		
		① 社会福祉援助技術演習３	1		
		② 精神保健福祉援助演習１	2		2011年度入学者のみ適用
		② 精神保健福祉援助演習２	1		2011年度入学者のみ適用
		② 精神保健福祉援助演習３	1		2011年度入学者のみ適用
		③ 精神保健福祉援助演習（基礎）	3		2012年度以降入学者のみ履修可 2014年度以降履修者より適用
		精神保健福祉援助実習指導２	1		2012年度以降入学者のみ適用
		社会福祉援助技術現場実習	4	４単位選択必修	
		精神保健福祉援助実習	4		
	B	なし			
人体構造及び日常生活行動に関する理解	A	医学概論	2	必修	
	B	なし			
加齢及び障害に関する理解	A	発育・発達・加齢論	2	必修	
	B	なし			

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 2010～2015年度入学者対象

中学社会（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて中学教員免許に必要な28単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
日本史及び外国史	A	日本史１	2	必修	
		日本史２	2	必修	
		外国史１	2	必修	
		外国史２	2	必修	
	B	なし			
地理学（地誌を含む。）	A	地理学１	2	必修	
		地理学２	2	必修	
		地誌学	2	必修	
	B	なし			
「法律学，政治学」	A	法学１	2	４単位選択必修	
		法学２	2		
		政治学	2		
	B	家族政策	2		
		健康政策	2		
		コミュニティ政策学入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		コミュニティ政策入門	2		2011年度以前入学者のみ適用
		自治体政策計画論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		自治体政策論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会開発論	2		
		人権論	2		
		政策科学	2		
		地方財政論	2		
		地方自治論	2		
		福祉政策	2		2011年度以前入学者のみ適用
		福祉制度論	2		2012年度以降入学者のみ適用
「社会学，経済学」	A	社会学１	2	４単位選択必修	
		社会学２	2		
		経済学	2		
		世界経済と日本〈全カリ〉	2		
	B	アジアの宗教と文化	2		2012年度以降入学者のみ適用
		逸脱と紛争の修復	2		2012年度以降入学者のみ適用
		異文化コミュニケーション	2		2011年度以前入学者のみ適用
		家族社会学	2		
		現代コミュニティ論	2		
		国際ＮＧＯ論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		国際福祉論	2		
		コミュニティ・ビジネス	2		
		ジェンダー論	2		
		死生学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		社会保障論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会保障論１・２	各２		2011年度以前入学者のみ適用
		社会保障総論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会問題の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		障害学入門	2		
		障害者スポーツ論	2		
		少年非行論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		セクソロジー	2		
		多文化社会論	2		2014年度から新設 2012年度以降入学者のみ適用
		地球コミュニティ論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		統計学入門	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		パートナーシップ論	2		
		福祉文化論	2		
		リサーチ方法論１・２	各２		
		臨床社会学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		老年学	2		

次頁に続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学」	A	哲学的人間学	2	2011年度以前入学者は「宗教人間学」「キリスト教思想」「生命倫理」から４単位選択必修 2012年度以降入学者は「いのちの倫理学」「公共哲学」それぞれ必修	2012年度から廃止
		公共哲学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		いのちの倫理学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生命倫理	2		2011年度以前入学者のみ適用 2012年度履修者まで選択（B） 2013年度履修者から選択必修（A）
		キリスト教思想	2		2013年度から廃止
		宗教人間学	2		2016年度から廃止 2011年度以前入学者のみ適用
	B	キリスト教社会福祉	2		2013年度から廃止
		グリーフスタディ	2		
		芸術的人間学	2		2013年度から廃止
		現代キリスト教人間学	2		
		コミュニティ・サポート論	2		2014年度から廃止
		コミュニティと宗教	2		2011年度以前入学者のみ適用
		コミュニティ人間形成論	2		
		コミュニティ福祉とキリスト教	2		2012年度以降入学者のみ適用
		宗教思想史	2		2011年度以前入学者のみ適用
		生命倫理政策入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		世界と宗教	2		2013年度から廃止
		日本の文化と思想	2		2012年度以降入学者のみ適用
		福祉人間学	2		2013年度から廃止

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科 2010～2015年度入学者対象

高校公民（１種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学１	2	必修	
		法学２	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	家族政策	2		
		健康政策	2		
		コミュニティ政策学入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		コミュニティ政策入門	2		2011年度以前入学者のみ適用
		自治体政策計画論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		自治体政策論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会開発論	2		
		人権論	2		
		政策科学	2		
		地方財政論	2		
		地方自治論	2		
		福祉政策	2		2011年度以前入学者のみ適用
		福祉制度論	2		2012年度以降入学者のみ適用
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学１	2	必修	
		社会学２	2	必修	
		経済学	2	必修	
		世界経済と日本〈全カリ〉	2	必修	
	B	アジアの宗教と文化	2		2012年度以降入学者のみ適用
		逸脱と紛争の修復	2		2012年度以降入学者のみ適用
		異文化コミュニケーション	2		2011年度以前入学者のみ適用
		家族社会学	2		
		現代コミュニティ論	2		
		国際ＮＧＯ論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		国際福祉論	2		
		コミュニティ・ビジネス	2		
		ジェンダー論	2		
		死生学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		社会保障総論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会保障論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		社会保障論１・２	各２		2011年度以前入学者のみ適用
		社会問題の社会学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		障害学入門	2		
		障害者スポーツ論	2		
		少年非行論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		セクソロジー	2		
		多文化社会論	2		2012年度以降入学者のみ適用
		地球コミュニティ論	2		2011年度以前入学者のみ適用
		統計学入門	2		
		ノーマライゼーション論	2		
		パートナーシップ論	2		
		福祉文化論	2		
		リサーチ方法論１・２	各２		
		臨床社会学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		老年学	2		

次頁に続く

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	公共哲学	2	6単位選択必修	2012年度以降入学者のみ適用
		哲学的人間学	2		2012年度から廃止
		いのちの倫理学	2		2012年度以降入学者のみ適用
		生命倫理	2		2011年度以前入学者のみ適用 2012年度履修者まで選択（B） 2013年度履修者から選択必修（A）
		キリスト教思想	2		2013年度から廃止
		宗教人間学	2		2016年度から廃止 2011年度以前入学者のみ適用
		心理学１	2		
		心理学２	2		
	B	キリスト教社会福祉	2		2013年度から廃止
		グリーフスタディ	2		
		芸術的人間学	2		2013年度から廃止
		現代キリスト教人間学	2		
		コミュニティ・サポート論	2		2014年度から廃止
		コミュニティと宗教	2		2011年度以前入学者のみ適用
		コミュニティ人間形成論	2		
		コミュニティ福祉とキリスト教	2		2012年度以降入学者のみ適用
		宗教思想史	2		2011年度以前入学者のみ適用
		宗教心理学	2		2011年度以前入学者のみ適用
		生命倫理政策入門	2		2012年度以降入学者のみ適用
		世界と宗教	2		2013年度から廃止
		日本の文化と思想	2		2012年度以降入学者のみ適用
		人間心理の深層	2		2012年度以降入学者のみ適用
		比較文化心理学	2		2014年度から廃止
		福祉人間学	2		2013年度から廃止
		ライフサイクルの心理学	2		

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

コミュニティ福祉学部 スポーツウエルネス学科 2010〜2015年度入学者対象

中学・高校保健体育（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，

A ・ B 合わせて中学教員免許は28単位以上，高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。

※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。

※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
体育実技	A	運動方法学演習１（体操＆フィットネス）	2	6単位選択必修	スポーツウエルネス学科の学生に限る
		運動方法学演習２（陸上競技）	2		スポーツウエルネス学科の学生に限る
		運動方法学演習３（球技:屋外ゴール型）	2		
		運動方法学演習４（球技:屋外ネット型）	2		
		運動方法学演習５（スキー）	2		
		運動方法学演習７（球技:屋内）	2		2012年度新設
		運動方法学演習８（武道）	2		2012年度新設
	B	なし			
「体育原理，体育心理学，体育経営管理学，体育社会学，体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	A	運動方法学	2	必修	
		スポーツ科学総論	2	必修	
		ウエルネス科学総論	2	2単位選択必修	
		健康心理学	2		2013年度から廃止
		スポーツウエルネス心理学	2		2013年度から新設
		スポーツ社会学	2		
		スポーツ倫理学	2		
	B	コミュニティスポーツ論	2		
		バイオメカニクス	2		
		メンタルマネジメント	2		
生理学（運動生理学を含む。）	A	生理学	2	必修	
		運動生理学	2	必修	
	B	運動処方･療法	2		2012年度以降履修者より適用
		運動･スポーツ栄養学	2		
		解剖学	2		
		加齢と運動	2		2013年度から廃止
		生活習慣病の科学	2		
		発育･発達･加齢論	2		
衛生学及び公衆衛生学	A	公衆衛生学	2	必修	
	B	ウエルネス福祉論	2		
学校保健（小児保健，精神保健，学校安全及び救急処置を含む。）	A	小児保健･精神保健	2	2単位選択必修	2011年度以前はそれぞれ必修だが、現在は全学生選択必修
		リスクマネジメント論	2		
	B	ウエルネススポーツ医学	2		2013年度から新設

科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

現代心理学部 心理学科　2010～2015年度入学者対象

高校公民（1種）

A の科目を「履修方法」に示されたとおりに修得し，
A ・ B 合わせて高校教員免許に必要な36単位以上修得すること。
※214ページ「「教科に関する科目」表の見方にかかわる注意」「「教科に関する科目」の修得にかかわる注意」を必ず確認すること。
※履修規則・登録方法等は，各科目の開講学部『履修要項』で確認すること。

（免許法施行規則に定める）科目区分	ABの別	科目名	単位数	履修方法	備考
「法律学（国際法を含む。），政治学（国際政治を含む。）」	A	法学１	2	必修	
		法学２	2	必修	
		政治学	2	必修	
	B	政治と社会〈全カリ〉	2		
		法への招待〈全カリ〉	2		2016年度以降履修者のみ適用
		現代社会と法〈全カリ〉	2		2016年度から廃止
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学１	2	必修	
		社会学２	2	必修	
		経済学	2	必修	
		世界経済と日本〈全カリ〉	2	必修	
	B	統計法１・２	各２		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	A	哲学的人間学〈コミュニティ福祉学部〉	2	必修	2012年度から廃止 既修得単位は B に含む
		心理学概説１	2	必修	
		心理学概説２	2	必修	
		宗教人間学〈コミュニティ福祉学部〉	2	必修	2011年度以前入学者のみ必修 2016年度から廃止
	B	学習心理学（学習・言語心理学）	2		2017年度まで「学習心理学」
		学習心理学	2		2018年度から「学習心理学（学習・言語心理学）」
		コミュニティ心理学	2		
		産業・組織心理学	2		2017年度まで「産業心理学」
		産業心理学	2		2018年度から「産業・組織心理学」
		社会心理学（社会・集団・家族心理学）	2		2017年度まで「社会心理学」
		社会心理学	2		2018年度から「社会心理学（社会・集団・家族心理学）」
		心理学演習Ａ１・Ａ２	各２		
		心理学演習Ｂ１・Ｂ２	各２		
		心理学演習Ｃ１・Ｃ２	各２		
		心理学演習Ｄ１・Ｄ２	各２		
		心理学演習Ｅ１・Ｅ２	各２		
		心理学演習Ｆ１・Ｆ２	各２		
		心理学演習Ｇ１・Ｇ２	各２		
		心理学演習Ｈ１・Ｈ２	各２		
		心理学演習Ｉ１・Ｉ２	各２		
		心理学演習Ｊ１・Ｊ２	各２		
		心理学演習Ｋ１・Ｋ２	各２		
		認知心理学（知覚・認知心理学）	2		2017年度まで「認知心理学」
		認知心理学	2		2018年度から「認知心理学（知覚・認知心理学）」
		発達心理学	2		
		比較心理学	2		2015年度まで「比較認知心理学」
		比較認知心理学	2		2016年度から「比較心理学」
		養生論の思想	2		
		臨床心理学概論	2		2017年度まで「臨床心理学」
		臨床心理学	2		2018年度から「臨床心理学概論」

科目名の後に〈○○〉と記されている場合は，当該学部等の履修要項を参照すること。
科目名の後に〈○○〉と記されていない場合は，自学部の履修要項を参照すること。

専修免許状について－履修上の注意とカリキュラム－（大学院学生対象）

専修免許状はその専攻の専門性に基づいて文部科学省に申請し，課程認定を受けている。大学院を修了しても，すでに修得しているすべての1種免許状の専修免許状を取得できるとは限らないので注意すること。

1．基礎資格

⑴ 専修免許状は，修士の学位を有すること。

⑵ 各免許教科の1種免許状（または1種免許状申請資格）を取得した者。または，各免許教科の1種免許状の申請資格を大学院修了までに取得できる者。

⑶ 1種免許状と同一教科の専修免許状が認可されている専攻に在籍していること。

（例）国語科の中学・高等学校1種免許状を所持している学生が，

○ 日本文学専攻に進学した場合は，国語科中学・高等学校専修免許状を取得することは可能

× 教育学専攻に進学した場合は，取得は不可能

2．単位修得要件

すでに1種免許状を取得している場合＊

① 学部の免許教科と大学院前期課程（修士課程）の免許教科が同じ場合は，免許１教科につき，大学院博士課程前期課程または修士課程での自専攻開設科目24単位以上を修得すること。同一専攻で複数の免許教科が認可されている場合は，免許教科ごとに専修免許状の取得要件となる科目が定められているので，次ページの「専修免許状取得要件科目一覧」の指定された科目から24単位以上を修得すること。同一覧に記載のない専攻については，各自が所属する専攻の自専攻開設科目から24単位以上を修得すること。ただし，下記の科目（単位）は含まない。

・他大学大学院との単位互換制度により修得した科目

・修士論文および修士論文指導科目

・社会学研究科自由科目

・英米文学専攻「英米文学研究方法論１，２」

② 学部の免許教科と大学院前期課程（修士課程）の免許教科が異なる場合は，専修免許状は取得できない。

（＊）免許法第５条別表第１以外で高等学校１種免許状を取得している場合を除く。

学部在学中に1種免許状を取得していない場合

大学院在学中に教職課程に登録し，１種免許状取得に必要な単位に加え，上記①の単位を修得すること。ただし，１種免許状の取得の可否，取得できる免許教科の種類は在籍研究科・専攻および出身大学・学部学科等により異なるため，専修免許状取得要件単位に加えて，１種免許状取得要件単位の修得も併せて希望する者は，必ず「大学院学生対象教職課程ガイダンス」に出席し，学校・社会教育講座事務室の指示を受けること（この場合に，一括申請で取得できる免許状は専修免許状のみであり，１種免許状はこれに包括される）。

☞「Ⅰ　登録について 4 大学院学生への注意 」参照

［注意］

① 2012年度以降新たに1種免許状取得を希望する場合の「教職に関する科目」における適用カリキュラムについて

学部入学年度にかかわらず2008年改訂の「教育職員免許法」を適用し，2010年度以降学部1年次入学者適用カリキュラムを適用する。

② 「教職実践演習（中・高）」の履修について

「教職総合演習」の修得状況にかかわらず，教職課程に登録している全ての大学院学生は，「教職実践演習（中・高）」を履修しなければならない。

③ 学部科目を1種免許状の取得に必要な教職・教科に関する科目の所定単位とする時は，同科目を前期課程（修士課程）修了に必要な単位とすることはできない。

④ 教育職員免許状の申請については，8 教育職員免許状申請手続きについて を参照し，遺漏なく手続きを行うこと。

【専修免許状取得要件科目一覧】

キリスト教学研究科　キリスト教学専攻

社会		地理歴史	公民・宗教
キリスト教学共同演習1・2	キリスト教思想史演習	古代イスラエル研究	キリスト教学共同演習1・2
アングリカニズム・エキュメニズム研究	聖書学演習（旧約）1・2	原始キリスト教研究	アングリカニズム・エキュメニズム研究
キリスト教倫理学研究	聖書学演習（新約）1・2	キリスト教史研究	キリスト教倫理学研究
現代神学思想研究	宗教史・宗教学演習	キリスト教美術研究	現代神学思想研究
古代イスラエル研究	キリスト教文化論演習1・2	アジア・キリスト教研究	比較宗教研究
原始キリスト教研究	宗教人間学演習	キリスト教音楽研究1・2	フィールドスタディ1・2
キリスト教史研究	アジア・キリスト教演習	キリスト教思想史演習	神学思想演習1・2
キリスト教美術研究	宗教教育演習	キリスト教文化論演習1	聖書学演習（旧約）1・2
比較宗教研究	フィールドワーク演習1・2	アジア・キリスト教演習	聖書学演習（新約）1・2
アジア・キリスト教研究	サーヴィスラーニング1・2	フィールドワーク演習1・2	宗教史・宗教学演習
フィールドスタディ1・2	会衆賛美論演習1・2	サーヴィスラーニング1・2	キリスト教文化論演習2
キリスト教音楽研究1・2	教会音楽史演習1・2	会衆賛美論演習1・2	宗教人間学演習
神学思想演習1・2		教会音楽史演習1・2	宗教教育演習

文学研究科　史学専攻

免許教科「社会」「地理歴史」「公民」のために修得するべき科目は，学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

文学研究科　超域文化学専攻

地理歴史		公民	
地域社会研究方法論	地理学調査演習	地域社会研究方法論	地域社会調査演習
地理学特殊研究1～3	地域社会調査演習	文化人類学特殊研究1～3	文化人類学演習1・2
地理学演習1・2		超域文化学演習1	超域文化学演習2A・2B

経済学研究科　経済学専攻

社会・公民		地理歴史	商業
流通・分配特論1・2	農業政策特論1・2	経済学史特論1･2	日本経済史特論1･2
価値論特論1・2	世界経済特論1・2	アメリカ経済史特論1･2	欧州経済史特論1･2
財政学1特論1・2	比較経済体制特論1・2	イギリス経済史特論1･2	経営史特論1･2
財政学2特論1・2	外国貿易特論1・2	ドイツ経済史特論1･2	会計史特論1･2
現代金融特論1・2	社会政策特論1・2	欧州経済史特論1･2	管理会計特論1･2
国際金融特論1・2	労働経済特論1・2	日本経済史特論1･2	原価計算特論1･2
経済統計特論1・2	中小企業特論1・2	社会思想史特論1･2	会計学特論1･2
近代経済学1特論1･2	近代経済学2特論1･2	経営史特論1･2	財務会計特論1･2
近代経済学3特論1･2	経済政策特論1･2	西洋史特論1･2	経営分析特論1･2
工業経済特論1･2	計量経済特論1･2	東洋史特論1･2	会計監査特論1･2
		日本経済特論1･2	
		アジア経済特論1･2	
		アジア経済史特論1･2	

〈注意〉

①2018年度以前に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「比較経済体制特論1･2」

②2018年度以降に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「計量経済特論1･2」「アジア経済史特論1･2」「会計監査特論1･2」

観光学研究科　観光学専攻

社会	
〈2017年度以前大学院1年次入学者適用〉	
観光研究基礎指導A・B　※	観光地理学研究
観光研究法A・B（質的分析）	観光人類学研究
観光研究演習A(1)・B(1)	観光文化研究
観光言語文学研究	観光社会学研究
観光経済学研究	
〈2018年度以降大学院1年次入学者適用〉	
観光研究基礎指導A・B　※	観光人類学研究(1)(2)(3)
観光研究演習A・B	観光地理学研究(1)(2)(3)
観光経済学研究	観光文学研究(1)(2)
観光社会学研究(1)(2)(3)	観光歴史学研究

〈注意〉

※印の科目は，科目担当者によっては免許取得要件として適用されない。

コミュニティ福祉学研究科　コミュニティ福祉学専攻

社会・公民	福祉	保健体育
コミュニティ政策研究2～8 福祉人間学研究2～5 特殊研究3（公民のみ） 専門社会調査演習1～3	コミュニティ政策研究1 ソーシャルワーク研究1～10 福祉人間学研究1 特殊研究1・2・4・5・6	スポーツウエルネス研究1～16 研究指導1～3

〈注意〉
①2013年度以前に単位修得した場合にのみ免許状取得要件として適用される科目
「研究指導１～３」
②2014年度以降に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「コミュニティ政策研究７・８」,「ソーシャルワーク研究４・５・９・10」,「スポーツウエルネス研究14」
③2015年度以降に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「スポーツウエルネス研究15」
④2017年度以前に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「特殊研究６」
⑤2018年度以降に単位修得した場合にのみ免許取得要件として適用される科目
「特殊研究５」
⑥2020年度以降に単位修得した場合にのみ免許状取得要件として適用される科目
「スポーツウエルネス研究16」

異文化コミュニケーション研究科　異文化コミュニケーション専攻

社会・公民	英語
【2015年度以前大学院1年次入学者適用】 異文化コミュニケーション論 環境コミュニケーション論 ネイチャー・ライティング論 環境コミュニケーション特論 開発コミュニケーション論1･2 RW（異文化コミュニケーション1･2） RW（環境コミュニケーション1･2） RW基礎理論（異文化コミュニケーション） RW基礎理論（環境コミュニケーション） RW（方法論演習1･2） 非言語コミュニケーション論 メディアコミュニケーション論 組織コミュニケーション論 対人コミュニケーション論 開発コミュニケーション特論 平和学 環境文化特論 環境メディア論 環境学概論 環境政策特論 文化人類学 比較文化論 環境教育特論 多文化社会論 言語文化論 言語人類学 異文化研修論 異文化思想論 異文化間協力論 国際理解教育研究 ESD論	【2015年度以前大学院1年次入学者適用】 言語コミュニケーション論 異文化語用論 言語コミュニケーション特論 通訳翻訳コミュニケーション論 RW（言語コミュニケーション1･2） RW（通訳翻訳コミュニケーション1･2） RW基礎理論（言語コミュニケーション） RW基礎理論（翻訳通訳コミュニケーション） RW（論文作成演習1･2） メディア通訳翻訳論 言語論 談話分析 通訳翻訳文化論 通訳翻訳特論 言語心理学 認知言語学 通訳翻訳教育論 通訳翻訳演習1･2 翻訳テクノロジー論 【2016年度以降大学院1年次入学者適用】 言語教育研究基礎論 通訳翻訳研究基礎論 コミュニケーション研究基礎論 Japanese Education System and English Language Education in Japan Teaching English Speaking / Listening to Japanese Students Teaching English Reading / Writing to Japanese Students 言語コミュニケーション研究特殊講義A 言語コミュニケーション研究特殊講義B 言語コミュニケーション研究特殊講義C 言語コミュニケーション理論 言語教育研究特殊講義A 言語教育研究特殊講義B 言語教育研究特殊講義C 言語教育理論A 言語教育理論B Teaching EFL to Japanese School Children Pedagogical English Grammar to Japanese Students Teaching English Vocabulary to Japanese Students：Learning, Teaching and Use Japanese Learners and Learning English in Japan Japanese in Educational Settings: Classroom and Kyomuka 言語コミュニケーション研究基礎論 Content and Learning Integrated Learning Curriculum and Syllabus Design Psychology of the Language Learner 通訳翻訳研究特殊講義A 通訳翻訳研究特殊講義B 通訳翻訳研究特殊講義C 通訳翻訳理論 通訳翻訳教育論 通訳翻訳テクノロジー論 翻訳の原理と方法 翻訳演習１ 翻訳演習２ 異文化コミュニケーション研究特殊講義A 異文化コミュニケーション研究特殊講義B 異文化コミュニケーション理論 コミュニケーション研究特殊講義B コミュニケーション研究特殊講義C コミュニケーション理論

学芸員課程

学芸員課程

1951（昭和26）年制定の「博物館法」には，「博物館」とは，「歴史，芸術，民俗，産業，自然科学等に関する資料を収集し，保管し，展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し，その教養，調査研究，レクリエーション等に資するために必要な事業を行い，あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関のうち，地方公共団体，民法第34条の法人，宗教法人又は政令で定めるその他の法人が設置するもので第2章の規定による登録を受けたもの」（同法第2条）と規定されている。この正規の登録博物館には，「学芸員」をおくことが同法第12条によって必要条件となっている。

「学芸員」は同法第4条で，「博物館資料の収集，保管，展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」専門的職員と規定され，その資格は第5条で「学士の学位を有する者で，大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得」することが条件となっている。

本課程はこの博物館法に則り，資格の取得を目的とする全学部学生に対して設置されている。また，社会教育に対する理解と学習意欲をもつ市民の養成も，その目的の一つとしている。

1 学芸員課程登録に際しての注意

⑴ 2014年度から先修科目の修得条件が変わったので，注意すること。

⑵ 2011年度以前に学部または大学院に入学した者で，未修得科目がある場合は，必ず学校・社会教育講座事務室にて指示を受けること。

2 学芸員課程修了に必要な単位数

必修科目A	５科目10単位
必修科目B	２科目３単位
必修科目C	３科目６単位
選択必修科目	２科目４単位以上
計	23単位以上

3 履修上の注意

1．資格取得までの注意

本課程を修了するには，原則として実習等を含め最低限3年を要する。実習は土曜日や夏休みなどの季節休業期間中に行われることが多い。したがって自らの学生生活プランを事前によく考慮して履修するか否かを決めること。単位修得にあたっては，下記のように履修することが望ましい。ただし，大学院新入学者および他大学から学部３年次に編入学した者については最低必要年限が異なり，履修の行程表が違ってくるので，4 2020年度新規登録予定の大学院学生および他大学から本学学部に３年次編入学した学生へ を参照のこと。

⑴ 2014年度以降に学部に入学した者は，初年度（受講登録年度）に必ず「博物館概論」の単位を修得し，さらに「博物館資料論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」，「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論１」）のうち少なくとも２科目の単位を修得する。

⑵ 2013年度以前に学部に入学した者は，初年度（受講登録年度）に必ず「博物館概論」の単位を修得し，さらに「博物館資料論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」のうち少なくとも２科目の単位を修得する。

⑶ ２年度目に「見学・学内実習」を履修（単位修得）する。

⑷ ３年度目に「博物館実習（館園実習）」を履修（単位修得）する。

⑸ 上記⑷以外の科目は２年度目終了時までに履修することが望ましい。

2. 履修例

【学芸員課程資格取得までの履修例】

◎2014年度以降に学部に入学した者

課程登録初年度

・「博物館概論」…必ず履修（単位修得）すること
・「博物館資料論」,「博物館展示論」,「博物館教育論」,「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論１」）の４科目のうち少なくとも２科目（必須）
・できれば，上記４科目の残りの２科目も履修することが望ましい

・選択必修科目

↓

課程登録２年度～「博物館実習（館園実習）」前年度

・「見学・学内実習」
・必修科目のうち未修得の科目
※「博物館実習（館園実習）」に参加するには必修科目単位を実習開始までに修得していることが望ましい

・選択必修科目のうち未修得の科目

↓

「博物館実習（館園実習）」年度

・「博物館実習（館園実習）」
・必修科目のうち未修得の科目
※「博物館実習（館園実習）」に参加するには必修科目単位を実習開始までに修得していることが望ましい

・選択必修科目のうち未修得の科目

◎2013年度以前に学部に入学した者

課程登録初年度

・「博物館概論」…必ず履修（単位修得）すること
・「博物館資料論」,「博物館展示論」,「博物館教育論」の３科目のうち少なくとも２科目（必須）
・できれば，上記３科目の残りの１科目も履修することが望ましい

・選択必修科目

↓

課程登録２年度～「博物館実習（館園実習）」前年度

・「見学・学内実習」
・必修科目のうち未修得の科目
※「博物館実習（館園実習）」に参加するには必修科目単位を実習開始までに修得していることが望ましい

・選択必修科目のうち未修得の科目

↓

「博物館実習（館園実習）」年度

・「博物館実習（館園実習）」
・必修科目のうち未修得の科目
※「博物館実習（館園実習）」に参加するには必修科目単位を実習開始までに修得していることが望ましい

・選択必修科目のうち未修得の科目

3. 諸注意

⑴「博物館概論」は，受講登録初年度の春学期に履修しなければならない。単位を修得できない場合，当該年度秋学期の学芸員課程科目は履修できない。この場合，次年度以降あらためて「博物館概論」を履修することにより，学芸員課程の継続履修が可能となる。

⑵ ただし，受講登録初年度の春学期に修得した他の単位は，「博物館概論」の合否に関わらず，修得したものと認める。

⑶ 同一科目名で（A）（B）の２クラスを開講している科目は，いずれか１科目しか履修を認めない。

⑷ 2014年度以降に入学した者は「見学・学内実習」の履修に際して，前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し，さらに「博物館資料論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」，「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論１」）４科目のうち少なくとも２科目（４単位）を修得していなければ，履修資格はない。

⑸ 2013年度以前に学部に入学した者は，「見学・学内実習」の履修に際して，前年度までに「博物館概論」を履修（単位修得）し，さらに「博物館資料論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」３科目のうち少なくとも２科目（４単位）を修得していなければ，履修資格はない。

⑹「博物館実習（館園実習）」は，「見学・学内実習」の単位を修得していなければ履修資格はない。

⑺「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」の履修登録は，「その他」登録となる。2020年度「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」の履修者は，４月４日（土）に行われる「実習科目全体ガイダンス」に出席し，指示を受けること。このガイダンスに無断欠席の場合は，これらの科目の履修登録を行うことはできない。

⑻ 文学部史学科の学生は，文学部基幹科目「日本史概論１」または「日本史概論２」を「日本文化史１」に，「超域文化学講義18（考古学）」を「考古学１」に，「超域文化学講義21（フォークロア１）」または「超域文化学講義22（フォークロア２）」を「民俗学１」にそれぞれ充てることができる。
ただし，在学中に他学科に転科した場合は充てることができない。

⑼ 理学部物理学科，化学科，生命理学科の学生は，各自の所属学科の必修科目として修得した「物理学」，「化学」，「生物学」関係科目の単位を，計４単位まで本課程の「選択必修科目」の単位として充てることができる。

⑽ カリキュラム表のとおり，課程修了に必要な科目として認められるのは，池袋キャンパスで開講される科目のみとなる。新座キャンパスで開講される同一名の科目を履修しても内容が異なるため，単位の算入は認められない。

⑾ 2018年度から，選択必修科目として新たに「博物館論演習」が加わった。本科目は，入学年度にかかわらず，「博物館概論」を修得済みの２年次生以上の履修を可とする。

4 2020年度新規登録予定の大学院学生および他大学から本学学部に３年次編入学した学生へ

学芸員課程の履修について

学芸員課程を修了するには，原則として最低限３年を要することとなっているが，とはいえ，大学院学生および他大学から本学学部に３年次編入学した学生には，２年間という在籍期間を考慮し，特に，１年度目において，学部生に適用される１年度目と２年度目の科目を併修することを認める。ただし第１年度（登録年度）に先修科目（「博物館概論」および，その他の「必修科目A」４科目のうちの２科目），「見学・学内実習」を修得できなかったものは，登録２年度目に「博物館実習（館園実習）」を履修することはできない。

下記のように，「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」履修のために，かなりの時間を割くこととなるので，各自，専攻カリキュラム履修上の時間割を十分に考慮したうえで，履修を決定してほしい。

① 「見学・学内実習」において，見学実習は，原則として夏休み中３泊４日と長期にわたる。また，学内実習はやはり原則として土曜３～５時限の授業を年に数回行う予定である。

②「博物館実習（館園実習）」は，実習先博物館・園により実習時期（主として５月から１月にかけて）および期間（１週間から２週間前後）が決定されるので，学生はそれに従うこととなる。

③ 上記の実習においては，事前指導などが，それぞれ土曜３～５時限に行われる。

以上の実習に際しては，専攻課程における時間割等との重複に関し，原則として学芸員課程の側から特に事前に配慮することはないので，注意を要する。

＊個別に履修指導を行うので，必ず４月上旬に学校・社会教育講座事務室に来室すること。

5 「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」

見学実習に要する旅費は受講者負担であり，例年55,000円前後を要する（金額は年度によって多少上下する）。博物館実習（館園実習）に伴い，実習費が生じる場合がある。この場合も受講者負担であるが，金額は実習先により異なる。

2020年度の予定は下記に記載してあるとおりである。今年度行われる「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」に参加する者は，以下の全体ガイダンスに必ず出席すること。なお，大学院学生および他大学から学部３年次に編入学した学生で，2020年度から新たに学芸員課程に登録し，今年度「見学・学内実習」の履修を希望する者は，ガイダンスの前に学校・社会教育講座事務室に申し出て指示を受けること。

一旦登録した後に，各事前指導・実習に無断で欠席・遅刻・早退した者は，その年度の履修資格を失うものとする。

＊「博物館実習（館園実習）」で他の授業を欠席する場合は，届出用紙（学校・社会教育講座事務室で配布）を科目担当教員に遅くとも1週間前までに提出し，了解を得ること（欠席の扱いについては科目担当教員の判断によって異なる）。

1. 実習科目

全体ガイダンス

≪日　時≫　2020年4月4日（土）16：00（時間厳守）

≪場　所≫　M202教室

「見学・学内実習」「博物館実習（館園実習）」履修希望者は全員参加のこと。ただし，他課程の事前指導・実習がガイダンスと重複する者は，学校・社会教育講座事務室にあらかじめ届け出て指示を受けること。

縦4cm×横3cmの証明写真を１枚用意すること。

2. 見学実習

見学（A日程）		
月　日	内　容	集　合
6．6（土） 8.24（月）～8.27（木）	事前指導 国内外博物館・美術館見学 （詳細は事前指導で発表）	16：15　M202教室

見学（B日程）		
月　日	内　容	集　合
6．6（土） 9．1（火）～9．4（金）	事前指導 国内外博物館・美術館見学 （詳細は事前指導で発表）	16：15　M202教室

＊原則として，見学のA日程に参加する者は学内実習のA日程，見学のB日程に参加する者は学内実習のB日程に参加すること。

3. 学内実習

学内実習（A日程）		
月　日	内　容	集　合
4.25（土）	美術品の取り扱い	13：25　講座実習室（2号館2階）
5．9（土）	写真撮影	13：25　講座実習室（2号館2階）
5.30（土）	映像撮影と編集（前半）	13：25　講座実習室（2号館2階）
6.13（土）	映像撮影と編集（後半）	13：25　講座実習室（2号館2階）

学内実習（B日程）			
月　日	内　容	集　合	
9.26（土）	美術品の取り扱い	13：25	講座実習室（2号館2階）
10. 3（土）	写真撮影	13：25	講座実習室（2号館2階）
10.10（土）	映像撮影と編集（前半）	13：25	講座実習室（2号館2階）
10.24（土）	映像撮影と編集（後半）	13：25	講座実習室（2号館2階）

＊原則として，学内実習のA日程に参加する者は見学のA日程，学内実習のB日程に参加する者は見学のB日程に参加すること。

4. 博物館実習（館園実習）

館園実習		
月　日	内　容	集　合
2019年 12. 7（土）	事前指導①（実施済）	
2019年 1.11（土）	事前指導②（実施済）	
4. 4（土）	全体ガイダンス	16：00　M202教室
5月以降	都内近県の館園にて実習 （1週間～2週間前後）	

5. 翌年度(2021年度)のための館園実習 事前指導

「見学・学内実習」の単位を修得もしくは修得予定者のための「館園実習 事前指導」を下記のとおり行う。詳細は，事前に学校・社会教育講座掲示板に掲示するので注意すること。

事前指導に無断で欠席・遅刻・早退した者は，履修資格を失うことになるので，履修希望者は必ず出席すること。

館園実習 事前指導
①2020年12月 5 日（土） 13：25～ M202教室
②2021年 1 月 9 日（土） 13：25～ M202教室
③2021年 1 月 個人面談期間

「博物館実習（館園実習）」を履修する者のために，実習先博物館の選択について説明する。

6 修了予定者調査書の提出

本課程を修了する者は卒業（修了）年度に調査書を下記により提出すること。
なお，調査書は1月12日（火）から学校・社会教育講座事務室で配布する。

提出期間	2021年1月12日（火）～29日（金）
提出先	学校・社会教育講座事務室

7 修了者の発表・修了証書の授与

学芸員課程の所定の単位を修得した者を，3月中旬に成績参照システムにおいて発表する。必ず本人が修了の可否を確認すること。 ☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照

修了者には，下記のとおり修了証書を授与する。

場所はいずれも池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室。

学部卒業生／科目等履修生	2021年3月24日（水），25日（木）9：00～18：00
大学院学生	2021年3月25日（木） 9：00～18：00

大学院学生で大学院修了を待たずに学芸員課程修了に必要な単位を全て修得できる場合は，大学院修了年度以前に修了証書を授与することができる。

☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照

学芸員課程科目表（2012年度以降学部・大学院1年次入学者に適用）

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目A（登録初年度必修：3 履修上の注意 3．諸注意（3）（4）（5）を必ず参照のこと）										
イ	GX526	博物館概論（A）	川口幸也	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEM1100	受講登録年度必修科目
	GX527	博物館概論（B）	川口幸也	2	春	池袋				
エ	GB225	博物館資料論（A）	滝口正哉	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEM1300	
	GB226	博物館資料論（B）	滝口正哉	2	春	池袋				
カ	GB223	博物館展示論（A）	川口幸也	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEM1500	3 履修上の注意 3．諸注意（3）（4）（5）参照
	GB224	博物館展示論（B）	川口幸也	2	秋	池袋				
キ	GB228	博物館教育論（A）	滝口正哉	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEM1600	
	GB229	博物館教育論（B）	滝口正哉	2	秋	池袋				
ア	GX552	生涯学習概論（学・司）	中村由香	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEL1000	3 履修上の注意 3．諸注意（4）（5）参照
	GX551	生涯学習概論1	山嵜雅子	2	春	池袋			CED1000	
必修科目B（登録2年度以降必修）										
ケ	その他登録	見学・学内実習（A）	川口幸也 木下直之	2	通年他	池袋	2	2·3·4	CEM2820	3 履修上の注意 3．諸注意（4）（5）参照
	その他登録	見学・学内実習（B）	滝口正哉 宮内洋平	2	通年他	池袋		2·3·4	CEM2820	
	その他登録	博物館実習（館園実習）	滝口正哉	1	通年他	池袋	1	3·4	CEM3820	
必修科目C（博物館実習年度以前に修得することが望ましい）										
ウ	GB221	博物館経営論	滝口正哉	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEM1200	
オ	GB222	博物館資料保存論	内呂博之	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEM1400	
ク	GB227	博物館情報・メディア論	眞田妙子	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEM1700	
選択必修科目（2科目以上4単位以上）										
	GB251	日本文化史1	石田佳也	2	秋	池袋	2科目以上4単位以上	1·2·3·4	CEM1900	3 履修上の注意 3．諸注意（8）参照
	GB253	考古学1	高橋裕子	2	春	池袋		1·2·3·4	CEM1900	
	GB255	美術史1	佐藤真実子	2	春	池袋		1·2·3·4	CEM1900	
	GB257	民俗学1	滝口正哉	2	春	池袋		1·2·3·4	CEM1900	3 履修上の注意 3．諸注意（8）参照
	GB259	博物館論演習	髙木真喜子	2	秋	池袋		2·3·4	CEM3910	
	［理］	科学史	内田正夫	2	秋	池袋		理学部履修規定による		
	［理］	地学概説	清家一馬	2	春	池袋				
	［理］	物理学に該当する科目						3 履修上の注意 3．諸注意（9）参照		
	［理］	化学に該当する科目								
	［理］	生物学に該当する科目								

博物館施行規則に定められる博物館に関する科目（※）

ア	生涯学習概論	ウ	博物館経営論	オ	博物館資料保存論	キ	博物館教育論	ケ	博物館実習		
イ	博物館概論	エ	博物館資料論	カ	博物館展示論	ク	博物館情報・メディア論				

司書課程

図書館司書コース

学校図書館司書教諭コース

司書課程　図書館司書コース

≪受講希望者へ≫

立教大学の司書課程は，図書館法に定められる司書資格と学校図書館法に定められる司書教諭資格を取得するための2コースを置いている。ただし，資格付与のみを目的とはしていない。資格取得と同時に，「国際的な視野をもつ情報スペシャリスト」としての特別な力，かつ専門的な意識を身につけていてほしいと考えて，カリキュラムや講師陣を用意している。

二つのコースは，取得できる資格やカリキュラム等が異なるので，それを理解したうえで履修すること。公共図書館，大学図書館，専門図書館，一般企業等での活躍を目指す者は，図書館司書コースを履修すること。学校の教諭として司書教諭の仕事をしたい者は，教職課程の履修と並行して，学校図書館司書教諭コースを履修すること。本学では，学校の図書館（室）に勤める学校司書については特別なカリキュラムを提供していない。そのような職を希望する者は，まずは司書の資格が有用と思われる。

司書課程から登録者への伝達事項は，池袋・新座キャンパスの学校・社会教育講座掲示板の他，司書課程Blackboardに掲載する。

1　司書課程図書館司書コース登録に際しての注意

⑴　図書館は，博物館・公民館などとならんで，社会教育施設のなかで大きな役割を果たしているだけでなく，学校教育とも密接に関連しており，教育と文化の発展のための重要な場となっている。

1950（昭和25）年に公布された図書館法には，図書館の専門的職員として，司書が定められている。司書は，図書館における情報や資料の収集・整理と利用者への奉仕を主な任務とする「図書館の専門的事務に従事する」者のことであり，資格が要求されている。本学司書課程図書館司書コースにおいて，所定の単位を修得して卒業した者には，司書となる資格が与えられる。

司書は図書館の専門職としてばかりでなく，最近では図書館以外の職場にも大きく進出している。一般企業などでも，各種の情報資料収集・整理・保存・提供に関する技術を身につけた情報専門職を必要としている。社会の情報化は急速に進み，それに応じて司書課程の教育内容や方法も変化してきている。

図書館司書コースの受講を希望する者は，図書館実習までに所定の科目の履修が完了するよう，履修計画を立てること。

⑵　2011年度以前に学部または大学院に入学した者で，未修得科目がある場合は，必ず学校・社会教育講座事務室にて指示を受けること。

学校図書館司書教諭資格取得希望者は299～303ページの記載事項に従うこと

2　司書課程図書館司書コース修了に必要な単位数

図書館司書の資格を得るのに必要な科目と単位に関しては，図書館法施行規則の第１条および第５条に詳細な規定があるが，ここでは，主としてこれらの規定にもとづいて実施されている本学司書課程のカリキュラムを示す。この科目表（298ページ参照）の中から下記の単位を修得すること。

必修科目	14科目28単位
選択必修科目	２科目４単位以上
計	32単位以上

3　履修上の注意

1．諸注意

⑴「図書館概論」は登録年度春学期に履修しなければならない。単位を修得できない場合，当該年度秋学期の司書課程科目は履修できない。次年度以降に「図書館概論」を履修することにより，当該コースの継続履修が可能となる。

⑵ ただし，受講登録初年度の春学期に修得した他の単位は，「図書館概論」の合否に関わらず，修得したものと認める。

⑶ 同一科目名で（A）（B）の２クラスを開講している科目は，いずれか１科目しか履修を認めない。

⑷ 2019年度から下表のとおり科目名が変更となった。新旧科目は同一科目とみなされるため，旧科目を修得済みの者は，新科目を履修することはできない。

旧科目名	⇒	新科目名	変更内容
情報サービス演習１（A）	⇒	情報検索演習（A）	2019年度から科目名変更
情報サービス演習１（B）		情報検索演習（B）	
情報サービス演習２（A）		情報サービス演習（A）	
情報サービス演習２（B）		情報サービス演習（B）	
情報資源組織演習・分類（A）		メタデータ演習（A）	
情報資源組織演習・分類（B）		メタデータ演習（B）	
情報資源組織演習・目録（A）		情報アーキテクチャ演習（A）	
情報資源組織演習・目録（B）		情報アーキテクチャ演習（B）	

⑸「情報検索演習」（「情報サービス演習１」）および「情報サービス演習」（「情報サービス演習２」）の履修資格を有する者は，「情報サービス論」の単位を修得した者に限る。

⑹「メタデータ演習」（「情報資源組織演習・分類」）および「情報アーキテクチャ演習」（「情報資源組織演習・目録」）の履修資格を有する者は，「情報資源組織論」の単位を修得した者に限る。

⑺ 下記の科目を履修する場合は，司書課程Blackboardで期限内に届け出なければならない。
いずれの科目も履修許可者発表後の履修取消は不可となる。（A）（B）クラス間の変更も不可となる。

【科 目 名】　「情報検索演習」「情報サービス演習」
「メタデータ演習」「情報アーキテクチャ演習」
【告知・届出期間】　6月12日（金）～　6月26日（金）（厳守）
【届出先】　司書課程Blackboard内で告知
【クラス発表】　7月10日（金）（予定）
司書課程Blackboardにおいて

⑻ 2020年度から，下表のとおり配当年次が変更となった。

科目名	旧配当年次	⇒	新配当年次	変更内容
図書・図書館史	１・２・３・４	⇒	２・３・４	2020年度から配当年次変更
図書館施設論	１・２・３・４		２・３・４	
図書館総合演習	３・４		２・３・４	

⑼ 科目表のとおり，課程修了に必要な科目として認められるのは，池袋キャンパスで開講される科目のみとなる。新座キャンパスで開講される同一名の科目を履修しても，内容が異なるため単位の算入は認められない。

2. 履修例

【司書課程資格取得までの履修例】

ここに示すのは履修例であり，各人が科目表中の各科目の配当年次に従い，計画を立てて履修すること。

課程登録初年度	
必修	◎「図書館概論」……必ず履修（単位修得）すること 「生涯学習概論（学・司)」または「生涯学習概論1」 ◎「図書館サービス概論」 ◎「図書館情報資源概論」

↓

課程登録２年度～実習前年度	
必修	「図書館制度・経営論」 ＊「図書館情報技術論」 ◎「情報サービス論」 ◎「情報検索演習」（「情報サービス演習１」） ◎「情報サービス演習」（「情報サービス演習２」） ◎「情報資源組織論」 「メタデータ演習」（「情報資源組織演習・分類」） 「情報アーキテクチャ演習」（「情報資源組織演習・目録」）
選択必修	「図書館基礎特論」 「図書館サービス特論」 「図書館情報資源特論」 「図書・図書館史」 「図書館施設論」
任意	＊「学校経営と学校図書館」

↓

実習年度	
必修	＊「児童サービス論」 「図書館実習」
選択必修	「図書館総合演習」

◎印は「図書館実習」先修科目であり，＊印は「図書館実習」準先修科目である。

これらについては，次項 4 図書館実習 を参照のこと。

4　図書館実習

1. はじめに

図書館実習は，司書課程における図書館情報学の講義や演習で学んだ知識を，図書館現場における実際の仕事のなかで相互に結びあわせ，理解を深めるために設けられている。実習生の希望に応じて，国内外の図書館で行う。

図書館実習を履修するには，決められた手続きを行い，実習前年度から事前指導に出席しなければならない。

2. 履修資格

⑴　**先修科目群**：実習前までに以下の科目の単位を修得済または修得見込みであること。修得見込みとは，先修科目においては実習参加希望届提出時に履修中であること，準先修科目においては実習参加希望届提出時に実習参加年度春学期履修予定であることを指す。

先修科目および準先修科目は，2017年度から以下のとおり改定されたため，注意すること。

先修科目
「図書館概論」 「図書館サービス概論」 「情報サービス論」 「情報検索演習」（「情報サービス演習１」） 「情報サービス演習」（「情報サービス演習２」） 「図書館情報資源概論」 「情報資源組織論」
準先修科目
「図書館情報技術論」 「学校経営と学校図書館」（学校図書館での実習を希望する者のみ） 「児童サービス論」（公共図書館での実習を希望する者のみ）

⑵　**諸手続**：実習登録までに必要な所定の手続きをすべて完了していること。

3. 実習館について

これまでの実績を基に作成された実習受入実績館のリストを，参考資料として事前指導Ⅰで提示する。

4. 実習までの手続きの概要

■実習前年度―２年次，３年次生（2021年度実習予定者）

⑴　**2021年度図書館実習参加希望の届出**

告知・届出期間　2020年10月15日（木）～29日（木）
届出先　　司書課程Blackboard内で告知

⑵　**2021年度図書館実習事前指導Ⅰ**

日　時　2020年11月28日（土）13：25～16：00（予定）場　所　A303教室

2021年度図書館実習参加希望者で，上記実習希望届提出済みの者は必ず出席すること。無断で欠席・遅刻・早退した者は履修を認めない。

⑶　**2021年度図書館実習参加予定者の発表**

日　時　2021年３月下旬～４月上旬
場　所　司書課程Blackboard内

■実習年度―主に３年次，４年次生（2020年度実習予定者）

⑴　**図書館実習履修手続き**

「図書館実習」の履修届は，手続き等がすべて完了していることを確認し，大学が自動登録する。

⑵　**図書館実習事前指導Ⅱ**

日　時　2020年６月６日（土）　13：25～16：00（予定）
場　所　1203教室

2020年度に図書館実習を行う者は，必ず出席しなければならない。
無断で欠席・遅刻・早退した者は履修を認めない。
この事前指導で実習配置図書館・実習期間等も発表する。

⑶　**図書館実習**

実習（概ね８月から10月の2週間）は全期間出務しなければならない。なお，図書館実習期間に他の授業を欠席する場合は，必ず「図書館実習に伴う授業欠席願」（事前指導Ⅱにて配布）を事前に科目担当教員に提出すること。

⑷　図書館実習事後指導

日　時	2020年 11月７日（土）　13：25～16：00（予定）
場　所	1203教室

図書館実習終了後，事後指導を行う。実習終了者は必ず出席しなければならない。
無断で欠席・遅刻・早退した者は図書館実習の単位を認めない。
実習生は，実習館の特色，実習内容，実習の反省・考察などを報告し，相互に意見・情報を交換する。「図書館実習記録」を持参のうえ，参加すること。

5．評　価

図書館実習の単位は，以下の点を含め，総合的に評価する。

1．図書館実習事前指導Ⅰ・Ⅱおよび図書館実習事後指導への出席
2．「図書館実習記録」による評価

＊以下に該当する場合は，単位を認めない。

1．図書館実習事前指導Ⅰ・Ⅱ，図書館実習事後指導に無断欠席した場合
2．「図書館実習記録」等の提出物を期限内に提出しなかった場合

5　修了予定者アンケート

本課程を修了する予定の者には，卒業（修了）年度の１月に司書課程からアンケートの依頼がある。インターネットで回答できるものなので，依頼に従って提出すること。

6　修了者の発表・修了証書の授与

司書課程の所定の単位を修得した者を，３月中旬に成績参照システムにおいて発表する。必ず本人が修了の可否を確認すること。

☞「Ⅷ　修了に関すること」1 修了者の発表 参照

修了者には，下記のとおり修了証書を授与する。

場所はいずれも池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室。

学部卒業生／科目等履修生	2021年３月24日（水），25日（木）９：00～18：00
大学院学生	2021年３月25日（木）９：00～18：00

大学院学生で大学院修了を待たずに司書課程図書館司書コース修了に必要な単位をすべて修得できる場合は，大学院修了年度以前に修了証書を授与することができる。

☞「Ⅷ　修了に関すること」1 修了者の発表 参照

司書課程図書館司書コース科目表（2012年度以降学部・大学院1年次入学者に適用）

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（14科目28単位）										
A	GX552	生涯学習概論（学・司）	中村由香	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEL1000	
	GX551	生涯学習概論1	山嵜雅子	2	春	池袋			CED1000	
B	GX532	図書館概論（A）	中村百合子	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEL1000	受講登録年度必修科目
	GX533	図書館概論（B）	中村百合子	2	春	池袋				
C	GC361	図書館制度・経営論	棚橋佳子	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2000	
D	GC362	図書館情報技術論	小牧龍太	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2000	
E	GC363	図書館サービス概論	中村佳史	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEL1100	
F	GC364	情報サービス論	ハモンド, E.	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2100	
G	GC365	児童サービス論（A）	青柳啓子	2	春	池袋	2	3·4	CEL2100	
	GC366	児童サービス論（B）	青柳啓子	2	春	池袋				
H	その他登録	情報検索演習（A）	海野　敏	2	秋	池袋	2	2·3·4	CEL3110	2018年度までの科目名「情報サービス演習1（A）」
		情報検索演習（B）	海野　敏	2	秋	池袋				2018年度までの科目名「情報サービス演習1（B）」「情報サービス論」先修
	その他登録	情報サービス演習（A）	ハモンド, E.	2	秋	池袋	2	2·3·4	CEL3110	2018年度までの科目名「情報サービス演習2（A）」 3 履修上の注意 1．諸注意参照
		情報サービス演習（B）	ハモンド, E.	2	秋	池袋				2018年度までの科目名「情報サービス演習2（B）」
I	GC371	図書館情報資源概論	橋詰秋子	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEL1200	
J	GC372	情報資源組織論	松山　巌	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2200	
K	その他登録	メタデータ演習（A）	鴇田拓哉	2	秋	池袋	2	2·3·4	CEL3210	2018年度までの科目名「情報資源組織演習・分類（A）」
		メタデータ演習（B）	鴇田拓哉	2	秋	池袋				2018年度までの科目名「情報資源組織演習・分類（B）」「情報資源組織論」先修
	その他登録	情報アーキテクチャ演習（A）	安藤幸央	2	秋	池袋	2	2·3·4	CEL3210	2018年度までの科目名「情報資源組織演習・目録（A）」 3 履修上の注意 1．諸注意参照
		情報アーキテクチャ演習（B）	安藤幸央	2	秋	池袋				2018年度までの科目名「情報資源組織演習・目録（B）」
R	自動登録	図書館実習	中村百合子 ハモンド, E.	2	通年他	池袋	2	3·4	CEL4420	履修資格を満たしている者対象 4 図書館実習 参照
選択必修科目（2科目4単位以上）										
L	GC377	図書館基礎特論	松崎裕子	2	春	池袋	2科目4単位以上	2·3·4	CEL3310	
M	GC378	図書館サービス特論	ハモンド, E.	2	春	池袋		2·3·4	CEL3311	
N	GC379	図書館情報資源特論	ハモンド, E.	2	秋	池袋		2·3·4	CEL2300	
O	GC380	図書・図書館史	小黒浩司	2	秋	池袋		2·3·4	CEL1300	
P	GC381	図書館施設論	川島　宏	2	秋	池袋		2·3·4	CEL2300	
Q	GC382	図書館総合演習	中村百合子	2	秋	池袋		2·3·4	CEL4310	
任意科目（司書教諭資格取得希望者必修）										
S	GC351	学校経営と学校図書館	中村百合子	2	春	池袋		2·3·4	CES2000	

□その他登録（　　網かけ）…履修希望届提出対象科目。（☞ 3 履修上の注意 参照）

図書館法施行規則に定められる図書館に関する科目（※）

[必修科目]

A	生涯学習概論	E	図書館サービス概論	I	図書館情報資源概論		
B	図書館概論	F	情報サービス論	J	情報資源組織論		
C	図書館制度・経営論	G	児童サービス論	K	情報資源組織演習		
D	図書館情報技術論	H	情報サービス演習				

[選択科目]

L	図書館基礎特論	P	図書館施設論
M	図書館サービス特論	Q	図書館総合演習
N	図書館情報資源特論	R	図書館実習
O	図書・図書館史		

司書課程　学校図書館司書教諭コース

≪受講希望者へ≫

立教大学の司書課程は，図書館法に定められる司書資格と学校図書館法に定められる司書教諭資格を取得するための2コースを置いている。ただし，資格付与のみを目的とはしていない。資格取得と同時に，「国際的な視野をもつ情報スペシャリスト」としての特別な力，かつ専門的な意識を身につけていてほしいと考えて，カリキュラムや講師陣を用意している。

二つのコースは，取得できる資格やカリキュラム等が異なるので，それを理解したうえで履修すること。公共図書館，大学図書館，専門図書館，一般企業等での活躍を目指す者は，図書館司書コースを履修すること。学校の教諭として司書教諭の仕事をしたい者は，教職課程の履修と並行して，学校図書館司書教諭コースを履修すること。本学では，学校の図書館（室）に勤める学校司書については特別なカリキュラムを提供していない。そのような職を希望する者は，まずは司書の資格が有用と思われる。

司書課程から登録者への伝達事項は，池袋・新座キャンパスの学校・社会教育講座掲示板の他，司書課程Blackboardに掲載する。

1　司書課程学校図書館司書教諭コース登録に際しての注意

1953（昭和28）年公布の学校図書館法第5条第1項に「学校には，学校図書館の専門的職務を掌らせるため，司書教諭を置かなければならない」と規定されており，2003（平成15）年度以降は，12学級以上を有する小・中・高等学校等に司書教諭を置くことが義務づけられている。

本学においては1998（平成10）年度から，［学校図書館司書教諭コース］を設置し，司書教諭資格を取得するために必要な単位を修得した者を対象として，資格申請を行っている。後述の履修方法，諸手続を熟読したうえで，受講するか否かを決めること。

［注意］

■教職課程を履修していない者は，学校図書館司書教諭コースに登録することはできない。ただし，下記の場合は，教職課程を履修していなくても学校図書館司書教諭コースに登録することができる。

①文学部教育学科で初等教育専攻課程に進む予定の者。

②すでに「教育職員免許状」を取得している者。

■他大学で司書教諭に関する科目を修得した者で，本学で教職課程を修了する者については，本学における司書教諭の資格申請は行わない。

2　学校図書館司書教諭資格取得に必要な単位数

「教育職員免許状」を取得し，かつ学校図書館司書教諭コース科目表（303ページ参照）から下記の単位を修得しなければならない。

必修科目	８科目16単位以上

3　履修上の注意

⑴「図書館概論」は登録年度春学期に履修しなければならない。単位を修得できない場合，当該年度秋学期の司書課程科目は履修できない。次年度以降に「図書館概論」を履修することにより，当該コースの継続履修が可能となる。

⑵ ただし，受講登録初年度の春学期に修得した他の単位は，「図書館概論」の合否に関わらず，修得したものと認める。

⑶「図書館概論」は，（A）または（B）のいずれか１科目しか履修を認めない。

⑷　図書館司書コースを受講し，かつ，学校図書館司書教諭コースを受講する者が，カリキュラム表の科目のうち，図書館司書コース展開の同一科目（「図書館概論」，「図書館情報資源概論」，「情報資源組織論」，「情報サービス論」）を修得した場合は，両資格の単位として認められる。

⑸　2020年度から，下表のとおり配当年次が変更となった。

科目名	旧配当年次	⇒	新配当年次	変更内容
図書・図書館史	１・２・３・４	⇒	２・３・４	2020年度から配当年次変更
図書館総合演習	３・４		２・３・４	

4　図書館実習（司書教諭）

1. はじめに

図書館実習（司書教諭）は，司書課程における図書館情報学の講義や演習で学んだ知識を，学校図書館現場における実際の仕事のなかで相互に結びあわせ，理解を深めるために設けられている。実習生の希望に応じて，国内外の図書館で行う。

図書館実習（司書教諭）を履修するには，決められた手続きを行い，実習前年度から事前指導に出席しなければならない。

2. 履修資格

⑴　**先修科目群**：実習前までに学校図書館司書教諭コースの必修科目の単位を修得済または修得見込みであること。修得見込みとは，実習参加希望届出時に履修中であることを指す。

⑵　**諸手続**：実習登録までに必要な所定の手続きをすべて完了していること。

3. 実習館について

これまでの実績を基に作成された実習受入実績館のリストを，参考資料として事前指導Ⅰで提示する。

4. 実習までの手続きの概要

■実習前年度―２年次，３年次生（2021年度実習予定者）

⑴　**2021年度図書館実習参加希望の届出**

告知・届出期間　2020年10月15日（木）～29日（木）
届出先　　司書課程Blackboard内で告知

⑵　**2021年度図書館実習事前指導Ⅰ**

日　時　2020年11月28日（土）13：25～16：00（予定）
場　所　A303教室

2021年度図書館実習参加希望者で，上記実習希望届提出済みの者は必ず出席すること。無断で欠席・遅刻・早退した者は履修を認めない。

⑶　**2021年度図書館実習参加予定者の発表**

日　時　2021年３月下旬～４月上旬
場　所　司書課程Blackboard内

■実習年度―主に３年次，４年次生（2020年度実習予定者）

⑴　**図書館実習（司書教諭）履修手続き**

「図書館実習（司書教諭）」の履修届は，手続き等がすべて完了していることを確認し，大学が自動登録する。

⑵　**図書館実習事前指導Ⅱ**

日　時　2020年６月６日（土）　13：25～16：00（予定）
場　所　1203教室

2020年度に図書館実習を行う者は，必ず出席しなければならない。
無断で欠席・遅刻・早退した者は履修を認めない。
この事前指導で実習配置図書館・実習期間等も発表する。

⑶ **図書館実習**

実習（概ね８月から10月の2週間）は全期間出務しなければならない。なお，図書館実習期間に他の授業を欠席する場合は，必ず「図書館実習に伴う授業欠席願」（事前指導Ⅱにて配付）を事前に科目担当教員に提出すること。

⑷ **図書館実習事後指導**

日　時	2020年11月７日（土）　13：25～16：00（予定）
場　所	1203教室

図書館実習終了後，事後指導を行う。実習終了者は必ず出席しなければならない。

無断で欠席・遅刻・早退した者は図書館実習の単位を認めない。

実習生は，実習館の特色，実習内容，実習の反省・考察などを報告し，相互に意見・情報を交換する。「図書館実習記録」を持参のうえ，参加すること。

5．評　価

図書館実習（司書教諭）の単位は，以下の点を含め，総合的に評価する。

１．図書館実習事前指導Ⅰ・Ⅱおよび図書館実習事後指導への出席

２．「図書館実習記録」による評価

＊以下に該当する場合は，単位を認めない。

１．図書館実習事前指導Ⅰ・Ⅱ，図書館実習事後指導に無断欠席した場合

２．「図書館実習記録」等の提出物を期限内に提出しなかった場合

5　学校図書館司書教諭資格申請について

学校図書館司書教諭の資格申請においては，所定の手続きを完了した者のみが申請対象者となるので，注意すること。当該年度の申請資格を喪失した場合でも，あらためて翌年度以降に所定の手続きを完了することにより資格を取得することができる。

1．2020年度学校図書館司書教諭資格申請

⑴ **対象**

2019年12月に学校図書館司書教諭資格申請書類を受領した者

⑵ **「学校図書館司書教諭資格申請申込書」の提出**

提出期間	2020年５月11日（月）～５月22日（金）（必着）
提 出 先	学校・社会教育講座事務室

申込書に必要書類を添えて提出すること。

［注意］対象者のうち，2020年度学部卒業予定および大学院修了予定のものは，必ず2020年４月に「教育職員免許状一括申請願」を学校・社会教育講座事務室へ提出すること。

☞「教職課程」2010～2018年度入学者適用 8 教育職員免許状申請手続きについて 参照

⑶ **「学校図書館司書教諭講習申込書」の提出**

提出期間	2020年７月下旬～８月上旬（予定）
提 出 先	学校・社会教育講座事務室

申込書提出の際に申請手数料（修了証書送料を含む）を併せて納入すること。

⑷ **修了証書の授与**

2021年３月下旬の予定である。

ただし，当該修了証書は，教育職員免許状を取得した時から効力を生じる。

2. 2021年度 学校図書館司書教諭資格申請

⑴ **対象**

A．３年次以上の学部学生で次の条件をすべて満たしている者

① 2020年度末までに，学校図書館司書教諭に関する科目全ての単位修得が確実な者
☞「司書課程学校図書館司書教諭コース　カリキュラム」参照
② 2021年度教育実習参加予定者
③ ３年次修了までに卒業必要単位のうち62単位以上（講座設置科目の単位を除く，全学共通科目，専門教育課程科目の合計単位）修得確実の者
＊上記①から③までの条件がひとつでも欠落した場合は，当該年度の学校図書館司書教諭資格申請を取り消す。

B．４年次以上の学部学生で2021年3月卒業予定者または，大学院修了予定者および大学院在学中の者で次の条件を満たしている者

① 2020年度末までに，学校図書館司書教諭に関する科目全ての単位修得が確実な者
☞「司書課程学校図書館司書教諭コース　カリキュラム」参照
② 2020年度末までに，教育職員免許状取得可能な者で，かつ，教育職員免許状一括申請者（または，教育職員免許状をすでに取得している者）
＊上記①または②の条件がひとつでも欠落した場合は，当該年度の学校図書館司書教諭資格申請を取り消す。

⑵ **学校図書館司書教諭資格申請書類の配付**

配付期間	2020年12月７日（月）～18日（金）
配付場所	学校・社会教育講座事務室

⑶ **「学校図書館司書教諭資格申請申込書」の提出**

学校図書館司書教諭資格申請書類により指示する。

［注意］対象者のうち，2021年度学部卒業予定および大学院修了予定のものは，必ず2021年４月に教育職員免許状一括申請願を学校・社会教育講座事務室へ提出すること。

☞「教職課程」8 教育職員免許状申請手続きについて 参照

⑷ **「学校図書館司書教諭講習申込書」の提出**

学校図書館司書教諭資格申請書類により指示する。

⑸ **修了証書の授与**

2022年３月下旬の予定である。

ただし，当該修了証書は，教育職員免許状を取得した時から効力を生じる。

6 修了予定者アンケート

本課程を修了する予定の者には，卒業（修了）年度の１月に司書課程からアンケートの依頼がある。インターネットで回答できるものなので，依頼に従って提出すること。

司書課程学校図書館司書教諭コース科目表

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（8科目16単位）										
ア	GC351	学校経営と学校図書館	中村百合子	2	春	池袋	2	2·3·4	CES2000	
イ	GC371	図書館情報資源概論	橋 詰 秋 子	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CEL1200	
	GC372	情報資源組織論	松 山　巌	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2200	
ウ	GC352	学習指導と学校図書館	青山比呂乃	2	秋	池袋	2	2·3·4	CES3100	
エ	GC353	読書と豊かな人間性	中山美由紀	2	秋	池袋	2	2·3·4	CES2100	
オ	GC354	情報メディアの活用	小泉世津子	2	秋	池袋	2	1·2·3·4	CES2100	
	GX532	図書館概論（A）	中村百合子	2	春	池袋	2	1·2·3·4	CEL1000	受講登録年度必修科目
	GX533	図書館概論（B）	中村百合子	2	春	池袋				
	GC364	情報サービス論	ハモンド, E.	2	春	池袋	2	2·3·4	CEL2100	
任意科目										
	自動登録	図書館実習（司書教諭）	中村百合子 ハモンド, E.	2	通年他	池袋		3·4	CES4420	履修資格を満たしている者対象 4 図書館実習（司書教諭） 参照
	GC380	図書・図書館史	小 黒 浩 司	2	秋	池袋		2·3·4	CEL1300	
	GC378	図書館サービス特論	ハモンド, E.	2	春	池袋		2·3·4	CEL3311	
	GC382	図書館総合演習	中村百合子	2	秋	池袋		2·3·4	CEL4310	

学校図書館司書教諭講習規程に定められる科目（※）

ア	学校経営と学校図書館
イ	学校図書館メディアの構成
ウ	学習指導と学校図書館
エ	読書と豊かな人間性
オ	情報メディアの活用

社会教育主事課程

2020年度以降入学者適用

2019年度以前入学者適用

社会教育主事課程　2020年度以降入学者適用

社会教育とは，学校や家庭以外の場で，子どもから成人，高齢者まであらゆる年齢層を対象として行われる教育である。身近なところでは，子ども会などの青少年の学校外での活動，教育委員会が開設する学級や講座，公民館などの施設でのサークル活動，図書館や博物館を利用した個々人の学習など，その形態は多様である。

社会教育法は，社会教育に関する国及び地方自治体の任務を明らかにしている。同法で社会教育は，「学校の教育課程として行われる教育活動を除き，主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）」と定義されている。社会教育主事は，この法に基づき都道府県及び市区町村教育委員会の事務局に置かれ，「社会教育を行う者に専門的技術的な指導・助言を与える」ことを職務とする専門的教育職員である。すなわち自治体の社会教育行政の中核として，地域の人々の学習活動を支援する役割を担っている。さらに近年は，関係諸機関の連携・協働を図り，人づくり・つながりづくり・地域づくりの推進者としての役割を果たすことも期待されている。

このような期待に応える実践力を育むことをめざして、2020年４月から新しい社会教育主事課程がスタートした。「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」（平成30年文部科学省令第５号）が2018年２月に公布され、2020年４月から施行された。文部科学省の通知文に記載されている改正の趣旨は次のとおりである。

「社会教育主事講習及び社会教育主事養成課程においては，社会教育主事がNPOや企業等の多様な主体と連携・協働して，学習者の多様な特性に応じて学習支援を行い，学習者の地域社会への参画意欲を喚起して，学習者の学習成果を地域課題解決やまちづくり，地域学校協働活動等につなげていくことにより，人づくりや地域づくりに中核的な役割を担うことができるよう，社会教育主事の職務を的確に遂行し得る基礎的な資質・能力の養成」を図るとされている。

改正に伴い，カリキュラムが変更され，社会教育主事課程においては，「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」が必修科目として新設され，さらに「社会教育実習」が必修となった。また，これらの学習成果が広く社会における教育活動に生かされるよう，社会教育主事任用資格に加え，課程修了者には「社会教育士」の称号が付与されることになった。

社会教育主事の資格は自治体の公務員として採用され，さらに教育委員会から「社会教育主事」として発令され，はじめて社会教育主事として働くことができる任用資格である。「社会教育士」には，社会教育主事課程の学習成果を活かし，自治体の多様な部署や民間企業，NPO団体等の構成員として，環境や福祉，まちづくり，防災等の多様な分野における学習活動の支援を通じて，人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されている。課程修了者は大学卒業と同時に「社会教育士」の称号が付与され，履歴書や名刺にも記載することができることになった。

「人生100年時代」といわれる今日，市民の主体的な学習を支援する社会教育主事・社会教育士の役割は重要である。本課程で学ぶ課題を把握し企画立案する能力や調整者としての能力，コミュニケーション能力などは，職業人として活躍するうえでも，市民として社会参加していくうえでも欠かせない。その意味で本課程は，社会教育の専門的職員の養成とともに，主体的学習者としての市民の育成をもねらいとしている。さまざまな学びの営みとそれを支援する活動に興味・関心を持つ学生の受講を期待する。とりわけ公務員志望の学生には受講を勧めたい。

1　社会教育主事課程修了に必要な単位数

310・311ページの社会教育主事課程科目表から下記の単位を履修すること。

必修科目	７科目16単位
選択必修科目	４科目８単位以上
計	24単位以上

2　履修上の注意

⑴　所属するキャンパスの科目表に従って履修すること。

☞池袋キャンパス所属の学生対象科目表　310ページ
新座キャンパス所属の学生対象科目表　311ページ

⑵　履修年次は，科目表に従うこと。

⑶　複数クラス展開の「博物館概論」「図書館概論」「教育原論」「教育心理学」はそれぞれ1科目しか履修を認めない。

⑷　文学部教育学科の学生は，教育学科設置科目「教育学」をもって「教育原論」に充てることができる。ただし，在学中に他学科に転科した場合は充てることができない。

⑸「社会教育実践演習」の履修者は，「生涯学習概論１，２」の単位修得者であることが望ましい。

また，「社会教育実践演習」は「その他」登録科目なので，この科目の履修を希望する者は，以下の「オリエンテーションⅠ・Ⅱ」のいずれにも必ず出席し，その指示に従うこと。

なお，2020年度に入学した大学院学生および３年次編入学生のうち，新座キャンパス所属学生についても，2020年度・2021年度に限り，池袋キャンパス開講の「社会教育実践演習」を履修すること。

☞詳細はシラバス（Web）を参照。

「社会教育実践演習」オリエンテーション
Ⅰ　日時：2020年４月11日（土）13：25～15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）
Ⅱ　日時：2020年４月18日（土）13：25～15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）

⑹　大学院学生で学部の科目を，「社会教育に関する科目」の単位とする場合は，同科目を前期課程（修士課程）修了に必要な単位とすることはできない。

3　「社会教育士（養成課程）」称号の付与

2020年度以降入学者適用カリキュラムにおいて，必要な単位をすべて修得した者には，従来の社会教育主事任用資格に加え，新たに「社会教育士（養成課程）」の称号が付与される。

4　修了予定者調査書の提出

本課程を修了する者は，卒業（修了）年度に調査書を下記により提出すること。
なお，調査書は１月12日（火）から両キャンパスの学校・社会教育講座事務室で配布する。

【池袋キャンパス】

提出期間　2021年１月12日（火）～29日（金）
提出先　　池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室

【新座キャンパス】

提出期間	2021年1月12日（火）～29日（金）
提出先	新座キャンパス学校・社会教育講座事務室

5 修了者の発表・修了証書の授与

社会教育主事課程の所定の単位を修得した者を，３月中旬に成績参照システムにおいて発表する。

☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照

修了者には，下記のとおり修了証書を授与する。

場所はいずれも池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室。

学部卒業生／科目等履修生	2021年３月24日（水），25日（木）9：00～18：00
大学院学生	2021年３月25日（木）9：00～18：00

＊ 新座キャンパスの学生も池袋キャンパスで授与する。

大学院学生で大学院修了を待たずに社会教育主事課程修了に必要な単位をすべて修得できる場合は，大学院修了年度以前に修了証書を授与することができる。

☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照

社会教育主事課程科目表（池袋キャンパス学生対象）

2020年度以降入学者適用

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（16単位）										
ア	GX551	生涯学習概論１	山 嵜 雅 子	2	春	池袋	4	1･2･3･4	CED1000	
	GX553	生涯学習概論２	山 嵜 雅 子	2	秋	池袋		1･2･3･4	CED1000	
イ	GD401	生涯学習支援論１	髙 井　正	2	春	池袋	4	2･3･4	CED2100	
	GD402	生涯学習支援論２	髙 井　正	2	秋	池袋		2･3･4	CED2100	
ウ	GD405	社会教育経営論１	髙 井　正	2	春	池袋	4	3･4	CED3200	
	GD406	社会教育経営論２	髙 井　正	2	秋	池袋		3･4	CED3200	
オ カ	その他登録	社会教育実践演習	髙 井　正	4	通年他	池袋	4	3･4	CED3310	2 履修上の注意（5）参照
選択必修科目（８単位以上）										
エ	GD407	現代社会と社会教育	越 村 康 英	2	春	池袋	4科目8単位以上	2･3･4	CED2400	
	GD408	人権と社会教育	越 村 康 英	2	秋	池袋		2･3･4	CED2400	
	GX526	博物館概論（A）	川 口 幸 也	2	春	池袋		1･2･3･4	CEM1100	
	GX527	博物館概論（B）	川 口 幸 也	2	春	池袋				
	GX532	図書館概論（A）	中村百合子	2	春	池袋		1･2･3･4	CEL1000	
	GX533	図書館概論（B）	中村百合子	2	春	池袋				
	GX301	教育原論（A）	森 田 満 夫	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX302	教育原論（B）	小川智瑞恵	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX303	教育原論（C）	篠 原 康 正	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX304	教育原論（D）	藤 本 典 裕	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX611	教育心理学（A）	岩 瀧 大 樹	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX612	教育心理学（B）	駒 屋 雄 高	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX613	教育心理学（C）	岸　竜 馬	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX614	教育心理学（D）	野 口 隆 子	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	［文］	家庭教育論	嶽 本 新 奈	2	春	池袋		文学部の履修規定による		
	［文］	教育と福祉	金　在 根	2	秋	池袋				
	［文］	教育社会学１	秋 葉 昌 樹	2	春	池袋				
	［文］	教育社会学２	秋 葉 昌 樹	2	秋	池袋				

社会教育主事講習等規程に定められる社会教育に関する科目（※）

ア	生涯学習概論	エ	社会教育特講
イ	生涯学習支援論	オ	社会教育実習
ウ	社会教育経営論	カ	社会教育演習/社会教育実習/社会教育課題研究

社会教育主事課程科目表（新座キャンパス学生対象）

2020年度以降入学者適用

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（16単位）										
ア	HA827	生涯学習概論１	小川誠子	2	春	新座	4	1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA516			2	春	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA828	生涯学習概論２	小川誠子	2	秋	新座		1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA517			2	秋	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
イ	HA806	生涯学習支援論１	小川誠子	2	春	新座	4	1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA522			2	春	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA807	生涯学習支援論２	小川誠子	2	秋	新座		1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA523			2	秋	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
ウ	HA808	社会教育経営論１	米澤朋英	2	春	新座	4	1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA524			2	春	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA809	社会教育経営論２	米澤朋英	2	秋	新座		1･2･3･4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA525			2	秋	新座		1･2･3･4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
オ	その他登録	社会教育実践演習	髙井正	4	通年他	池袋	4	3･4	CED3310	2 履修上の注意（５）参照
カ		社会教育実践演習（N）		4		新座		3･4	CED3310	2022年度開講予定 2 履修上の注意（５）参照
選択必修科目（８単位以上）										
エ	IA025	ノーマライゼーション論	佐野竜平	2	春	新座	4科目8単位以上	1･2･3･4	CMX1110	
	IA095	福祉文化論	馬場清	2	秋	新座		1･2･3･4	CMX1110	
	IA139	高齢社会システム論	安藤孝敏	2	秋	新座		2･3･4	CMX2110	
	IB220	障害者福祉論	八重田淳	2	秋	新座		2･3･4	CMB2230	
	IB255	福祉環境論	伊藤朱子	2	春	新座		2･3･4	CMB2250	
	IB394	ボランティア論	藤井敦史	2	秋1	新座		3･4	CMB3250	
	IC115	現代コミュニティ論	阪口毅	2	春	新座		1･2･3･4	CMC1300	
	IC125	市民参加論	藤井敦史	2	春2	新座		1･2･3･4	CMC1300	
	IC380	公共哲学	権安理	2	春	新座		3･4	CMC3100	
	ID300	コミュニティスポーツ論	水上博司	2	秋	新座		3･4	CMD3790	
	HM305	発達心理学	野口隆子	2	春	新座		2･3･4	PSY2320	
	GX850	教育原論（M）	下地秀樹	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX851	教育原論（N）	東宏行	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX710	教育心理学（M）	原美香	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX711	教育心理学（N）	茂垣まどか	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	

※学部・学科が設置している科目の履修や試験に関する規定は，それぞれが定めるところによる。

社会教育主事講習等規程に定められる社会教育に関する科目（※）

ア	生涯学習概論	エ	社会教育特講
イ	生涯学習支援論	オ	社会教育実習
ウ	社会教育経営論	カ	社会教育演習/社会教育実習/社会教育課題研究

社会教育主事課程　2019年度以前入学者適用

社会教育とは，学校や家庭以外の場で，青少年から成人，高齢者まであらゆる年齢層を対象として行われる教育である。身近なところでは，キャンプや子ども会といった青少年の学校外での活動，教育委員会が開設する学級や講座，公民館や生涯学習センターを場とした自主的なグループやサークルの活動，図書館や博物館を利用した個々人の学習などに，その例をみることができる。

社会教育法は，社会教育に関する国及び地方公共団体の任務を明らかにしている。そのなかで社会教育は，「学校の教育課程として行われる教育活動を除き，主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）」と定義されている。社会教育主事は，この社会教育法に基づき都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれ，「社会教育を行う者に専門的技術的な指導・助言を与える」ことを職務とする専門的教育職員である。すなわち都道府県及び市町村の社会教育行政の中核として，地域の人々の自発的な学習活動を援助する役割を担っている。さらに近年は，関係諸機関の連携をはかり地域の生涯学習・社会教育を推進するコーディネーターとしての役割を果たすことも期待されている。

社会教育主事になるための資格を取得するには，学士の学位をもち，大学において文部科学省令で定めた「社会教育に関する科目」を修得することが必要である（詳しくは「社会教育法」を参照のこと）。この資格を有したうえで，公務員として任用され，さらに都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として任命されることによって，はじめて社会教育主事として働くことができる。本課程は，この任用資格である社会教育主事になるための資格の取得希望者に対して設置されている。将来，公務員を希望する学生には，ぜひ履修を勧めたい。

では実際に社会教育主事はどのような仕事をするのであろうか。ある現職の社会教育主事の言葉を借りて紹介しておこう。

「社会教育主事の役割は，市民自身が学ぶ力や学ぶ方法を獲得し，主体的に学習を組織し展開できるために，求めに応じて支援することと考えています。当然，支援だけではなく，市民と公務員という立場の違いをふまえての協働や，逆に市民から学んだことを行政に活かしていくということも，大切な役割です。」

生涯学習の時代といわれる今日，市民の主体的な学習を援助する社会教育主事の役割は重要である。また社会教育主事に求められる，課題を把握し企画立案する能力や調整者としての能力，コミュニケーション能力などは，職業人として活躍するうえでも，市民として地域で活動し社会に参加していくうえでも欠かせない。その意味で本課程は，社会教育の専門的職員の養成とともに，主体的学習者としての市民の育成をもねらいとしている。さまざまな学びの営みとそれを支援する活動に興味・関心をもつ学生の受講を期待する。

社会教育主事講習等規程が改正されました！

2018年２月，「社会教育主事講習等規程」が改正され，2020年４月から新課程が施行される。大学において修得すべき社会教育主事の養成に係る科目の改善が図られ，社会教育主事任用資格に加え、「社会教育士」（養成課程）の称号も付与されることになった。旧課程履修者に対する経過措置もあり，「社会教育経営論」と「生涯学習支援論」を履修すれば，「社会教育士」（養成課程）の称号も付与される。詳細については，学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

【2020年度からの主な改正点】

「社会教育計画」（４単位）が廃止され，「社会教育特講」の３つの区分がなくなり，必要単位が12単位から８単位となり，新たに「社会教育経営論」（４単位）と「生涯学習支援論」（４単位）が新設され，「社会教育実習」が必修となった。

（参考 文部科学省 http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1401933.htm）

1　社会教育主事課程修了に必要な単位数

317～320ページの社会教育主事課程科目表から下記の単位を履修すること。

必修科目	４科目８単位
選択必修科目Ａ	１科目以上４単位
選択必修科目Ｂ	２科目４単位以上
選択必修科目Ｃ	２科目以上４単位以上　＊
選択必修科目Ｄ	２科目４単位以上
計	24単位以上

＊2011年度までは１科目以上４単位以上，2012年度以降は２科目以上４単位以上。

2-1　履修上の注意【池袋キャンパス所属学生】

⑴　所属するキャンパスの科目表に従って履修すること（☞317ページ）。

⑵　履修年次は，科目表に従うこと。

⑶　2020年度より，下表のとおりカリキュラムが変更となった。

科目名	変更内容
社会教育経営論１	2020年度新設
社会教育経営論２	
生涯学習支援論１	
生涯学習支援論２	
現代社会と社会教育	
人権と社会教育	
社会教育計画１	2020年度以降廃止
社会教育計画２	
社会教育施設１	
社会教育施設２	
現代社会と社会教育１	
現代社会と社会教育２	

⑷　「社会教育経営論１，２」（計４単位）を「社会教育計画１，２」（計４単位）に読み替えることができる。１科目２単位ごとの読み替えは不可。

⑸　「生涯学習支援論１」「同２」の修得単位（各２単位）を、それぞれ選択必修科目Ｃ区分に算入することができる。

⑹　「生涯学習概論２」の先修規定を廃止する。

⑺　複数クラス展開の「博物館概論」「図書館概論」「教育原論」「教育心理学」は，それぞれ１科目しか履修を認めない。

⑻　文学部教育学科の学生は，教育学科設置科目「教育学」をもって「教育原論」に充てることができる。ただし，在学中に他学科に転科した場合は充てることができない。

⑼　「社会教育演習」の履修者は，「生涯学習概論１，２」の単位修得者であることが望ましい。また，「社会教育演習」は「その他」登録科目であるため，この科目の履修を希望する者は，以下の「オリエンテーションⅠ・Ⅱ」のいずれにも必ず出席し，その指示に従うこと。

☞詳細はシラバス（Web）を参照。

「社会教育演習」オリエンテーション

Ⅰ　日時：2020年４月11日（土）13：25～15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）

Ⅱ　日時：2020年４月18日（土）13：25～15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）

⑽ 大学院学生で学部の科目を，「社会教育に関する科目」の単位とする場合は，同科目を前期課程（修士課程）修了に必要な単位とすることはできない。

⑾ 2019年度以前に入学し，2019年度以前に社会教育主事課程の一部の科目を修得済みの者が，課程修了せずに2020年度をまたいで卒業した場合，2020年度以降に修得した社会教育主事課程の科目は，新法に読み替えることができない。注意すること。

なお，前述のケースに該当する者が，卒業後に社会教育主事任用資格ならびに社会教育士の称号を得ようとする場合は，新課程を開講している大学等において，不足単位のすべてを修得する必要がある。詳細については，学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

2-2 履修上の注意【新座キャンパス所属学生】

⑴ 所属するキャンパスの科目表に従って履修すること（☞318〜320ページ）。

⑵ 履修年次は，科目表に従うこと。

⑶ 2020年度より，下表のとおりカリキュラムが変更となった。

科目名	変更内容
社会教育経営論１	2020年度新設
社会教育経営論２	
生涯学習支援論１	
生涯学習支援論２	
社会教育計画１	2021年度以降廃止予定
社会教育計画２	
社会教育施設論１	
社会教育施設論２	

⑷ 「社会教育経営論１，２」（計４単位）を「社会教育計画１，２」（計４単位）に読み替えることができる。１科目２単位ごとの読み替えは不可。

⑸ 「生涯学習支援論１」「同２」の修得単位（各２単位）を、それぞれ選択必修科目Ｃ区分に算入することができる。

⑹ 複数クラス展開の「教育原論」「教育心理学」は，それぞれ１科目しか履修を認めない。

⑺ 「社会教育演習」の履修者は，「生涯学習概論１，２」の単位修得者であることが望ましい。また，「社会教育演習」は「その他」登録科目であるため，この科目の履修を希望する者は，以下の「オリエンテーションⅠ・Ⅱ」のいずれにも必ず出席し，その指示に従うこと。

☞詳細はシラバス（Web）を参照。

「社会教育演習」オリエンテーション
Ⅰ　日時：2020年４月11日（土）13：25〜15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）
Ⅱ　日時：2020年４月18日（土）13：25〜15：25
　　場所：7201教室（池袋キャンパス）

⑻ 大学院学生で学部の科目を，「社会教育に関する科目」の単位とする場合は，同科目を前期課程（修士課程）修了に必要な単位とすることはできない。

⑼ 2019年度以前に入学し，2019年度以前に社会教育主事課程の一部の科目を修得済みの者が，課程修了せずに2020年度をまたいで卒業した場合，2020年度以降に修得した社会教育主事課程の科目は，新法に読み替えることができない。注意すること。

なお，前述のケースに該当する者が，卒業後に社会教育主事任用資格ならびに社会教育士の称号を得ようとする場合は，新課程を開講している大学等において，不足単位のすべてを修得する必要がある。詳細については，学校・社会教育講座事務室に問い合わせること。

3 「社会教育士（養成課程）」称号の付与

2019年度以前カリキュラムにおける要件単位をすべて修得した2019年度以前入学者は、「生涯学習支援論１，２」計４単位と「社会教育経営論１，２」計４単位を修得することで、従来の社会教育主事任用資格に加え「社会教育士（養成課程）」の称号が付与される。なお、「社会教育経営論１，２」計４単位を修得した場合は、「社会教育計画１，２」を修得する必要はない。

4 修了予定者調査書の提出

本課程を修了する者は，卒業（修了）年度に調査書を下記により提出すること。
なお，調査書は１月12日（火）から両キャンパスの学校・社会教育講座事務室で配布する。

【池袋キャンパス】

提出期間	2021年１月12日（火）～29日（金）
提出先	池袋キャンパス学校・社会教育講座事務室

【新座キャンパス】

提出期間	2021年１月1 2日（火）～29日（金）
提出先	新座キャンパス学校・社会教育講座事務室

5 修了者の発表・修了証書の授与

社会教育主事課程の所定の単位を修得した者を，３月中旬に成績参照システムにおいて発表する。
☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照
修了者には，下記のとおり修了証書を授与する。
場所はいずれも池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室。

学部卒業生／科目等履修生	2021年３月24日（水），25日（木）9：00～18：00
大学院学生	2021年３月25日（木）9：00～18：00

＊ 新座キャンパスの学生も池袋キャンパスで授与する。

大学院学生で大学院修了を待たずに社会教育主事課程修了に必要な単位をすべて修得できる場合は，大学院修了年度以前に修了証書を授与することができる。
☞「Ⅷ 修了に関すること」1 修了者の発表 参照

社会教育主事課程科目表（池袋キャンパス学生対象）

2019年度以前入学者適用

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（８単位）										
ア	GX551	生涯学習概論１	山嵜 雅子	2	春	池袋	4	1･2･3･4	CED1000	
	GX553	生涯学習概論２	山嵜 雅子	2	秋	池袋		1･2･3･4	CED1000	2-1 履修上の注意（６）参照
イ	GD455	社会教育経営論１	髙井 正	2	春	池袋	4	3･4	CED3100	読替え 「社会教育計画１」および「社会教育計画２」
	GD456	社会教育経営論２	髙井 正	2	秋	池袋		3･4	CED3100	2-1 履修上の注意（４）参照
	廃止	社会教育計画１		2				3･4		2020年度以降廃止
	廃止	社会教育計画２		2				3･4		2020年度以降廃止
選択必修科目Ａ（４単位）										
ウ	その他登録	社会教育演習	髙井 正	4	通年他	池袋	4	3･4	CED3210	2-1 履修上の注意（９）参照
	［文］	演習Ｊ１	秋葉昌樹	2	春	池袋		文学部の履修規定による		
	［文］	演習Ｊ２	秋葉昌樹	2	秋	池袋				
	［文］	演習Ｊ３	和田 悠	2	春	池袋				
	［文］	演習Ｊ４	和田 悠	2	秋	池袋				
選択必修科目Ｂ（４単位以上）										
エ	GD457	現代社会と社会教育	越村康英	2	春	池袋	2科目4単位以上	2･3･4	CED2300	
	GD458	人権と社会教育	越村康英	2	秋	池袋		2･3･4	CED2300	
	廃止	現代社会と社会教育１		2				2･3･4		2020年度以降廃止
	廃止	現代社会と社会教育２		2				2･3･4		2020年度以降廃止
	［文］	家庭教育論	嶽本新奈	2	春	池袋		文学部の履修規定による		
	［文］	教育と福祉	金 在根	2	秋	池袋				
選択必修科目Ｃ（４単位以上）										
オ	GD451	生涯学習支援論１	髙井 正	2	春	池袋	2科目4単位以上	2･3･4	CED2400	2-1 履修上の注意（５）参照
	GD452	生涯学習支援論２	髙井 正	2	秋	池袋		2･3･4	CED2400	
	廃止	社会教育施設１		2				2･3･4		2020年度以降廃止
	廃止	社会教育施設２		2				2･3･4		2020年度以降廃止
	GX526	博物館概論（Ａ）	川口幸也	2	春	池袋		1･2･3･4	CEM1100	
	GX527	博物館概論（Ｂ）	川口幸也	2	春	池袋				
	GX532	図書館概論（Ａ）	中村百合子	2	春	池袋		1･2･3･4	CEL1000	
	GX533	図書館概論（Ｂ）	中村百合子	2	春	池袋				
選択必修科目Ｄ（４単位以上）										
カ	GX301	教育原論（Ａ）	森田満夫	2	春	池袋	2科目4単位以上	1･2･3･4	CET1100	
	GX302	教育原論（Ｂ）	小川智瑞恵	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX303	教育原論（Ｃ）	篠原康正	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX304	教育原論（Ｄ）	藤本典裕	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX850	教育原論（Ｍ）	下地秀樹	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX851	教育原論（Ｎ）	東 宏行	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX611	教育心理学（Ａ）	岩瀧大樹	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX612	教育心理学（Ｂ）	駒屋雄高	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX613	教育心理学（Ｃ）	岸 竜馬	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX614	教育心理学（Ｄ）	野口隆子	2	春	池袋		1･2･3･4	CET1100	
	GX710	教育心理学（Ｍ）	原 美香	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	GX711	教育心理学（Ｎ）	茂垣まどか	2	春	新座		1･2･3･4	CET1100	
	［文］	教育社会学１	秋葉昌樹	2	秋	池袋		文学部の履修規定による		
	［文］	教育社会学２	秋葉昌樹	2	秋	池袋				

社会教育主事講習等規程に定められる社会教育に関する科目（※）

ア	生涯学習概論		エ	社会教育特講Ⅰ　現代社会と社会教育
イ	社会教育計画		オ	社会教育特講Ⅱ　社会教育活動・事業・施設
ウ	社会教育演習/実習		カ	社会教育特講Ⅲ　その他必要な科目

社会教育主事課程科目表（新座キャンパス学生対象）

2019年度以前入学者適用

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
必修科目（8単位）										
ア	HA827	生涯学習概論1	小川誠子	2	春	新座	4	1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA516			2	春	新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HX271			2	春	新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象
	HA828	生涯学習概論2	小川誠子	2	秋	新座		1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA517			2	秋	新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HX272			2	秋	新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象
イ	HA808	社会教育経営論1	米澤朋英	2	春	新座	4	1·2·3·4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象 読替え「社会教育計画1」および「社会教育計画2」
	IA524			2	春	新座		1·2·3·4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA809	社会教育経営論2	米澤朋英	2	秋	新座		1·2·3·4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象 2-2 履修上の注意（4）参照
	IA525			2	秋	新座		1·2·3·4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA831	社会教育計画1		2		新座		1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	IA520			2		新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HX291			2		新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HA832	社会教育計画2		2		新座		1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	IA521			2		新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HX292			2		新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
選択必修科目A（4単位）										
ウ	その他登録	社会教育演習	髙井　正	4	通年他	池袋	4	3·4	CED3210	2-2 履修上の注意（7）参照
	［観］	演習（2年）A	専任教員ほか	2	春	新座		2	TRM2003	観光学部学生のみ履修可
	［観］	演習（2年）B	専任教員ほか	2	秋	新座		2	TRM2003	
	［コミ］	基礎演習	専任教員	2	春	新座		1	CMB1390	福祉学科学生のみ適用
	［コミ］	社会福祉入門演習	専任教員	2	秋	新座		1	CMB1140	2016年度以降入学者対象 福祉学科学生のみ適用
	［コミ］	福祉ワークショップ	専任教員ほか	2	春	新座		2	CMB2310	福祉学科学生のみ履修可
	［コミ］	フィールドスタディ	専任教員	4	通年	新座		2	CMC2010	コミュニティ政策学科学生のみ履修可
	［コミ］	スポーツウエルネスワークショップA	専任教員	2	秋	新座		1	CMD1900	2016年度以降入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可
	［コミ］	スポーツウエルネスワークショップB	専任教員	2	春	新座		2	CMD2900	2016年度以降入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可
	［コミ］	スポーツウエルネスワークショップC	専任教員	2	秋	新座		2	CMD2900	2016年度以降入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可
	［コミ］	スポーツウエルネスワークショップ1	専任教員	2	春	新座		2	−	2012～2015年度入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可
	［コミ］	スポーツウエルネスワークショップ2	専任教員	2	秋	新座		2	−	2012～2015年度入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可
	廃止	スポーツウエルネスワークショップ		4				2		2011年度以前入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可 2018年度以降廃止

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
選択必修科目B（4単位以上）										
エ	IA151	家族社会学	永山聡子	2	春	新座	2科目4単位以上	2·3·4	CMX2110	
	IA139	高齢社会システム論	安藤孝敏	2	秋	新座		2·3·4	CMX2110	2016年度以降入学者対象
	IA137	老年学	安藤孝敏	2	秋	新座		2·3·4	−	2015年度以前入学者対象
	IB255	福祉環境論	伊藤朱子	2	春	新座		2·3·4	CMB2250	
	IC115	現代コミュニティ論	阪口　毅	2	春	新座		1·2·3·4	CMC1300	
選択必修科目C（4単位以上）										
オ	HA806	生涯学習支援論1	小川誠子	2	春	新座	4	1·2·3·4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA522			2	春	新座		1·2·3·4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA807	生涯学習支援論2	小川誠子	2	秋	新座		1·2·3·4	TRM1200	コミュニティ福祉学部以外の学生対象
	IA523			2	秋	新座		1·2·3·4	CMX1680	コミュニティ福祉学部学生のみ履修可
	HA829	社会教育施設論1		2		新座	2科目4単位以上	1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	IA518			2		新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HX281			2		新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HA830	社会教育施設論2		2		新座		1·2·3·4	TRM1200	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部以外の学生対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	IA519			2		新座		1·2·3·4	CMX1680	2016年度以降入学者対象 コミュニティ福祉学部学生のみ履修可 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	HX282			2		新座		1·2·3·4	−	2015年度以前入学者対象 2020年度休講 2021年度以降廃止予定
	IA070	ウエルネス福祉論	濁川孝志	2	春	新座		1·2·3·4	CMX1310	
	IB293	社会福祉援助技術論3	諏訪茂樹	2	秋	新座		2·3·4	CMB2110	2012年度以降入学者対象
	廃止	グループワーク		2				2·3·4		2011年度以前入学者対象 スポーツウエルネス学科以外の学生対象 2018年度以降廃止
	廃止	グループワーク		2				2·3·4		2011年度以前入学者対象 スポーツウエルネス学科学生のみ履修可 2018年度以降廃止
	IB294	社会福祉援助技術論4	飯村史恵	2	秋	新座		2·3·4	CMB2110	2012年度以降入学者対象
	廃止	コミュニティワーク		2				2·3·4		2011年度以前入学者対象 2018年度以降廃止
選択必修科目D（4単位以上）										
カ	GX301	教育原論（A）	森田満夫	2	春	池袋	2科目4単位以上	1·2·3·4	CET1100	
	GX302	教育原論（B）	小川智瑞恵	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX303	教育原論（C）	篠原康正	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX304	教育原論（D）	藤本典裕	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX850	教育原論（M）	下地秀樹	2	春	新座		1·2·3·4	CET1100	
	GX851	教育原論（N）	東　宏行	2	春	新座		1·2·3·4	CET1100	
	GX611	教育心理学（A）	岩瀧大樹	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX612	教育心理学（B）	駒屋雄高	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX613	教育心理学（C）	岸　竜馬	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX614	教育心理学（D）	野口隆子	2	春	池袋		1·2·3·4	CET1100	
	GX710	教育心理学（M）	原　美香	2	春	新座		1·2·3·4	CET1100	
	GX711	教育心理学（N）	茂垣まどか	2	春	新座		1·2·3·4	CET1100	
	IB021	現代社会と福祉1	後藤広史	2	春	新座		1·2·3·4	CMB1230	2012年度以降入学者対象
	廃止	福祉学入門		2				1·2·3·4		2011年度以前入学者対象 2018年度以降廃止
	IC295	福祉心理学入門	久保田美法	2	春	新座		2·3·4	CMC2100	2012年度以降入学者対象

2-2 履修上の注意（5）参照

法規上の科目系列（※）	科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	開講キャンパス	必要単位数	配当年次	科目ナンバリング	備考
カ	廃止	福祉カウンセリング入門		2			2科目4単位以上	2·3·4		2011年度以前入学者対象 2018年度以降廃止
	HM305	発達心理学	野口隆子	2	春	新座		2·3·4	PSY2320	
	HM408	消費者心理学	碇　朋子	2	春	新座		2·3·4	PSY2320	
	HT114	養生論の思想	加藤千恵	2	春	新座		2·3·4	BEC2220	
	HN425	ジェンダー文化論	田崎英明	2	春	新座		2·3·4	BEC2220	
	廃止	スポーツ文化論		2				2·3·4		2016年度以降廃止

※学部・学科が設置している科目の履修や試験に関する規定は，それぞれが定めるところによる。

社会教育主事講習等規程に定められる社会教育に関する科目（※）

ア	生涯学習概論	エ	社会教育特講Ⅰ　現代社会と社会教育
イ	社会教育計画	オ	社会教育特講Ⅱ　社会教育活動・事業・施設
ウ	社会教育演習/実習	カ	社会教育特講Ⅲ　その他必要な科目

個人情報保護

プライバシーポリシー

各種案内

1　大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置
2　地震発生時の心得
3　台風の接近が予想される場合の措置
4　授業中にJアラートが作動した場合（弾道ミサイル発射時）の対応
5　緊急連絡システムについて

案内図

池袋キャンパス構内案内図／教室案内図
新座キャンパス交通案内図／構内案内図／教室案内図

学校・社会教育講座案内

※最新の情報は，R Guideで確認すること。

プライバシーポリシー

立教大学における個人情報の取扱について

最終更新日　2020年４月１日

〈個人情報に関する基本的な考え方〉
立教大学（以下「大学」という。）では，個人情報保護の重要性を認識し，その適切な管理を行うことが重要な社会的責務であると考えています。個人情報に関する法令等を遵守すると共に，「立教大学個人情報保護規程」に基づいた，以下のプライバシーポリシーに従って個人情報の保護に努めております。

１．個人情報とは
現在大学に在籍している，及び過去において在籍した学生，大学院学生，受験生，保証人，教職員等に関する情報であって，個人が識別されるものをいいます。

２．個人情報の収集について
個人情報は適正かつ公正な手段によって収集し，不正な手段によっては情報を収集しません。また，収集にあたっては，自明の場合を除き，その利用目的を明らかにします。

３．個人情報の利用目的
大学の正課・正課外等教育研究活動及びそれに付随する必要なサービスの提供並びに校務のために利用します。より具体的な利用目的は，別表に定める他，情報収集の際に明示します。

４．情報の提供について
大学では，以下の場合を除き，情報を外部に提供することはありません。
⑴　大学の業務に必要不可欠な場合
⑵　情報主体が同意している場合
⑶　法令による場合
⑷　情報主体の身体・生命等を保護するため，緊急かつ止むを得ない場合
⑸　情報の同一性確認を求める公的機関からの依頼がある場合
⑹　学術研究に利用する場合

５．情報の管理方法
立教大学では，個人情報を正確，最新のものにするよう適切な措置を講じています。 また，個人情報の漏洩，紛失，誤用，改ざん，不正アクセス等を防止するための合理的な保護措置をとっています。
業務委託，事業継承及び共同利用にあたっては，機密保持条項を含む契約を締結し，委託先に対し，情報に関する厳重管理を求め，目的以外の利用を行わせないようにしています。
なお，上記の保護措置及び管理措置を実施するために，大学に「個人情報保護統括管理責任者」及び各部局・部署等に「個人情報管理責任者，個人情報取扱責任者」を定めています。

６．情報の開示・訂正
個人情報の開示は，「立教大学個人情報保護規程，同施行細則」に基づいて行われます。個人情報の内容に誤りがあった場合には速やかに訂正いたします。

７．不服の申し立て
大学の個人情報の取扱いについて不服がある場合は，「個人情報保護審査会」に申し立てることができます。個人情報保護審査会への申し立ては大学の主要窓口で受付いたします。

別表（「３．個人情報の利用目的」関係）

利用区分	利用業務
教育研究	１　入学関係（出願・入学手続） ２　学籍関係（学生証交付，名簿作成等の学籍管理，休学・復学・退学等の諸手続き等） ３　授業関係（履修相談，履修登録・通知，授業・実習・試験運営，成績処理・通知＊１・管理，学修効果確認，卒業判定，学位記授与等々） ４　各種証明書等の発行 ５　図書館の利用及び各種図書館サービスの提供 ６　教学に関わる調査・統計資料作成＊２ ７　学術研究に関わる調査＊３・統計資料作成＊２ ８　実習関係（教育実習，介護等体験，博物館実習，図書館実習等） ９　教員免許状申請 10　大学内への掲示等による大学各部局からの連絡・問い合わせ 11　卒業後の学籍・成績関係情報の在籍記録保存，各種証明書等作成・発行
教育学術交流・留学等支援	１　他大学・大学院との単位互換制度関係（国の内外を問わない） ２　学生からの申し込みを受けて行う留学のための各種アテンド ３　海外文化研修・海外語学研修，学部単位の留学制度を利用する学生の派遣及び受入の準備のための情報授受 ４　学生および保証人に送付する各種関係書類の発送 ５　学生および保証人に対し当該プログラム実施の為に行う連絡・問合せ ６　学生が希望する，私費外国人留学生奨学金の選考結果を利用する学内外の奨学金選考及び推薦資料の作成等に関する事務
学生生活支援	１　学生生活全般の指導・助言 ２　学生対象の各種福利厚生業務（奨学金・学生健康保険互助組合・留学生総合住宅補償・学生食堂・ アルバイト紹介・部屋紹介・遺失物・臨時託児所等） ３　学生団体及び個人の課外活動支援 (クラブ・サークル活動，キャンプ等) ４　学生生活支援（相談業務，オリエンテーション，課外教育プログラム，遺失物対応等） ５　学生生活に係る調査・統計資料作成＊２ ６　大学の教育活動への協力依頼(入試業務，ハンドブック作成等) ７　学生の保険加入及び異動管理＊４
キャリア支援	１　進路・就職支援等の相談
情報・通信	１　Ｖ - Campus等各種情報サービスの提供 ２　学内コンピュータ施設利用時の利用者認証及び利用者に応じたログオン環境の提供
財務	１　学費納付のための業務 ２　経理処理上必要な手続き（内容確認及び証憑書類としての照合） ３　給与等の振込口座登録
人事・福利厚生	１　勤務員の人事管理 ２　給与の支給等，税・社会保険納付，福利厚生 ３　各種調査・統計資料作成＊２ ４　立教学院年金諸事務
保健・診療	１　診療所における診療関連業務 ２　診療所における日本医師会が医療機関に定める個人情報の利用 ３　診療所における学生健康保険互助組合加入者が補助を受ける場合の学生健康保険互助組合への請求 ４　保健室における救急対応 ５　保健室における健康診断を含む健康相談等の健康管理 ６　保健室における利用者が立教学院診療所利用時において必要なサービスを受けるための連携業務 ７　保健室における他部局からの健康診断受診状況照会への回答 ８　保健室における他部局からの健康診断証明書発行可否照会への回答
広報・発信	１　卒業後の本学及び校友会に関する情報提供＊５ ２　保証人への季刊誌の送付 ３　保証人への教育懇談会開催通知 ４　寄付に関するお知らせの送付

＊１　入学時に提出いただいた同意書に基づき，学生本人（大学院学生含む。以下同じ）の学修効果の確認，休学・復学・退学等の確認のため，大学に届け出ている保証人に，個人情報を提供します。ただし，満年齢が 20 歳に達した学生については，保証人への情報提供を行わない場合があります。情報の提供を希望しない学生は，教務関係窓口※にその旨申し出てください。
＊２　統計資料の作成に際しては，個人情報が特定できない形での数値化等の加工をした上で行います。
＊３　学術上の調査・研究にかかわると判断できる場合で，当該情報が生存する個人の個人情報に関係しないと判断できるときは，教務部内規により故人の個人情報を開示することがあります。
＊４　保険加入に際し，学外機関への個人情報の提供が必要な場合は，学生本人にその旨をお知らせし，同意を得て行います。
＊５　大学を通じた校友会関係情報の送付については，在学時は教務関係窓口※，卒業後は校友会関係窓口※で変更することができます。

※各窓口の担当部署
教務関係窓口…教務事務センター，独立研究科事務室
校友会関係窓口…渉外課

1　大規模地震の警戒宣言が発令された場合の措置

大学は，大規模な地震の発生が予想され，大規模地震対策特別措置法に基づき地震防災対策強化地域判定会の招集が確認された場合には，授業を休講とし，次の措置をとります。

1．在宅中および通学途中の者は，登校を中止してください。
2．在学中の者は，大学からの連絡及び指示に従ってください。
3．警戒宣言解除後の授業の再開については，以下のとおりとします。
⑴　警戒宣言が午前５時までに解除された場合は，平常どおり授業を行います。
⑵　警戒宣言が午前９時までに解除された場合は，午前中の授業を休講とし，午後からの授業を行います。
⑶　警戒宣言が午前９時までに解除されない場合は，当日の授業を全日休講とします。なお，全日休講の場合は，大学の諸業務（窓口業務を含む）を行いません。

注：地震防災対策強化地域判定会
大規模地震対策特別措置法第３条１項に規定する地震防災対策強化地域に係る大規模な地震の発生のおそれに関する判定を行うために，気象庁長官の要請によって招集される判定会をいう。

2　地震発生時の心得

建物は大きな地震にも耐えられる構造となっています。震災が発生した場合は次の事項に注意し，安全確認したうえで冷静に避難してください。

1．地震が起きたら，すぐに外へ飛び出すことは危険です。慌てず指示があるまで教室内で待機するとともに，頭上からの落下物等に対して，頭を守る等の対応をして下さい。
・机の下などに身を伏せ，しばらく様子を見て下さい。
・固定してない机の下に身を隠す場合は，机の足をしっかり握ってください。
・頭上からの落下物（蛍光灯・窓ガラスなど）に注意し，上着その他のもので頭をおおってください。
2．火災により被害は倍増します。初期消火にできるだけ協力してください。
3．避難の際は，ブロック塀の倒壊や商店の看板落下などに特に注意してください。
4．本学院の小・中・高校生も同時に避難することになりますので，避難・救出に協力し，安全地帯を早く確認してください。
5．交通機関の不通により，帰宅できないときは，本学の避難場所に於て，状況の判明するまで待機してください。
6．本学の避難場所は建物内および構内空地（瓦やガラスなどの落下物に注意）です。
7．学内の非常放送により連絡することもありますので注意してください。
8．教職員や消防士などの指示に従ってください。

3　台風の接近が予想される場合の措置

台風の接近等により，授業を平常通り行うことができないと判断した場合は，休講などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については，掲示，立教大学Webサイト，SPIRITトップページ「お知らせ」等または電話で確認してください。

立教大学Webサイト
https://www.rikkyo.ac.jp/

SPIRITトップページ「お知らせ」
https://spirit.rikkyo.ac.jp/

＊　試験期間についても上記と同様の措置をとることがあります。
＊　大学の窓口業務，諸施設の利用については，各主管部局のWebサイトおよび掲示でお知らせします。

4　授業中にＪアラートが作動した場合（弾道ミサイル発射時）の対応

授業中のキャンパスが警戒対象となった場合，身の安全確保を第一に行動してください。なお，大学からは避難行動等の混乱による事故防止を主目的として，直ちに一斉放送を行います。

なお，放送時間は，池袋キャンパス・新座キャンパス共に，①授業期間中の月～土及び祝日授業日は８：30～22：00，②休日及び休業期間中は８：30～19：00とします。

《参考》
内閣官房国民保護ポータルサイト　http://www.kokuminhogo.go.jp/

5　緊急連絡システムについて

1．緊急連絡システム

（**※本システムは本学学生および専任教職員を対象としています。**）

緊急連絡システムとは，大規模地震が発生した際に，大学から自動的にみなさんの携帯電話等のメールアドレス宛てにメールを送信し，みなさんの安否を確認するシステムです。送信する宛先は，入学時または履修登録時に届け出ていただいたアドレスですが，在学中に変更した場合は，必ず教務関係窓口（教務事務センター〈池袋〉，教務事務センター〈新座〉，独立研究科事務室，セカンドステージ大学事務室）に届け出てください（教職員は人事部人事課に届け出てください）。

なお，この緊急連絡システムが正常に機能するかを確認するために，年１～２回のテストを実施します。

また，この緊急連絡システムを利用して，緊急時の全学休講など重要なお知らせをすることもあります。

2．連絡方法

大規模地震が発生したら，次のいずれかの方法で安否の状況を大学に報告してください（下図参照）。

携帯電話等が使用可能な場合

みなさんの携帯電話等に送られてきた大学からのメールに返信してください。

携帯電話等が使用できない場合

●キャンパス内または周辺にいる場合……

防災のしおりの巻末にある「安否確認カード」を池袋キャンパス警備室，新座キャンパス門衛所に設置された「安否確認投入箱」に投函してください。

●キャンパス外にいる場合……

下記の「大規模災害時の大学内主要連絡先」に電話連絡してください（郵送も可）。

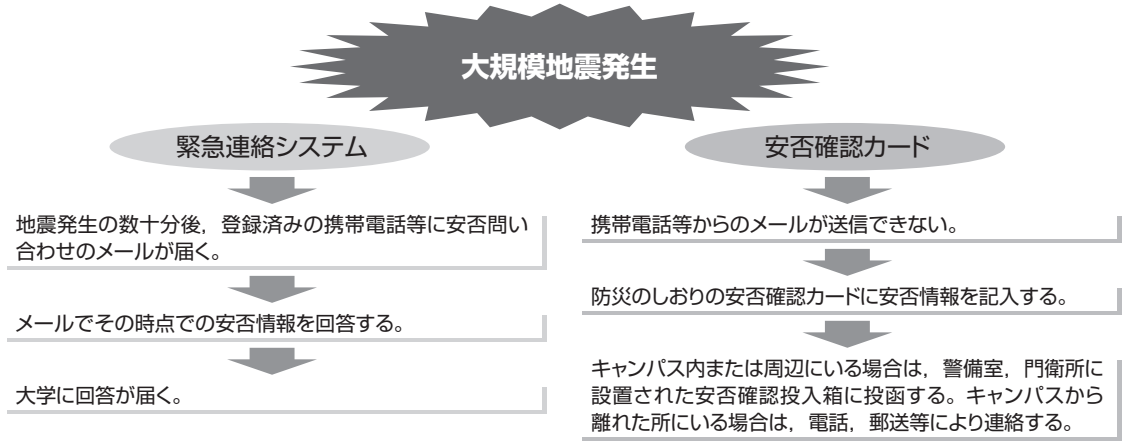
池袋キャンパス　東京都豊島区西池袋3-34-1

総務部総務課……03-3985-2253
学生部……03-3985-2437
警備室（24時間）……03-3985-2288

新座キャンパス　埼玉県新座市北野1-2-26

総務部（新座）……048-471-6674
学生部……048-471-6673
新座キャンパス門衛所（24時間）……048-471-6600

安否確認方法の流れ



【災害時伝言板サービス】

携帯電話各社では「災害時伝言板サービス」の利用ができます。災害発生時に家族との連絡がとれるように準備しておくことをお勧めします。

※利用についての詳細は各社のホームページをご覧ください。

※毎月1日や防災週間等に体験版の利用ができます。

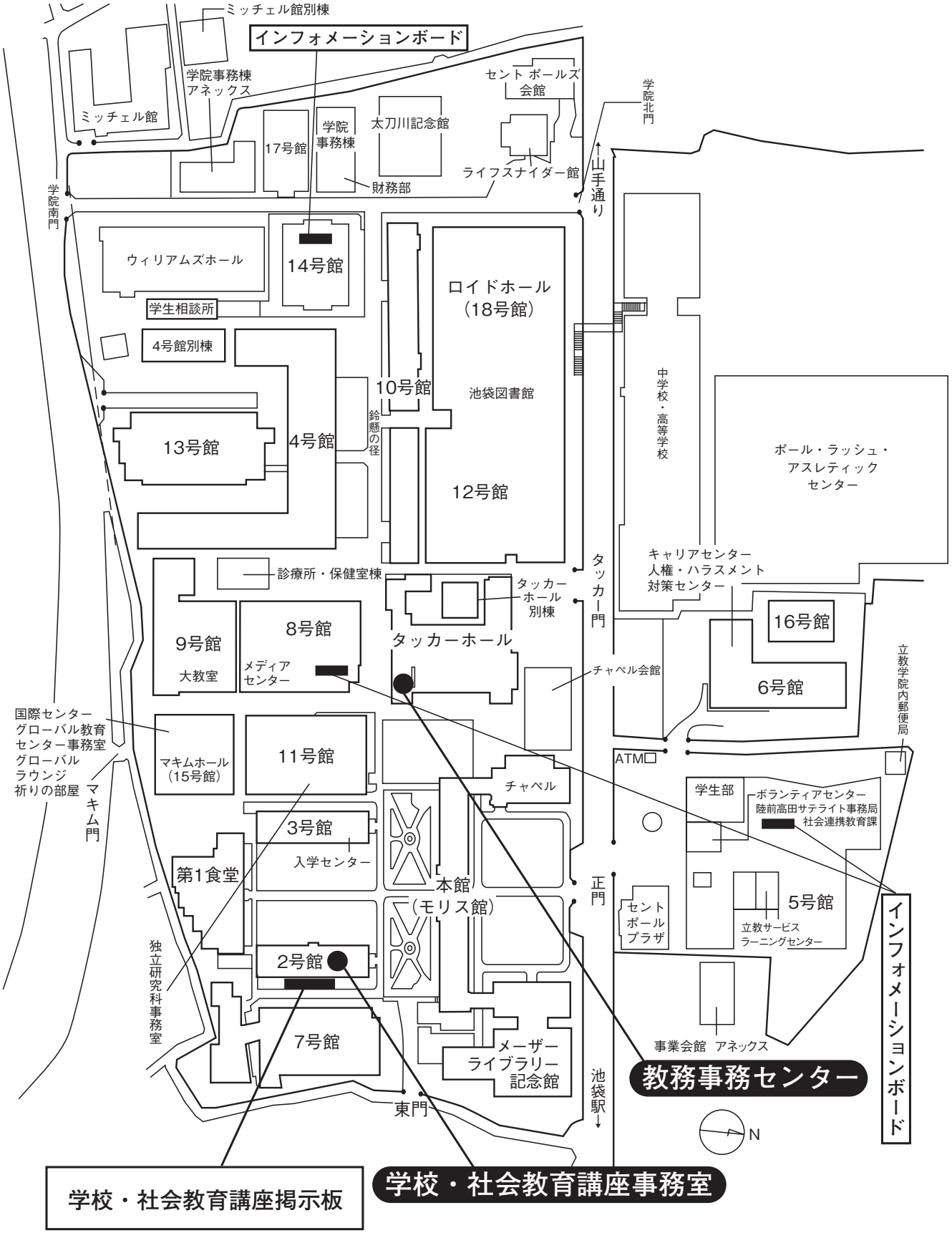
●NTT　docomo
https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/

●au
https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/

●SoftBank
http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/

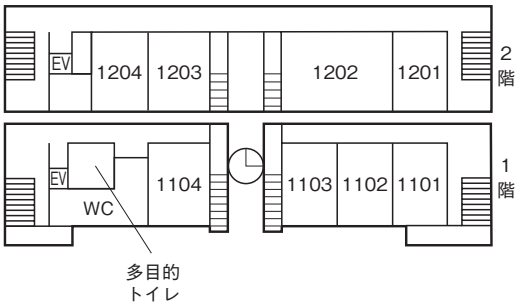
●Y!mobile
http://www.ymobile.jp/service/dengon/

池袋キャンパス構内案内図

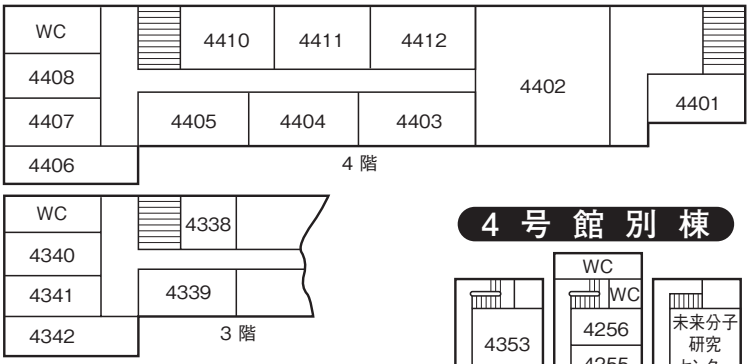


池袋キャンパス教室案内図

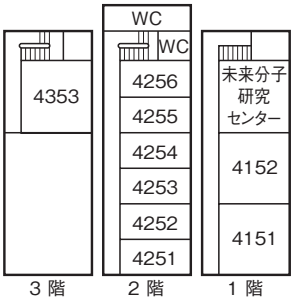
本館



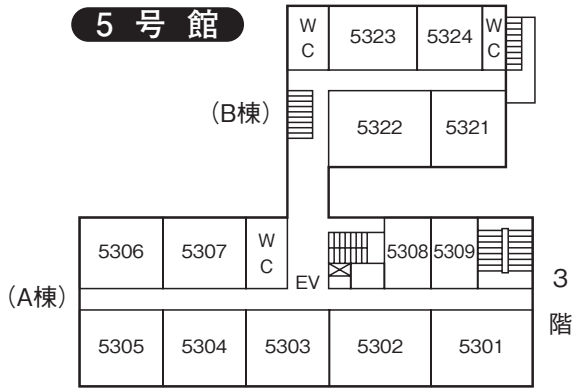
4 号 館

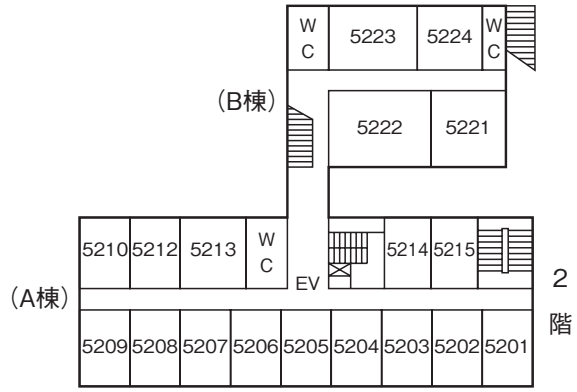


4 号 館 別 棟

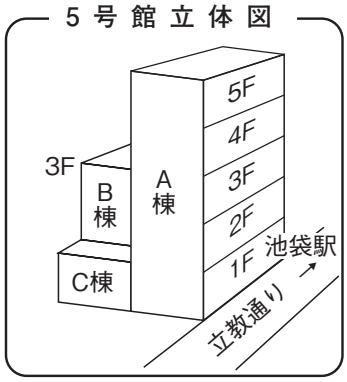


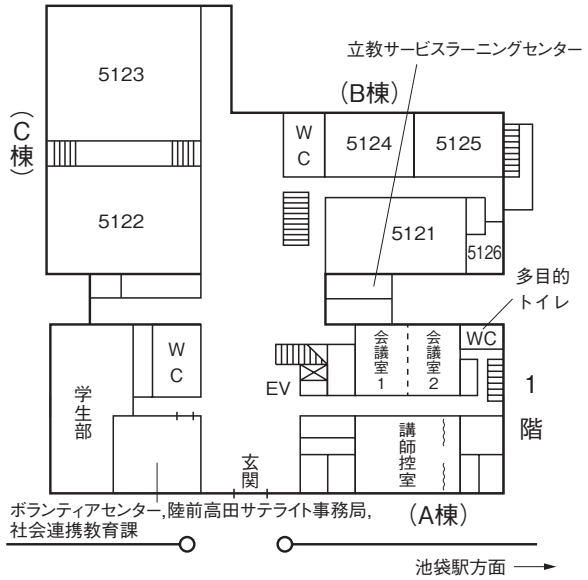
5 号 館



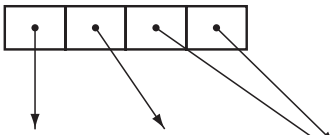


5 号 館 立 体 図





教室番号の見方

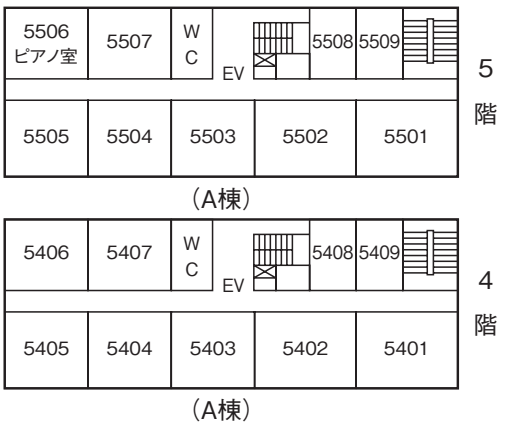


号館を示す。　階を示す。
ただし　1…本館
X…10号館
A…11号館
D…14号館
M…マキムホール（15号館）
S…事業会館　アネックス
P…ポール・ラッシュ・アスレティックセンター

その階の東南隅の教室を01として右廻りの順に番号を与える。

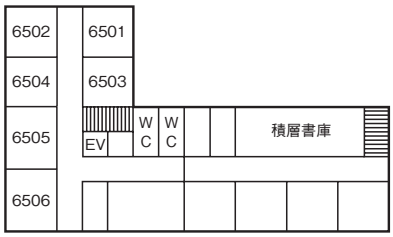
5号館 B棟 C棟について20番台で表示する。

（例……5323→5号館3階B棟）

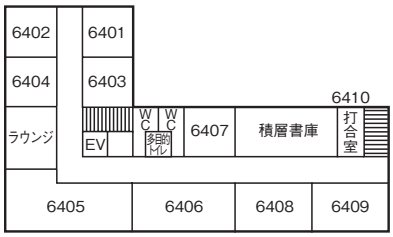


6 号 館

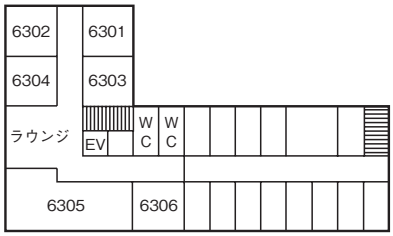
5 階



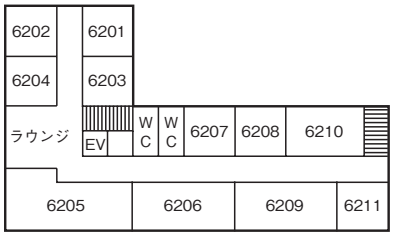
4 階



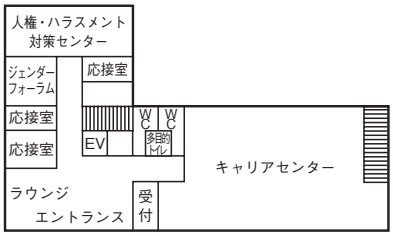
3 階



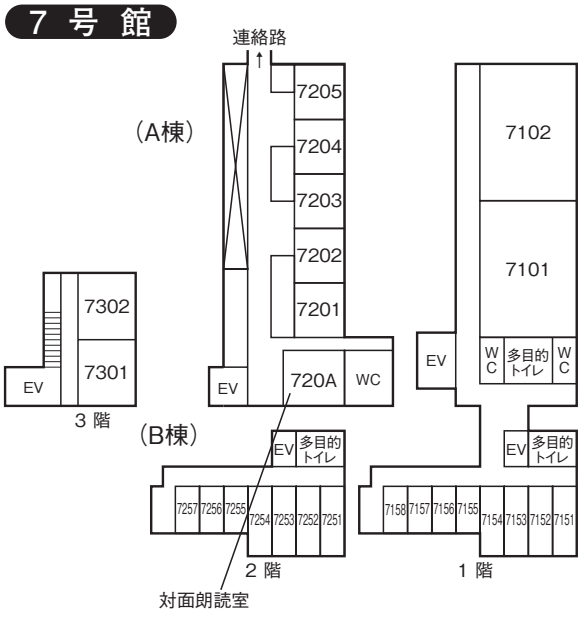
2 階



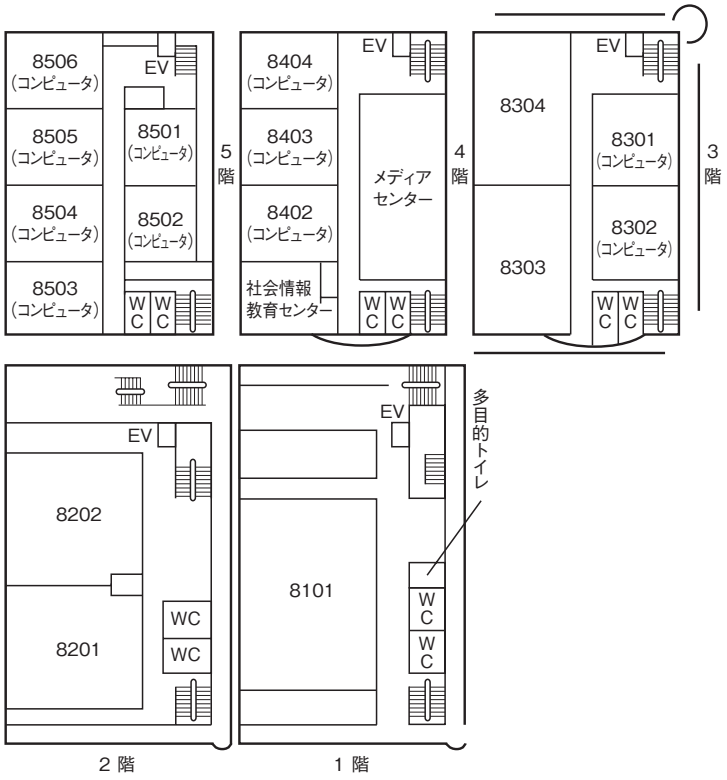
1 階



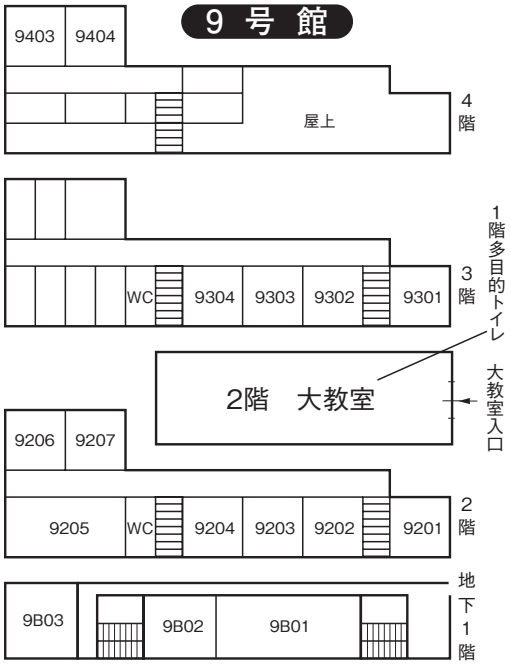
7 号 館



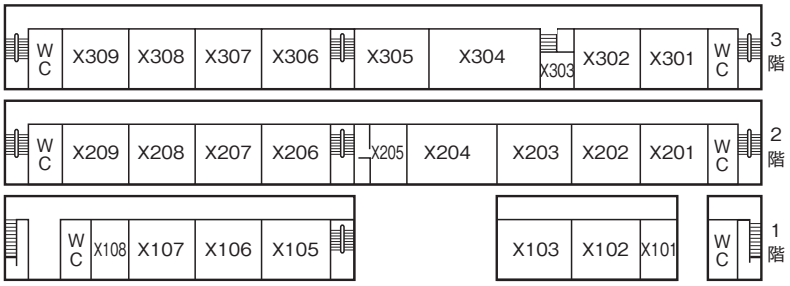
8 号 館



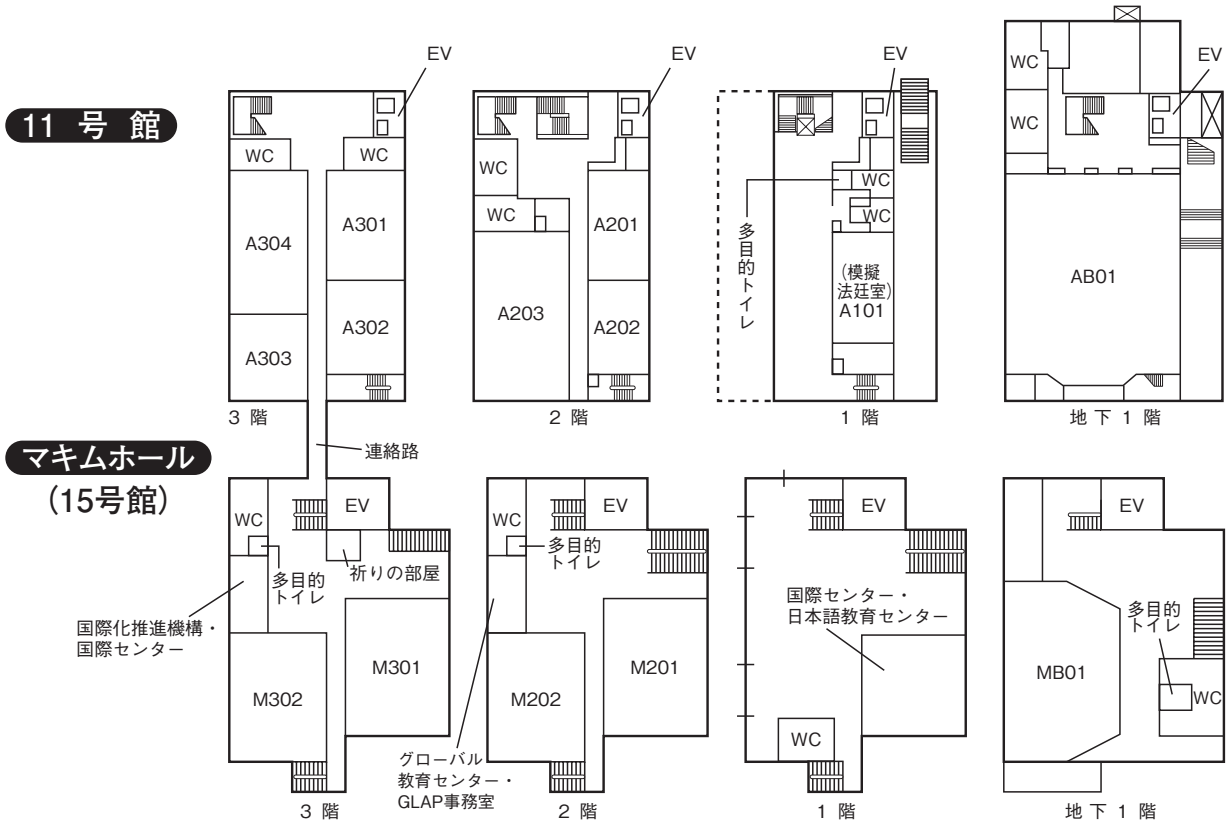
9 号 館



10 号 館

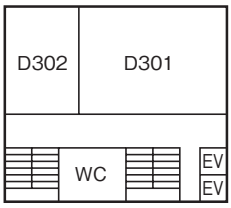


11 号 館

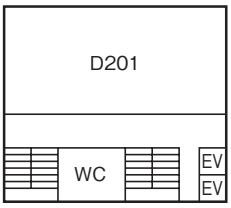


マキムホール
(15号館)

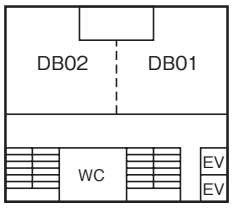
14 号 館



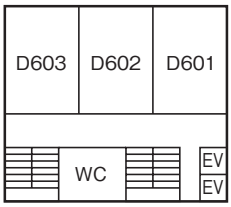
3 階



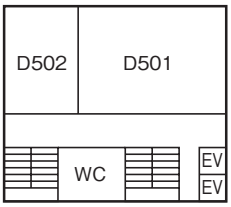
2 階



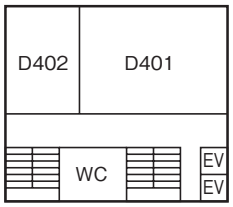
地下 1 階



6 階

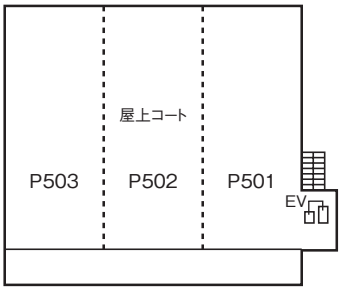


5 階

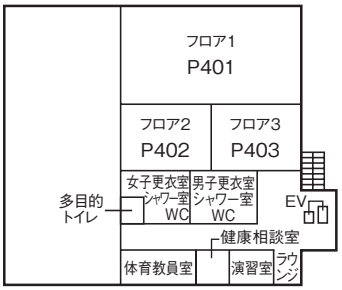


4 階

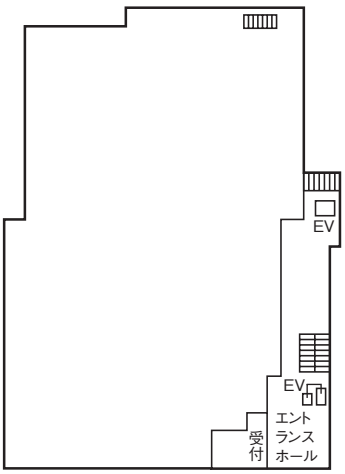
ポール・ラッシュ・アスレティックセンター



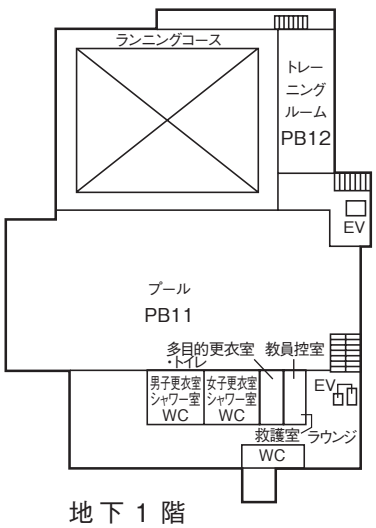
5 階



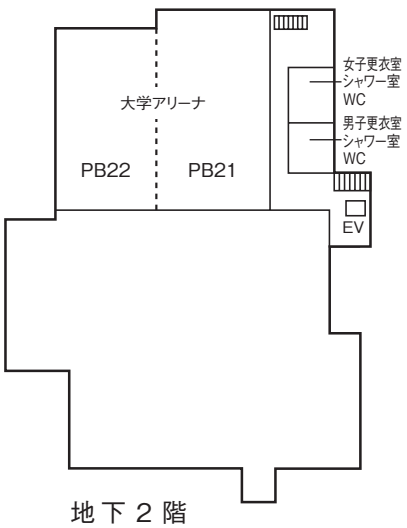
4 階



1 階



地下 1 階



地下 2 階

新座キャンパス構内案内図・交通案内図

■東武東上線利用【志木駅】

池袋ー志木　所要時間（標準）　急行 約20分　準急 23分
＊急行・準急は昼間はおよそ10～15分間隔で運転

（1）志木駅東口スクールバス（無料）利用
（2020年11月より南口駅前広場に移転予定）
乗車時間約10分
運行時間12:55～22:00※

（2）志木駅南口西武バス利用
清瀬駅北口行き（2番乗場）
所沢駅東口行き（　〃　）
｝「立教前」下車　乗車時間約10分

（3）徒歩
志木駅南口ー正門　所要時間約15分

※スクールバスの運行情報
http://www.rikkyo.ac.jp/access/niiza/schoolbus/

■JR武蔵野線利用【新座駅】

（1）新座駅南口スクールバス（無料）利用
乗車時間約10分
運行時間7:30～22:00※
（西武バス3番乗場付近）

（2）新座駅南口西武バス利用
志木駅南口（北野入口経由）行き（1番乗場）
「立教前」下車　乗車時間約10分

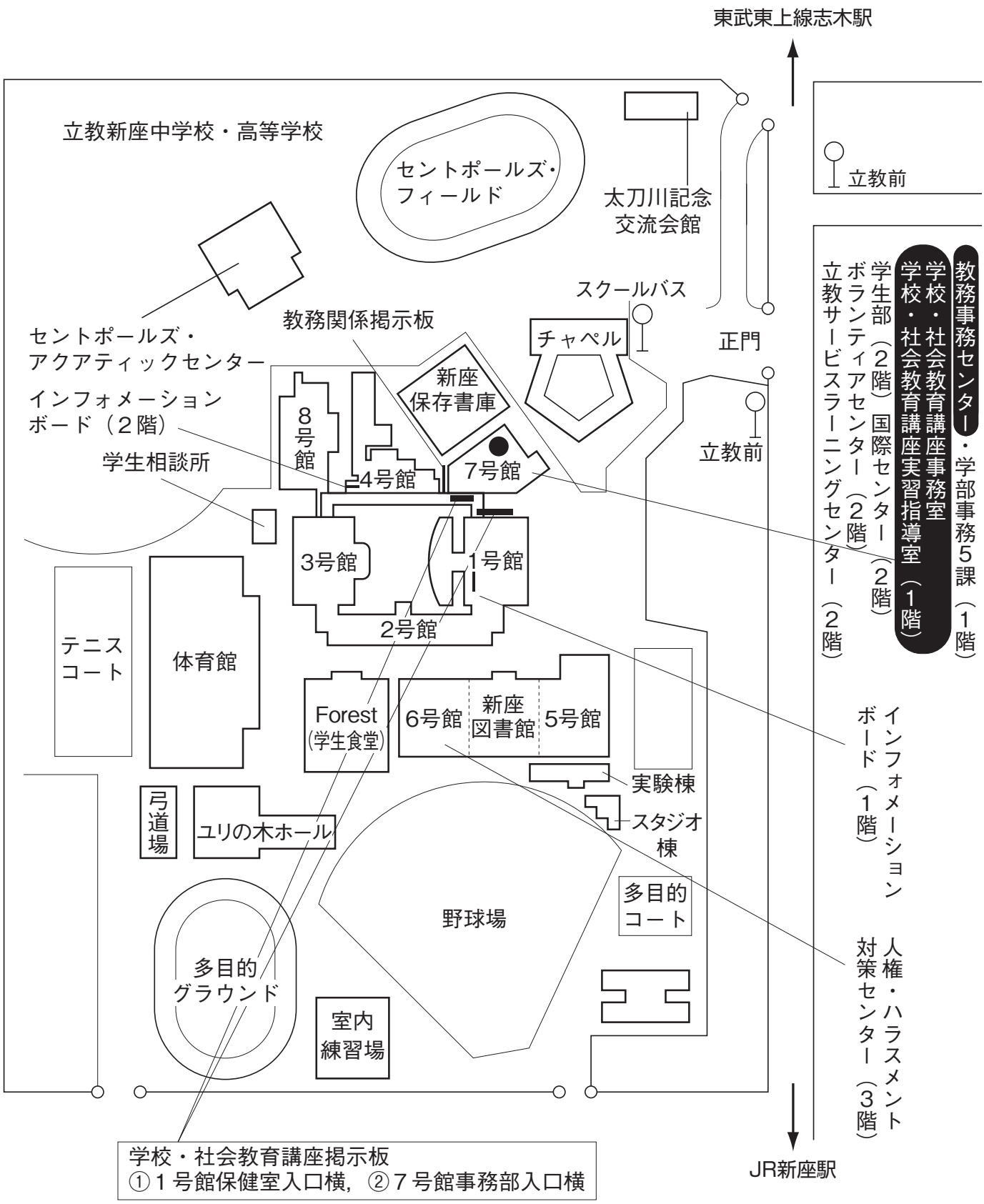
（3）徒歩
新座駅ー正門　所要時間約25分

■西武池袋線利用【清瀬駅】

清瀬駅北口西武バス利用
志木駅南口行き（2番乗場）
「立教前」下車　乗車時間約30分

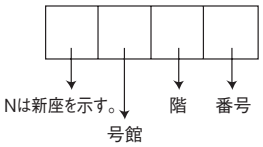
構内案内図（新座キャンパス）

キャンパス案内図



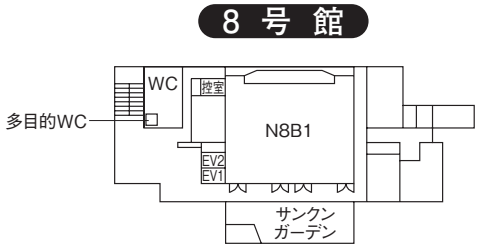
新座キャンパス教室案内図

教室番号の見方

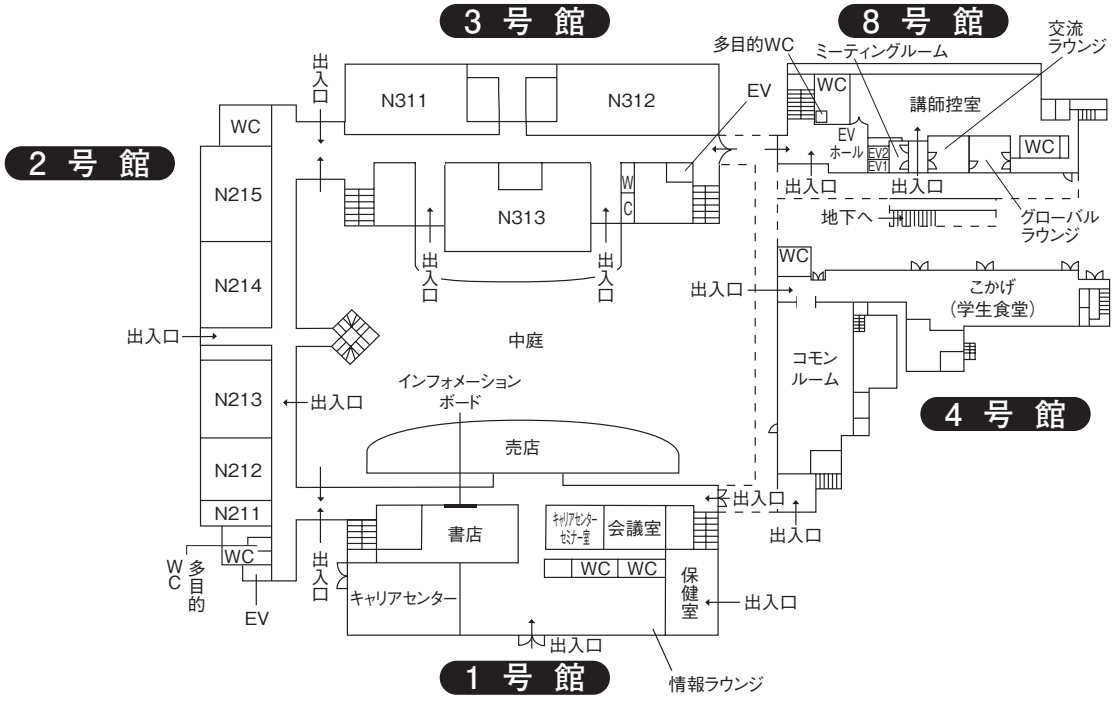


※ただしTは体育館を示す。

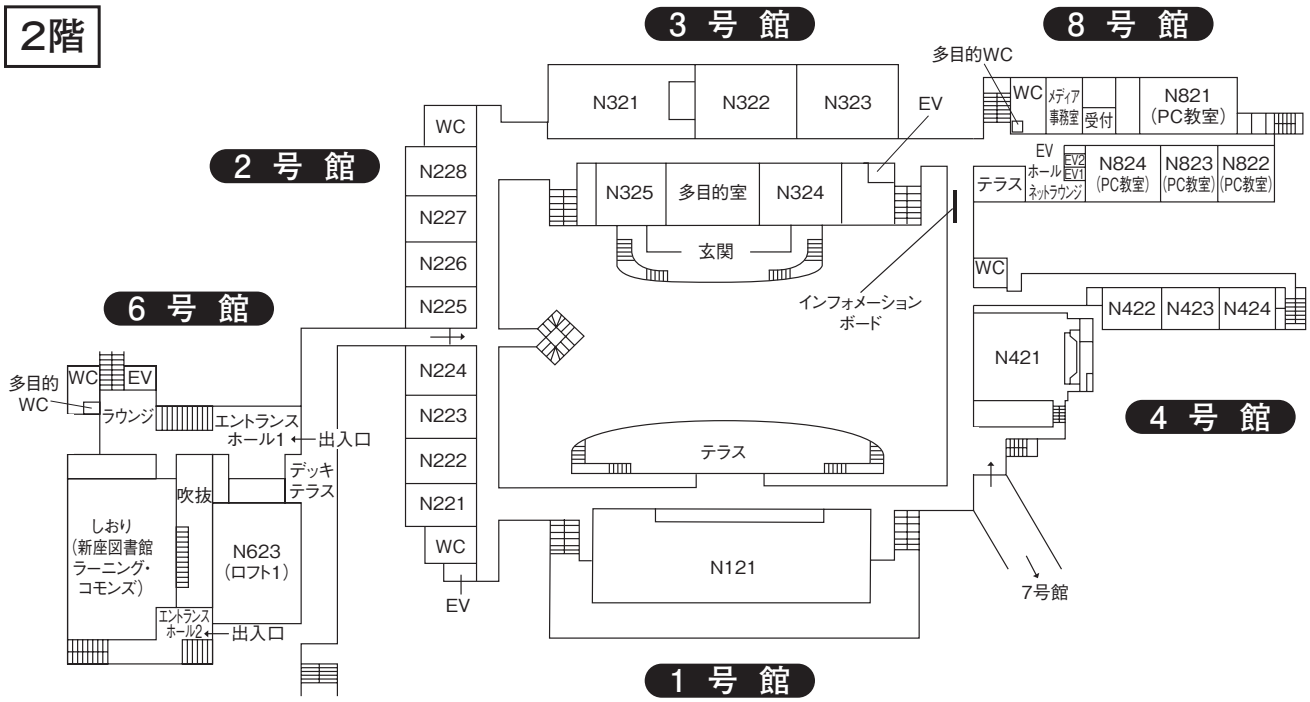
地下1階



1階

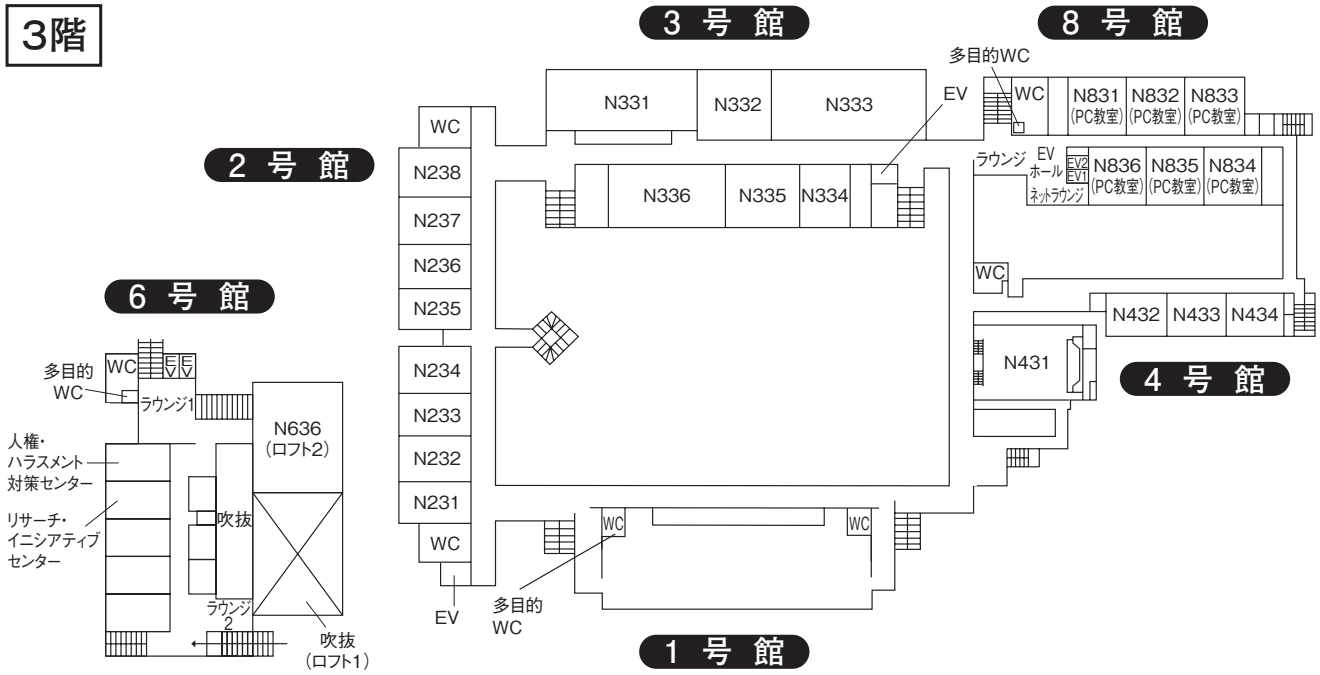


2階

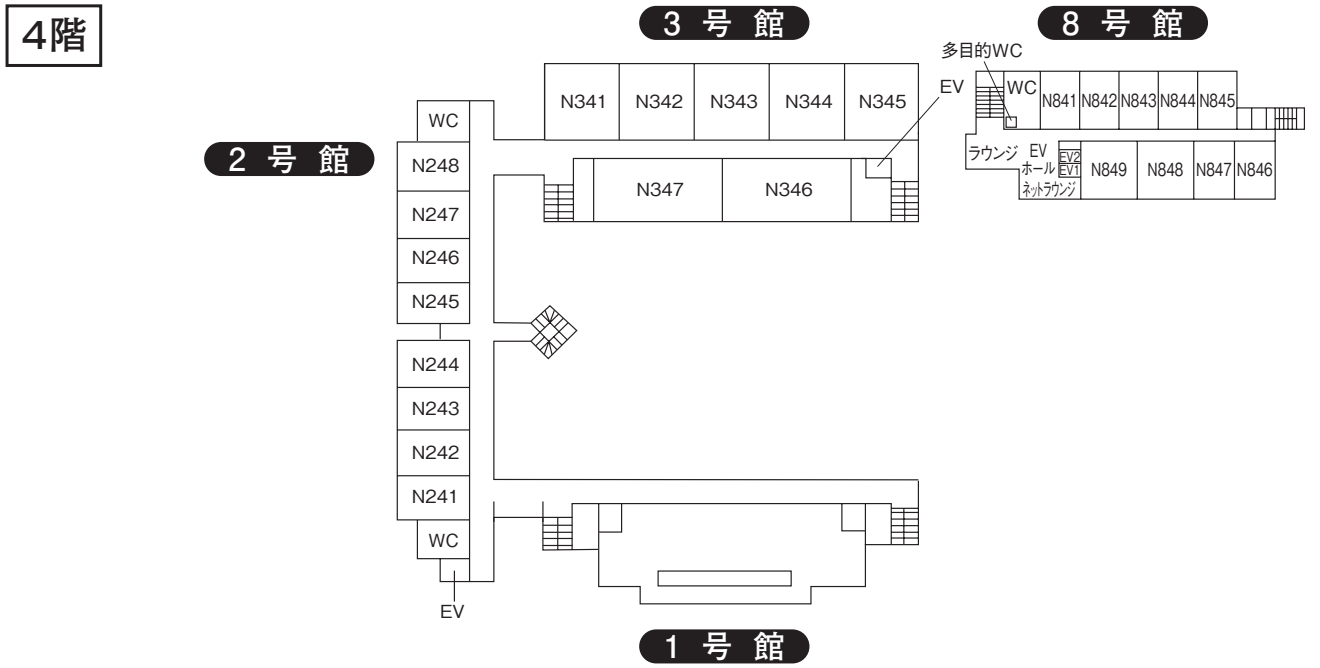


新座キャンパス教室案内図

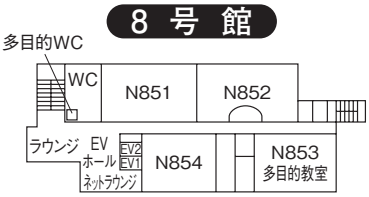
3階



4階

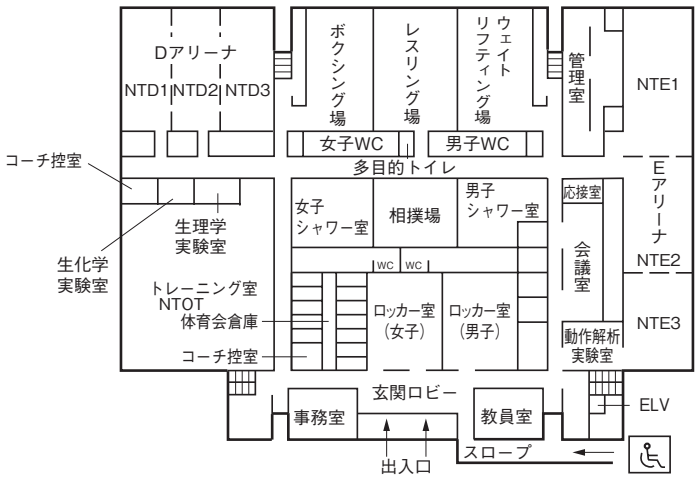


5階

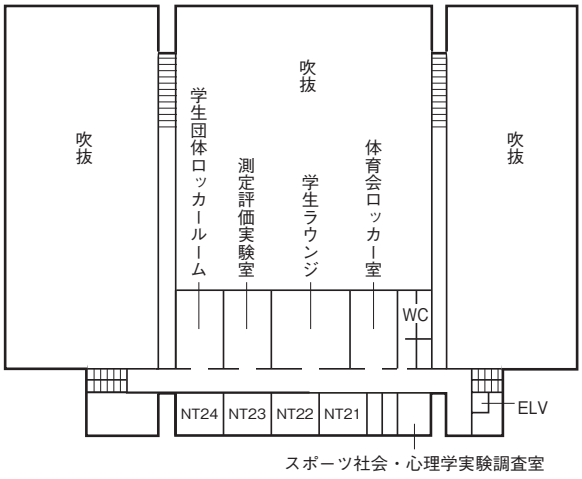


新座キャンパス体育館

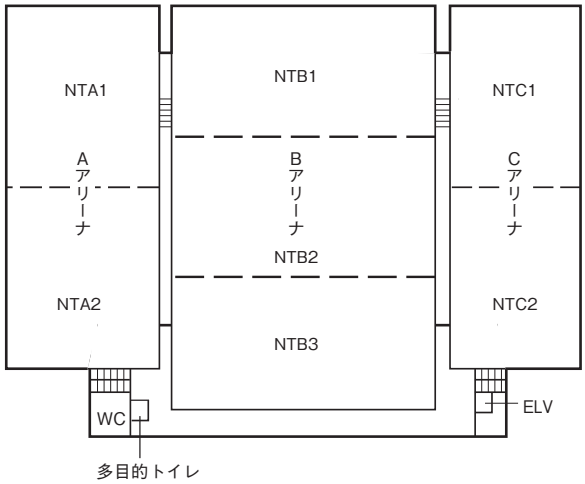
体育館１階



体育館２階



体育館３階



※その他の新座キャンパス屋外施設
- テニスコート（NZT1）
- 多目的グラウンド（NZA1）
- セントポールズ・アクアティックセンター（NPL1）
- セントポールズ・フィールド（NSTD）

学校・社会教育講座案内

学校・社会教育講座に関する質問・相談に対応するには、多くの個人情報を提示しての回答が必要となる。電話による問い合わせは、本人確認を行うことが困難なため原則回答することはできない。

下記を参照のうえ、早めの来室相談を心がけること。なお、実習先からの緊急連絡等は、この限りではない。

【池袋キャンパス】
２号館１階

学校・社会教育講座事務室

【開室曜日・時間】 ①カウンター（資格申請等） 月曜～金曜 8：50～17：00※
土曜 8：50～12：30※

②・③カウンター（実習・介護等体験） 月曜～金曜 9：00～17：00
土曜 閉室

※ 授業期間中の通常開室時間。授業期間とは，春学期・秋学期の授業開始日から最終授業日までをいう（オリエンテーション期間および定期試験期間は除く）。授業期間以外の窓口時間は，原則 月～金9:00～17:00，土9:00～12:30となる。また，特別な場合の窓口時間については，ホームページおよび掲示によって周知する。

２号館１階には事務室のほか，資料室（教科書等資料閲覧可能），面談室，グループワーク室，会議室がある。

２号館２階

学校・社会教育講座実習室

学校・社会教育講座教員研究室

■オフィスアワー （池袋キャンパス ２号館２階各研究室）

教職課程	逸見 敏郎	通年	火曜	12：35～13：15
	岩瀧 大樹	春学期	月曜	12：35～13：15
	森田 満夫	通年	木曜	12：35～13：15
	奈須 恵子	春学期	火曜	12：35～13：15
		秋学期	月曜	13：30～14：10
	下地 秀樹	秋学期	研究休暇	
	青木 猛正	通年	水曜	12：35～13：15
学芸員課程	滝口 正哉	通年	水曜	12：30～13：25
司書課程	中村百合子	通年	金曜	13：00～13：30
	ハモンド，E.	通年	火曜	15：00～15：30
社会教育主事課程	髙井 正	通年	金曜	12：35～13：15

学校・社会教育講座掲示板は，２号館東側（７号館側）にある。

【新座キャンパス】
７号館１階

学校・社会教育講座事務室

学校・社会教育講座実習指導室

【開室曜日・時間】 月曜～金曜 9：00～17：00
土曜 閉室

■オフィスアワー （新座キャンパス ７号館１階学校・社会教育講座実習指導室）

教職課程	下地 秀樹	春学期	金曜	12：35～13：15
	岩瀧 大樹	秋学期	木曜	12：35～13：15

学校・社会教育講座掲示板は，１号館保健室入口横［教務関係・教職課程］，および７号館入口（４号館側）横［学芸員課程・司書課程・社会教育主事課程］にある。

学生番号：　　氏　名　：

2020年4月

立教大学学校・社会教育講座

〒171－8501　東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学池袋キャンパス教務事務センター
☎03-3985-2220

RIKKYO UNIVERSITY
MDCCCLXXIV
PRO DEO
ET
PATRIA